

平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
(平成25年度調査)

(10) 介護サービス事業所における医療職のあり方に関する
調査研究事業
報 告 書

目 次

I 背景と目的	1
II 研究事業の実施体制.....	3
1. 検討委員会の設置・運営.....	3
2. 検討委員会における検討内容.....	3
III 調査研究の流れ	4
IV 通所介護・通所リハ事業所タイムスタディ調査.....	5
1. 調査の概要	5
2. 調査対象事業所.....	5
3. 調査実施期間	5
4. 調査の方法	5
5. 調査項目	6
6. 調査結果	8
(1) 回収状況.....	8
(2) 事業所及び利用者の状況.....	9
(3) 行為内容及び所要時間.....	13
1) 事業所単位.....	13
2) 職種別	20
(4) 業務の内容.....	24
1) 事業所単位.....	24
2) 職種別	31
(5) (参考) 個別機能訓練／個別リハビリテーション利用者票結果一覧（事業所単位）	35
(6) (参考) 事業所票結果一覧.....	40
1) 基本情報	40
2) 加算の算定状況.....	42
3) 職員体制	43
4) 利用者の状況.....	46
(7) (参考) 介護サービス施設・事業所調査との比較.....	48
1) 通所介護	48
2) 通所リハビリテーション.....	49
7. まとめ	50
V 看護職員タイムスタディ調査.....	52

1. 調査の概要	52
2. 調査対象事業所.....	52
3. 調査実施期間	52
4. 調査の方法	53
5. 調査項目	53
(1) タイムスタディ調査.....	53
(2) アンケート調査（事業所票）	55
6. 調査結果	56
(1) タイムスタディ実施件数.....	56
(2) 調査対象の属性.....	57
1) 職種	57
2) 勤務形態	58
(3) 看護職員の業務時間数及びその内容.....	60
1) 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（総時間数）	60
2) 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（業務行為（大項目）別）	61
3) 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（看護職が実施する必要性区分別）	78
4) 看護職員が実施した業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）	96
5) 看護職員が実施した業務行為（小項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）	122
6) 看護職員の業務の密集度及び時間帯.....	208
(4) （参考）事業所票結果一覧（一部抜粋）	209
【介護老人福祉施設】	209
【特定施設入居者生活介護】	218
【通所介護】	228
【認知症対応型通所介護】	233
【訪問入浴介護】	238
【小規模多機能型居宅介護】	243
【短期入所生活介護（単独型）】	252
【認知症対応型共同生活介護】	261
【複合型サービス】	269
(5) （参考）介護サービス施設・事業所調査との比較.....	278
【介護老人福祉施設】	278
【特定施設入居者生活介護】	279
【通所介護】	281

【認知症対応型通所介護】	282
【訪問入浴介護】	283
【小規模多機能型居宅介護】	284
【短期入所生活介護（単独型）】	285
【認知症対応型共同生活介護】	287
7. まとめ	288

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査研究事業の 調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

(株)三菱総合研究所は「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査研究事業」を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、産業医科大学教授 松田晋哉氏を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営は、(株)三菱総合研究所が行う。
- (2) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査研究事業の 調査検討組織 委員等

委員長	松田 晋哉（産業医科大学 教授）
委員	池端 幸彦（日本医師会 介護保険委員会委員）
	今村 知明（奈良県立医科大学 教授）
	川崎 千鶴子（みずべの苑 施設長）
	沼田 美幸（日本看護協会 医療政策部長）
作業部会委員	大熊 明（元日本作業療法士協会 常務理事）
	黒羽 真美（日本言語聴覚士協会 介護保険部部員）
	森山 雅志（全国デイ・ケア協会 作業部会研修委員）
	吉田 俊之（日本理学療法士協会 職能課長）

（敬称略、50音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省老健局老人保健課 介護保険データ分析室長 松岡輝昌
- 厚生労働省老健局老人保健課 医療・介護連携技術推進官 逢坂悟郎
- 厚生労働省老健局老人保健課 介護予防対策専門官 猿渡央子
- 厚生労働省老健局老人保健課 主査 村上有佳
- 厚生労働省老健局老人保健課 主査 米倉なほ
- 厚生労働省老健局振興課 基準第一係長 松山政司
- 厚生労働省老健局振興課 基準第二係長 服部 剛
- 厚生労働省老健局高齢者支援課 老人介護専門官 右田周平
- 厚生労働省老健局認知症・虐待防止対策推進室 吉田知可

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査研究事業 調査概要

1. 調査の目的

本調査では、①通所介護・通所リハ事業所タイムスタディ調査および②看護職員タイムスタディ調査の 2 調査を実施する。前者は通所介護事業所の機能訓練指導員と、通所リハビリテーション事業所の理学療法士等の勤務内容の実態を把握し、今後の報酬改定に資する基礎資料を作成することを目的として実施する。後者は看護職員が配置されている介護サービス事業所に対し、看護職員の業務量・業務内容について確認するとともに、業務内容を「看護職員が実施する必要があるか否か」の観点から調査し、当該業務を看護職員が実施することの妥当性を検討することを目的として実施する。

2. 調査客体

①通所介護・通所リハ事業所タイムスタディ調査

- ・通所介護事業所（抽出）（1000 カ所：機能訓練指導員 1000 人）
- ・通所リハビリテーション事業所（抽出）（1000 カ所：理学療法士等 1000 人）

②看護職員タイムスタディ調査

- ・施設系・居住系・短期入所系サービス 計 200 人日
- ・通所系サービス 計 125 人日
- ・多機能・複合型サービス 計 125 人日
- ・訪問系サービス 計 50 人日

3. 主な調査項目

- ・事業所の属性（法人種類、利用者数、職員体制、医療的ケアを実施した利用者数等）
- ・機能訓練指導員/理学療法士等が実施した業務内容および時間、実施したサービス内容
- ・看護職員が実施した業務内容及び時間・看護職員が実施した理由 等

4. 調査内容（調査票種類、調査内容等）

①、②ともに事業所票およびタイムスタディ票で構成される。①は事業所特性、リハビリテーション専門職が実施した業務内容、時間等、利用者属性等について把握する。②は事業所の特性および看護職員が実施した業務内容、時間等について把握する。

5. 調査方法（郵送調査等）

- ①については郵送配布・回収による調査（自記式タイムスタディ）を行う。
- ②（訪問系サービスを除く）については、調査員（看護職員）が訪問し、他記式のタイムスタディ調査を行う。訪問系サービスについては自記式とするが、調査員が調査票を訪問の上回収し、その際に内容に関するヒアリングを実施する。

I 背景と目的

介護サービス事業所における医療職の配置・業務実施状況を明らかにすることは、今後の医療職の配置やあり方、施設基準等に関する議論のために重要である。そこで、昨年度の介護報酬改定結果検証の一環として実施された、平成 24 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「介護サービス事業所における医療職に関する調査」（株式会社三菱総合研究所）においては、介護サービス事業所の医師の配置や業務内容、看護職員が実施した業務内容等について構造的な側面を中心とした調査を行った。

その結果、医師の業務内容、必要性については、昨年度調査結果から、一定程度の評価が得ていると考えられる一方で、看護職員の配置については、自記式タイムスタディにより看護職員が実施している業務量や内容、実施している業務量が多い項目について把握することができたが、当該ケア行為を看護職員が実施する必要があるか否かといった「看護職配置の必要性」の検討を行うためのデータについては収集していない。

そこで、今年度は看護職員が実施しているケア業務について、「看護師が実施すること」の妥当性を検討し、看護師ならではの業務に看護職員が専念できるような体制を構築することを検証できる基礎資料の作成を目的として調査を実施する必要がある。

また、昨年度は医療職のうちリハビリテーション関連職種（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）については調査の対象外としているが、今後は要介護度も重度化し、ADL が低下した高齢者も多くなることが予測され、介護保険の中でもリハビリテーションの報酬のあり方についての検討を行うために、理学療法士を中心としたリハビリテーション職種の業務量に関する基礎データが必要となると考えられる。そこで、通所介護事業所の機能訓練指導員、および通所リハビリテーション事業所の理学療法士等に焦点を当て、その業務量および業務行為の調査も実施する必要がある。

よって、今年度の医療職のあり方の検討においては、看護職員の業務量・ケア内容の看護職員が実施することの妥当性の検討、ならびに通所事業所におけるリハビリテーション関連職種の業務実態を把握する調査を行う必要がある。

そこで、本調査では、①通所介護・通所リハ事業所タイムスタディ調査および②看護職員タイムスタディ調査の 2 調査を実施する。前者は通所介護事業所の機能訓練指導員と、通所リハビリテーション事業所の理学療法士等の勤務内容の実態を把握し、今後の報酬改定に資する基礎資料を作成することを目的として実施した。後者は看護職員が配置されている介護サービス事業所に対し、看護職員の業務量・業務内容について確認するとともに、業務内容を「看護職員が実施する必要があるか否か」の観点から調査し、当該業務を看護職員がおこなうことの妥当性を検討することを目的として実施した。

＜調査の仮説＞

- ① 通所リハビリテーション事業所のリハビリテーション専門職個人としては、現状把握・リスク評価・目標設定等の専門的なアセスメントに基づき、1 回につき 20 分程度の個別リハビリテーションを行っていることが想定される。しかし、同事業所内の介護職員に対する OJT やミーティング等、具体的な多職種連携に取り組んでいる事業所は限られているのではないかと。
- ② 介護サービス事業所の看護職員の人員配置基準は、介護保険法施行以後大幅に見直しが行われたことがないが、限られた看護職員の人的資源を介護保険分野で有効活用という観点からは、必ずしも効率的でない看護職員の配置が定められているサービスがあるのではないかと。（外部の看護職員や他の職員で対応できるサービスがあるのではないかと。一方で、看護職員を手厚く配置することが必要なサービスもあるのではないかと。）

II 研究事業の実施体制

1. 検討委員会の設置・運営

本研究の実施に際し、調査研究の企画、調査方法・様式の検討、調査結果の分析・まとめを行う場として、検討委員会を設置した。

図表 1 介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査研究事業
検討委員会 委員

委員長	松田 晋哉（産業医科大学 教授）
委員	池端 幸彦（日本医師会 介護保険委員会委員）
	今村 知明（奈良県立医科大学 教授）
	川崎 千鶴子（みずべの苑 施設長）
	沼田 美幸（日本看護協会 医療政策部長）
作業部会委員	大熊 明（元日本作業療法士協会 常務理事）
	黒羽 真美（日本言語聴覚士協会 介護保険部部員）
	森山 雅志（全国デイ・ケア協会 作業部会研修委員）
	吉田 俊之（日本理学療法士協会 職能課長）

（敬称略、50音順）

<事務局>

株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部

2. 検討委員会における検討内容

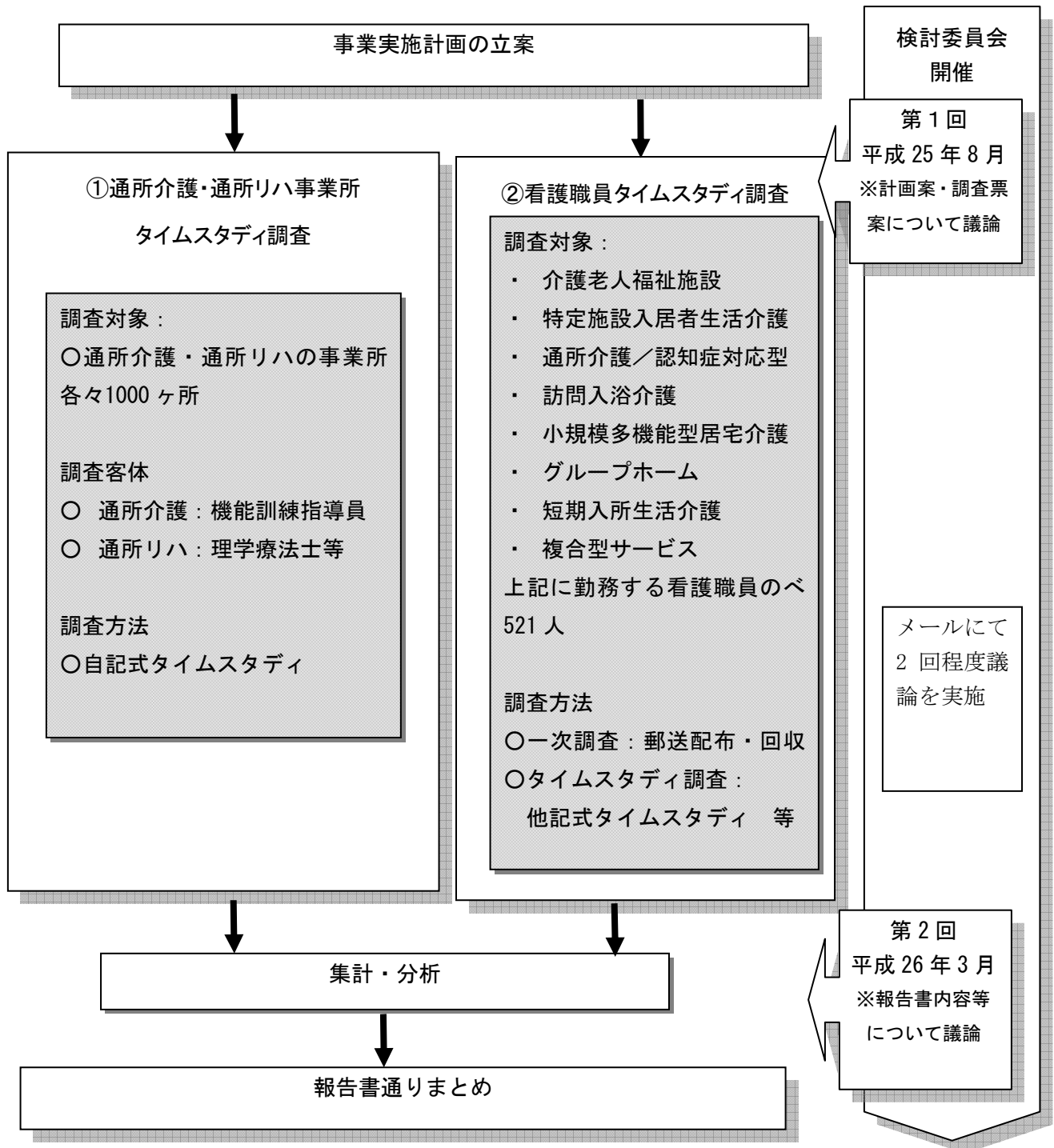
図表 2 検討委員会の開催時期と議題

回	時期	議 題
第1回	平成25年8月	○研究計画について ○調査票（案）について
第2回	平成26年3月	○研究結果の通りまとめについて

※その他、メールで2回の意見交換を実施

III 調査研究の流れ

図表 3 調査研究のフロー



IV 通所介護・通所リハ事業所タイムスタディ調査

1. 調査の概要

通所介護事業所の機能訓練指導員と、通所リハビリテーション事業所の理学療法士等の勤務内容の実態を把握した。

2. 調査対象事業所

調査対象事業所は、全国の通所介護事業所または通所リハビリテーション事業所から無作為に抽出した合計 2,000 事業所とした。

図表 4 調査対象事業所

サービス種別	対象事業所数
通所介護	1,000
通所リハビリテーション	1,000

3. 調査実施期間

平成 25 年 11 月（11 月 10 日～11 月 16 日の任意の 1 日）

4. 調査の方法

本調査は、郵送配布・郵送回収により実施した。調査票の構成と記入者の対応は次の通りである。

図表 5 調査票の構成と記入者

調査票名	部数	記入者
事業所票	1 部	調査対象事業所の看護職員または介護職員、事務職員
タイムスタディ票	1) 通所介護 最大 5 部 2) 通所リハビリテーション 最大 4 部	1) 通所介護 機能訓練指導員 最大 5 名： 調査対象日に勤務した、①看護師・准看護師、②理学療法士、③作業療法士、④言語聴覚士、⑤その他（柔道整復師、あんまマッサージ指圧師等）の各職種の方から最大 1 名ずつ 2) 通所リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等 最大 4 名： 調査対象日に勤務した、①理学療法士、②作業療法士、③言語聴覚士、④その他（柔道整復師、あんまマッサージ指圧師等）の各職種の方から最大 1 名ずつ
利用者票	1) 通所介護 最大 5 部 2) 通所リハビリテーション 最大 4 部	タイムスタディ票の記入者

5. 調査項目

調査項目は以下のとおり。

図表 6 事業所票【通所介護】

大項目	具体的な項目
基本情報	・ 所在地、開設主体、開設年、併設または隣接している医療機関、施設等区分 ・ 利用者数（実人数・延べ人数）、認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数
加算の算定状況	・ 各加算の有無 ・ 多職種が一堂に会したカンファレンスの実施有無、実施回数、対象となる利用者 ・ 各行為（個別機能訓練実施計画書の作成、家族への説明と同意取得）を実施する職種
職員体制	・ 職種別・常勤／非常勤人数（実人数・常勤換算）、うち機能訓練指導員として配置されている人数 ・ 連絡が取りやすい医師・医療機関の有無
利用者の状況	・ 利用者の医療的ケアの状況（実人数） ・ 利用者の保有疾患
利用者への機能訓練指導員の関与度合いについての課題	・ 利用者への機能訓練指導員の関わり方に関する課題や工夫、意向、要望
タイムスタディ実施日の状況	・ タイムスタディ実施日、実施日の利用者数（利用者数、うち個別機能訓練実施者数、うち集団機能訓練実施者数）、実施日の機能訓練指導員の職種別勤務状況（実人数）
タイムスタディ調査実施者	・ 調査にご協力いただいた方の職種

図表 7 事業所票【通所リハビリテーション】

大項目	具体的な項目
基本情報	- 所在地、開設主体、開設年、併設または隣接している医療機関、施設等区分 - 利用者数（実人数・延べ人数）、認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数
加算の算定状況	- 各加算の有無 - 多職種が一堂に会したリハビリテーションカンファレンスの実施有無、実施回数、対象となる利用者 - 各行為（個別リハビリテーション実施計画書の作成、家族への説明と同意取得）を実施する職種
職員体制	- 職種別・常勤／非常勤人数（実人数・常勤換算）、うち機能訓練指導員として配置されている人数 - 連絡が取りやすい医師・医療機関の有無
利用者の状況	- 利用者の医療的ケアの状況（実人数） - 利用者の保有疾患
利用者への理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の関与度合いについての課題	利用者への理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の関わり方に関する課題や工夫、意向、要望
タイムスタディ実施日の状況	タイムスタディ実施日、実施日の利用者数（利用者数、うち個別リハビリテーション実施者数、うち集団リハビリテーション実施者数）、実施日のリハビリテーション専門職の職種別勤務状況（実人数）
タイムスタディ調査実施者	調査にご協力いただいた方の職種

図表 8 タイムスタディ票

大項目	具体的な項目
基本情報	記入日、職種、勤務形態、勤務日数、うち当該サービスでの勤務日数
業務時間	業務開始時間、業務終了時間、業務時間
タイムスタディ	送迎、健康管理、個別機能訓練／個別リハビリテーション、集団機能訓練／集団リハビリテーション、居宅訪問、個別機能訓練／個別リハビリテーション計画の作成・見直し、その他のケア、管理業務、サービス担当者会議への参加、休憩、併設サービスにおける勤務

図表 9 利用者票

大項目	具体的な項目
基本情報	性別、年齢、利用開始日、要介護度、実施時間（分）、認知症高齢者の日常生活自立度、保有疾患、医師への相談、実施した内容
ADL	移動、食事、排泄、入浴、整容（着替え）
アセスメントの実施	当日の実施の有無、実施時間、アセスメントを実施した観点

6. 調査結果

(1) 回収状況

本調査の回収状況は次の通りであった。

図表 10 回収状況

		発送数	回収数	回収率	有効回答数※
通所介護	事業所票	1,000	438	43.8%	350
	タイムスタ ディ票	—	435	—	—
通所リハビ リテーショ ン	事業所票	1,000	484	48.4%	471
	タイムスタ ディ票	—	831	—	—

※タイムスタディ票・事業所票ともに回答した事業所の回収票数

以下、タイムスタディ票・事業所票ともに回答した事業所の回収票についての集計結果を示す。

(2) 事業所及び利用者の状況

- ・ 通所介護事業所における機能訓練の実施状況についてみると、「当日の利用者数」が平均 17.77 人、「うち個別機能訓練を受けた利用者数」が平均 9.07 人、「集団機能訓練を受けた利用者数」が平均 12.99 人であった。
- ・ 通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーションの実施状況についてみると、「当日の利用者数」が平均 24.56 人、「個別リハビリテーションを受けた利用者数」が平均 18.72 人、「集団リハビリテーションを受けた利用者数」が平均 10.27 人であった。

図表 11 機能訓練の実施者数【通所介護】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
タイムスタディ実施日の利用者数	350	16 4.6%	62 17.7%	112 32.0%	123 35.1%	37 10.6%	17.77	10.8
うち個別機能訓練実施者数	350	111 31.7%	73 20.9%	60 17.1%	41 11.7%	65 18.6%	9.07	9.18
うち集団機能訓練実施者数	350	61 17.4%	53 15.1%	86 24.6%	71 20.3%	79 22.6%	12.99	10.46

図表 12 リハビリテーションの実施者数【通所リハビリテーション】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
タイムスタディ実施日の利用者数	471	16 3.4%	31 6.6%	135 28.7%	246 52.2%	43 9.1%	24.56	15.25
うち個別リハビリ実施者数	471	28 5.9%	62 13.2%	167 35.5%	163 34.6%	51 10.8%	18.72	13.07
うち集団リハビリ実施者数	471	176 37.4%	33 7.0%	81 17.2%	81 17.2%	100 21.2%	10.27	12.75

- ・ 通所介護事業所の利用者の平均要介護度は 1.88、通所リハビリテーション事業所の利用者の平均要介護度は 1.93 であった。

図表 13 要介護度別利用者数（実人数）

	通所介護								通所リハビリテーション							
	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	350	185 52.9%	90 25.7%	49 14.0%	26 7.4%	-	6.79	8.91	471	256 54.4%	111 23.6%	59 12.5%	44 9.3%	1 0.2%	7.28	9.88
要支援2	350	145 41.4%	82 23.4%	84 24.0%	39 11.1%	-	9.03	11.26	471	137 29.1%	122 25.9%	130 27.6%	81 17.2%	1 0.2%	11.73	11.87
要介護1	350	43 12.3%	79 22.6%	126 36.0%	102 29.1%	-	18	28.67	471	44 9.3%	76 16.1%	181 38.4%	169 35.9%	1 0.2%	18.47	13.2
要介護2	350	66 18.9%	90 25.7%	119 34.0%	75 21.4%	-	15.39	30.5	471	36 7.6%	73 15.5%	167 35.5%	194 41.2%	1 0.2%	19.12	12.93
要介護3	350	126 36.0%	116 33.1%	91 26.0%	17 4.9%	-	8.9	16.57	471	91 19.3%	137 29.1%	174 36.9%	68 14.4%	1 0.2%	11.43	8.37
要介護4	350	211 60.3%	99 28.3%	33 9.4%	7 2.0%	-	5.28	11.79	471	201 42.7%	161 34.2%	87 18.5%	21 4.5%	1 0.2%	6.81	5.91
要介護5	350	288 82.3%	48 13.7%	9 2.6%	5 1.4%	-	2.89	6.46	471	344 73.0%	98 20.8%	25 5.3%	3 0.6%	1 0.2%	3.29	3.63

図表 14 平均要介護度

	件数	0.5未満	0.5以上1未満	1以上1.5未満	1.5以上2未満	2以上2.5未満	2.5以上3未満	3以上3.5未満	3.5以上4未満	4以上4.5未満	4.5以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
通所介護	350	-	8 2.3%	78 22.3%	132 37.7%	93 26.6%	27 7.7%	9 2.6%	2 0.6%	-	-	1 0.3%	1.88	0.51
通所リハビリテーション	471	-	3 0.6%	84 17.8%	186 39.5%	138 29.3%	56 11.9%	3 0.6%	-	-	-	1 0.2%	1.93	0.47

- ・ 通所介護事業所の医療職の常勤換算数は、「看護師」0.87人、「准看護師」0.76人、「PT」0.43人、「OT」0.25人、「ST」0.05人であった。
- ・ 通所リハビリテーション事業所の医療職の常勤換算数は、「医師」0.63人、「看護師」0.94人、「准看護師」1.40人、「PT」1.15人、「OT」1.43人、「ST」0.21人であった。

図表 15 職種別常勤換算数

	通所介護			通所リハビリテーション		
	件数	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)	件数	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
医師	350	0	0.01	471	0.58	0.63
看護師	350	0.59	0.87	471	0.60	0.94
准看護師	350	0.65	0.76	471	0.54	1.40
PT	350	0.12	0.43	471	1.21	1.15
OT	350	0.05	0.25	471	0.67	1.43
ST	350	0	0.05	471	0.08	0.21

- ・ 通所介護事業所の調査対象者の職種は、「看護師」が最も多く 36.1%、次いで「准看護師」34.3%であった。
- ・ 通所リハビリテーション事業所の調査対象者の職種は、「理学療法士」が最も多く 55.8%、次いで「作業療法士」が 34.5%であった。

図表 16 調査対象者の職種

	件数	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	准看護師	柔道整復師	あんまマッサージ指圧師	その他	無回答
通所介護	435	43 9.9%	20 4.6%	1 0.2%	157 36.1%	149 34.3%	28 6.4%	23 5.3%	—	14 3.2%
通所リハビリテーション	831	464 55.8%	287 34.5%	65 7.8%	—	—	—	—	10 1.2%	5 0.6%

- ・ 通所介護事業所の調査対象者の勤務形態は、「PT・OS・ST」、「柔道整復師・あんまマッサージ指圧師」では常勤（専従）が最も多く、「看護師・准看護師」では常勤（兼務）が最も多かった。
- ・ 通所リハビリテーション事業所の調査対象者の勤務形態は、「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」いずれにおいても常勤（兼務）が最も多かった。

図表 17 調査対象者の勤務形態【通所介護】

	通所介護					
	件数	常勤（専従）	常勤（兼務）	非常勤（専従）	非常勤（兼務）	無回答
合 計	435	135 31.0%	123 28.3%	89 20.5%	66 15.2%	22 5.1%
PT・OT・ST	64	37 57.8%	9 14.1%	11 17.2%	6 9.4%	1 1.6%
看護師・准看護師	306	68 22.2%	106 34.6%	66 21.6%	56 18.3%	10 3.3%
柔道整復師・あんまマッサージ指圧師	51	29 56.9%	7 13.7%	11 21.6%	3 5.9%	1 2.0%

図表 18 調査対象者の勤務形態【通所リハビリテーション】

	通所リハビリテーション					
	件数	常勤（専従）	常勤（兼務）	非常勤（専従）	非常勤（兼務）	無回答
合 計	831	290 34.9%	440 52.9%	58 7.0%	32 3.9%	11 1.3%
理学療法士	464	185 39.9%	230 49.6%	32 6.9%	12 2.6%	5 1.1%
作業療法士	287	95 33.1%	161 56.1%	19 6.6%	9 3.1%	3 1.0%
言語聴覚士	65	4 6.2%	44 67.7%	6 9.2%	11 16.9%	—
その他	10	5 50.0%	3 30.0%	1 10.0%	—	1 10.0%

(3) 行為内容及び所要時間

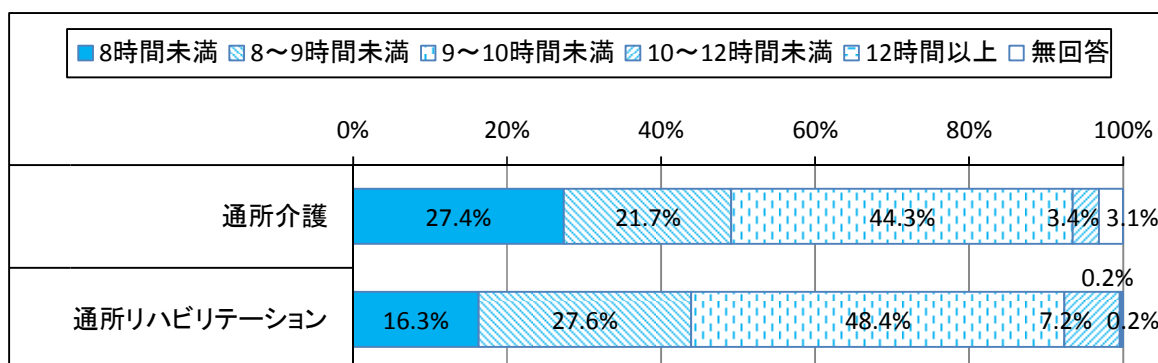
1) 事業所単位

- ・ 従事時間数は、通所介護事業所では、平均従事時間は 477 分、通所リハビリテーション事業所では 503 分であった。いずれのサービス種別でも 9～10 時間未満という回答が最も多くなっている。

図表 19 従事時間数

	件数	8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上	無回答	平均(単位:分)	標準偏差(単位:分)
通所介護	350	96 27.4%	76 21.7%	155 44.3%	12 3.4%	-	11 3.1%	476.76	114.43
通所リハビリテーション	471	77 16.3%	130 27.6%	228 48.4%	34 7.2%	1 0.2%	1 0.2%	502.51	104.69

図表 20 従事時間数



- ・ 通所介護事業所では、平均従事時間数は「個別機能訓練」が 98.8 分で最も多く、次いで「その他のケア」が 64.2 分、「健康管理」が 59.7 分であった。

図表 21 行為別平均従事時間数【通所介護】

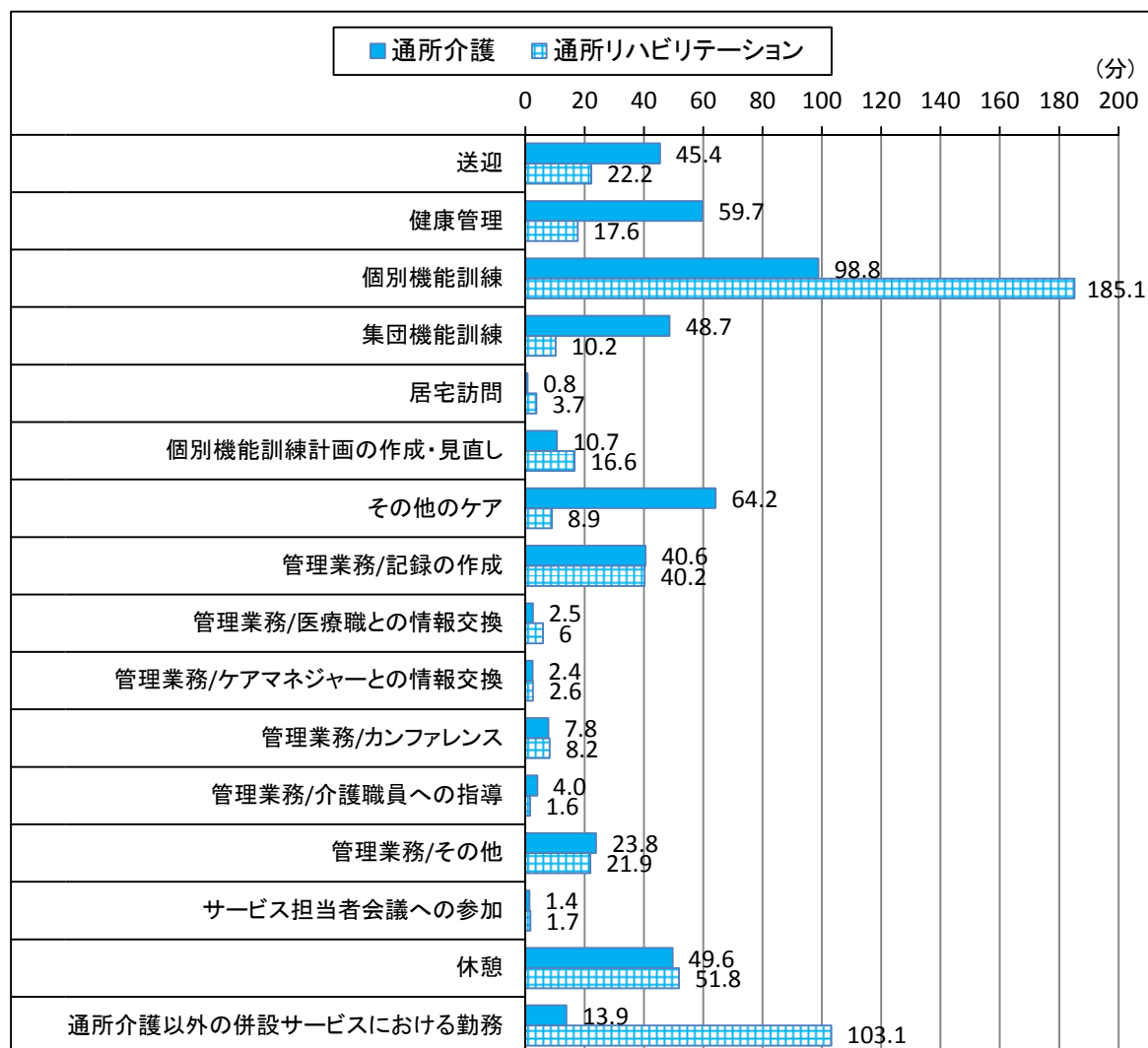
	件数	20分未満	20～40分未満	40～60分未満	60～120分未満	120分以上	無回答	平均：(単位：分)	標準偏差：(単位：分)
送迎	350	107 30.6%	61 17.4%	37 10.6%	85 24.3%	32 9.1%	28 8.0%	45.38	44.57
健康管理	350	32 9.1%	73 20.9%	63 18.0%	118 33.7%	36 10.3%	28 8.0%	59.66	42.14
個別機能訓練	350	45 12.9%	38 10.9%	24 6.9%	97 27.7%	118 33.7%	28 8.0%	98.79	79.64
集団機能訓練	350	105 30.0%	51 14.6%	35 10.0%	101 28.9%	30 8.6%	28 8.0%	48.66	49.21
居宅訪問	350	318 90.9%	2 0.6%	—	2 0.6%	—	28 8.0%	0.75	7.36
個別機能訓練計画の作成・見直し	350	234 66.9%	60 17.1%	13 3.7%	13 3.7%	2 0.6%	28 8.0%	10.69	20.6
その他のケア	350	109 31.1%	27 7.7%	27 7.7%	84 24.0%	75 21.4%	28 8.0%	64.18	63.99
管理業務__記録の作成	350	74 21.1%	87 24.9%	61 17.4%	92 26.3%	8 2.3%	28 8.0%	40.56	30.9
管理業務__医療職との情報交換	350	300 85.7%	17 4.9%	5 1.4%	—	—	28 8.0%	2.53	7.71
管理業務__ケアマネジャーとの情報交換	350	301 86.0%	17 4.9%	3 0.9%	1 0.3%	—	28 8.0%	2.42	7.79
管理業務__カンファレンス	350	251 71.7%	55 15.7%	12 3.4%	4 1.1%	—	28 8.0%	7.8	13.62
管理業務__介護職員への指導	350	288 82.3%	29 8.3%	4 1.1%	1 0.3%	—	28 8.0%	4.04	10.52
管理業務__その他	350	183 52.3%	56 16.0%	33 9.4%	38 10.9%	12 3.4%	28 8.0%	23.83	35.54
サービス担当者会議への参加	350	314 89.7%	2 0.6%	2 0.6%	4 1.1%	—	28 8.0%	1.35	8.02
休憩	350	34 9.7%	33 9.4%	48 13.7%	206 58.9%	1 0.3%	28 8.0%	49.63	20.84
通所介護以外の併設サービスにおける勤務	350	289 82.6%	6 1.7%	2 0.6%	6 1.7%	19 5.4%	28 8.0%	13.89	49.85

- ・ 通所リハビリテーション事業所では、平均従事時間数は「個別リハビリテーション」が 185.1 分で最も多く、次いで「併設サービスにおける勤務」が 103.1 分、「管理業務 記録の作成」が 40.2 分であった（※休憩を除く）。

図表 22 行為別平均従事時間数【通所リハビリテーション】

	件数	20分未満	20～40分未満	40～60分未満	60～120分未満	120分以上	無回答	（単位：分） 平均値	（単位：分） 標準偏差
送迎	471	310 65.8%	40 8.5%	34 7.2%	56 11.9%	21 4.5%	10 2.1%	22.2	36.9
健康管理	471	265 56.3%	142 30.1%	31 6.6%	19 4.0%	4 0.8%	10 2.1%	17.6	24.0
個別リハビリ	471	2 0.4%	5 1.1%	11 2.3%	78 16.6%	365 77.5%	10 2.1%	185.1	79.1
集団リハビリ	471	361 76.6%	51 10.8%	18 3.8%	29 6.2%	2 0.4%	10 2.1%	10.2	21.1
居宅訪問	471	429 91.1%	13 2.8%	8 1.7%	9 1.9%	2 0.4%	10 2.1%	3.7	14.8
個別リハビリテーション計画の作成・見直し	471	289 61.4%	108 22.9%	30 6.4%	32 6.8%	2 0.4%	10 2.1%	16.6	22.7
その他のケア	471	381 80.9%	43 9.1%	15 3.2%	19 4.0%	3 0.6%	10 2.1%	8.9	22.3
管理業務__記録の作成	471	68 14.4%	176 37.4%	112 23.8%	97 20.6%	8 1.7%	10 2.1%	40.2	26.6
管理業務__医療職との情報交換	471	396 84.1%	57 12.1%	7 1.5%	1 0.2%	-	10 2.1%	6.0	10.6
管理業務__ケアマネジャーとの情報交換	471	436 92.6%	23 4.9%	1 0.2%	1 0.2%	-	10 2.1%	2.6	7.5
管理業務__カンファレンス	471	359 76.2%	84 17.8%	17 3.6%	1 0.2%	-	10 2.1%	8.2	12.6
管理業務__介護職員への指導	471	449 95.3%	10 2.1%	1 0.2%	1 0.2%	-	10 2.1%	1.6	6.0
管理業務__その他	471	276 58.6%	83 17.6%	49 10.4%	43 9.1%	10 2.1%	10 2.1%	21.9	32.3
サービス担当者会議への参加	471	441 93.6%	15 3.2%	3 0.6%	2 0.4%	-	10 2.1%	1.7	7.6
休憩	471	32 6.8%	42 8.9%	107 22.7%	280 59.4%	-	10 2.1%	51.8	18.3
通所リハ以外の併設サービスにおける勤務	471	213 45.2%	16 3.4%	10 2.1%	48 10.2%	174 36.9%	10 2.1%	103.1	123.2

図表 23 行為別平均従事時間数



- ・ 通所介護事業所では、平均従事時間割合は「個別機能訓練」が 21.4%で最も多く、次いで「その他のケア」が 13.7%、「健康管理」が 12.8%であった。
- ・ 管理業務として「介護職員への指導」を実施していたのは 17.1%であった。

図表 24 行為別平均従事時間割合【通所介護】

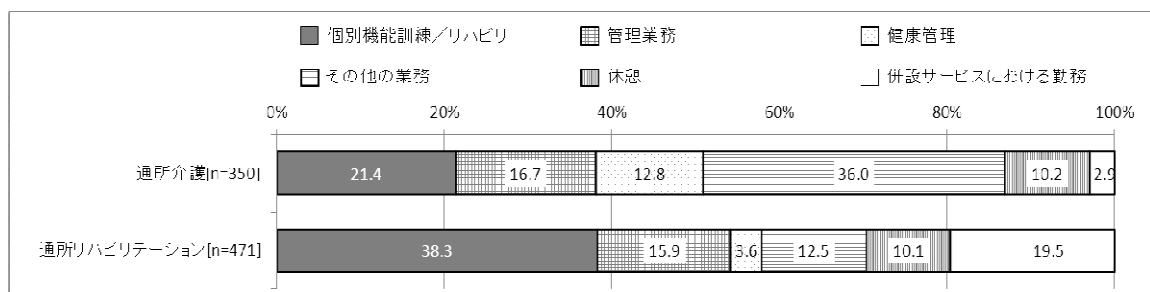
	件数	0 %	1 2 0 %未満	2 満 0 4 0 %未満	4 満 0 6 0 %未満	6 満 0 8 0 %未満	8 未 0 満 1 0 0 %	1 0 0 %	無回答	平(単位：平均：%) 均： 値)	(単位：標準偏差：%)
送迎	350	93 26.6%	188 53.7%	41 11.7%	-	-	-	-	28 8.0%	8.9	8.5
健康管理	350	18 5.1%	238 68.0%	60 17.1%	6 1.7%	-	-	-	28 8.0%	12.8	8.9
個別機能訓練	350	40 11.4%	131 37.4%	105 30.0%	39 11.1%	5 1.4%	1 0.3%	1 0.3%	28 8.0%	21.4	17.2
集団機能訓練	350	92 26.3%	172 49.1%	50 14.3%	7 2.0%	1 0.3%	-	-	28 8.0%	10.8	11.3
居宅訪問	350	317 90.6%	5 1.4%	-	-	-	-	-	28 8.0%	0.1	1.4
個別機能訓練計画の作成・見直し	350	225 64.3%	93 26.6%	4 1.1%	-	-	-	-	28 8.0%	2.2	4.2
その他のケア	350	103 29.4%	122 34.9%	82 23.4%	11 3.1%	4 1.1%	-	-	28 8.0%	13.7	14.2
管理業務_記録の作成	350	52 14.9%	249 71.1%	21 6.0%	-	-	-	-	28 8.0%	8.5	6.4
管理業務_医療職との情報交換	350	281 80.3%	41 11.7%	-	-	-	-	-	28 8.0%	0.5	1.5
管理業務_ケアマネジャーとの情報交換	350	282 80.6%	40 11.4%	-	-	-	-	-	28 8.0%	0.5	1.5
管理業務_カンファレンス	350	217 62.0%	105 30.0%	-	-	-	-	-	28 8.0%	1.6	2.8
管理業務_介護職員への指導	350	262 74.9%	60 17.1%	-	-	-	-	-	28 8.0%	0.9	2.3
管理業務_その他	350	167 47.7%	139 39.7%	16 4.6%	-	-	-	-	28 8.0%	4.7	6.9
サービス担当者会議への参加	350	310 88.6%	11 3.1%	1 0.3%	-	-	-	-	28 8.0%	0.3	1.8
休憩	350	32 9.1%	284 81.1%	6 1.7%	-	-	-	-	28 8.0%	10.2	4.7
ち、通所介護以外の併設サービスにおける勤務	350	286 81.7%	17 4.9%	10 2.9%	7 2.0%	1 0.3%	-	1 0.3%	28 8.0%	2.9	11.2

- ・ 通所リハビリテーション事業所では、平均従事時間数は「個別リハビリテーション」が 38.3%と最も多く、次いで「併設サービスにおける勤務」が 19.5%、「管理業務 記録の作成」が 8.1%であった。
- ・ 通所介護事業所と比較すると、通所リハビリテーション事業所では、「個別リハビリテーション」、「併設サービスにおける勤務」の割合が高くなっている。
- ・ 管理業務として「介護職員への指導」を実施していたのは 11.9%であった。

図表 25 行為別平均従事時間割合【通所リハビリテーション】

	件数	0 %	1 2 0 0 % 未満	2 満 0 0 % 未満	4 満 0 0 % 未満	6 満 0 0 % 未満	8 未 0 満 0 0 %	1 0 0 %	無回答	平均値	標準偏差
送迎	471	274 58.2%	160 34.0%	27 5.7%	-	-	-	-	10 2.1%	4.2	6.8
健康管理	471	150 31.8%	302 64.1%	7 1.5%	2 0.4%	-	-	-	10 2.1%	3.6	5.0
個別リハビリ	471	2 0.4%	62 13.2%	197 41.8%	154 32.7%	38 8.1%	5 1.1%	3 0.6%	10 2.1%	38.3	17.1
集団リハビリ	471	327 69.4%	123 26.1%	10 2.1%	1 0.2%	-	-	-	10 2.1%	2.3	5.2
居宅訪問	471	421 89.4%	37 7.9%	3 0.6%	-	-	-	-	10 2.1%	0.7	2.9
個別リハビリテーション計画の作成・見直し	471	206 43.7%	253 53.7%	2 0.4%	-	-	-	-	10 2.1%	3.2	4.2
その他のケア	471	339 72.0%	117 24.8%	5 1.1%	-	-	-	-	10 2.1%	1.8	4.3
管理業務__記録の作成	471	23 4.9%	424 90.0%	14 3.0%	-	-	-	-	10 2.1%	8.1	5.2
管理業務__医療職との情報交換	471	295 62.6%	166 35.2%	-	-	-	-	-	10 2.1%	1.2	2.2
管理業務__ケアマネジャーとの情報交換	471	374 79.4%	87 18.5%	-	-	-	-	-	10 2.1%	0.5	1.3
管理業務__カンファレンス	471	282 59.9%	179 38.0%	-	-	-	-	-	10 2.1%	1.6	2.4
管理業務__介護職員への指導	471	405 86.0%	56 11.9%	-	-	-	-	-	10 2.1%	0.3	1.2
管理業務__その他	471	205 43.5%	241 51.2%	13 2.8%	2 0.4%	-	-	-	10 2.1%	4.3	6.6
サービス担当者会議への参加	471	429 91.1%	32 6.8%	-	-	-	-	-	10 2.1%	0.3	1.4
休憩	471	28 5.9%	429 91.1%	4 0.8%	-	-	-	-	10 2.1%	10.1	3.7
ち、通所介護以外の併設サービスにおける勤務	471	205 43.5%	73 15.5%	73 15.5%	78 16.6%	31 6.6%	1 0.2%	-	10 2.1%	19.5	23.0

図表 26 行為別平均従事時間割合（事業所単位）



- ・ 併設サービスに勤務する時間を除いた行為別平均従事時間割合をみると、「個別リハビリテーション」が 47.7%と約 5 割を占め、「管理業務・記録の作成」が 10.3%と続いている（※休憩除く）。

図表 27 行為別平均従事時間割合【通所リハビリテーション：併設サービス除く】

	件数	0 %	1 2 0 %未満	2 満 0 %未満	4 満 0 %未満	6 満 0 %未満	8 未 満 0 %	1 0 0 %	無回答	（単位：平均値）	（単位：標準偏差）
送迎	471	274 58.2%	158 33.5%	29 6.2%	-	-	-	-	10 2.1%	4.46	7.1
健康管理	471	150 31.8%	300 63.7%	9 1.9%	2 0.4%	-	-	-	10 2.1%	4.26	5.49
個別リハビリ	471	2 0.4%	13 2.8%	123 26.1%	242 51.4%	70 14.9%	8 1.7%	3 0.6%	10 2.1%	47.66	15.04
集団リハビリ	471	327 69.4%	118 25.1%	15 3.2%	1 0.2%	-	-	-	10 2.1%	2.72	5.9
居宅訪問	471	421 89.4%	37 7.9%	3 0.6%	-	-	-	-	10 2.1%	0.85	3.3
個別リハビリテーション計画の作成・見直し	471	206 43.7%	250 53.1%	5 1.1%	-	-	-	-	10 2.1%	3.83	4.88
その他のケア	471	339 72.0%	117 24.8%	5 1.1%	-	-	-	-	10 2.1%	1.94	4.51
管理業務__記録の作成	471	23 4.9%	402 85.4%	35 7.4%	1 0.2%	-	-	-	10 2.1%	10.25	6.24
管理業務__医療職との情報交換	471	295 62.6%	166 35.2%	-	-	-	-	-	10 2.1%	1.47	2.64
管理業務__ケアマネジャーとの情報交換	471	374 79.4%	87 18.5%	-	-	-	-	-	10 2.1%	0.58	1.54
管理業務__カンファレンス	471	282 59.9%	179 38.0%	-	-	-	-	-	10 2.1%	1.92	2.95
管理業務__介護職員への指導	471	405 86.0%	55 11.7%	1 0.2%	-	-	-	-	10 2.1%	0.45	1.96
管理業務__その他	471	205 43.5%	237 50.3%	17 3.6%	2 0.4%	-	-	-	10 2.1%	4.86	6.97
サービス担当者会議への参加	471	429 91.1%	32 6.8%	-	-	-	-	-	10 2.1%	0.41	1.88
休憩	471	28 5.9%	332 70.5%	96 20.4%	5 1.1%	-	-	-	10 2.1%	14.38	8.04

2) 職種別

- ・ 職種別にみると、通所介護事業所では、平均従事時間は「PT・OS・ST」485分、「看護師・准看護師」436分、「柔道整復師・あんまマッサージ指圧師」496分であり、いずれの職種も9～10時間未満という回答が最も多くなっている。
- ・ 通所リハビリテーションでは、従事時間は「理学療法士」502分、「作業療法士」503分、「言語聴覚士」510分であり、いずれの職種も9～10時間未満という回答が最も多くなっている。

図表 28 職種別従事時間【通所介護】

	件数	8時間未満	8<9時間未満	9満<10時間未満	10満<12時間	12時間以上	無回答	(単位均：分値)
合 計	435	116 26.7%	85 19.5%	179 41.1%	16 3.7%	6 1.4%	33 7.6%	478.37
PT・OT・ST	64	17 26.6%	11 17.2%	26 40.6%	7 10.9%	2 3.1%	1 1.6%	485
看護師・准看護師	306	91 29.7%	66 21.6%	121 39.5%	5 1.6%	0 0.0%	23 7.5%	436.47
柔道整復師・あんまマッサージ指圧師	51	8 15.7%	6 11.8%	28 54.9%	3 5.9%	1 2.0%	5 9.8%	496.36

図表 29 職種別従事時間【通所リハビリテーション】

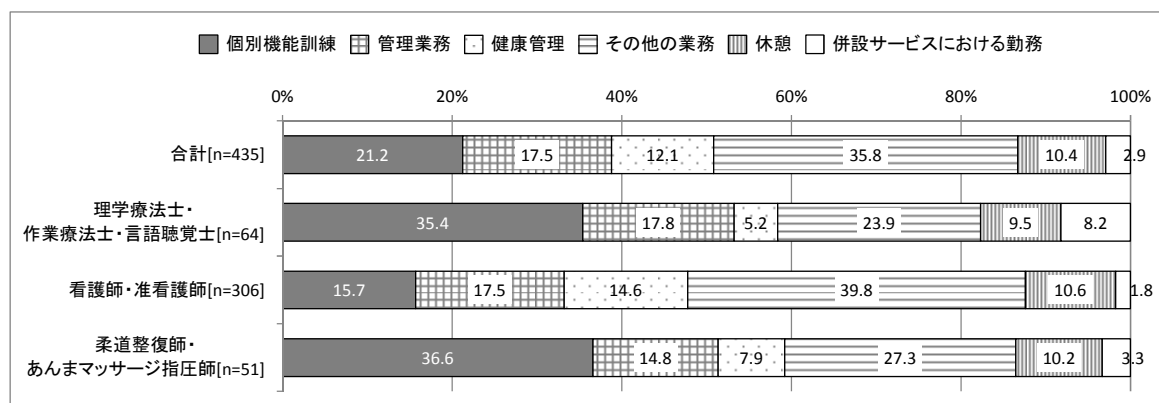
	件数	8時間未満	8<9時間未満	9満<10時間未満	10満<12時間	12時間以上	無回答	(単位均：分値)
合 計	831	141 17.0%	210 25.3%	394 47.4%	59 7.1%	3 0.4%	24 2.9%	501.56
理学療法士	464	75 16.2%	116 25.0%	220 47.4%	32 6.9%	3 0.6%	18 3.9%	502.67
作業療法士	287	43 15.0%	81 28.2%	133 46.3%	25 8.7%	—	5 1.7%	509.89
言語聴覚士	65	20 30.8%	11 16.9%	33 50.8%	—	—	1 1.5%	457.27
その他	10	3 30.0%	1 10.0%	5 50.0%	1 10.0%	—	—	477

- ・職種別に行為別従事時間をみると、通所介護事業所では、「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士」及び「柔道整復師・あんまマッサージ指圧師」は「個別機能訓練」の業務割合が大きい。一方で、「看護師・准看護師」は「その他のケア」、「健康管理」などの業務割合が大きい。
- ・通所リハビリテーション事業所では、「理学療法士」、「作業療法士」は「個別リハビリ」の業務割合が最も大きく、次いで「併設サービスにおける勤務」であり、「言語聴覚士」は「併設サービスにおける勤務」の業務割合が最も大きく、次いで「個別リハビリ」の勤務割合が大きい。「併設サービスにおける勤務」を除いた時間数で業務割合をみると、「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」とも、「個別リハビリ」が4割強である。

図表 30 職種別行為別従事時間数【通所介護】

	件数	平均値(単位:分)	個別機能訓練	管理業務							健康管理	休憩	おける勤務	併設サービスに	その他の業務							
				記録の作成	医療職との情報交換	ケアマネジャーとの情報交換	カンファレンス	介護職員への指導	その他	管理業務計					送迎	集団機能訓練	居宅訪問	画別の作成・訓練直計	その他のケア	会議への参加者	その他の業務計	
合計	435	478.37	101.57	41.6	3.17	2.5	8	3.97	24.68	83.92	57.74	49.58	14.09	47.86	46.29	0.67	11.76	63.31	1.59	171.48		
				21.2%	0.7%	0.5%	1.7%	0.9%	5.2%	17.5%	12.1%	10.4%	2.9%	10.0%	9.7%	0.1%	2.5%	13.2%	0.3%	35.8%		
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	64	484.77	171.65	41.646	5.2444	4.8313	9.7964	4.6377	20.242	86.397	25.068	46.115	39.724	43.065	30.086	2.3986	17.3	18.856	4.1123	115.82		
				35.4%	8.6%	1.1%	1.0%	1.0%	4.2%	17.8%	5.2%	9.5%	8.2%	8.9%	6.2%	0.5%	3.6%	3.9%	0.8%	23.9%		
看護師・准看護師	306	467.02	73.309	42.373	2.9563	2.0019	6.5315	3.921	23.953	81.737	68.021	49.736	8.1947	45.694	48.827	0.4127	9.2608	80.56	1.2596	186.01		
				15.7%	9.1%	0.6%	0.4%	1.4%	0.8%	5.1%	17.5%	14.6%	10.6%	1.8%	9.8%	10.5%	0.1%	2.0%	17.2%	0.3%	39.6%	
柔道整復師・あんまマッサージ指圧師	51	508.23	186.01	34.308	1.1188	2.0314	14	4.5067	19.118	75.083	39.901	51.799	16.85	59.88	47.455	0	21.399	9.8647	0	138.6		
				36.6%	6.8%	0.2%	0.4%	2.8%	0.9%	3.8%	14.8%	7.9%	10.2%	3.3%	11.8%	9.3%	0.0%	4.2%	1.9%	0.0%	27.7%	

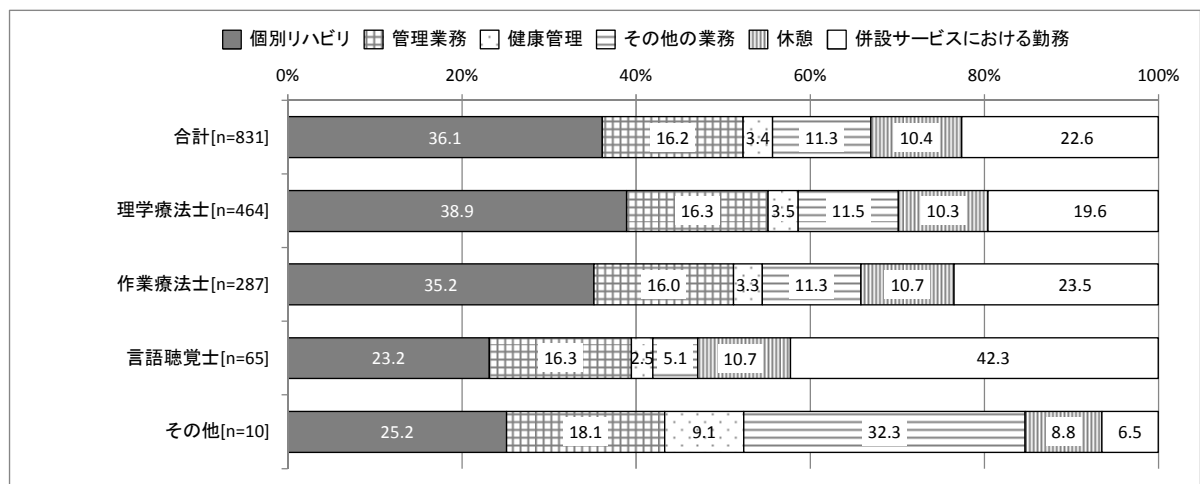
図表 31 職種別行為別従事時間割合【通所介護】



図表 32 職種別行為別従事時間数【通所リハビリテーション】

	件数	(単位:分) 合計	個別リハビリ	管理業務								健康管理	休憩	お供設サービスに おける勤務	その他の業務						
				記録の作成	交換療職との情報	ケアマネジャーとの情報交換	カンファレンス	介護職員への指導	その他	管理業務	送迎				集団リハビリ	居宅訪問	のテレビ・オンライン画面	個別リハビリ計画	その他のケア	会議への参加	サービス担当者
合計	831	501.56	181.22 36.1%	40.39 8.1%	6.12 1.2%	2.08 0.4%	8.43 1.7%	1.41 0.3%	22.68 4.5%	81.11 16.2%	17.05 3.4%	52.34 10.4%	113.22 22.6%	19.19 3.8%	9.2 1.8%	3.23 0.6%	15.53 3.1%	7.68 1.5%	1.8 0.4%	56.63 11.3%	
理学療法士	464	502.67	195.65 38.9%	41.18 8.2%	5.58 1.1%	2.5 0.5%	8.8 1.8%	1.61 0.3%	22.05 4.4%	81.72 16.3%	17.39 3.5%	51.64 10.3%	98.43 19.6%	20.57 4.1%	8.62 1.7%	4.07 0.8%	16.89 3.4%	6.13 1.2%	1.55 0.3%	57.83 11.5%	
作業療法士	287	509.89	179.33 35.2%	41.1 8.1%	6.41 1.3%	1.52 0.3%	8.72 1.7%	0.89 0.2%	23.05 4.5%	81.69 16.0%	16.84 3.3%	54.52 10.7%	119.73 23.5%	19.86 3.9%	9.72 1.9%	2.09 0.4%	14.86 2.9%	8.83 1.7%	2.41 0.5%	57.77 11.3%	
言語聴覚士	65	457.27	106.02 23.2%	32.34 7.1%	8.75 1.9%	1.09 0.2%	5.94 1.3%	0 0.0%	26.41 5.8%	74.53 16.3%	11.25 2.5%	48.75 10.7%	193.2 42.3%	0.78 0.2%	4.22 0.9%	2.03 0.4%	7.89 1.7%	7.34 1.6%	1.25 0.3%	23.51 5.1%	
その他	10	477	120 25.2%	39 8.2%	3 0.6%	6 1.3%	2 0.4%	16 3.4%	20.5 4.3%	86.5 18.1%	43.5 9.1%	42 8.8%	31 6.5%	62 13.0%	37 7.8%	0 0.0%	18 3.8%	37 7.8%	0 0.0%	154 32.3%	

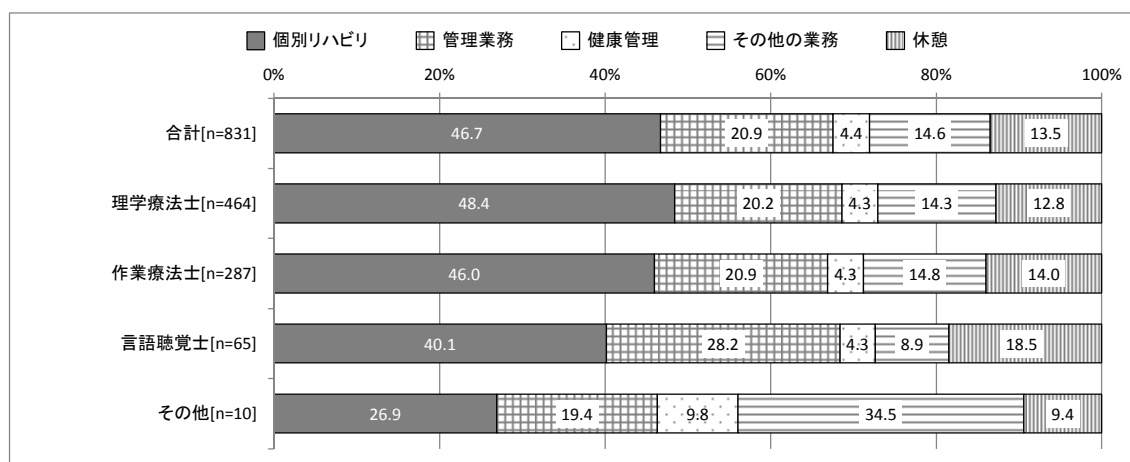
図表 33 職種別行為別従事時間割合【通所リハビリテーション】



図表 34 職種別行為別従事時間数（併設サービス勤務を除く）【通所リハビリテーション】

	件数	(単位：分) 平均値・合計	個別リハビリ	管理業務							健康管理	休憩	その他の業務						
				記録の作成	医療職との情報交換	ケアマネジャーとの情報交換	カンファレンス	介護職員への指導	その他	管理業務			送迎	集団リハビリ	居宅訪問	個別計画の作成・見直し	その他のケア	サービスの参加担当者会議へ	その他の業務
合計	831	388.35	181.22	40.39	6.12	2.08	8.43	1.41	22.68	81.11	17.05	52.34	19.19	9.2	3.23	15.53	7.68	1.8	56.63
			46.7%	10.4%	1.6%	0.5%	2.2%	0.4%	5.8%	20.9%	4.4%	13.5%	4.9%	2.4%	0.8%	4.0%	2.0%	0.5%	14.6%
理学療法士	464	404.23	195.65	41.18	5.58	2.5	8.8	1.61	22.05	81.72	17.39	51.64	20.57	8.62	4.07	16.89	6.13	1.55	57.83
			48.4%	10.2%	1.4%	0.6%	2.2%	0.4%	5.5%	20.2%	4.3%	12.8%	5.1%	2.1%	1.0%	4.2%	1.5%	0.4%	14.3%
作業療法士	287	390.15	179.33	41.1	6.41	1.52	8.72	0.89	23.05	81.69	16.84	54.52	19.86	9.72	2.09	14.86	8.83	2.41	57.77
			46.0%	10.5%	1.6%	0.4%	2.2%	0.2%	5.9%	20.9%	4.3%	14.0%	5.1%	2.5%	0.5%	3.8%	2.3%	0.6%	14.8%
言語聴覚士	65	264.06	106.02	32.34	8.75	1.09	5.94	0	26.41	74.53	11.25	48.75	0.78	4.22	2.03	7.89	7.34	1.25	23.51
			40.1%	12.2%	3.3%	0.4%	2.2%	0.0%	10.0%	28.2%	4.3%	18.5%	0.3%	1.6%	0.8%	3.0%	2.8%	0.5%	8.9%
その他	10	446	120	39	3	6	2	16	20.5	86.5	43.5	42	62	37	0	18	37	0	154
			26.9%	8.7%	0.7%	1.3%	0.4%	3.6%	4.6%	19.4%	9.8%	9.4%	13.9%	8.3%	0.0%	4.0%	8.3%	0.0%	34.5%

図表 35 職種別行為別従事時間割合（併設サービス勤務を除く）【通所リハビリテーション】



(4) 業務の内容

1) 事業所単位

- ・ 個別機能訓練実施計画書／リハビリテーション実施計画書の作成を行う職種は、通所介護事業所では「看護職員」が最も多く 51.1%、次いで「介護職員」31.4%、通所リハビリテーション事業所では「理学療法士」が最も多く 84.1%、次いで「介護職員」53.1%であった。
- ・ 家族への説明と同意を行う職種は、通所介護事業所では「介護職員」が最も多く 50.9%、次いで「看護職員」39.7%、通所リハビリテーション事業所では「理学療法士」が最も多く 64.5%、次いで「介護職員」61.1%であった。

図表 36 個別機能訓練実施計画書／リハビリテーション実施計画書の作成を行う職種
(複数回答)

	件数	医師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	薬剤師	看護職員	介護職員	管理栄養士・栄養士	介護支援専門員	その他	無回答
通所介護	350	-	49 14.0%	26 7.4%	3 0.9%	-	179 51.1%	110 31.4%	1 0.3%	18 5.1%	94 26.9%	81 23.1%
通所リハビリテーション	471	166 35.2%	396 84.1%	265 56.3%	93 19.7%	1 0.2%	201 42.7%	250 53.1%	51 10.8%	50 10.6%	52 11.0%	10 2.1%

図表 37 家族への説明と同意取得を行う職種 (複数回答)

	件数	医師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	薬剤師	看護職員	介護職員	管理栄養士・栄養士	介護支援専門員	その他	無回答
通所介護	350	-	30 8.6%	13 3.7%	2 0.6%	-	139 39.7%	178 50.9%	-	27 7.7%	125 35.7%	69 19.7%
通所リハビリテーション	471	11 2.3%	304 64.5%	197 41.8%	46 9.8%	-	146 31.0%	288 61.1%	7 1.5%	53 11.3%	63 13.4%	12 2.5%

- ・ 多職種（2職種以上）が一堂に会したカンファレンスの実施状況は、通所介護事業所では44.3%、通所リハビリテーション事業所では92.6%であった。
- ・ カンファレンスの2013年9月の実施状況は通所介護事業所では6.03回、通所リハビリテーション事業所では8.88回であった。
- ・ 対象となる利用者は、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所ともに「定期的な見直しの時期を迎えた利用者」が最も多い。

図表 38 多職種が一堂に会したカンファレンスの実施状況

	件数	実施あり	実施なし	無回答
通所介護	350	155 44.3%	189 54.0%	6 1.7%
通所リハビリテーション	471	436 92.6%	24 5.1%	11 2.3%

図表 39 2013年9月のカンファレンス実施回数

	件数	0回	1～4回	5～9回	10～19回	20回以上	無回答	（単位：回） 平均値	（単位：回） 標準偏差
通所介護	155	5 3.2%	84 54.2%	28 18.1%	20 12.9%	11 7.1%	7 4.5%	6.03	7.06
通所リハビリテーション	436	4 0.9%	231 53.0%	61 14.0%	73 16.7%	48 11.0%	19 4.4%	8.88	12.77

図表 40 一堂に会して実施するカンファレンスの対象となる利用者（複数回答）

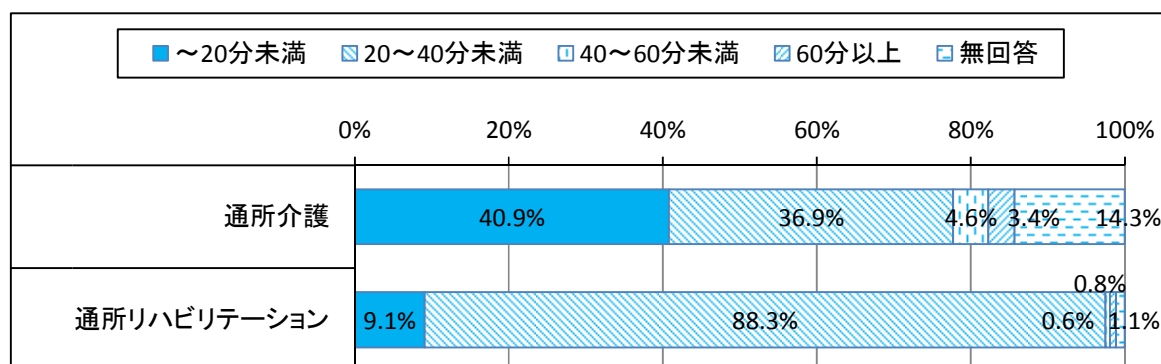
	件数	サの ー利 ビ用 ス者 開始 前	サの ー利 ビ用 ス者 終了 時	定の利 期時用 的期者 なを見 迎直え した	その他	無回答
通所介護	155	98 63.2%	22 14.2%	136 87.7%	21 13.5%	3 1.9%
通所リハビリテーション	436	280 64.2%	91 20.9%	392 89.9%	65 14.9%	7 1.6%

- ・ 通所介護事業所における個別機能訓練の1事業所あたりの平均実施時間は24.94分で、20分未満の事業所が最も多く40.9%であった。
- ・ 通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーションの1事業所あたりの平均実施時間は22.26分で、20分～40分未満の事業所が最も多く、88.3%であった。

図表 41 個別機能訓練／個別リハビリテーションの実施時間

	件数	10分未満	20分未満	30分未満	40分以上	無回答	平均値	標準偏差
通所介護	350	143 40.9%	129 36.9%	16 4.6%	12 3.4%	50 14.3%	24.94	29.34
通所リハビリテーション	471	43 9.1%	416 88.3%	3 0.6%	4 0.8%	5 1.1%	22.26	6.81

図表 42 個別機能訓練／個別リハビリテーションの実施時間



- ・ 調査日当日のアセスメントは、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所ともに、実施割合0%の事業所が最も多かったが、100%実施していた事業所も、通所介護で26.3%、通所リハビリテーションで22.1%みられた。
- ・ 調査日当日のアセスメントの平均実施時間は、通所介護事業所で10.06分、通所リハビリテーション事業所で5.89分であった。
- ・ 調査日当日のアセスメント実施の観点は、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所ともに、「運動機能」が最も多く、次いで、「生活動作の能力と実行状況」であった。また、利用者1名に対するアセスメント実施の観点の平均は、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所ともに、「約2種類」であった。

図表 43 調査日当日のアセスメントの実施割合

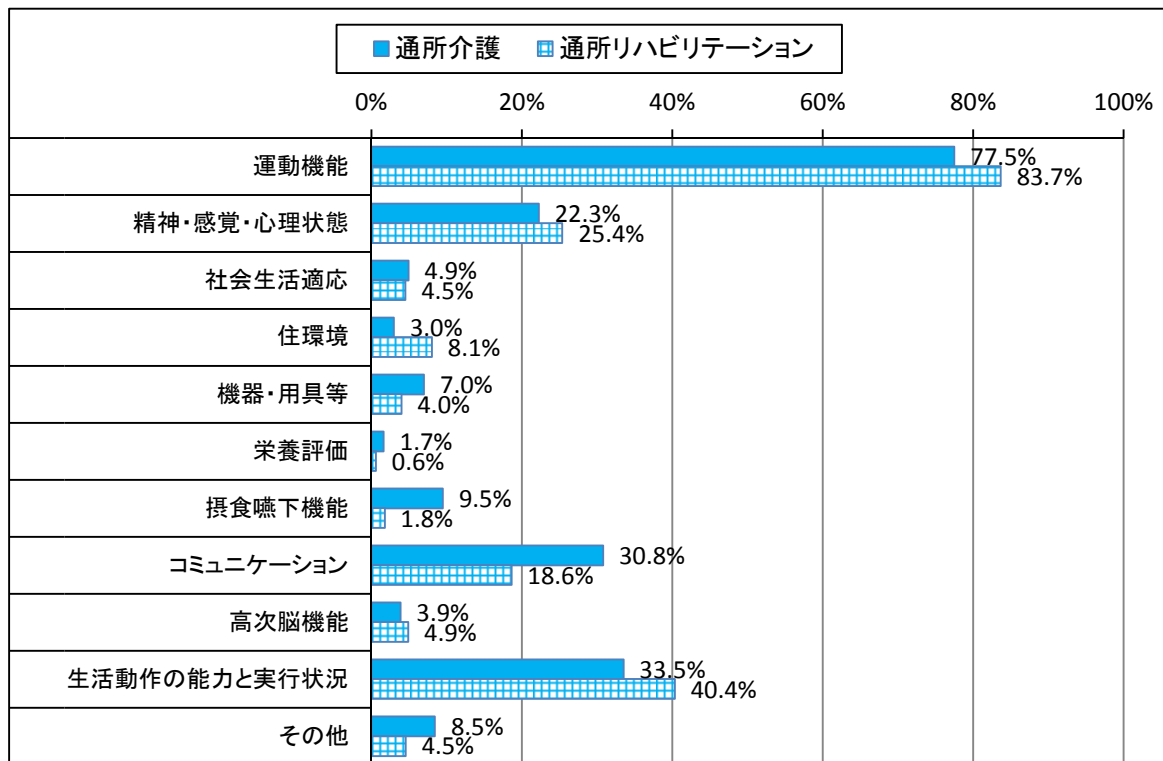
	件数	0%	10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	100%	無回答	平均値	標準偏差
通所介護	350	156 44.6%	12 3.4%	12 3.4%	10 2.9%	3 0.9%	6 1.7%	92 26.3%	59 16.9%	37.19	45.76				
通所リハビリテーション	471	183 38.9%	49 10.4%	38 8.1%	37 7.9%	28 5.9%	18 3.8%	104 22.1%	14 3.0%	37.92	41.37				

図表 44 アセスメントの平均実施時間

	件数	1 2 0 分 未 満	2 満 0 分 未 満	4 満 0 分 未 満	6 0 分 以 上	無 回 答	(単位: 平均:分 値)	(単位: 標準偏 差:分)
通所介護	135	114 84.4%	10 7.4%	1 0.7%	3 2.2%	7 5.2%	10.06	21.86
通所リハビリテーション	274	251 91.6%	16 5.8%	1 0.4%	-	6 2.2%	5.89	5.34

※アセスメントを実施していた事業所の状況

図表 45 アセスメントを実施した観点



図表 46 アセスメントを実施した観点の数

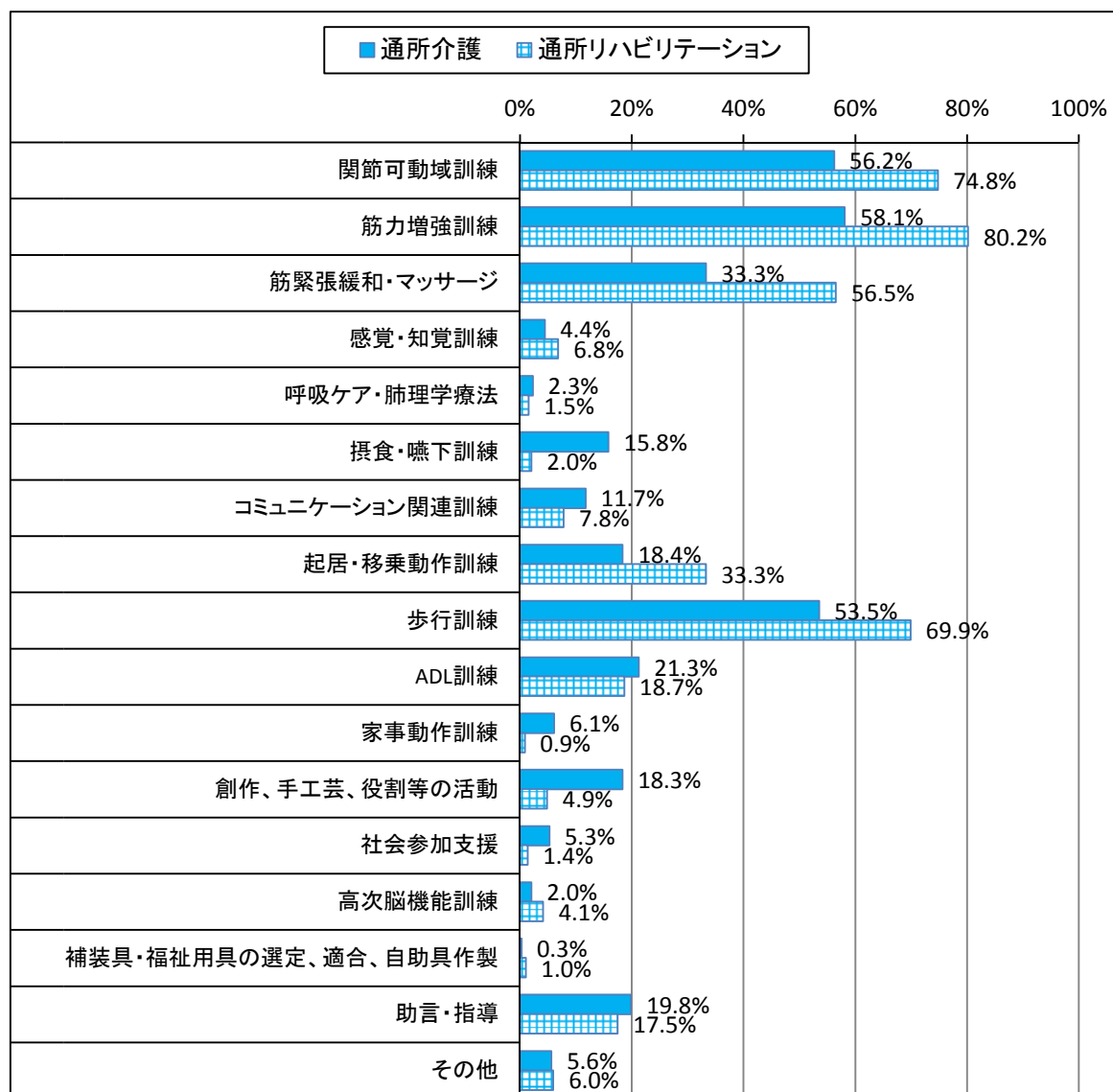
	件数	0 1 未 満	1 2 未 満	2 3 未 満	3 4 未 満	4 5 未 満	5 6 未 満	6 以 上	無 回 答	(単位: 平均: 回答数 値)	(単位: 標準偏 差: 回答数 値)
通所介護	135	2 1.5%	60 44.4%	47 34.8%	15 11.1%	8 5.9%	1 0.7%	-	2 1.5%	2.03	0.94
通所リハビリテーション	274	3 1.1%	146 53.3%	83 30.3%	30 10.9%	7 2.6%	3 1.1%	1 0.4%	1 0.4%	1.96	0.92

- 各々の事業所における、個別機能訓練／個別リハビリテーションを実施した利用者への実施内容について、各項目を実施した割合の分布を算出した。
- 利用者に対する個別機能訓練において、通所介護事業所が実施している内容は、多い順に「筋力増強訓練」、「関節可動域訓練」、「歩行訓練」であった。また、利用者1名に対する実施内容は3.32種類であった。
- 個別リハビリテーション事業所で実施している内容も同様に、多い順に「筋力増強訓練」、「関節可動域訓練」、「歩行訓練」であったが、実施している利用者の割合は通所介護事業所と比較して高くなっている。また、利用者1名に対する実施内容は3.87種類であった。

図表 47 個別機能訓練／個別リハビリテーションで実施した内容

		件数	0 %	1 0 %未満	2 満0 %未満	4 満0 %未満	6 満0 %未満	8 満0 %未満	1 0 0 %	無回答	平均値	標準偏差
通所介護	関節可動域訓練	350	69 19.7%	22 6.3%	20 5.7%	22 6.3%	22 6.3%	22 6.3%	105 30.0%	68 19.4%	56.23	42.4
	筋力増強訓練	350	75 21.4%	10 2.9%	20 5.7%	14 4.0%	30 8.6%	34 9.7%	99 28.3%	68 19.4%	58.11	42.07
	筋緊張緩和・マッサージ	350	139 39.7%	23 6.6%	22 6.3%	13 3.7%	15 4.3%	12 3.4%	58 16.6%	68 19.4%	33.25	41.4
	感覚・知覚訓練	350	248 70.9%	15 4.3%	8 2.3%	2 0.6%	3 0.9%	1 0.3%	5 1.4%	68 19.4%	4.43	16.57
	呼吸ケア・肺理学療法	350	261 74.6%	13 3.7%	2 0.6%	1 0.3%	2 0.6%	-	3 0.9%	68 19.4%	2.28	12.39
	摂食・嚥下訓練	350	204 58.3%	23 6.6%	11 3.1%	6 1.7%	2 0.6%	8 2.3%	28 8.0%	68 19.4%	15.83	33.02
	コミュニケーション関連訓練	350	207 59.1%	25 7.1%	19 5.4%	7 2.0%	3 0.9%	3 0.9%	18 5.1%	68 19.4%	11.72	27.13
	起居・移乗動作訓練	350	162 46.3%	35 10.0%	31 8.9%	17 4.9%	15 4.3%	7 2.0%	15 4.3%	68 19.4%	18.35	29.64
	歩行訓練	350	54 15.4%	22 6.3%	33 9.4%	30 8.6%	46 13.1%	33 9.4%	64 18.3%	68 19.4%	53.54	37.64
	ADL訓練	350	163 46.6%	27 7.7%	26 7.4%	21 6.0%	16 4.6%	5 1.4%	24 6.9%	68 19.4%	21.25	32.92
	家事動作訓練	350	234 66.9%	21 6.0%	10 2.9%	7 2.0%	1 0.3%	4 1.1%	5 1.4%	68 19.4%	6.09	18.9
	創作、手工芸、役割等の活動	350	186 53.1%	12 3.4%	31 8.9%	12 3.4%	12 3.4%	8 2.3%	21 6.0%	68 19.4%	18.31	31.76
	社会参加支援	350	249 71.1%	11 3.1%	7 2.0%	5 1.4%	2 0.6%	1 0.3%	7 2.0%	68 19.4%	5.26	18.68
	高次脳機能訓練	350	264 75.4%	11 3.1%	2 0.6%	1 0.3%	-	1 0.3%	3 0.9%	68 19.4%	2.04	11.81
	補装具・福祉用具の選定、適合、自助具作製	350	275 78.6%	6 1.7%	1 0.3%	-	-	-	-	68 19.4%	0.25	2.03
	助言・指導	350	172 49.1%	34 9.7%	19 5.4%	10 2.9%	10 2.9%	7 2.0%	30 8.6%	68 19.4%	19.83	34.07
	その他	350	253 72.3%	7 2.0%	5 1.4%	3 0.9%	5 1.4%	2 0.6%	7 2.0%	68 19.4%	5.61	20.06
通所リハビリテーション	関節可動域訓練	471	13 2.8%	12 2.5%	33 7.0%	66 14.0%	82 17.4%	78 16.6%	170 36.1%	17 3.6%	74.79	27.62
	筋力増強訓練	471	13 2.8%	7 1.5%	23 4.9%	38 8.1%	64 13.6%	127 27.0%	182 38.6%	17 3.6%	80.19	25.72
	筋緊張緩和・マッサージ	471	52 11.0%	31 6.6%	66 14.0%	83 17.6%	67 14.2%	59 12.5%	96 20.4%	17 3.6%	56.51	34.25
	感覚・知覚訓練	471	315 66.9%	90 19.1%	27 5.7%	12 2.5%	4 0.8%	1 0.2%	5 1.1%	17 3.6%	6.82	15.52
	呼吸ケア・肺理学療法	471	406 86.2%	38 8.1%	9 1.9%	-	-	-	1 0.2%	17 3.6%	1.53	6.5
	摂食・嚥下訓練	471	406 86.2%	36 7.6%	8 1.7%	1 0.2%	-	-	3 0.6%	17 3.6%	2.04	9.35
	コミュニケーション関連訓練	471	298 63.3%	92 19.5%	43 9.1%	12 2.5%	4 0.8%	1 0.2%	4 0.8%	17 3.6%	7.8	15.51
	起居・移乗動作訓練	471	96 20.4%	77 16.3%	114 24.2%	75 15.9%	47 10.0%	22 4.7%	23 4.9%	17 3.6%	33.26	29.24
	歩行訓練	471	17 3.6%	8 1.7%	37 7.9%	74 15.7%	111 23.6%	115 24.4%	92 19.5%	17 3.6%	69.91	26.85
	ADL訓練	471	192 40.8%	111 23.6%	67 14.2%	45 9.6%	20 4.2%	9 1.9%	10 2.1%	17 3.6%	18.65	24.79
	家事動作訓練	471	433 91.9%	14 3.0%	6 1.3%	-	-	-	1 0.2%	17 3.6%	0.87	6.01
	創作、手工芸、役割等の活動	471	370 78.6%	48 10.2%	17 3.6%	12 2.5%	2 0.4%	1 0.2%	4 0.8%	17 3.6%	4.86	14.63
	社会参加支援	471	423 89.8%	19 4.0%	9 1.9%	1 0.2%	-	2 0.4%	-	17 3.6%	1.35	7.29
	高次脳機能訓練	471	349 74.1%	74 15.7%	24 5.1%	4 0.8%	2 0.4%	-	1 0.2%	17 3.6%	4.12	10.45
	補装具・福祉用具の選定、適合、自助具作製	471	419 89.0%	31 6.6%	3 0.6%	1 0.2%	-	-	-	17 3.6%	1.04	4.4
	助言・指導	471	253 53.7%	57 12.1%	67 14.2%	33 7.0%	15 3.2%	9 1.9%	20 4.2%	17 3.6%	17.46	27.5
	その他	471	359 76.2%	42 8.9%	30 6.4%	13 2.8%	3 0.6%	4 0.8%	3 0.6%	17 3.6%	5.95	15.79

図表 48 個別機能訓練／個別リハビリテーションで実施した内容



図表 49 個別機能訓練／個別リハビリテーションで実施した内容の数

	件数	0 1 未満	1 2 未満	2 3 未満	3 4 未満	4 5 未満	5 6 未満	6 7 未満	7 8 未満	8 9 未満	9 10 未満	10 以上	無回答	(単位: 平均: 回答数)	(単位: 標準偏差: 回答数)
通所介護	350	1 0.3%	46 13.1%	83 23.7%	59 16.9%	53 15.1%	18 5.1%	11 3.1%	8 2.3%	2 0.6%	-	1 0.3%	68 19.4%	3.32	1.66
通所リハビリテーション	471	-	14 3.0%	75 15.9%	155 32.9%	144 30.6%	45 9.6%	17 3.6%	3 0.6%	1 0.2%	-	-	17 3.6%	3.87	1.12

2) 職種別

- 通所介護事業所において個別機能訓練を受けた利用者の平均要介護度は、「1. 5以上2未満」が最も多く22.8%、次いで「1以上1. 5未満」が19.8%、「2以上2. 5未満」が18.2%であった。職種別にみると、「PT・OT・ST」及び「看護師・准看護師」による個別機能訓練を受けた利用者では「1. 5以上2未満」が最も多く、「柔道整復師・あんまマッサージ指圧師」による個別機能訓練を受けた利用者では「1以上1. 5未満」が最も多かった。
- 通所リハビリテーション事業所において個別リハビリテーションを受けた利用者の平均要介護度は、「2以上2. 5未満」が最も多く29.6%、次いで「1. 5以上2未満」が25.8%、「2. 5以上3未満」が17.1%であった。職種別にみた場合でも、いずれの職種においても「2以上2. 5未満」が最も多かった。

図表 50 職種別個別機能訓練／個別リハビリテーション利用者の平均要介護度

		件数	0 ・ 5 未満	0 満 ・ 5 以上 1 未	1 満 以 上 1 ・ 5 未	1 満 ・ 5 以 上 2 未	2 満 以 上 2 ・ 5 未	2 満 ・ 5 以 上 3 未	3 満 以 上 3 ・ 5 未	3 満 ・ 5 以 上 4 未	4 満 以 上 4 ・ 5 未	4 ・ 5 以 上	無 回 答
通所介護	合 計	435	1 0.2%	19 4.4%	86 19.8%	99 22.8%	79 18.2%	44 10.1%	24 5.5%	6 1.4%	11 2.5%	4 0.9%	62 14.3%
	PT・OT・ST	64	1 1.6%	2 3.1%	11 17.2%	19 29.7%	15 23.4%	10 15.6%	2 3.1%	1 1.6%	1 1.6%	-	2 3.1%
	看護師・准看護師 准看護師	306	-	11 3.6%	59 19.3%	62 20.3%	53 17.3%	30 9.8%	19 6.2%	5 1.6%	8 2.6%	4 1.3%	55 18.0%
	柔道整復師・ あんまマッサージ 指圧師	51	-	6 11.8%	15 29.4%	14 27.5%	6 11.8%	3 5.9%	2 3.9%	-	1 2.0%	-	4 7.8%
通所リハビリテーション	合 計	831	1 0.1%	19 2.3%	97 11.7%	214 25.8%	246 29.6%	142 17.1%	68 8.2%	15 1.8%	13 1.6%	-	16 1.9%
	理学療法士	464	1 0.2%	12 2.6%	63 13.6%	126 27.2%	134 28.9%	77 16.6%	32 6.9%	5 1.1%	5 1.1%	-	9 1.9%
	作業療法士	287	-	5 1.7%	25 8.7%	76 26.5%	96 33.4%	51 17.8%	25 8.7%	6 2.1%	3 1.0%	-	-
	言語聴覚士	65	-	-	8 12.3%	10 15.4%	12 18.5%	14 21.5%	9 13.8%	4 6.2%	5 7.7%	-	3 4.6%
	その他	10	-	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	-	1 10.0%	-	-	-	3 30.0%

- ・ アセスメント実施について、職種別の実施率（個別リハビリテーションを実施した利用者に占めるアセスメントを実施した利用者の割合）をみると、通所介護事業所では「柔道整復師・あんまマッサージ指圧師」が最も多く 50.9%、通所リハビリテーション事業所では、「作業療法士」が 38.5%であった。
- ・ 合計でみると、通所介護、通所リハビリテーション事業所ともに実施していない割合の方が多い。

図表 51 職種別アセスメント実施の有無

	通所介護			
	件数	あり	なし	無回答
合 計	3350	1163 34.7%	1962 58.6%	225 6.7%
PT・OT・ST	681	201 29.5%	457 67.1%	23 3.4%
看護師・准看護師	2035	640 31.4%	1203 59.1%	192 9.4%
柔道整復師 あんまマッサージ指圧師	505	257 50.9%	240 47.5%	8 1.6%

	通所リハビリテーション			
	件数	あり	なし	無回答
合 計	6170	2257 36.6%	3743 60.7%	170 2.8%
理学療法士	3651	1329 36.4%	2227 61.0%	95 2.6%
作業療法士	2192	844 38.5%	1286 58.7%	62 2.8%
言語聴覚士	260	64 24.6%	183 70.4%	13 5.0%
その他	48	13 27.1%	35 72.9%	—

- ・ 職種別アセスメント実施の観点について、通所介護事業所では、どの職種も「運動機能」が最も多く（84.6%、72.2%、84.8%）、次いで「理学療法士」・「作業療法士」・「言語聴覚士」と「柔道整復師・あんまマッサージ指圧師」は「生活動作の能力と実行状況」が多く（35.8%、46.7%）、「看護師・准看護師」は「コミュニケーション」（37.3%）が多かった。
- ・ 通所リハビリテーション事業所では、「理学療法士」と「作業療法士」は通所介護と同様に「運動機能」が最も多く（89.6%、86.3%）、次いで「生活動作の能力と実行状況」（43.6%、44.4%）が多かったが、「言語聴覚士」は「コミュニケーション」が最も多く（78.1%）、次いで「高次脳機能」（31.3%）であった。

図表 52 職種別アセスメント実施の観点（複数回答）

		件数	運動機能	精神機能・感覚・心	社会生活適応	住環境	機器・用具等	栄養評価	摂食嚥下機能	コミュニケーション	高次脳機能	生活動作の能力と実行状況	その他	無回答
通所介護	合計	1163	910 78.2%	218 18.7%	53 4.6%	23 2.0%	41 3.5%	15 1.3%	76 6.5%	380 32.7%	30 2.6%	426 36.6%	79 6.8%	44 3.8%
	PT・OT・ST	201	170 84.6%	47 23.4%	6 3.0%	12 6.0%	2 1.0%	-	4 2.0%	24 11.9%	8 4.0%	72 35.8%	11 5.5%	-
	看護師・准看護師	640	462 72.2%	135 21.1%	32 5.0%	11 1.7%	36 5.6%	14 2.2%	50 7.8%	239 37.3%	16 2.5%	198 30.9%	51 8.0%	40 6.3%
	柔道整復師・あんまマッサージ指圧師	257	218 84.8%	34 13.2%	14 5.4%	-	3 1.2%	-	19 7.4%	111 43.2%	2 0.8%	120 46.7%	17 6.6%	3 1.2%
通所リハビリテーション	合計	2257	1942 86.0%	639 28.3%	106 4.7%	146 6.5%	61 2.7%	16 0.7%	38 1.7%	475 21.0%	131 5.8%	968 42.9%	100 4.4%	18 0.8%
	理学療法士	1329	1191 89.6%	332 25.0%	66 5.0%	97 7.3%	40 3.0%	13 1.0%	9 0.7%	223 16.8%	53 4.0%	580 43.6%	51 3.8%	12 0.9%
	作業療法士	844	728 86.3%	295 35.0%	38 4.5%	47 5.6%	19 2.3%	2 0.2%	8 0.9%	200 23.7%	58 6.9%	375 44.4%	46 5.5%	6 0.7%
	言語聴覚士	64	3 4.7%	10 15.6%	2 3.1%	-	-	-	19 29.7%	50 78.1%	20 31.3%	1 1.6%	2 3.1%	-
	その他	13	13 100.0%	2 15.4%	-	-	1 7.7%	1 7.7%	2 15.4%	2 15.4%	-	11 84.6%	1 7.7%	-

- ・ 職種別個別機能訓練において実施している内容は、通所介護事業所では、「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士」と「看護師・准看護師」が「筋力増強訓練」(74.9%、58.9%)が最も多く、次いでそれぞれ「関節可動域訓練」(61.5%)、「歩行訓練」(52.7%)が多い。「柔道整復師・あんまマッサージ指圧師」は「筋緊張緩和・マッサージ」(72.7%)、「筋力増強訓練」(72.3%)、「関節可動域訓練」(72.1%)の順であった。
- ・ 通所リハビリテーションで事業所では、「理学療法士」と「作業療法士」が多い順に「筋力増強訓練」(82.5%、81.3%)、「関節可動域訓練」(78.4%、71.8%)であり、「言語聴覚士」は「コミュニケーション関連訓練」(76.9%)が最も多い。

図表 53 職種別個別機能訓練／個別リハビリテーションで実施した内容（複数回答）

		件数	関節可動域訓練	筋力増強訓練	筋緊張緩和・マッサージ	感覚・知覚訓練	呼吸療法・肺理	摂食・嚥下訓練	コミュニケーション関連訓練	起居訓練・移乗動作	歩行訓練
通所介護	合計	3350	1941 57.9%	2171 64.8%	1266 37.8%	118 3.5%	105 3.1%	616 18.4%	336 10.0%	522 15.6%	1740 51.9%
	PT・OT・ST	681	419 61.5%	510 74.9%	318 46.7%	38 5.6%	6 0.9%	19 2.8%	32 4.7%	149 21.9%	358 52.6%
	看護師・准看護師	2035	1055 51.8%	1198 58.9%	527 25.9%	60 2.9%	96 4.7%	523 25.7%	251 12.3%	283 13.9%	1072 52.7%
	柔道整復師・あんまマッサージ指圧師	505	364 72.1%	365 72.3%	367 72.7%	20 4.0%	2 0.4%	25 5.0%	45 8.9%	72 14.3%	232 45.9%
通所リハビリテーション	合計	6170	4473 72.5%	4844 78.5%	3325 53.9%	370 6.0%	73 1.2%	104 1.7%	454 7.4%	1922 31.2%	4209 68.2%
	理学療法士	3651	2863 78.4%	3013 82.5%	2075 56.8%	253 6.9%	45 1.2%	21 0.6%	146 4.0%	1235 33.8%	2656 72.7%
	作業療法士	2192	1573 71.8%	1782 81.3%	1194 54.5%	115 5.2%	20 0.9%	12 0.5%	107 4.9%	666 30.4%	1514 69.1%
	言語聴覚士	260	10 3.8%	18 6.9%	11 4.2%	2 0.8%	7 2.7%	68 26.2%	200 76.9%	4 1.5%	13 5.0%
	その他	48	16 33.3%	20 41.7%	35 72.9%	-	-	2 4.2%	1 2.1%	13 27.1%	18 37.5%

		件数	A D L 訓練	家事動作訓練	創役割作、等身の工夫活動、	社会参加支援	高次脳機能訓練	補具、装具、自助具・定具福祉適製用合	助言・指導	その他	無回答
通所介護	合計	3350	818 24.4%	154 4.6%	588 17.6%	98 2.9%	57 1.7%	12 0.4%	625 18.7%	193 5.8%	170 5.1%
	PT・OT・ST	681	90 13.2%	8 1.2%	60 8.8%	22 3.2%	11 1.6%	6 0.9%	116 17.0%	59 8.7%	29 4.3%
	看護師・准看護師	2035	547 26.9%	132 6.5%	470 23.1%	70 3.4%	35 1.7%	5 0.2%	359 17.6%	122 6.0%	128 6.3%
	柔道整復師・あんまマッサージ指圧師	505	131 25.9%	13 2.6%	18 3.6%	6 1.2%	8 1.6%	1 0.2%	91 18.0%	3 0.6%	11 2.2%
通所リハビリテーション	合計	6170	1153 18.7%	33 0.5%	292 4.7%	78 1.3%	258 4.2%	57 0.9%	1062 17.2%	421 6.8%	220 3.6%
	理学療法士	3651	723 19.8%	21 0.6%	104 2.8%	46 1.3%	89 2.4%	38 1.0%	684 18.7%	236 6.5%	146 4.0%
	作業療法士	2192	428 19.5%	11 0.5%	183 8.3%	30 1.4%	102 4.7%	18 0.8%	346 15.8%	166 7.6%	63 2.9%
	言語聴覚士	260	1 0.4%	-	4 1.5%	1 0.4%	67 25.8%	-	28 10.8%	19 7.3%	5 1.9%
	その他	48	-	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	-	1 2.1%	2 4.2%	-	-

- (5) (参考) 個別機能訓練／個別リハビリテーション利用者票結果一覧 (事業所単位)
- 各々の事業所において、調査対象者が個別機能訓練／個別リハビリテーションを実施した人数は、通所介護事業所では 9.45 人、通所リハビリテーション事業所では 10.82 人であった。

図表 54 個別機能訓練／個別リハビリテーションの実施者数

	件数	1 ～ 4 人	5 ～ 9 人	10 ～ 14 人	15 ～ 19 人	20 人以上	無 回 答	(単位 均：人 値)	(単位 標準偏： 差 人)
通所介護	350	101 28.9%	87 24.9%	57 16.3%	21 6.0%	39 11.1%	45 12.9%	9.45	8.43
通所リハビリテーション	471	57 12.1%	153 32.5%	151 32.1%	63 13.4%	42 8.9%	5 1.1%	10.82	6.3

図表 55 個別機能訓練／個別リハビリテーションを受けた利用者の性別

	件数	0 人	1 ～ 4 人	5 ～ 9 人	10 ～ 14 人	15 ～ 19 人	20 人以上	無 回 答	(単位 均：人 値)	(単位 標準偏： 差 人)
通所介護	男性	58 16.6%	172 49.1%	60 17.1%	11 3.1%	3 0.9%	1 0.3%	45 12.9%	3.05	3.28
	女性	25 7.1%	134 38.3%	83 23.7%	34 9.7%	17 4.9%	12 3.4%	45 12.9%	6.2	6.1
通所リハビリテーション	男性	26 5.5%	241 51.2%	160 34.0%	35 7.4%	2 0.4%	2 0.4%	5 1.1%	4.53	3.44
	女性	12 2.5%	165 35.0%	214 45.4%	58 12.3%	13 2.8%	4 0.8%	5 1.1%	6.13	4.1

- 個別機能訓練／個別リハビリテーション利用者の年代は、80 歳代が最も多くなっている。

図表 56 個別機能訓練／個別リハビリテーションを受けた利用者の年代

		件数	0人	1 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 14人	15 ～ 19人	20人以上	無回答	(単位：人 均：値)	(単位：人 標準：差)
通所介護	59歳以下	350	265 75.7%	40 11.4%	－	－	－	－	45 12.9%	0.17	0.49
	60歳代	350	201 57.4%	102 29.1%	1 0.3%	1 0.3%	－	－	45 12.9%	0.53	1.04
	70歳代	350	94 26.9%	170 48.6%	32 9.1%	9 2.6%	－	－	45 12.9%	2.12	2.53
	80歳代	350	36 10.3%	151 43.1%	74 21.1%	30 8.6%	11 3.1%	3 0.9%	45 12.9%	4.77	4.6
	90歳以上	350	118 33.7%	158 45.1%	27 7.7%	1 0.3%	－	1 0.3%	45 12.9%	1.73	2.34
通所リハビリテーション	59歳以下	471	364 77.3%	102 21.7%	－	－	－	－	5 1.1%	0.27	0.58
	60歳代	471	192 40.8%	260 55.2%	13 2.8%	1 0.2%	－	－	5 1.1%	1.17	1.46
	70歳代	471	63 13.4%	295 62.6%	102 21.7%	5 1.1%	1 0.2%	－	5 1.1%	3.03	2.41
	80歳代	471	24 5.1%	229 48.6%	179 38.0%	24 5.1%	8 1.7%	2 0.4%	5 1.1%	4.71	3.35
	90歳以上	471	164 34.8%	275 58.4%	25 5.3%	2 0.4%	－	－	5 1.1%	1.52	1.75

- ・ 調査対象者が個別機能訓練／個別リハビリテーションを実施した利用者の要介護度は、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所ともに「要介護度1」が最も多く、次いで「要介護度2」、「要介護度3」の順であった。

図表 57 個別機能訓練／個別リハビリテーションを受けた利用者の介護度

	通所介護								通所リハビリテーション							
	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
要支援1	350	300 85.7%	4 1.1%	1 0.3%	-	45 12.9%	0.68	1.35	471	460 97.7%	3 0.6%	-	-	8 1.7%	0.46	0.89
要支援2	350	290 82.9%	13 3.7%	2 0.6%	-	45 12.9%	1.11	1.76	471	438 93.0%	25 5.3%	-	-	8 1.7%	1.17	1.61
要介護1	350	246 70.3%	45 12.9%	13 3.7%	1 0.3%	45 12.9%	2.69	3.14	471	377 80.0%	79 16.8%	7 1.5%	-	8 1.7%	2.82	2.42
要介護2	350	253 72.3%	44 12.6%	8 2.3%	-	45 12.9%	2.23	2.68	471	377 80.0%	82 17.4%	4 0.8%	-	8 1.7%	2.76	2.18
要介護3	350	284 81.1%	19 5.4%	2 0.6%	-	45 12.9%	1.43	1.82	471	424 90.0%	38 8.1%	1 0.2%	-	8 1.7%	1.86	1.76
要介護4	350	301 86.0%	3 0.9%	1 0.3%	-	45 12.9%	0.8	1.25	471	454 96.4%	9 1.9%	-	-	8 1.7%	1.07	1.27
要介護5	350	301 86.0%	4 1.1%	-	-	45 12.9%	0.42	0.98	471	460 97.7%	2 0.4%	1 0.2%	-	8 1.7%	0.54	0.98

図表 58 個別機能訓練／個別リハビリテーションを受けた利用者の平均要介護度

	件数	0・5未満	0・5以上1未満	1以上1・5未満	1・5以上2未満	2以上2・5未満	2・5以上3未満	3以上3・5未満	3・5以上4未満	4以上4・5未満	4・5以上	無回答	(単位：要介護度) 平均値	(単位：要介護度) 標準偏差
通所介護	350	1 0.3%	19 5.4%	77 22.0%	74 21.1%	61 17.4%	37 10.6%	15 4.3%	4 1.1%	10 2.9%	7 2.0%	45 12.9%	1.97	0.88
通所リハビリテーション	471	2 0.4%	13 2.8%	68 14.4%	126 26.8%	150 31.8%	66 14.0%	30 6.4%	3 0.6%	5 1.1%	-	8 1.7%	2.05	0.62

- ・ 各々の事業所において、調査対象者が個別機能訓練／個別リハビリテーションを受けた認知症高齢者の平均日常生活自立度は、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所ともに「自立」が最も多く、次いで「Ⅱ」であった。

図表 59 個別機能訓練／個別リハビリテーションを受けた利用者の認知症高齢者の日常生活自立度

		件数	0人	1 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 14人	15 ～ 19人	20人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
通所介護	自立	350	144 41.1%	108 30.9%	35 10.0%	14 4.0%	1 0.3%	3 0.9%	45 12.9%	2.33	4.16
	I	350	123 35.1%	139 39.7%	37 10.6%	6 1.7%	-	-	45 12.9%	1.86	2.48
	Ⅱ	350	115 32.9%	146 41.7%	36 10.3%	6 1.7%	2 0.6%	-	45 12.9%	2.04	2.8
	Ⅲ	350	167 47.7%	123 35.1%	9 2.6%	6 1.7%	-	-	45 12.9%	1.2	2.06
	Ⅳ	350	237 67.7%	63 18.0%	5 1.4%	-	-	-	45 12.9%	0.38	0.92
	V	350	282 80.6%	22 6.3%	1 0.3%	-	-	-	45 12.9%	0.13	0.57
通所リハビリテーション	自立	471	103 21.9%	229 48.6%	107 22.7%	20 4.2%	6 1.3%	1 0.2%	5 1.1%	3.31	3.46
	I	471	100 21.2%	281 59.7%	74 15.7%	10 2.1%	-	0.2%	5 1.1%	2.6	2.6
	Ⅱ	471	105 22.3%	274 58.2%	76 16.1%	10 2.1%	1 0.2%	-	5 1.1%	2.7	2.6
	Ⅲ	471	221 46.9%	227 48.2%	18 3.8%	-	-	-	5 1.1%	1.09	1.46
	Ⅳ	471	364 77.3%	102 21.7%	-	-	-	-	5 1.1%	0.31	0.66
	V	471	437 92.8%	28 5.9%	1 0.2%	-	-	-	5 1.1%	0.09	0.51

- 各々の事業所において、調査対象者が個別機能訓練／個別リハビリテーションを実施した利用者のADLは、通所介護事業所では、「移動」は「見守り」が最も多く、「食事」、「排泄」は「自立」が最も多く、「入浴」、「整容」は「一部介助」が最も多かった。通所リハビリテーション事業所では、「移動」、「食事」、「排泄」、「整容」は「自立」が最も多く、「入浴」は「一部介助」が最も多かった。

図表 60 個別機能訓練／個別リハビリテーションを受けた利用者のADL

		件数	移動		食事		排泄		入浴		整容	
			人数(単位:平均人)	割合(単位:平均%)	人数(単位:平均人)	割合(単位:平均%)	人数(単位:平均人)	割合(単位:平均%)	人数(単位:平均人)	割合(単位:平均%)	人数(単位:平均人)	割合(単位:平均%)
通所介護	自立	350	2.93	27.5%	6.22	65.6%	5.1	51.7%	1.59	15.9%	2.81	28.8%
	見守り	350	3.12	34.8%	1.77	19.6%	1.43	15.7%	1.87	19.2%	2.06	21.0%
	一部介助	350	2.3	24.5%	0.6	6.7%	1.91	20.0%	4.15	44.1%	3.07	33.5%
	全介助	350	0.86	11.1%	0.27	3.8%	0.64	8.7%	0.98	12.6%	0.81	10.3%
通所リハビリテーション	自立	471	4.44	40.6%	8.45	77.7%	6.46	60.0%	1.95	18.4%	4.25	39.6%
	見守り	471	3.05	28.5%	1.41	12.9%	1.38	12.2%	1.77	15.4%	1.88	17.1%
	一部介助	471	2.22	20.3%	0.57	5.5%	2.15	20.1%	5.65	52.2%	3.69	33.4%
	全介助	471	0.95	8.8%	0.25	2.4%	0.66	6.0%	1.28	12.0%	0.81	7.9%

- 調査対象者が個別機能訓練／個別リハビリテーションを実施した利用者の保有疾患は通所介護事業所では、「その他」が最も多く、次いで「認知症」、「筋骨格系疾患」であった。通所リハビリテーション事業所では、「脳卒中」、「筋骨格系疾患」が多かった。

図表 61 個別機能訓練／個別リハビリテーション利用者の保有疾患

		件数	0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上	無回答	平(単位均：人値)	標(単位偏：差人)
通所介護	脳卒中	350	77 22.0%	156 44.6%	53 15.1%	5 1.4%	1 0.3%	1 0.3%	57 16.3%	2.53	2.95
	筋骨格系疾患	350	118 33.7%	100 28.6%	50 14.3%	15 4.3%	3 0.9%	7 2.0%	57 16.3%	3.15	4.82
	認知症	350	65 18.6%	153 43.7%	53 15.1%	17 4.9%	2 0.6%	3 0.9%	57 16.3%	3.3	3.87
	難病	350	214 61.1%	77 22.0%	2 0.6%	—	—	—	57 16.3%	0.46	0.96
	その他	350	84 24.0%	121 34.6%	58 16.6%	16 4.6%	9 2.6%	5 1.4%	57 16.3%	3.74	5.39
通所リハビリテーション	脳卒中	471	34 7.2%	220 46.7%	151 32.1%	49 10.4%	8 1.7%	3 0.6%	6 1.3%	4.99	4.11
	筋骨格系疾患	471	36 7.6%	210 44.6%	165 35.0%	43 9.1%	9 1.9%	2 0.4%	6 1.3%	4.99	3.77
	認知症	471	152 32.3%	240 51.0%	63 13.4%	9 1.9%	1 0.2%	—	6 1.3%	2.15	2.48
	難病	471	244 51.8%	219 46.5%	2 0.4%	—	—	—	6 1.3%	0.71	0.93
	その他	471	156 33.1%	233 49.5%	57 12.1%	13 2.8%	5 1.1%	1 0.2%	6 1.3%	2.46	3.47

- 調査対象者が個別機能訓練／個別リハビリテーションを実施した際に医師に相談しているかについてみると、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所共に「0%」が最も多かったが、「100%」相談している事業所も共に1.1%あった。

図表 62 個別機能訓練／個別リハビリテーションの医師への相談有無

	件数	0%	1～20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80～100%未満	100%	無回答	平(単位均：%値)	標(単位偏：差%)
通所介護	350	85.4%	0.3%	—	—	—	0.3%	1.1%	12.9%	1.59	12.26
通所リハビリテーション	471	92.1%	4.7%	0.4%	0.6%	—	—	1.1%	1.1%	1.92	11.17

(6) (参考) 事業所票結果一覧

1) 基本情報

図表 63 所在地

	件数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
通所介護	350	10 2.9%	3 0.9%	7 2.0%	8 2.3%	4 1.1%	6 1.7%	5 1.4%	3 0.9%	4 1.1%	13 3.7%	4 1.1%	16 4.6%	20 5.7%	13 3.7%	9 2.6%	3 0.9%
通所リハビリテーション	471	24 5.1%	5 1.1%	4 0.8%	4 0.8%	4 0.8%	4 0.8%	8 1.7%	8 1.7%	6 1.3%	5 1.1%	19 4.0%	16 3.4%	12 2.5%	16 3.4%	11 2.3%	6 1.3%

	件数	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
通所介護	350	4 1.1%	2 0.6%	1 0.3%	8 2.3%	7 2.0%	15 4.3%	14 4.0%	5 1.4%	4 1.1%	5 1.4%	26 7.4%	11 3.1%	6 1.7%	1 0.3%	3 0.9%	4 1.1%
通所リハビリテーション	471	10 2.1%	2 0.4%	4 0.8%	17 3.6%	10 2.1%	10 2.1%	19 4.0%	9 1.9%	5 1.1%	11 2.3%	29 6.2%	13 2.8%	3 0.6%	5 1.1%	5 1.1%	9 1.9%

	件数	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
通所介護	350	7 2.0%	13 3.7%	8 2.3%	3 0.9%	8 2.3%	8 2.3%	3 0.9%	14 4.0%	6 1.7%	5 1.4%	8 2.3%	5 1.4%	7 2.0%	6 1.7%	4 1.1%	1 0.3%
通所リハビリテーション	471	10 2.1%	17 3.6%	7 1.5%	7 1.5%	5 1.1%	11 2.3%	7 1.5%	28 5.9%	3 0.6%	11 2.3%	18 3.8%	9 1.9%	7 1.5%	15 3.2%	3 0.6%	—

図表 64 開設主体

	件数	公立	社会福祉法人	医療法人	社団・財団法人	営利法人	その他	無回答
通所介護	350	—	116 33.1%	33 9.4%	2 0.6%	157 44.9%	38 10.9%	4 1.1%
通所リハビリテーション	471	13 2.8%	47 10.0%	350 74.3%	17 3.6%	—	42 8.9%	2 0.4%

図表 65 開設年

	件数	1984年	1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	無回答
通所介護	350	5 1.4%	7 2.0%	20 5.7%	34 9.7%	86 24.6%	189 54.0%	9 2.6%
通所リハビリテーション	471	14 3.0%	17 3.6%	41 8.7%	109 23.1%	147 31.2%	135 28.7%	8 1.7%

図表 66 併設または隣接している医療機関等（複数可）

	件数	病院	有床診療所	無床診療所	訪問看護（部門）	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	併設していない	無回答
通所介護	350	21 6.0%	7 2.0%	11 3.1%	17 4.9%	9 2.6%	65 18.6%	227 64.9%	14 4.0%
通所リハビリテーション	471	175 37.2%	47 10.0%	129 27.4%	102 21.7%	197 41.8%	22 4.7%	10 2.1%	6 1.3%

図表 67 施設等区分

	件数	小規模型	通常規模型	大規模型（Ⅰ）	大規模型（Ⅱ）	無回答
通所介護	350	143 40.9%	184 52.6%	7 2.0%	13 3.7%	3 0.9%
通所リハビリテーション	471	-	357 75.8%	48 10.2%	42 8.9%	24 5.1%

図表 68 要介護度別利用者数（延べ人数）

	通所介護								通所リハビリテーション							
	件数	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差	件数	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	350	87 24.9%	34 9.7%	63 18.0%	142 40.6%	24 6.9%	26.89	35.36	471	381 80.9%	61 13.0%	16 3.4%	4 0.8%	9 1.9%	28.3	39.08
要支援2	350	50 14.3%	24 6.9%	30 8.6%	222 63.4%	24 6.9%	55.93	59.55	471	207 43.9%	128 27.2%	95 20.2%	32 6.8%	9 1.9%	78.27	82.43
要介護1	350	4 1.1%	8 2.3%	11 3.1%	303 86.6%	24 6.9%	129.5	104.11	471	72 15.3%	110 23.4%	177 37.6%	103 21.9%	9 1.9%	143.66	110.36
要介護2	350	5 1.4%	7 2.0%	18 5.1%	296 84.6%	24 6.9%	112.4	79.75	471	77 16.3%	81 17.2%	186 39.5%	118 25.1%	9 1.9%	153.83	108.83
要介護3	350	17 4.9%	11 3.1%	24 6.9%	274 78.3%	24 6.9%	70.57	51.49	471	148 31.4%	143 30.4%	130 27.6%	41 8.7%	9 1.9%	94.11	79.02
要介護4	350	62 17.7%	16 4.6%	46 13.1%	202 57.7%	24 6.9%	41.02	42.28	471	252 53.5%	139 29.5%	64 13.6%	7 1.5%	9 1.9%	56.9	72.9
要介護5	350	117 33.4%	29 8.3%	57 16.3%	123 35.1%	24 6.9%	21.25	29.12	471	390 82.8%	59 12.5%	10 2.1%	3 0.6%	9 1.9%	25.64	35.09

図表 69 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）

	通所介護								通所リハビリテーション							
	件数	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差	件数	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	350	97 27.7%	44 12.6%	59 16.9%	61 17.4%	89 25.4%	14.15	19.24	471	81 17.2%	66 14.0%	88 18.7%	147 31.2%	89 18.9%	22.19	24.76
I	350	84 24.0%	58 16.6%	69 19.7%	50 14.3%	89 25.4%	13.49	22.48	471	69 14.6%	51 10.8%	110 23.4%	152 32.3%	89 18.9%	19.88	18.33
II	350	68 19.4%	58 16.6%	77 22.0%	58 16.6%	89 25.4%	13.09	14.02	471	67 14.2%	53 11.3%	114 24.2%	148 31.4%	89 18.9%	17.76	13.8
III	350	118 33.7%	77 22.0%	50 14.3%	16 4.6%	89 25.4%	7.55	12.16	471	164 34.8%	112 23.8%	81 17.2%	25 5.3%	89 18.9%	7.51	8.56
IV	350	210 60.0%	39 11.1%	9 2.6%	3 0.9%	89 25.4%	2.64	4.48	471	334 70.9%	37 7.9%	11 2.3%	-	89 18.9%	1.85	2.71
M	350	252 72.0%	6 1.7%	1 0.3%	2 0.6%	89 25.4%	0.97	3.82	471	379 80.5%	3 0.6%	-	-	89 18.9%	0.34	0.95

2) 加算の算定状況

図表 70 加算の算定状況【通所介護】

	件数	算定あり	算定なし	無回答
入浴介助加算	350	310 88.6%	38 10.9%	2 0.6%
若年性認知症利用者受入加算	350	13 3.7%	327 93.4%	10 2.9%
運動器機能向上加算	350	165 47.1%	177 50.6%	8 2.3%
栄養改善加算	350	4 1.1%	336 96.0%	10 2.9%
口腔機能向上加算	350	45 12.9%	295 84.3%	10 2.9%
生活機能向上グループ活動加算	350	22 6.3%	319 91.1%	9 2.6%
事業所評価加算	350	31 8.9%	307 87.7%	12 3.4%

	件数	(Ⅰ)	(Ⅱ)	算定なし	無回答
個別機能訓練加算	350	59 16.9%	82 23.4%	180 51.4%	29 8.3%
選択的サービス複数実施加算	350	16 4.6%	2 0.6%	319 91.1%	13 3.7%

	件数	あり	なし	無回答
同一建物減算	350	49 14.0%	288 82.3%	13 3.7%

	件数	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)	算定なし	無回答
サービス提供体制強化加算	350	112 32.0%	80 22.9%	-	149 42.6%	9 2.6%

図表 71 加算の算定状況【通所リハビリテーション】

	件数	算定あり	算定なし	無回答
理学療法士等体制強化加算	471	81 17.2%	379 80.5%	11 2.3%
入浴介助加算	471	413 87.7%	54 11.5%	4 0.8%
訪問指導等加算	471	177 37.6%	285 60.5%	9 1.9%
リハビリテーションマネジメント加算	471	459 97.5%	11 2.3%	1 0.2%
短期集中リハビリテーション実施加算	471	378 80.3%	84 17.8%	9 1.9%
個別リハビリテーション実施加算	471	453 96.2%	16 3.4%	2 0.4%
認知症短期集中リハビリテーション実施加算	471	25 5.3%	435 92.4%	11 2.3%
若年性認知症利用者受入加算	471	16 3.4%	443 94.1%	12 2.5%

	件数	算定あり	算定なし	無回答
栄養改善加算	471	24 5.1%	436 92.6%	11 2.3%
口腔機能向上加算	471	99 21.0%	364 77.3%	8 1.7%
運動器機能向上加算	471	384 81.5%	84 17.8%	3 0.6%
重度療養管理加算	471	133 28.2%	327 69.4%	11 2.3%
選択的サービス複数実施加算	471	50 10.6%	411 87.3%	10 2.1%
事業所評価加算	471	94 20.0%	366 77.7%	11 2.3%
介護職員処遇改善加算	471	358 76.0%	104 22.1%	9 1.9%

	件数	あり	なし	無回答
同一建物減算	471	13 2.8%	445 94.5%	13 2.8%

	件数	(Ⅰ)	(Ⅱ)	算定なし	無回答
サービス提供体制強化加算	471	273 58.0%	119 25.3%	68 14.4%	11 2.3%

図表 72 1時間～2時間未満の通所リハビリテーションの実施人数―実人数／述べ人数
【通所リハビリテーション】

	件数	0人	1～4人	5～9人	10～19人	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
実人数	471	310 65.8%	74 15.7%	17 3.6%	15 3.2%	24 5.1%	3.63	12.26
述べ人数	471	303 64.3%	27 5.7%	19 4.0%	22 4.7%	63 13.4%	23.18	87.73

3）職員体制

図表 73 常勤／非常勤（実人数）

		通所介護										通所リハビリテーション										
		件数	0人	1人	2人	3人	4～10人未満	10人以上	無回答	平均値（単位：人）	標準偏差（単位：人）	件数	0人	1人	2人	3人	4～10人未満	10人以上	無回答	平均値（単位：人）	標準偏差（単位：人）	
医師	常勤	350	348 99.4%	-	-	-	-	-	2 0.6%	0	0	471	72 15.3%	352 74.7%	31 6.6%	8 1.7%	5 1.1%	-	3 0.6%	0.99	0.7	
	非常勤	350	346 98.9%	1 0.3%	1 0.3%	-	-	-	2 0.6%	0.01	0.12	471	397 84.3%	46 9.8%	17 3.6%	2 0.4%	6 1.3%	-	3 0.6%	0.25	0.73	
看護師	常勤	350	228 65.1%	91 26.0%	18 5.1%	10 2.9%	1 0.3%	-	2 0.6%	0.46	0.75	471	275 58.4%	152 32.3%	28 5.9%	6 1.3%	7 1.5%	-	3 0.6%	0.55	0.84	
	非常勤	350	188 53.7%	102 29.1%	40 11.4%	12 3.4%	6 1.7%	-	2 0.6%	0.7	0.94	471	344 73.0%	88 18.7%	24 5.1%	6 1.3%	6 1.3%	-	3 0.6%	0.39	0.82	
准看護師	常勤	350	210 60.0%	104 29.7%	30 8.6%	3 0.9%	1 0.3%	-	2 0.6%	0.51	0.71	471	309 65.6%	122 25.9%	27 5.7%	5 1.1%	3 1.1%	-	3 0.6%	0.47	0.85	
	非常勤	350	198 56.6%	96 27.4%	38 10.9%	14 4.0%	2 0.6%	-	2 0.6%	0.64	0.87	471	369 78.3%	83 17.6%	9 1.9%	5 1.1%	2 0.4%	-	3 0.6%	0.26	0.59	
PT	常勤	350	317 90.6%	23 6.6%	5 1.4%	1 0.3%	2 0.6%	-	2 0.6%	0.13	0.5	471	104 22.1%	129 27.4%	111 23.6%	59 12.5%	58 12.3%	7 1.5%	3 0.6%	1.93	2.21	
	非常勤	350	320 91.4%	21 6.0%	4 1.1%	-	3 0.9%	-	2 0.6%	0.13	0.58	471	345 73.2%	77 16.3%	26 5.5%	10 2.1%	10 2.1%	-	3 0.6%	0.45	0.99	
OT	常勤	350	334 95.4%	12 3.4%	1 0.3%	1 0.3%	-	-	2 0.6%	0.05	0.26	471	216 45.9%	121 25.7%	74 15.7%	33 7.0%	23 4.9%	1 0.2%	3 0.6%	1.04	1.37	
	非常勤	350	338 96.6%	9 2.6%	1 0.3%	-	-	-	2 0.6%	0.03	0.19	471	386 82.0%	56 11.9%	17 3.6%	6 1.3%	3 0.6%	-	3 0.6%	0.26	0.65	
ST	常勤	350	347 99.1%	-	1 0.3%	-	-	-	2 0.6%	0.01	0.11	471	388 82.4%	64 13.6%	13 2.8%	1 0.2%	2 0.4%	-	3 0.6%	0.22	0.55	
	非常勤	350	347 99.1%	-	1 0.3%	-	-	-	2 0.6%	0.01	0.16	471	435 92.4%	30 6.4%	1 0.2%	1 0.2%	1 0.2%	-	3 0.6%	0.08	0.35	
介護職員	常勤	350	54 15.4%	43 12.3%	64 18.3%	46 13.1%	122 34.9%	19 5.4%	2 0.6%	3.61	3.23	471	29 6.2%	21 4.5%	46 9.8%	45 9.6%	258 54.8%	69 14.6%	3 0.6%	5.71	4.02	
	非常勤	350	89 25.4%	52 14.9%	54 15.4%	28 8.0%	109 31.1%	16 4.6%	2 0.6%	3.06	3.18	471	177 37.6%	64 13.6%	44 9.4%	59 12.5%	43 9.1%	118 25.1%	7 1.5%	3 0.6%	2.22	2.75
歯科衛生士	常勤	350	343 98.0%	5 1.4%	-	-	-	-	2 0.6%	0.01	0.12	471	454 96.4%	12 2.5%	2 0.4%	-	-	-	3 0.6%	0.03	0.2	
	非常勤	350	339 96.9%	8 2.3%	1 0.3%	-	-	-	2 0.6%	0.03	0.18	471	452 96.0%	13 2.8%	2 0.4%	1 0.2%	-	-	3 0.6%	0.04	0.25	
管理栄養士	常勤	350	329 94.0%	19 5.4%	-	-	-	-	2 0.6%	0.05	0.23	471	329 69.9%	127 27.0%	11 2.3%	1 0.2%	-	-	3 0.6%	0.32	0.53	
	非常勤	350	340 97.1%	8 2.3%	-	-	-	-	2 0.6%	0.02	0.15	471	456 96.8%	12 2.5%	-	-	-	-	3 0.6%	0.03	0.16	
柔道整復師	常勤	350	330 94.3%	15 4.3%	2 0.6%	1 0.3%	-	-	2 0.6%	0.06	0.3	471	457 97.0%	11 2.3%	-	-	-	-	3 0.6%	0.02	0.15	
	非常勤	350	333 95.1%	13 3.7%	-	2 0.6%	-	-	2 0.6%	0.05	0.29	471	466 98.9%	2 0.4%	-	-	-	-	3 0.6%	0	0.07	
あんま・マッサージ 指圧師	常勤	350	332 94.9%	14 4.0%	2 0.6%	-	-	-	2 0.6%	0.05	0.25	471	454 96.4%	14 3.0%	-	-	-	-	3 0.6%	0.03	0.17	
	非常勤	350	332 94.9%	12 3.4%	1 0.3%	-	2 0.6%	1 0.3%	2 0.6%	0.18	2.04	471	460 97.7%	6 1.3%	1 0.2%	1 0.2%	-	-	3 0.6%	0.02	0.2	
生活相談員	常勤	350	29 8.3%	156 44.6%	109 31.1%	39 11.1%	15 4.3%	-	2 0.6%	1.61	1.04	471	342 72.6%	94 20.0%	47 10.0%	22 4.7%	8 1.7%	2 0.4%	-	3 0.6%	0.36	0.69
	非常勤	350	275 78.6%	45 12.9%	22 6.3%	4 1.1%	2 0.6%	-	2 0.6%	0.31	0.69	471	459 97.5%	8 1.7%	1 0.2%	-	-	-	3 0.6%	0.02	0.16	
その他	常勤	350	266 76.0%	57 16.3%	14 4.0%	3 0.9%	6 1.7%	2 0.6%	2 0.6%	0.41	1.12	471	402 85.4%	35 7.4%	15 3.2%	8 1.7%	6 1.3%	2 0.4%	3 0.6%	0.35	1.71	
	非常勤	350	263 75.1%	31 8.9%	19 5.4%	11 3.1%	22 6.3%	2 0.6%	2 0.6%	0.71	1.7	471	386 82.0%	61 12.9%	26 5.5%	9 1.9%	14 3.0%	2 0.4%	3 0.6%	0.45	1.46	

図表 74 常勤／非常勤のうち機能訓練指導員として配置されている人数(実人数)【通所介護】

		件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
看護師	常勤	120	40 33.3%	63 52.5%	11 9.2%	6 5.0%	-	-	0.86	0.78
	非常勤	160	52 32.5%	85 53.1%	14 8.8%	6 3.8%	3 1.9%	-	0.78	0.91
准看護師	常勤	138	38 27.5%	82 59.4%	17 12.3%	1 0.7%	-	-	0.86	0.64
	非常勤	150	52 34.7%	80 53.3%	12 8.0%	5 3.3%	1 0.7%	-	0.7	0.79
PT	常勤	31	8 25.8%	17 54.8%	4 12.9%	-	2 6.5%	-	1.1	1.09
	非常勤	28	5 17.9%	19 67.9%	3 10.7%	-	1 3.6%	-	0.95	1.15
OT	常勤	14	-	12 85.7%	1 7.1%	1 7.1%	-	-	1.21	0.56
	非常勤	10	1 10.0%	8 80.0%	1 10.0%	-	-	-	0.82	0.54
ST	常勤	1	-	-	1 100.0%	-	-	-	2	0
	非常勤	1	-	-	-	1 100.0%	-	-	3	0
柔道整復師	常勤	18	4 22.2%	11 61.1%	2 11.1%	1 5.6%	-	-	1	0.75
	非常勤	15	1 6.7%	11 73.3%	1 6.7%	2 13.3%	-	-	1.07	0.91
あんまマッサージ 指圧師	常勤	16	8 50.0%	8 50.0%	-	-	-	-	0.5	0.5
	非常勤	16	11 68.8%	3 18.8%	1 6.3%	-	1 6.3%	-	0.77	1.94
その他	常勤	82	78 95.1%	3 3.7%	1 1.2%	-	-	-	0.06	0.29
	非常勤	85	81 95.3%	3 3.5%	1 1.2%	-	-	-	0.06	0.3

図表 75 常勤換算数合計

	通所介護											通所リハビリテーション										
	件数	0人	0満・1 ～ 1人未満	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差	件数	0人	0満・1 ～ 1人未満	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
医師	350	346 98.9%	2 0.6%	-	-	-	-	-	2 0.6%	0	0.01	471	68 14.4%	207 43.9%	178 37.8%	12 2.5%	2 0.4%	1 0.2%	-	3 0.6%	0.58	0.63
看護師	350	154 44.0%	97 27.7%	72 20.6%	14 4.0%	8 2.3%	3 0.9%	-	2 0.6%	0.59	0.87	471	225 47.8%	81 17.2%	124 26.3%	28 5.9%	6 1.3%	0.6%	0.2%	0.6%	0.6	0.94
准看護師	350	152 43.4%	65 18.6%	102 29.1%	25 7.1%	2 0.6%	2 0.6%	-	2 0.6%	0.65	0.76	471	255 54.1%	81 17.2%	104 22.1%	24 5.1%	1 0.2%	0.2%	0.4%	0.6%	0.54	1.4
PT	350	303 86.6%	23 6.6%	16 4.6%	4 1.1%	1 0.3%	0.3%	-	2 0.6%	0.12	0.43	471	77 16.3%	136 28.9%	133 28.2%	78 16.6%	26 5.5%	3.8%	-	3 0.6%	1.21	1.15
OT	350	325 92.9%	11 3.1%	10 2.9%	2 0.6%	-	-	-	2 0.6%	0.05	0.25	471	193 41.0%	136 28.9%	97 20.6%	28 5.9%	9 1.9%	4 0.8%	0.2%	0.6%	0.67	1.43
ST	350	346 98.9%	2 0.6%	-	-	-	-	-	2 0.6%	0	0.05	471	369 78.3%	91 19.3%	8 1.7%	-	-	-	-	3 0.6%	0.08	0.21
介護職員	350	72 20.6%	7 2.0%	33 9.4%	35 10.0%	36 10.3%	135 38.6%	30 8.6%	2 0.6%	4.27	3.87	471	43 9.1%	12 2.5%	21 4.5%	30 6.4%	38 8.1%	240 51.0%	84 17.8%	3 0.6%	6.39	5.02
歯科衛生士	350	335 95.7%	7 2.0%	6 1.7%	-	-	-	-	2 0.6%	0.03	0.15	471	441 93.6%	23 4.9%	4 0.8%	-	-	-	-	3 0.6%	0.02	0.12
管理栄養士	350	322 92.0%	17 4.9%	9 2.6%	-	-	-	-	2 0.6%	0.04	0.18	471	327 69.4%	85 18.0%	51 10.8%	4 0.8%	1 0.2%	-	-	3 0.6%	0.18	0.39
柔道整復師	350	322 92.0%	11 3.1%	13 3.7%	2 0.6%	-	-	-	2 0.6%	0.06	0.27	471	456 96.8%	7 1.5%	5 1.1%	-	-	-	-	3 0.6%	0.01	0.11
あんまマッサージ指圧師	350	329 94.0%	6 1.7%	12 3.4%	1 0.3%	-	-	-	2 0.6%	0.05	0.22	471	451 95.8%	10 2.1%	7 1.5%	-	-	-	-	3 0.6%	0.02	0.14
生活相談員	350	79 22.6%	12 3.4%	197 56.3%	44 12.6%	10 2.9%	6 1.7%	-	2 0.6%	1.12	0.95	471	349 74.1%	41 8.7%	65 13.8%	12 2.5%	0.2%	-	-	3 0.6%	0.24	0.49
その他	350	235 67.1%	36 10.3%	50 14.3%	10 2.9%	13 3.7%	3 0.9%	1 0.3%	2 0.6%	0.5	1.07	471	349 74.1%	42 8.9%	44 9.3%	21 4.5%	5 1.1%	6 1.3%	0.2%	0.6%	0.42	1.5

図表 76 常勤換算数合計うち機能訓練指導員として配置されている人数

	件数	0人	0満・1人未満	1人未満	2人未満	3人未満	4人未満	10人以上	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
看護師	194	51 26.3%	95 49.0%	40 20.6%	6 3.1%	-	2 1.0%	-	0.53	0.77
准看護師	196	41 20.9%	98 50.0%	49 25.0%	7 3.6%	-	1 0.5%	-	0.58	0.68
PT	45	5 11.1%	19 42.2%	13 28.9%	5 11.1%	1 2.2%	2 4.4%	-	0.99	1.04
OT	23	2 8.7%	10 43.5%	9 39.1%	2 8.7%	-	-	-	0.71	0.66
ST	2	-	2 100.0%	-	-	-	-	-	0.5	0.4
柔道整復師	26	4 15.4%	11 42.3%	9 34.6%	2 7.7%	-	-	-	0.66	0.62
あんまマッサージ指圧師	19	6 31.6%	3 15.8%	10 52.6%	-	-	-	-	0.65	0.45
その他	113	109 96.5%	3 2.7%	1 0.9%	-	-	-	-	0.02	0.1

図表 77 連絡が取りやすい医師・医療機関の有無

	件数	ある	ない	無回答
通所介護	350	228 65.1%	94 26.9%	28 8.0%
通所リハビリテーション	471	428 90.9%	10 2.1%	33 7.0%

4) 利用者の状況

図表 78 利用者の医療的ケアの状況（実人数）

	通所介護									通所リハビリテーション								
	件数	0人	5人未満	5<10人未満	10<20人未満	20人以上	無回答	（単位均：人）	（標準偏差：人）	件数	0人	5人未満	5<10人未満	10<20人未満	20人以上	無回答	（単位均：人）	（標準偏差：人）
インスリン注射	350	231 66.0%	97 27.7%	1 0.3%	-	-	21 6.0%	0.48	0.91	471	252 53.5%	194 41.2%	5 1.1%	2 0.4%	1 0.2%	17 3.6%	0.87	1.68
中心静脈栄養の管理	350	323 92.3%	6 1.7%	-	-	-	21 6.0%	0.02	0.19	471	452 96.0%	2 0.4%	-	-	-	17 3.6%	0	0.07
注射・点滴の管理(1及び2以外)	350	325 92.9%	4 1.1%	-	-	-	21 6.0%	0.02	0.17	471	430 91.3%	16 3.4%	5 1.1%	3 0.6%	-	17 3.6%	0.24	1.47
透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	350	294 84.0%	33 9.4%	2 0.6%	-	-	21 6.0%	0.2	0.73	471	381 80.9%	65 13.8%	7 1.5%	1 0.2%	-	17 3.6%	0.34	1.08
ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	350	237 67.7%	91 26.0%	-	-	0.3%	21 6.0%	0.46	1.87	471	325 69.0%	129 27.4%	-	-	-	17 3.6%	0.39	0.71
酸素療法	350	255 72.9%	74 21.1%	-	-	-	21 6.0%	0.36	0.77	471	298 63.3%	152 32.3%	4 0.8%	-	-	17 3.6%	0.53	0.96
レスピレーター(人工呼吸器)の管理	350	328 93.8%	1 0.3%	-	-	-	21 6.0%	0	0.06	471	451 95.8%	3 0.6%	-	-	-	17 3.6%	0.01	0.08
気管切開のケア	350	311 88.9%	17 4.9%	1 0.3%	-	-	21 6.0%	0.09	0.47	471	420 89.2%	34 7.2%	-	-	-	17 3.6%	0.09	0.32
疼痛の看護	350	285 81.4%	27 7.7%	9 2.6%	6 1.7%	2 0.6%	21 6.0%	0.75	3.63	471	393 83.4%	40 8.5%	9 1.9%	6 1.3%	6 1.3%	17 3.6%	1.01	5.87
経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	350	256 73.1%	65 18.6%	7 2.0%	1 0.3%	-	21 6.0%	0.47	1.21	471	321 68.2%	121 25.7%	11 2.3%	-	0.2%	17 3.6%	0.64	1.77
モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	350	284 81.1%	23 6.6%	1 0.3%	3 0.9%	18 5.1%	21 6.0%	3.67	16.33	471	382 81.1%	43 9.1%	8 1.7%	-	21 4.5%	17 3.6%	4.37	23.48
じょくそうの処置	350	223 63.7%	101 28.9%	5 1.4%	-	-	21 6.0%	0.53	1	471	289 61.4%	154 32.7%	9 1.9%	2 0.4%	-	17 3.6%	0.68	1.38
テーテル、留置カテーテル等)	350	234 66.9%	94 26.9%	1 0.3%	-	-	21 6.0%	0.47	0.88	471	298 63.3%	143 30.4%	10 2.1%	3 0.6%	-	17 3.6%	0.74	1.49
喀痰吸引	350	292 83.4%	32 9.1%	3 0.9%	2 0.6%	-	21 6.0%	0.29	1.34	471	374 79.4%	78 16.6%	1 0.2%	-	1 0.2%	17 3.6%	0.32	1.42
ネブライザー	350	322 92.0%	7 2.0%	-	-	-	21 6.0%	0.02	0.14	471	445 94.5%	9 1.9%	-	-	-	17 3.6%	0.03	0.21
創傷処置	350	212 60.6%	92 26.3%	12 3.4%	9 2.6%	4 1.1%	21 6.0%	1.55	4.69	471	269 57.1%	148 31.4%	26 5.5%	6 1.3%	5 1.1%	17 3.6%	1.42	3.97
服薬管理	350	73 20.9%	23 6.6%	36 10.3%	74 21.1%	123 35.1%	21 6.0%	20.12	23.48	471	106 22.5%	30 6.4%	42 8.9%	60 12.7%	216 45.9%	17 3.6%	25.03	30.72
導尿	350	306 87.4%	23 6.6%	-	-	-	21 6.0%	0.08	0.29	471	396 84.1%	56 11.9%	1 0.2%	1 0.2%	-	17 3.6%	0.2	0.9
浣腸	350	283 80.9%	44 12.6%	2 0.6%	-	-	21 6.0%	0.26	0.77	471	385 81.7%	65 13.8%	3 0.6%	1 0.2%	-	17 3.6%	0.27	0.88
排便	350	274 78.3%	47 13.4%	8 2.3%	-	-	21 6.0%	0.36	1.03	471	352 74.7%	96 20.4%	4 0.8%	2 0.4%	-	17 3.6%	0.41	1.13
簡易血糖測定	350	274 78.3%	53 15.1%	2 0.6%	-	-	21 6.0%	0.29	0.84	471	310 65.8%	132 28.0%	10 2.1%	2 0.4%	-	17 3.6%	0.67	1.51
看取り期のケア	350	320 91.4%	9 2.6%	-	-	-	21 6.0%	0.03	0.22	471	449 95.3%	5 1.1%	-	-	-	17 3.6%	0.02	0.17
その他	350	307 87.7%	12 3.4%	1 0.3%	4 1.1%	5 1.4%	21 6.0%	1	7.2	471	419 89.0%	23 4.9%	4 0.8%	3 0.6%	5 1.1%	17 3.6%	0.88	7.09

図表 79 利用者の保有疾患（実人数）

	通所介護									通所リハビリテーション								
	件数	0人	5人未満	5<10人未満	10<20人未満	20人以上	無回答	（単位均：人）	（標準偏差：人）	件数	0人	5人未満	5<10人未満	10<20人未満	20人以上	無回答	（単位均：人）	（標準偏差：人）
1. 脳卒中	350	55 15.7%	47 13.4%	68 19.4%	81 23.1%	56 16.0%	43 12.3%	12.27	18.02	471	24 5.1%	30 6.4%	45 9.6%	96 20.4%	234 49.7%	42 8.9%	30.34	52.53
2. 筋骨格系疾患	350	109 31.1%	32 9.1%	33 9.4%	56 16.0%	77 22.0%	43 12.3%	13.23	19.93	471	50 10.6%	38 8.1%	50 10.6%	85 18.0%	206 43.7%	42 8.9%	24.48	25.02
3. 認知症	350	11 3.1%	36 10.3%	53 15.1%	85 24.3%	122 34.9%	43 12.3%	21.39	22.09	471	33 7.0%	80 17.0%	77 16.3%	102 21.7%	137 29.1%	42 8.9%	17.29	22.01
4. 難病(特定疾患治療研究事業対象疾患)	350	144 41.1%	120 34.3%	34 9.7%	7 2.0%	2 0.6%	43 12.3%	1.94	3.26	471	106 22.5%	194 41.2%	84 17.8%	41 8.7%	4 0.8%	42 8.9%	3.76	4.99
5. その他	350	170 48.6%	30 8.6%	26 7.4%	26 7.4%	55 15.7%	43 12.3%	9.77	19.23	471	170 36.1%	61 13.0%	59 12.5%	59 12.5%	80 17.0%	42 8.9%	13.18	27.08

図表 80 タイムスタディ実施日

	件数	1月10日	1月11日	1月12日	1月13日	1月14日	1月15日	無回答
通所介護	350	8 2.3%	57 16.3%	45 12.9%	59 16.9%	54 15.4%	49 14.0%	37 10.6%
通所リハビリテーション	471	—	97 20.6%	101 21.4%	68 14.4%	74 15.7%	63 13.4%	38 8.1%

図表 81 タイムスタディ実施日の機能訓練指導員の勤務状況（実人数）

	通所介護										通所リハビリテーション									
	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
看護師・准看護師	350	62 17.7%	195 55.7%	51 14.6%	8 2.3%	2 0.6%	-	32 9.1%	1.04	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理学療法士	350	274 78.3%	37 10.6%	4 1.1%	2 0.6%	1 0.3%	-	32 9.1%	0.17	0.49	471	59 12.5%	159 33.8%	118 25.1%	56 11.9%	40 8.5%	2 0.4%	37 7.9%	1.79	1.74
作業療法士	350	302 86.3%	15 4.3%	-	1 0.3%	-	-	32 9.1%	0.06	0.27	471	186 39.5%	140 29.7%	73 15.5%	19 4.0%	15 3.2%	1 0.2%	37 7.9%	0.97	1.21
言語聴覚士	350	317 90.6%	1 0.3%	-	-	-	-	32 9.1%	0	0.06	471	362 76.9%	63 13.4%	9 1.9%	-	-	-	37 7.9%	0.19	0.44
柔道整復師	350	294 84.0%	20 5.7%	2 0.6%	2 0.6%	-	-	32 9.1%	0.09	0.37	471	431 91.5%	3 0.6%	-	-	-	-	37 7.9%	0.01	0.08
あんまマッサージ指圧師	350	296 84.6%	21 6.0%	-	1 0.3%	-	-	32 9.1%	0.08	0.3	471	422 89.6%	11 2.3%	1 0.2%	-	-	-	37 7.9%	0.03	0.18
その他	350	298 85.1%	6 1.7%	1 0.3%	4 1.1%	9 2.6%	-	32 9.1%	0.2	0.91	471	396 84.1%	20 4.2%	4 0.8%	2 0.4%	12 2.5%	-	37 7.9%	0.21	0.88

（７）（参考）介護サービス施設・事業所調査との比較

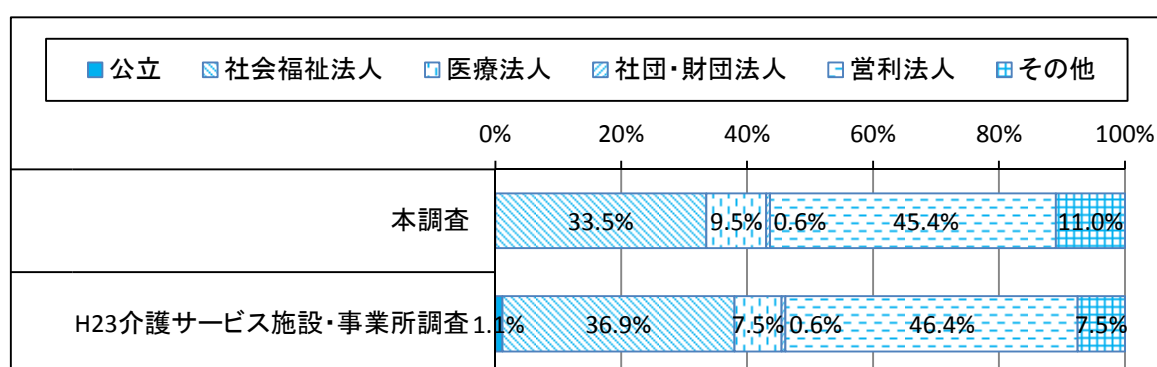
「平成 23 年度介護サービス施設・事業所調査」の結果を比較対象とし、①開設主体別事業所数割合、②要介護度別利用者数割合等について算出して本調査結果と比較した。

なお、以下においては既存調査との比較のため、本調査の結果については無回答を除いて割合を算出した。

１）通所介護

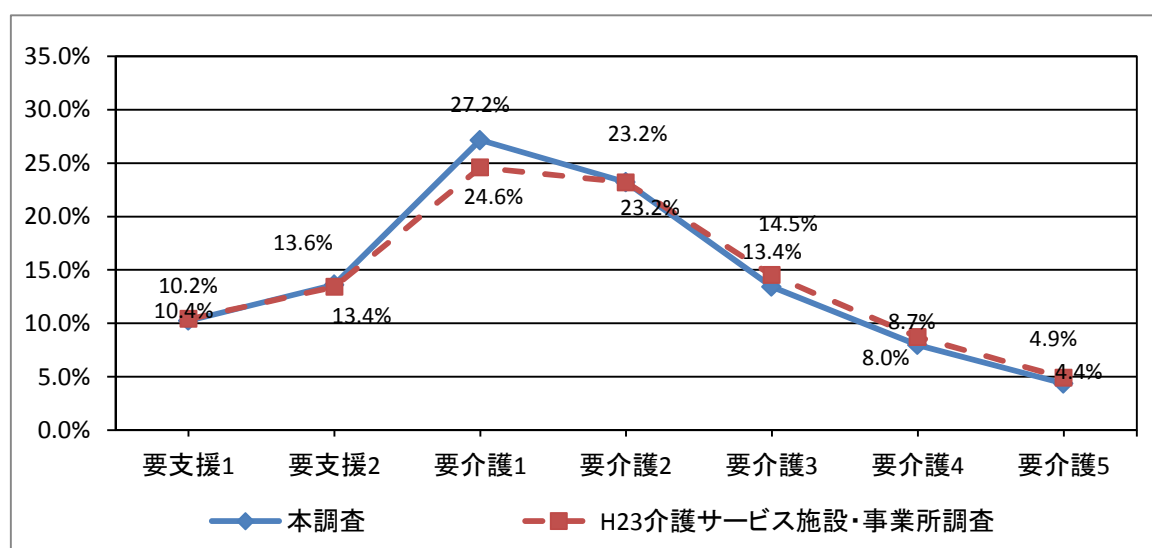
- 開設主体別施設数割合について平成 23 年度介護サービス施設・事業所調査の結果と比較すると、本調査では「社会福祉法人」の割合が 3.4 ポイント低く、医療法人の割合が 2 ポイント高かった。

図表 82 開設主体別施設数割合【通所介護】



- 要介護度別利用者数割合について平成 23 年度介護サービス施設・事業所調査の結果と比較すると、「要介護度 1」の割合が本調査で 3 ポイント程度高いが、概ね同様の分布であった。

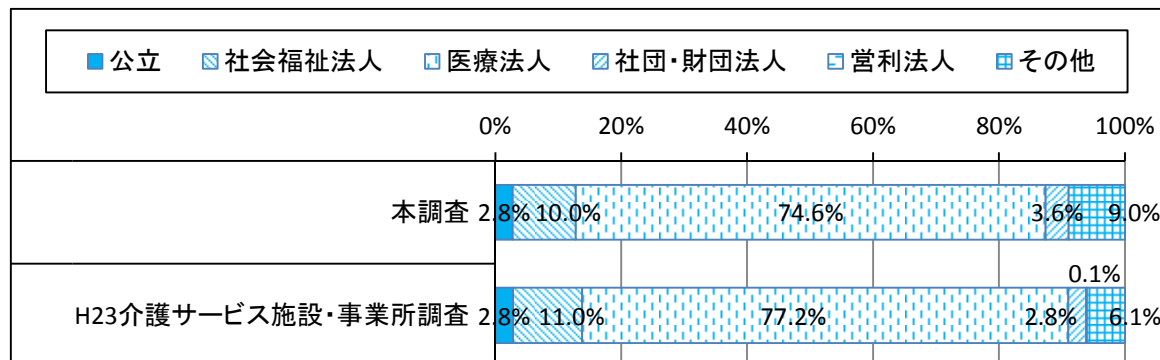
図表 83 要介護度別利用者数割合【通所介護】



2) 通所リハビリテーション

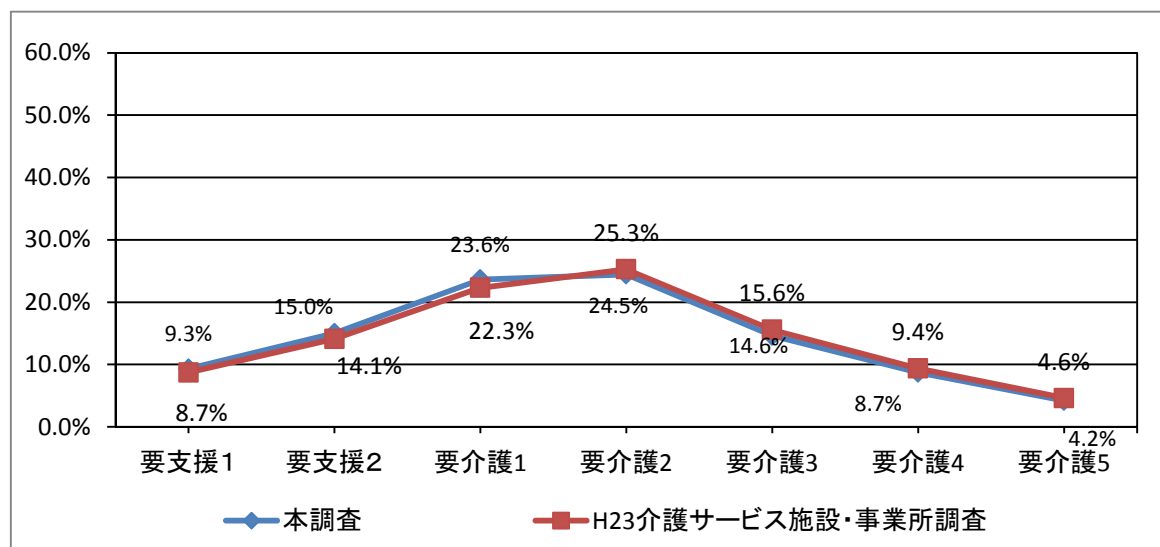
- 開設主体別施設数割合について平成 23 年度介護サービス施設・事業所調査の結果と比較すると、本調査では「医療法人」の割合が 2.6 ポイント低い、概ね同様の構成であった。

図表 84 開設主体別施設数割合【通所リハビリテーション】



- 要介護度別利用者数割合について平成 23 年度介護サービス施設・事業所調査の結果と比較すると、概ね同様の分布であった。

図表 85 要介護度別利用者数割合【通所リハビリテーション】



7. まとめ

- 通所介護事業所の機能訓練指導員が個別機能訓練に従事している割合は、業務時間の2割程度、通所リハビリテーション事業所のリハビリテーション専門職が個別リハビリテーションに従事している割合は業務時間の4割程度である。
- 個別機能訓練の実施時間は、20分未満の事業所が4割強であり、個別リハビリテーションの実施時間は20分～40分未満の事業所が9割弱である。
- 多職種(2職種以上)が一堂に会したカンファレンスの実施状況は通所介護では4割強、通所リハビリテーションでは9割強である。
- 調査当日に、機能訓練指導員あるいはリハビリテーション専門職が「介護職員への指導」業務を行った事業所は、通所介護では2割弱、通所リハビリテーションでは1割強である。

○業務の状況

- ・ 通所介護 350 事業所の機能訓練指導員 435 名、通所リハビリテーション 471 事業所のリハビリテーション専門職 831 名を対象として調査を行った。調査対象者の属性は、通所介護では、看護師が最も多く 36.1%、次いで准看護師 34.3%であり、通所リハビリテーションでは理学療法士が最も多く 55.8%、次いで作業療法士が 34.5%であった。
- ・ 一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は通所介護では 477 分、通所リハビリテーションでは 503 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（事業所ベースの平均値）をみると、通所介護では「個別機能訓練（21.4%）」「その他のケア（13.7%）」「健康管理（12.8%）」、通所リハビリテーションでは「個別リハビリテーション（38.3%）」「併設サービスにおける勤務（19.5%）」「管理業務 記録の作成（8.1%）」に多くの時間を費やしていた。
- ・ 職種別にみると、通所介護では看護師・准看護師は「個別機能訓練（15.7%）」に費やす時間が短く、「その他のケア（17.7%）」「健康管理（14.6%）」に費やす時間が長い。
- ・ 個別機能訓練あるいは個別リハビリテーションの実施内容をみると、通所介護では多い順に「筋力増強訓練（58.1%）」「関節可動域訓練（56.2%）」「歩行訓練（53.5%）」であり、利用者1名に対する実施内容は3.3種類であった。同様に通所リハビリテーションでは多い順に「筋力増強訓練（80.2%）」「関節可動域訓練（74.8%）」「歩行訓練（69.9%）」であり、利用者1名に対する実施内容は3.9種類であった。
- ・ 職種別にみると、通所介護では、柔道整復師・あんまマッサージ指圧師では、他職種と比較して「筋緊張緩和・マッサージ（72.7%）」に費やす時間が最も多かった。

○仮説の検証

- ・ 調査当日のアセスメントの実施は、通所介護、通所リハビリテーション事業所共に実施割合 0%の事業所が 4 割程度と最も多かったが、100%実施していた事業所も通所介護で 2 割強、通所リハビリテーションで 3 割弱あった。
- ・ 個別機能訓練の平均実施時間は 24.9 分（事業所ベース）で、20 分未満の事業所が最も多く 40.9%であった。個別リハビリテーションの平均実施時間は 22.3 分で、20 分～40 分未満の事業所が最も多く 88.3%であった。
- ・ 多職種（2 職種以上）が一堂に会したカンファレンスの実施状況は通所介護では 4 割強、通所リハビリテーションでは 9 割強であった。また、調査当日に、機能訓練指導員あるいは

はリハビリテーション専門職が「介護職員への指導」業務を実施していた事業所は、通所介護では2割弱、通所リハビリテーション事業所では1割強であった。

- ・ 個別機能訓練実施計画書／リハビリテーション実施計画書の作成を行う職種（複数回答）は、通所介護では看護職員（51.1%）、介護職員（31.4%）の順であり、通所リハビリテーションでは理学療法士（84.1%）、介護職員（53.1%）の順であった。通所リハビリテーションでは多職種による検討がされている可能性がある。
- ・ また、個別機能訓練実施計画書／リハビリテーション実施計画書の家族への説明と同意を行う職種（複数回答）は、通所介護では介護職員（50.9%）、看護職員（39.7%）の順であり、通所リハビリテーション事業所では理学療法士（64.5%）、介護職員（61.1%）、作業療法士（41.8%）、看護職員（31.0%）の順であった。通所リハビリテーションでは多職種による連携が行われている可能性がある。

V 看護職員タイムスタディ調査

1. 調査の概要

介護サービス事業所における看護職員の業務量・業務内容を改めて確認するとともに、当該業務を看護職員が実施することの妥当性を検討することを目的とし、介護サービス事業所に配置されている看護職員を対象としたタイムスタディ調査を実施した。

2. 調査対象事業所

看護職員を配置している介護サービス事業所（9 サービス）に対し実施した一次調査¹において、タイムスタディ調査に協力可能と回答した事業所を対象とした。

サービス種別の調査実施人日数は以下の通り。

図表 86 サービス種別の調査実施人日数

サービス種別	調査実施 人日（※）数	参考：当初予定 調査人日数
介護老人福祉施設	85	50
特定施設入居者生活介護	63	50
通所介護	82	75
認知症対応型通所介護	48	50
訪問入浴介護	51	50
小規模多機能型居宅介護	92	75
短期入所生活介護（単独型）	38	50
認知症対応型共同生活介護	22	50
複合型サービス	40	50
合計	521	500

※（人日）＝（人数）×（日数）

3. 調査実施期間

平成 25 年 11 月～平成 26 年 1 月

¹ タイムスタディ調査への協力の可否を問うことを目的とし、一都三県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）に所在する事業所から一部抽出して郵送式のアンケート調査を実施した（平成 25 年 10 月に実施）。調査対象数及び回収率は「3. 調査結果」参照。

4. 調査の方法

本調査では、他記式（訪問入浴介護以外のサービス種）または自記式（訪問入浴介護）のタイムスタディ調査を実施した。また、タイムスタディ調査と合わせ、アンケート調査（事業所票）を実施した。調査票の構成と記入者の対応は次の通り。

図表 87 調査票の構成と記入者

調査票名	部数	記入者
事業所票	1 部	調査対象事業所の看護職員または介護職員、事務職員
タイムスタディ票	日数分 (1 日 1 部)	調査員 ※ ただし、「訪問入浴介護」では、調査対象事業所の看護職員（看護師・准看護師）
ヒアリングシート	日数分 (1 日 1 部)	調査員 ※ ただし、2 ページ目については事前にヒアリング票を配布

5. 調査項目

(1) タイムスタディ調査

日勤帯勤務の看護職員（看護師・准看護師、原則として管理職を除く）を対象とし、タイムスタディ当日の業務内容について時間単位（5 分単位）で記録した。記録にあたっては、あらかじめ業務内容の項目をリスト化し、それらの項目ごとに実施時間の記録をとった。また、看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）以外の項目²については、実施時間の記録とともに、看護職員が実施する必要性という観点から以下の 1～3 に区分した。

図表 88 業務内容の区分

区分 1：本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている (利用者の状態にかかわらず)
区分 2：看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った
区分 3：看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った

また、タイムスタディ当日の業務内容と各業務を看護職員が行った具体的理由等について確認するため、タイムスタディ調査対象である看護職員に対し、業務終了後にヒアリングを行った。

図表 89 にサービス種別の業務内容の項目一覧を示す。タイムスタディに用いた調査票は資料編を参照のこと。

² あらかじめ各項目を「看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）か否か」で分類し、前者の業務については実施時間のみを記録した。

図表 89 業務内容項目一覧（サービス種別）

			介護老人福祉施設	特定施設入居者生活介護	通所介護事業所	認知症対応型通所介護	訪問入浴介護	小規模多機能居宅介護	短期入所生活介護	認知症対応型共同生活介護	複合型サービス
1	準備	介護職員からの申し送り、ミーティング	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	移動	移動					●				
3		乗車、降車の介助★			●	●		●			
4	送迎	乗車中の見守り★			●	●		●			
5		その他()★			●	●		●			
6		バイタル確認	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	健康管理	日常会話、声掛け★			●	●	●				
8		その他()★	●	●				●		●	●
9		医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案	●	●					●	●	●
10		診察の準備、介助、後片付け	●	●					●	●	●
11		吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導	●	●					●	●	●
12		胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導	●	●					●	●	●
13		静脈内注射の準備、実施、後片付け	●	●					●	●	●
14		点滴の調整、確認、抜去	●	●					●	●	●
15		褥瘡予防のケア	●	●					●	●	●
16		褥瘡処置の準備、実施、後片付け	●	●					●	●	●
17		留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け	●	●					●	●	●
18		外部医療機関への受診同行	●	●					●	●	●
19		その他()	●	●					●	●	●
20		診療の補助(医療処置、準備、片付け等含む)			●			●			
21	移動の介助	居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★	●	●				●	●	●	●
22		日常会話、声掛け★	●	●				●	●	●	●
23	居室、リビング等	居室の見回り、リビング等での見守り★	●	●				●	●	●	●
24		その他()★	●	●				●	●	●	●
25		配膳の準備★	●	●	●	●		●	●	●	●
26		食事、おやつ、水分摂取の介助★	●	●	●	●		●	●	●	●
27		食事、おやつ、水分摂取の見守り★	●	●	●	●		●	●	●	●
28	食事	咀嚼、嚥下機能の観察★	●	●	●	●		●	●	●	●
29		食事摂取量・水分摂取量の観察★	●	●	●	●		●	●	●	●
30		下膳★	●	●	●	●		●	●	●	●
31		その他()★	●	●	●	●		●	●	●	●
32		トイレへの誘導、居室等への誘導★	●	●	●		●	●	●	●	●
33		トイレへの移乗・移動★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
34		排泄時の脱衣、着衣の介助★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
35		排泄時の見守り★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36		腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
37	排泄ケア	排泄物・排泄量の確認★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
38		おむつ交換★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
39		排便の準備、実施、観察、後片付け	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40		浣腸の準備、実施、観察、後片付け	●	●	●	●	●	●	●	●	●
41		人工肛門等の対応★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
42		その他()★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
43		バイタル確認	●	●	●	●	●	●	●	●	●
44		浴場(浴槽)への誘導★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
45		脱衣、着衣の介助★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
46		洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
47	入浴	洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
48		整髪の介助★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
49		機械浴の介助★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
50		浴場(浴槽)と居室等との間の移動の介助、誘導★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
51		その他()★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
52		薬品庫、常備薬、保冷庫の確認、薬品発注	●	●				●	●	●	●
53		処方箋と処方薬との照合、処方の確認	●	●				●	●	●	●
54		薬の区分け・与薬の準備、後片付け	●	●	●	●	●	●	●	●	●
55		薬を利用者に配布	●	●	●	●	●	●	●	●	●
56		服薬介助(経口)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
57	服薬	服薬介助(塗布薬、貼布薬)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
58		服薬介助(点眼、点鼻薬)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
59		服薬介助(座薬)	●	●				●	●	●	●
60		服薬介助(注射)	●	●				●	●	●	●
61		服薬の見守り★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
62		その他()★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
63		義歯の清掃★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
64		歯磨きの介助★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
65	口腔ケア	口腔内の衛生確認★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
66		その他()★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
67		レクリエーションの企画★	●	●		●		●	●	●	●
68	集団レクリエーション	レクリエーションの準備、実施、介助★	●	●		●		●	●	●	●
69		その他()★	●	●		●		●	●	●	●
70		(集団レクリエーション)			●						
71		バイタル確認	●	●		●		●	●	●	●
72		身体状態、機能観察・評価★	●	●				●	●	●	●
73		個別の機能訓練計画の立案★	●	●		●		●	●	●	●
74	リハビリ(機能訓練)	リハビリの実施、介助★	●	●		●		●	●	●	●
75		リハビリの記録・評価★	●	●		●		●	●	●	●
76		(リハビリ(機能訓練))			●						
77	記録	看護(訪問)記録の作成(リハビリの記録を除く)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
78		看護計画の作成、評価、見直し	●	●				●	●	●	●
79		カンファレンスの参加	●	●	●	●	●	●	●	●	●
80	会議	ミーティングまたは打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
81		サービス担当者会議への参加	●	●	●	●	●	●	●	●	●
82		職員からの利用者の健康情報の報告の受理★	●	●	●	●		●	●	●	●
83	調整	他機関への連絡調整(主治医等)★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
84		インテーク、退院・利用調整★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
85		家族への連絡調整★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
86	利用者、家族への対応	利用者、家族からの相談対応★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
87		ナースコール対応	●	●				●	●	●	●
88	緊急対応	ターミナルケア★	●	●				●	●	●	●
89		介護職員への研修	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90		介護職員への指導	●	●	●	●	●	●	●	●	●
91		家族への指導★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
92		本人への指導★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
93		ケアマネジャーとの相談、連携★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
94	その他	器具の消毒、感染性廃棄物の管理★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
95		清掃★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
96		シーツの交換					●				
97		帰りの申し送り	●	●	●	●	●	●	●	●	●
98		死後の処置★	●	●				●	●	●	●
99		その他()★	●	●	●	●	●	●	●	●	●
100	訪問看護	訪問看護としての勤務									●
101	休憩	休憩	●	●	●	●	●	●	●	●	●
102	当該サービス以外の併設サービスにおける勤務		●	●	●	●	●	●	●	●	●

注) ●：調査対象とした業務内容、★：看護職員による判断や実施が求められる業務以外の業務

（２）アンケート調査（事業所票）

調査内容は以下の各項目から構成し、資料編に添付した各調査票を用いて調査を行った。

図表 90 調査内容

調査項目	内容
基本情報	・ 所在地、開催主体、定員数等
加算の算定状況	・ 事業所における各加算の算定状況（平成 25 年 9 月実績）
職員体制	・ 職員数、職種別職員数、常勤・非常勤の別、専従・兼務の別等
看護職員について	・ 看護職員の勤務している時間帯、夜間の対応について（10 月 2 日 6 時～10 月 3 日 6 時までの勤務状況）
利用者の状況	・ 9 月 29 日から 10 月 5 日の 1 週間における利用者のうち医療的ケアを必要とする利用者数 ・ 9 月 29 日から 10 月 5 日の 1 週間における利用者の医療機関（往診、訪問診療、通院、入院、訪問リハビリテーション）の利用状況
その他	・ 利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等

6. 調査結果

(1) タイムスタディ実施件数

本調査においては、タイムスタディ調査実施施設の募集のための一次調査の結果からは必要な人日数が満たされなかったため、一都三県の調査対象事業所を中心に電話で依頼するとともに、各団体等を通じても募集を実施した。

その結果、看護職タイムスタディの実施件数は次の通りとなった。

図表 91 本調査の実施件数

サービス種別	調査実施 人日数	参考:当初予定 調査人日数
介護老人福祉施設	85	50
特定施設入居者生活介護	63	50
通所介護	82	75
認知症対応型通所介護	48	50
訪問入浴介護	51	50
小規模多機能型居宅介護	92	75
短期入所生活介護（単独型）	38	50
認知症対応型共同生活介護	22	50
複合型サービス	40	50
合計	521	500

図表 92 （参考）看護職員タイムスタディー一次調査における調査票の回収状況

サービス種別	回収率	有効票数
介護老人福祉施設・短期入所生活 介護・特定施設入居者生活介護	55.2%	460
通所介護・認知症対応型通所介護	59.7%	537
訪問入浴介護	43.0%	129
認知症対応型共同生活介護	57.1%	261
小規模多機能型居宅介護	51.3%	240
複合型サービス	92.9%	13

(2) 調査対象の属性

1) 職種

- 調査対象者の職種は、いずれのサービスでも「看護師」が「准看護師」よりも多いが、「介護老人福祉施設」、「短期入所生活介護」において、「准看護師」の割合が4割以上であった。

図表 93 職種

	件 数	看護 師	准 看護 師	無 回 答
介護老人福祉施設	85	47 55.3%	36 42.4%	2 2.4%
特定施設入居者生活介護	63	47 74.6%	16 25.4%	—
通所介護	82	56 68.3%	26 31.7%	—
認知症対応型通所介護	48	36 75.0%	12 25.0%	—
訪問入浴介護	51	41 80.4%	10 19.6%	—
小規模多機能型居宅介護	92	62 67.4%	30 32.6%	—
短期入所生活介護	38	21 55.3%	17 44.7%	—
認知症対応型共同生活介護	22	19 86.4%	—	3 13.6%
複合型サービス	40	34 85.0%	4 10.0%	2 5.0%

2) 勤務形態

- 調査対象者の勤務形態は、「介護老人福祉施設」、「特定施設入居者生活介護」、「短期入所生活介護」、「認知症対応型共同生活介護」、「複合型サービス」において「常勤」の割合が「非常勤」よりも高く、「通所介護」、「認知症対応型通所介護」、「訪問入浴介護」、「小規模多機能型居宅介護」において「非常勤」の割合が「常勤」よりも高くなっている。

図表 94 勤務形態（常勤・非常勤）

	件 数	常 勤	非 常 勤	無 回 答
介護老人福祉施設	85	75 88.2%	9 10.6%	1 1.2%
特定施設入居者生活介護	63	42 66.7%	20 31.7%	1 1.6%
通所介護	82	19 23.2%	60 73.2%	3 3.7%
認知症対応型通所介護	48	14 29.2%	34 70.8%	—
訪問入浴介護	51	18 35.3%	33 64.7%	—
小規模多機能型居宅介護	92	35 38.0%	55 59.8%	2 2.2%
短期入所生活介護	38	29 76.3%	9 23.7%	—
認知症対応型共同生活介護	22	9 40.9%	12 54.5%	1 4.5%
複合型サービス	40	24 60.0%	15 37.5%	1 2.5%

- 調査対象者の専従・兼務の割合は、「介護老人福祉施設」、「特定施設入居者生活介護」、「通所介護」、「訪問入浴介護」、「小規模多機能型居宅介護」、「短期入所生活介護」、「認知症対応型共同生活介護」において「専従」の割合が「兼務」よりも高く、「認知症対応型通所介護」、「複合型サービス」において「兼務」の割合が「専従」よりも高くなっている。

図表 95 専従・兼務

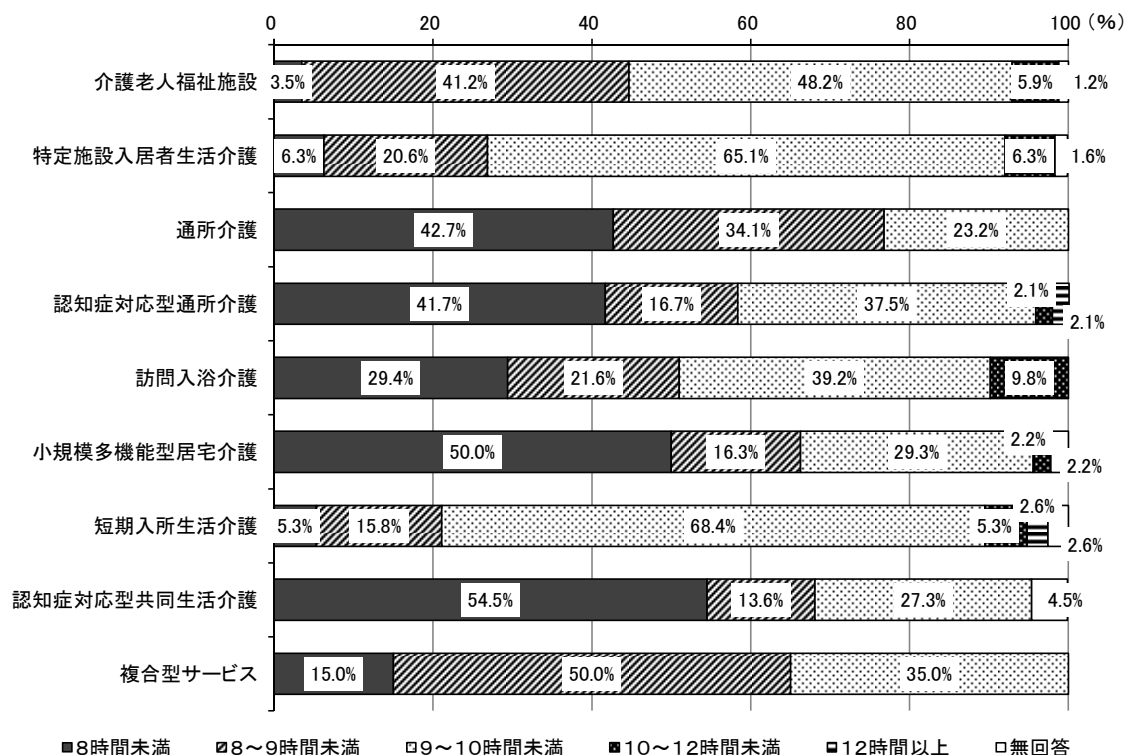
	件数	専従	兼務	無回答
介護老人福祉施設	85	64 75.3%	17 20.0%	4 4.7%
特定施設入居者生活介護	63	59 93.7%	1 1.6%	3 4.8%
通所介護	82	70 85.4%	10 12.2%	2 2.4%
認知症対応型通所介護	48	23 47.9%	23 47.9%	2 4.2%
訪問入浴介護	51	38 74.5%	11 21.6%	2 3.9%
小規模多機能型居宅介護	92	71 77.2%	18 19.6%	3 3.3%
短期入所生活介護	38	28 73.7%	7 18.4%	3 7.9%
認知症対応型共同生活介護	22	8 36.4%	7 31.8%	7 31.8%
複合型サービス	40	14 35.0%	25 62.5%	1 2.5%

(3) 看護職員の業務時間数及びその内容

1) 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（総時間数）

- 調査日の勤務時間は、「短期入所生活介護」が最も長く平均 546 分、次いで「特定施設入居者生活介護」は平均 535 分、「介護老人福祉施設」は 533 分であった。

図表 96 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（業務終了時間－業務開始時間）



	件数	8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上	無回答	平均（単位：時間）	標準偏差（単位：時間）
介護老人福祉施設	85	3	35	41	5	1	1.2%	533.21	39.52
特定施設入居者生活介護	63	4	13	41	4	1	1.6%	531.69	76.67
通所介護	82	35	28	19	—	—	—	456.52	88.56
認知症対応型通所介護	48	20	8	18	1	1	—	482.46	103.51
訪問入浴介護	51	15	11	20	5	—	—	493.14	106.76
小規模多機能型居宅介護	92	46	15	27	2	2	2.2%	420.72	128.13
短期入所生活介護	38	2	6	26	2	1	2.6%	536.35	54.95
認知症対応型共同生活介護	22	12	3	6	—	—	4.5%	356.43	164.65
複合型サービス	40	6	20	14	—	—	—	505.25	38.44

2) 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（業務行為（大項目）別）

【介護老人福祉施設】

- ・ 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「服薬」の割合が最も多く20.0%、「診療の補助」が18.3%、「記録」が11.6%であった。
- ・ 業務行為別の時間数でみると、「服薬」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり108.7分であった。次いで「診療の補助」が99.9分/日、「記録」が62.5分/日であった。

図表 97 業務行為別、総業務時間に占める割合【介護老人福祉施設】

	件数	0 %	1 0 %未満	2 満0 %未満	4 満0 %未満	6 満0 %未満	8 0 %以上	（単位：％） 平均値	（単位：％） 標準偏差
準備__割合(%)	85	19 22.4%	66 77.6%	-	-	-	-	3.71	3.5
健康管理__割合(%)	85	15 17.6%	70 82.4%	-	-	-	-	4.53	4.71
診療の補助__割合(%)	85	1 1.2%	50 58.8%	31 36.5%	3 3.5%	-	-	18.3	11.76
移動の介助__割合(%)	85	58 68.2%	27 31.8%	-	-	-	-	0.58	1.16
居室、リビング等での見守り__割合(%)	85	48 56.5%	37 43.5%	-	-	-	-	1.51	2.38
食事__割合(%)	85	37 43.5%	46 54.1%	2 2.4%	-	-	-	4.17	5.54
排泄ケア__割合(%)	85	28 32.9%	57 67.1%	-	-	-	-	2.52	2.94
入浴__割合(%)	85	62 72.9%	20 23.5%	3 3.5%	-	-	-	2.45	6.51
服薬__割合(%)	85	-	44 51.8%	38 44.7%	3 3.5%	-	-	20.02	9.52
口腔ケア__割合(%)	85	61 71.8%	24 28.2%	-	-	-	-	1.21	2.5
集団レクリエーション__割合(%)	85	81 95.3%	4 4.7%	-	-	-	-	0.3	1.94
リハビリ(機能訓練)__割合(%)	85	79 92.9%	6 7.1%	-	-	-	-	0.16	0.77
記録__割合(%)	85	2 2.4%	70 82.4%	12 14.1%	1 1.2%	-	-	11.58	7.87
会議__割合(%)	85	28 32.9%	52 61.2%	5 5.9%	-	-	-	6.81	7.32
調整__割合(%)	85	55 64.7%	30 35.3%	-	-	-	-	1.35	2.88
利用者、家族への対応__割合(%)	85	66 77.6%	19 22.4%	-	-	-	-	0.55	1.56
緊急対応__割合(%)	85	80 94.1%	5 5.9%	-	-	-	-	0.08	0.32
その他__割合(%)	85	10 11.8%	71 83.5%	3 3.5%	1 1.2%	-	-	8.25	7.73
休憩__割合(%)	85	1 1.2%	83 97.6%	1 1.2%	-	-	-	9.94	2.76
介護老人福祉施設以外の併設サービスにおける勤務__割合(%)	85	65 76.5%	18 21.2%	2 2.4%	-	-	-	2	5.23

図表 98 業務行為別、総業務時間数【介護老人福祉施設】

	件数	0分	10分未満	20分未満	20分未満	60分以上	120分以上	(単位均：分値)	(単位：標準偏差)
準備	85	19 22.4%	28 32.9%	22 25.9%	12 14.1%	4 4.7%	-	20.06	18.75
健康管理	85	15 17.6%	30 35.3%	21 24.7%	10 11.8%	9 10.6%	-	24.41	25.26
診療の補助	85	1 1.2%	5 5.9%	10 11.8%	10 11.8%	33 38.8%	26 30.6%	99.94	67.54
移動の介助	85	58 68.2%	23 27.1%	4 4.7%	-	-	-	3.06	6.14
居室、リビング等での見守り	85	48 56.5%	20 23.5%	14 16.5%	2 2.4%	1 1.2%	-	8.18	12.88
食事	85	37 43.5%	16 18.8%	9 10.6%	10 11.8%	12 14.1%	1 1.2%	22.59	29.98
排泄ケア	85	28 32.9%	28 32.9%	25 29.4%	1 1.2%	3 3.5%	-	13.59	15.47
入浴	85	62 72.9%	10 11.8%	5 5.9%	2 2.4%	3 3.5%	3 3.5%	13.24	35.33
服薬	85	-	4 4.7%	3 3.5%	6 7.1%	36 42.4%	36 42.4%	108.71	53.14
口腔ケア	85	61 71.8%	12 14.1%	8 9.4%	3 3.5%	1 1.2%	-	6.41	13.25
集団レクリエーション	85	81 95.3%	2 2.4%	-	1 1.2%	1 1.2%	-	1.65	10.58
リハビリ(機能訓練)	85	79 92.9%	5 5.9%	1 1.2%	-	-	-	0.88	4.21
記録	85	2 2.4%	9 10.6%	15 17.6%	18 21.2%	32 37.6%	9 10.6%	62.53	42.59
会議	85	28 32.9%	5 5.9%	19 22.4%	10 11.8%	19 22.4%	4 4.7%	36.88	39.58
調整	85	55 64.7%	19 22.4%	4 4.7%	5 5.9%	2 2.4%	-	7.12	14.98
利用者、家族への対応	85	66 77.6%	15 17.6%	2 2.4%	2 2.4%	-	-	3	8.55
緊急対応	85	80 94.1%	5 5.9%	-	-	-	-	0.41	1.75
その他	85	10 11.8%	15 17.6%	17 20.0%	17 20.0%	23 27.1%	3 3.5%	44.59	41.73
休憩	85	1 1.2%	1 1.2%	5 5.9%	35 41.2%	42 49.4%	1 1.2%	53.94	15.51
介護老人福祉施設以外の併設サービスにおける勤務	85	65 76.5%	4 4.7%	7 8.2%	4 4.7%	3 3.5%	2 2.4%	11.12	28.54

【特定施設入居者生活介護】

- ・ 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「服薬」が 23.5%、「診療の補助」が 16.9%、「記録」が 12.1%であった。
- ・ 業務行為別の時間数でみると「服薬」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり 124.2 分であった。次いで「診療の補助」が 93.6 分/日、「記録」が 66.4 分/日であった。

図表 99 業務行為別、総業務時間に占める割合【特定施設入居者生活介護】

	件数	0 %	10 %未満	20 %未満	30 %未満	40 %未満	50 %未満	60 %未満	80 %以上	（単位：平均値）	（単位：標準偏差）
準備__割合 (%)	63	10	53	15.9%	84.1%	-	-	-	-	4.09	3.08
健康管理__割合 (%)	63	6	56	9.5%	88.9%	1.6%	-	-	-	6.34	4.8
診療の補助__割合 (%)	63	2	37	3.2%	58.7%	33.3%	4.8%	-	-	16.88	11.46
移動の介助__割合 (%)	63	44	19	69.8%	30.2%	-	-	-	-	0.6	1.26
居室、リビング等での見守り__割合 (%)	63	35	27	55.6%	42.9%	1.6%	-	-	-	1.59	3.59
食事__割合 (%)	63	25	37	39.7%	58.7%	1.6%	-	-	-	3.82	6.04
排泄ケア__割合 (%)	63	22	41	34.9%	65.1%	-	-	-	-	2.23	2.48
入浴__割合 (%)	63	44	17	69.8%	27.0%	3.2%	-	-	-	1.61	5.94
服薬__割合 (%)	63	-	23	-	36.5%	57.1%	6.3%	-	-	23.47	9.95
口腔ケア__割合 (%)	63	54	9	85.7%	14.3%	-	-	-	-	0.21	0.69
集団レクリエーション__割合 (%)	63	61	2	96.8%	3.2%	-	-	-	-	0.15	0.82
リハビリ(機能訓練)__割合 (%)	63	56	7	88.9%	11.1%	-	-	-	-	0.3	0.99
記録__割合 (%)	63	4	49	6.3%	77.8%	15.9%	-	-	-	12.14	7.58
会議__割合 (%)	63	31	32	49.2%	50.8%	-	-	-	-	3.2	4.25
調整__割合 (%)	63	26	37	41.3%	58.7%	-	-	-	-	1.55	2.06
利用者、家族への対応__割合 (%)	63	31	32	49.2%	50.8%	-	-	-	-	1.27	1.71
緊急対応__割合 (%)	63	52	11	82.5%	17.5%	-	-	-	-	0.33	0.83
その他__割合 (%)	63	3	56	4.8%	88.9%	6.3%	-	-	-	10.27	7.22
休憩__割合 (%)	63	3	60	4.8%	95.2%	-	-	-	-	9.69	2.93
特定施設入居者生活介護以外の併設サービスにおける勤務__割合 (%)	63	60	3	95.2%	4.8%	-	-	-	-	0.27	1.49

図表 100 業務行為別、総業務時間数【特定施設入居者生活介護】

	件数	0分	0分未満	20分未満	20分～40分未満	40分～60分未満	60分以上	120分以上	平均（単位：分）	標準偏差（単位：分）
準備	63	10 15.9%	18 28.6%	24 38.1%	9 14.3%	2 3.2%	-	-	22.54	17.25
健康管理	63	6 9.5%	16 25.4%	14 22.2%	14 22.2%	12 19.0%	1 1.6%	-	35.08	27.94
診療の補助	63	2 3.2%	6 9.5%	4 6.3%	8 12.7%	21 33.3%	22 34.9%	-	93.57	64.8
移動の介助	63	44 69.8%	16 25.4%	3 4.8%	-	-	-	-	3.33	7.07
居室、リビング等での見守り	63	35 55.6%	18 28.6%	6 9.5%	3 4.8%	-	1 1.6%	-	8.65	19.6
食事	63	25 39.7%	16 25.4%	13 20.6%	2 3.2%	7 11.1%	-	-	18.1	25.58
排泄ケア	63	22 34.9%	22 34.9%	16 25.4%	3 4.8%	-	-	-	12.3	13.8
入浴	63	44 69.8%	14 22.2%	2 3.2%	1 1.6%	-	2 3.2%	-	8.49	30.53
服薬	63	-	-	3 4.8%	5 7.9%	22 34.9%	33 52.4%	-	124.21	52.22
口腔ケア	63	54 85.7%	8 12.7%	1 1.6%	-	-	-	-	1.19	3.75
集団レクリエーション	63	61 96.8%	-	2 3.2%	-	-	-	-	0.79	4.47
リハビリ（機能訓練）	63	56 88.9%	4 6.3%	3 4.8%	-	-	-	-	1.67	5.42
記録	63	4 6.3%	3 4.8%	9 14.3%	9 14.3%	31 49.2%	7 11.1%	-	66.35	41.1
会議	63	31 49.2%	11 17.5%	8 12.7%	8 12.7%	5 7.9%	-	-	16.59	22.71
調整	63	26 41.3%	27 42.9%	8 12.7%	2 3.2%	-	-	-	8.57	11.49
利用者、家族への対応	63	31 49.2%	23 36.5%	8 12.7%	1 1.6%	-	-	-	6.98	9.45
緊急対応	63	52 82.5%	10 15.9%	1 1.6%	-	-	-	-	1.83	4.48
その他	63	3 4.8%	6 9.5%	16 25.4%	9 14.3%	25 39.7%	4 6.3%	-	55.56	38.45
休憩	63	3 4.8%	1 1.6%	3 4.8%	17 27.0%	39 61.9%	-	-	52.94	15.42
特定施設入居者生活介護以外の併設サービスにおける勤務	63	60 95.2%	2 3.2%	-	-	1 1.6%	-	-	1.43	7.89

【通所介護】

- 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「その他」が 33.7%、「健康管理」が 14.2%、「服薬」が 11.7%であった。
- 業務行為別の時間数でみると、「その他」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり 155.7 分であった。次いで「健康管理」が 63.4 分/日、「服薬」が 51.0 分/日であった。

図表 101 業務行為別、総業務時間に占める割合【通所介護】

	件数	0 %	1 2 0 % 未満	2 満 0 % 未満	4 満 0 % 未満	6 満 0 % 未満	8 0 % 以上	(単位: 平均: % 値)	(単位: 標準偏差: % 値)
準備__割合 (%)	82	37 45.1%	45 54.9%	-	-	-	-	1.6	2.06
送迎__割合 (%)	82	24 29.3%	55 67.1%	3 3.7%	-	-	-	4.05	4.67
健康管理__割合 (%)	82	2 2.4%	62 75.6%	17 20.7%	1 1.2%	-	-	14.19	8.6
診療の補助__割合 (%)	82	55 67.1%	27 32.9%	-	-	-	-	1.39	2.79
排泄ケア__割合 (%)	82	28 34.1%	54 65.9%	-	-	-	-	2.39	2.62
食事__割合 (%)	82	12 14.6%	67 81.7%	3 3.7%	-	-	-	5.87	5.53
入浴__割合 (%)	82	24 29.3%	53 64.6%	5 6.1%	-	-	-	5.76	6.44
服薬__割合 (%)	82	7 8.5%	59 72.0%	15 18.3%	1 1.2%	-	-	11.71	9.44
口腔ケア__割合 (%)	82	62 75.6%	20 24.4%	-	-	-	-	0.88	1.85
集団レクリエーション__割合 (%)	82	47 57.3%	34 41.5%	1 1.2%	-	-	-	2.99	5.33
リハビリ(機能訓練)__割合 (%)	82	41 50.0%	31 37.8%	10 12.2%	-	-	-	5.39	8.48
その他__割合 (%)	82	-	13 15.9%	41 50.0%	26 31.7%	2 2.4%	-	33.65	12.67
休憩__割合 (%)	82	7 8.5%	74 90.2%	1 1.2%	-	-	-	9.85	4.46
通所介護以外の併設サービスにおける勤務__割合 (%)	82	76 92.7%	6 7.3%	-	-	-	-	0.3	1.37

図表 102 業務行為別、総業務時間数【通所介護】

	件 数	0 分	0 分 未 満	2 満 0 分 未 満	2 満 0 分 未 満	6 満 0 分 未 満	1 2 0 分 以 上	平 均 値 （単 位 ：分）	（単 位 ：分） 標準 偏差
準備	82	37 45.1%	30 36.6%	15 18.3%	—	—	—	7.5	9.54
送迎	82	24 29.3%	22 26.8%	24 29.3%	5 6.1%	5 6.1%	2 2.4%	20.67	26.08
健康管理	82	2 2.4%	2 2.4%	18 22.0%	20 24.4%	32 39.0%	8 9.8%	63.41	38.33
診療の補助	82	55 67.1%	15 18.3%	9 11.0%	3 3.7%	—	—	6.34	12.47
排泄ケア	82	28 34.1%	35 42.7%	14 17.1%	4 4.9%	1 1.2%	—	11.22	13.17
食事	82	12 14.6%	26 31.7%	21 25.6%	15 18.3%	8 9.8%	—	26.4	24.03
入浴	82	24 29.3%	19 23.2%	17 20.7%	9 11.0%	11 13.4%	2 2.4%	27.62	33.05
服薬	82	7 8.5%	13 15.9%	16 19.5%	12 14.6%	29 35.4%	5 6.1%	50.98	38.18
口腔ケア	82	62 75.6%	11 13.4%	9 11.0%	—	—	—	4.09	8.73
集団レクリエーション	82	47 57.3%	15 18.3%	6 7.3%	7 8.5%	6 7.3%	1 1.2%	15	26.91
リハビリ(機能訓練)	82	41 50.0%	11 13.4%	11 13.4%	6 7.3%	11 13.4%	2 2.4%	24.39	36.77
その他	82	—	—	1 1.2%	4 4.9%	18 22.0%	59 72.0%	155.73	63.46
休憩	82	7 8.5%	2 2.4%	12 14.6%	26 31.7%	35 42.7%	—	46.1	21.23
通所介護以外の併設サービスにおける勤務	82	76 92.7%	4 4.9%	1 1.2%	1 1.2%	—	—	1.28	5.78

【認知症対応型通所介護】

- 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「その他」が23.1%、「入浴」が11.1%「食事」が10.8%であった。
- 業務行為別の時間数でみると、「その他」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり121.8分であった。次いで「認知症対応型通所介護以外の併設サービスにおける勤務」が56.8分/日、「入浴」が52.9分/日であった。

図表 103 業務行為別、総業務時間に占める割合【認知症対応型通所介護】

	件数	0 %	1 2 0 % 未満	2 満 0 % 未満	4 満 0 % 未満	6 満 0 % 未満	8 0 % 以上	(単位平均: % 値)	(単位最小: % 値)
準備__割合 (%)	48	10 20.8%	38 79.2%	-	-	-	-	2.76	0
送迎__割合 (%)	48	12 25.0%	31 64.6%	5 10.4%	-	-	-	6.03	0
健康管理__割合 (%)	48	3 6.3%	39 81.3%	6 12.5%	-	-	-	9.43	0
排泄ケア__割合 (%)	48	12 25.0%	36 75.0%	-	-	-	-	3.34	0
食事__割合 (%)	48	7 14.6%	33 68.8%	6 12.5%	2 4.2%	-	-	10.8	0
入浴__割合 (%)	48	8 16.7%	31 64.6%	8 16.7%	1 2.1%	-	-	11.13	0
服薬__割合 (%)	48	4 8.3%	43 89.6%	1 2.1%	-	-	-	7.52	0
口腔ケア__割合 (%)	48	35 72.9%	13 27.1%	-	-	-	-	0.73	0
集団レクリエーション__割合 (%)	48	24 50.0%	21 43.8%	3 6.3%	-	-	-	4.31	0
リハビリ(機能訓練)__割合 (%)	48	29 60.4%	16 33.3%	3 6.3%	-	-	-	4.23	0
その他__割合 (%)	48	-	20 41.7%	24 50.0%	3 6.3%	1 2.1%	-	23.14	3.4
休憩__割合 (%)	48	9 18.8%	39 81.3%	-	-	-	-	7.69	0
認知症対応型通所介護以外の併設サービスにおける勤務__割合 (%)	48	33 68.8%	7 14.6%	3 6.3%	4 8.3%	-	1 2.1%	8.94	0

図表 104 業務行為別、総業務時間数【認知症対応型通所介護】

	件 数	0 分	1 0 分 未 満	2 0 分 未 満	2 0 分 未 満	3 0 分 未 満	4 0 分 未 満	平 均 値 (単位: 分)	標 準 差 (単位: 分)
準備	48	10 20.8%	24 50.0%	9 18.8%	5 10.4%	-	-	14.06	12.86
送迎	48	12 25.0%	14 29.2%	12 25.0%	2 4.2%	3 6.3%	5 10.4%	31.56	45.74
健康管理	48	3 6.3%	8 16.7%	13 27.1%	9 18.8%	13 27.1%	2 4.2%	45.52	34.75
排泄ケア	48	12 25.0%	21 43.8%	6 12.5%	6 12.5%	3 6.3%	-	16.46	18.23
食事	48	7 14.6%	4 8.3%	11 22.9%	11 22.9%	11 22.9%	4 8.3%	50.52	47.56
入浴	48	8 16.7%	4 8.3%	9 18.8%	9 18.8%	12 25.0%	6 12.5%	52.92	46.11
服薬	48	4 8.3%	14 29.2%	11 22.9%	5 10.4%	11 22.9%	3 6.3%	42.29	39.71
口腔ケア	48	35 72.9%	10 20.8%	3 6.3%	-	-	-	3.54	7.36
集団レクリエーション	48	24 50.0%	9 18.8%	5 10.4%	5 10.4%	3 6.3%	2 4.2%	20	33.1
リハビリ(機能訓練)	48	29 60.4%	4 8.3%	5 10.4%	4 8.3%	4 8.3%	2 4.2%	20.1	36.54
その他	48	-	2 4.2%	2 4.2%	6 12.5%	16 33.3%	22 45.8%	121.77	81.4
休憩	48	9 18.8%	1 2.1%	5 10.4%	16 33.3%	17 35.4%	-	40.94	22.95
認知症対応型通所介護以外の併設 サービスにおける勤務	48	33 68.8%	-	1 2.1%	4 8.3%	2 4.2%	8 16.7%	56.77	113.08

【訪問入浴介護】

- ・ 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「入浴」が 40.6%、「移動」が 23.9%、「その他」が 14.2%であった。
- ・ 業務行為別の時間数でみると、「入浴」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり 200.3 分であった。次いで「移動」が 116.2 分/日、「その他」が 45.7 分/日であった。

図表 105 業務行為別、総業務時間に占める割合【訪問入浴介護】

	件数	0 %	1 2 0 % 未満	2 満 0 1 4 0 % 未満	4 満 0 1 6 0 % 未満	6 満 0 1 8 0 % 未満	8 0 % 以上	（単位：平均値）	（単位：標準偏差）
準備__割合(%)	51	8 15.7%	43 84.3%	-	-	-	-	4.37	3.68
移動__割合(%)	51	1 2.0%	14 27.5%	34 66.7%	2 3.9%	-	-	23.9	8.44
健康管理__割合(%)	51	20 39.2%	29 56.9%	2 3.9%	-	-	-	4.52	6.36
排泄ケア__割合(%)	51	31 60.8%	20 39.2%	-	-	-	-	1.13	1.93
入浴__割合(%)	51	-	-	26 51.0%	22 43.1%	3 5.9%	-	40.56	9.72
服薬__割合(%)	51	20 39.2%	31 60.8%	-	-	-	-	1.97	2.23
口腔ケア__割合(%)	51	51 100.0%	-	-	-	-	-	0	0
その他__割合(%)	51	3 5.9%	35 68.6%	12 23.5%	1 2.0%	-	-	14.15	10.53
休憩__割合(%)	51	9 17.6%	41 80.4%	1 2.0%	-	-	-	8.91	5.31
訪問入浴介護以外の併設サービスにおける勤務__割合(%)	51	49 96.1%	1 2.0%	1 2.0%	-	-	-	0.49	2.94

図表 106 業務行為別、総業務時間数【訪問入浴介護】

	件数	0 分	1 2 0 分 未満	2 満 0 1 4 0 分 未満	2 満 0 1 6 0 分 未満	6 未 満 0 1 2 0 分	1 2 0 分 以上	（単位：平均値）	（単位：標準偏差）
準備	51	8 15.7%	20 39.2%	11 21.6%	10 19.6%	2 3.9%	-	22.94	19.78
移動	51	1 2.0%	-	-	4 7.8%	20 39.2%	26 51.0%	116.18	40.55
健康管理	51	20 39.2%	10 19.6%	11 21.6%	4 7.8%	4 7.8%	2 3.9%	27.45	57.19
排泄ケア	51	31 60.8%	13 25.5%	4 7.8%	3 5.9%	-	-	6.08	11.77
入浴	51	-	-	-	-	1 2.0%	50 98.0%	200.29	57.76
服薬	51	20 39.2%	19 37.3%	12 23.5%	-	-	-	9.02	9.8
口腔ケア	51	51 100.0%	-	-	-	-	-	0	0
その他	51	3 5.9%	7 13.7%	7 13.7%	7 13.7%	17 33.3%	10 19.6%	77.16	68.89
休憩	51	9 17.6%	1 2.0%	4 7.8%	15 29.4%	21 41.2%	1 2.0%	45.69	26.86
訪問入浴介護以外の併設サービスにおける勤務	51	49 96.1%	-	1 2.0%	-	-	1 2.0%	2.94	17.07

【小規模多機能型居宅介護】

- ・ 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「服薬」が13.8%、「その他」が13.0%、「健康管理」が11.5%であった。
- ・ 業務行為別の時間数でみると、「その他」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり 56.7 分であった。次いで「服薬」が 52.9 分/日、「健康管理」が 41.6 分/日であった。

図表 107 業務行為別、総業務時間に占める割合【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0 %	1 2 0 % 未満	2 満 0 1 4 0 % 未満	4 満 0 1 6 0 % 未満	6 満 0 1 8 0 % 未満	8 0 % 以上	(単位: 平均: % 値)	(単位: 標準偏差: % 値)
準備__割合 (%)	92	25 27.2%	67 72.8%	-	-	-	-	2.34	2.41
送迎__割合 (%)	92	60 65.2%	27 29.3%	5 5.4%	-	-	-	3.14	6.51
健康管理__割合 (%)	92	6 6.5%	69 75.0%	17 18.5%	-	-	-	11.47	8.56
診療の補助__割合 (%)	92	63 68.5%	29 31.5%	-	-	-	-	2.49	4.86
移動の介助__割合 (%)	92	43 46.7%	49 53.3%	-	-	-	-	1.84	2.63
居室・リビング等での見守り__割合 (%)	92	32 34.8%	54 58.7%	6 6.5%	-	-	-	5.59	7.14
食事__割合 (%)	92	18 19.6%	67 72.8%	7 7.6%	-	-	-	8.89	7.65
排泄ケア__割合 (%)	92	17 18.5%	75 81.5%	-	-	-	-	4.23	4.01
入浴__割合 (%)	92	42 45.7%	43 46.7%	7 7.6%	-	-	-	4.88	8.2
服薬__割合 (%)	92	8 8.7%	64 69.6%	16 17.4%	4 4.3%	-	-	13.82	11.67
口腔ケア__割合 (%)	92	58 63.0%	34 37.0%	-	-	-	-	1.08	1.84
集団レクリエーション__割合 (%)	92	51 55.4%	40 43.5%	1 1.1%	-	-	-	2.83	4.45
リハビリ(機能訓練)__割合 (%)	92	63 68.5%	28 30.4%	1 1.1%	-	-	-	2.1	4.49
記録__割合 (%)	92	31 33.7%	53 57.6%	8 8.7%	-	-	-	7.68	8.75
会議__割合 (%)	92	58 63.0%	28 30.4%	4 4.3%	2 2.2%	-	-	3.63	8.23
調整__割合 (%)	92	68 73.9%	24 26.1%	-	-	-	-	0.98	2.27
利用者、家族への対応__割合 (%)	92	74 80.4%	18 19.6%	-	-	-	-	0.55	1.41
緊急対応__割合 (%)	92	87 94.6%	5 5.4%	-	-	-	-	0.15	0.84
その他__割合 (%)	92	10 10.9%	63 68.5%	18 19.6%	1 1.1%	-	-	12.98	10.45
休憩__割合 (%)	92	32 34.8%	58 63.0%	2 2.2%	-	-	-	6.98	6.16
小規模多機能型居宅介護以外の併設サービスにおける勤務__割合 (%)	92	78 84.8%	10 10.9%	4 4.3%	-	-	-	2.38	6.47

図表 108 業務行為別、総業務時間数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0分	10分未満	20分未満	20分～40分未満	40分～60分未満	60分以上	平均値(%)	標準偏差(%)
準備	92	25 27.2%	53 57.6%	14 15.2%	—	—	—	9.24	8.4
送迎	92	60 65.2%	12 13.0%	8 8.7%	3 3.3%	6 6.5%	3 3.3%	15.87	34.65
健康管理	92	6 6.5%	12 13.0%	22 23.9%	31 33.7%	21 22.8%	—	41.58	25.29
診療の補助	92	63 68.5%	11 12.0%	8 8.7%	5 5.4%	5 5.4%	—	9.73	19.88
移動の介助	92	43 46.7%	35 38.0%	11 12.0%	1 1.1%	2 2.2%	—	8.37	13.07
居室・リビング等での見守り	92	32 34.8%	22 23.9%	14 15.2%	12 13.0%	9 9.8%	3 3.3%	23.8	29.99
食事	92	18 19.6%	16 17.4%	21 22.8%	9 9.8%	25 27.2%	3 3.3%	39.24	37.71
排泄ケア	92	17 18.5%	38 41.3%	26 28.3%	5 5.4%	6 6.5%	—	18.97	20.4
入浴	92	42 45.7%	20 21.7%	11 12.0%	10 10.9%	7 7.6%	2 2.2%	18.64	30.03
服薬	92	8 8.7%	10 10.9%	21 22.8%	16 17.4%	30 32.6%	7 7.6%	52.93	41.36
口腔ケア	92	58 63.0%	25 27.2%	9 9.8%	—	—	—	4.89	8.24
集団レクリエーション	92	51 55.4%	18 19.6%	11 12.0%	8 8.7%	4 4.3%	—	12.17	19.06
リハビリ(機能訓練)	92	63 68.5%	13 14.1%	7 7.6%	5 5.4%	3 3.3%	1 1.1%	10.22	23.97
記録	92	31 33.7%	14 15.2%	14 15.2%	11 12.0%	17 18.5%	5 5.4%	33.59	39.12
会議	92	58 63.0%	12 13.0%	8 8.7%	6 6.5%	5 5.4%	3 3.3%	16.41	37.07
調整	92	68 73.9%	18 19.6%	3 3.3%	2 2.2%	1 1.1%	—	4.18	10.22
利用者、家族への対応	92	74 80.4%	15 16.3%	2 2.2%	1 1.1%	—	—	2.5	6.9
緊急対応	92	87 94.6%	4 4.3%	—	1 1.1%	—	—	0.76	4.42
その他	92	10 10.9%	11 12.0%	18 19.6%	13 14.1%	31 33.7%	9 9.8%	56.68	50.74
休憩	92	32 34.8%	3 3.3%	10 10.9%	18 19.6%	29 31.5%	—	32.23	26.71
小規模多機能型居宅介護以外の併設サービスにおける勤務	92	78 84.8%	1 1.1%	2 2.2%	4 4.3%	4 4.3%	3 3.3%	11.36	31.79

【短期入所生活介護（単独型）】

- ・ 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「服薬」が18.4%、「その他」が16.9%、「記録」が12.0%であった。
- ・ 業務行為別の時間数でみると、「服薬」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり101.7分であった。次いで「その他」が92.2分/日、「記録」が65.8分/日であった。

図表 109 業務行為別、総業務時間に占める割合【短期入所生活介護】

	件数	0 %	1 2 0 %未満	2 満 0 %未満	4 満 0 %未満	6 満 0 %未満	8 0 %以上	（単位：平均値）	（単位：標準偏差）
準備__割合 (%)	38	3 7.9%	35 92.1%	-	-	-	-	4.15	3.46
健康管理__割合 (%)	38	3 7.9%	33 86.8%	2 5.3%	-	-	-	8.22	7.11
診療の補助__割合 (%)	38	9 23.7%	26 68.4%	3 7.9%	-	-	-	7.08	8.2
移動の介助__割合 (%)	38	22 57.9%	16 42.1%	-	-	-	-	1.36	2.67
居室、リビング等での見守り__割合 (%)	38	8 21.1%	30 78.9%	-	-	-	-	4.21	4.71
食事__割合 (%)	38	13 34.2%	24 63.2%	1 2.6%	-	-	-	3.24	4.19
排泄ケア__割合 (%)	38	15 39.5%	23 60.5%	-	-	-	-	2.67	3.27
入浴__割合 (%)	38	20 52.6%	18 47.4%	-	-	-	-	1.27	1.93
服薬__割合 (%)	38	-	20 52.6%	17 44.7%	1 2.6%	-	-	18.38	10.01
口腔ケア__割合 (%)	38	33 86.8%	5 13.2%	-	-	-	-	0.18	0.49
集団レクリエーション__割合 (%)	38	33 86.8%	5 13.2%	-	-	-	-	0.56	1.95
リハビリ(機能訓練)__割合 (%)	38	35 92.1%	3 7.9%	-	-	-	-	0.26	0.95
記録__割合 (%)	38	2 5.3%	30 78.9%	6 15.8%	-	-	-	12.01	6.9
会議__割合 (%)	38	19 50.0%	17 44.7%	2 5.3%	-	-	-	4.13	6.26
調整__割合 (%)	38	18 47.4%	19 50.0%	1 2.6%	-	-	-	2.09	4.03
利用者、家族への対応__割合 (%)	38	24 63.2%	14 36.8%	-	-	-	-	0.77	1.25
緊急対応__割合 (%)	38	35 92.1%	3 7.9%	-	-	-	-	0.15	0.62
その他__割合 (%)	38	1 2.6%	24 63.2%	11 28.9%	2 5.3%	-	-	16.89	12.19
休憩__割合 (%)	38	3 7.9%	35 92.1%	-	-	-	-	9.15	3.79
短期入所生活介護以外の併設サービスにおける勤務__割合 (%)	38	28 73.7%	7 18.4%	3 7.9%	-	-	-	3.22	8.74

図表 110 業務行為別、総業務時間数【短期入所生活介護（単独型）】

	件 数	0 分	〃 2 0 分 未 満	2 満 0 〃 4 0 分 未	2 満 0 〃 6 0 分 未	6 未 0 満 〃 1 2 0 分	1 2 0 分 以 上	平(単 位 均: 分 値)	標(単 準 位 偏: 分 差)
準備	38	3 7.9%	15 39.5%	11 28.9%	7 18.4%	2 5.3%	-	23.29	19.37
健康管理	38	3 7.9%	7 18.4%	11 28.9%	5 13.2%	10 26.3%	2 5.3%	45.13	36.26
診療の補助	38	9 23.7%	7 18.4%	9 23.7%	4 10.5%	5 13.2%	4 10.5%	41.45	49.31
移動の介助	38	22 57.9%	11 28.9%	3 7.9%	1 2.6%	1 2.6%	-	7.24	14.22
居室、リビング等での見守り	38	8 21.1%	15 39.5%	6 15.8%	5 13.2%	4 10.5%	-	23.82	27.2
食事	38	13 34.2%	11 28.9%	7 18.4%	5 13.2%	2 5.3%	-	18.55	24.11
排泄ケア	38	15 39.5%	9 23.7%	8 21.1%	4 10.5%	2 5.3%	-	15.79	19.62
入浴	38	20 52.6%	12 31.6%	5 13.2%	-	1 2.6%	-	7.63	12.96
服薬	38	-	-	5 13.2%	8 21.1%	10 26.3%	15 39.5%	101.71	53.5
口腔ケア	38	33 86.8%	5 13.2%	-	-	-	-	1.18	3.33
集団レクリエーション	38	33 86.8%	2 5.3%	2 5.3%	-	1 2.6%	-	3.16	11.21
リハビリ(機能訓練)	38	35 92.1%	2 5.3%	1 2.6%	-	-	-	1.45	5.12
記録	38	2 5.3%	2 5.3%	5 13.2%	12 31.6%	12 31.6%	5 13.2%	65.79	37.11
会議	38	19 50.0%	5 13.2%	5 13.2%	2 5.3%	5 13.2%	2 5.3%	23.03	34.84
調整	38	18 47.4%	12 31.6%	5 13.2%	2 5.3%	1 2.6%	-	11.58	21.31
利用者、家族への対応	38	24 63.2%	12 31.6%	2 5.3%	-	-	-	4.61	7.81
緊急対応	38	35 92.1%	2 5.3%	1 2.6%	-	-	-	0.79	3.35
その他	38	1 2.6%	3 7.9%	4 10.5%	6 15.8%	11 28.9%	13 34.2%	92.24	64.26
休憩	38	3 7.9%	2 5.3%	3 7.9%	5 13.2%	25 65.8%	-	50.79	20.31
短期入所生活介護以外の 併設サービスにおける勤務	38	28 73.7%	3 7.9%	3 7.9%	1 2.6%	-	3 7.9%	22.37	66.14

【認知症対応型共同生活介護】

- 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「その他」が 21.2%、「健康管理」が 11.7%、「記録」が 11.5%であった。
- 業務行為別の時間数でみると、「その他」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり 56.1 分であった。次いで「診療の補助」が 33.9 分/日、「記録」が 31.8 分/日であった。

図表 111 業務行為別、総業務時間に占める割合【認知症対応型共同生活介護】

	件数	0 %	1 0 %未満	2 満 0 %未満	4 満 0 %未満	6 満 0 %未満	8 0 %以上	(単位: 平均: % 値)	(単位: 標準偏差: %)
準備__割合 (%)	22	5 22.7%	17 77.3%	-	-	-	-	3.59	3.59
健康管理__割合 (%)	22	11 50.0%	6 27.3%	4 18.2%	1 4.5%	-	-	11.69	14.6
診療の補助__割合 (%)	22	12 54.5%	4 18.2%	5 22.7%	1 4.5%	-	-	9.98	14.04
移動の介助__割合 (%)	22	14 63.6%	8 36.4%	-	-	-	-	2.15	3.49
居室、リビング等での見守り__割合 (%)	22	12 54.5%	7 31.8%	3 13.6%	-	-	-	5.3	9.02
食事__割合 (%)	22	13 59.1%	7 31.8%	2 9.1%	-	-	-	5.62	8.89
排泄ケア__割合 (%)	22	14 63.6%	8 36.4%	-	-	-	-	1.92	2.76
入浴__割合 (%)	22	18 81.8%	4 18.2%	-	-	-	-	1.59	4.16
服薬__割合 (%)	22	6 27.3%	16 72.7%	-	-	-	-	5.98	4.81
口腔ケア__割合 (%)	22	19 86.4%	3 13.6%	-	-	-	-	0.29	0.85
集団レクリエーション__割合 (%)	22	16 72.7%	5 22.7%	1 4.5%	-	-	-	3.32	6.28
リハビリ(機能訓練)__割合 (%)	22	21 95.5%	1 4.5%	-	-	-	-	0.7	3.19
記録__割合 (%)	22	5 22.7%	11 50.0%	5 22.7%	1 4.5%	-	-	11.47	11.4
会議__割合 (%)	22	16 72.7%	5 22.7%	1 4.5%	-	-	-	2.82	6.82
調整__割合 (%)	22	14 63.6%	6 27.3%	2 9.1%	-	-	-	5.34	10.02
利用者、家族への対応__割合 (%)	22	19 86.4%	3 13.6%	-	-	-	-	0.32	0.92
緊急対応__割合 (%)	22	22 100.0%	-	-	-	-	-	0	0
その他__割合 (%)	22	1 4.5%	11 50.0%	7 31.8%	2 9.1%	-	1 4.5%	21.15	21.84
休憩__割合 (%)	22	12 54.5%	10 45.5%	-	-	-	-	3.52	4.84
認知症対応型共同生活介護以外の併設サービスにおける勤務__割合 (%)	22	19 86.4%	-	3 13.6%	-	-	-	3.24	8.32

図表 112 業務行為別、総業務時間数【認知症対応型共同生活介護】

	件数	0分	10分未満	20分未満	20分～40分未満	40分～60分未満	60分～120分未満	120分以上	（単位：分） 平均値	（単位：分） 標準偏差
準備	22	5 22.7%	13 59.1%	4 18.2%	—	—	—	—	9.55	7.82
健康管理	22	11 50.0%	3 13.6%	1 4.5%	2 9.1%	5 22.7%	—	—	24.77	30.91
診療の補助	22	12 54.5%	2 9.1%	1 4.5%	1 4.5%	3 13.6%	3 13.6%	—	33.86	51.96
移動の介助	22	14 63.6%	2 9.1%	5 22.7%	1 4.5%	—	—	—	9.77	15.7
居室、リビング等での見守り	22	12 54.5%	3 13.6%	3 13.6%	1 4.5%	1 4.5%	2 9.1%	—	24.77	46.53
食事	22	13 59.1%	1 4.5%	3 13.6%	3 13.6%	2 9.1%	—	—	18.41	29.79
排泄ケア	22	14 63.6%	2 9.1%	4 18.2%	2 9.1%	—	—	—	9.09	13.95
入浴	22	18 81.8%	2 9.1%	—	1 4.5%	1 4.5%	—	—	7.27	21.99
服薬	22	6 27.3%	7 31.8%	6 27.3%	3 13.6%	—	—	—	17.27	15.79
口腔ケア	22	19 86.4%	2 9.1%	1 4.5%	—	—	—	—	1.59	4.62
集団レクリエーション	22	16 72.7%	—	1 4.5%	2 9.1%	2 9.1%	1 4.5%	—	18.18	34.43
リハビリ（機能訓練）	22	21 95.5%	—	—	1 4.5%	—	—	—	2.5	11.46
記録	22	5 22.7%	3 13.6%	4 18.2%	7 31.8%	3 13.6%	—	—	31.82	30.32
会議	22	16 72.7%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	—	1 4.5%	—	14.09	36.36
調整	22	14 63.6%	—	5 22.7%	1 4.5%	—	2 9.1%	—	25.23	53.29
利用者、家族への対応	22	19 86.4%	2 9.1%	1 4.5%	—	—	—	—	1.36	4.31
緊急対応	22	22 100.0%	—	—	—	—	—	—	0	0
その他	22	1 4.5%	4 18.2%	4 18.2%	6 27.3%	4 18.2%	3 13.6%	—	56.14	50.32
休憩	22	12 54.5%	2 9.1%	4 18.2%	1 4.5%	3 13.6%	—	—	17.95	24.71
認知症対応型共同生活介護以外の併設サービスにおける勤務	22	19 86.4%	—	1 4.5%	—	1 4.5%	1 4.5%	—	13.41	38.77

【複合型サービス】

- ・ 一日の総業務時間に占める各業務行為時間の割合をみると、「訪問看護」が13.4%、「その他」が10.2%、「診療の補助」が9.9%であった。
- ・ 業務行為別の時間数でみると、「その他」の業務時間数が最も多く、平均で一日当たり 55.4 分であった。次いで「診療の補助」が 53.6 分/日、「訪問看護」が 75 分/日であった。

図表 113 業務行為別、総業務時間に占める割合【複合型サービス】

	件数	0 %	1 2 0 %未満	2 満 0 1 4 0 %未満	4 満 0 1 6 0 %未満	6 満 0 1 8 0 %未満	8 0 %以上	(単位: 平均: % 値)	(単位: 標準偏差: % 値)
準備__割合 (%)	40	17 42.5%	23 57.5%	-	-	-	-	1.96	2.35
健康管理__割合 (%)	40	3 7.5%	36 90.0%	1 2.5%	-	-	-	6.67	5.14
診療の補助__割合 (%)	40	4 10.0%	33 82.5%	3 7.5%	-	-	-	9.9	6.81
移動の介助__割合 (%)	40	16 40.0%	24 60.0%	-	-	-	-	2.25	2.49
居室、リビング等での見守り__割合 (%)	40	14 35.0%	26 65.0%	-	-	-	-	2.81	2.97
食事__割合 (%)	40	9 22.5%	30 75.0%	1 2.5%	-	-	-	5.89	4.85
排泄ケア__割合 (%)	40	5 12.5%	35 87.5%	-	-	-	-	6.2	4.97
入浴__割合 (%)	40	11 27.5%	29 72.5%	-	-	-	-	4.88	4.48
服薬__割合 (%)	40	1 2.5%	37 92.5%	2 5.0%	-	-	-	7.03	6.81
口腔ケア__割合 (%)	40	21 52.5%	19 47.5%	-	-	-	-	0.97	1.37
集団レクリエーション__割合 (%)	40	35 87.5%	5 12.5%	-	-	-	-	0.57	1.84
リハビリ(機能訓練)__割合 (%)	40	21 52.5%	19 47.5%	-	-	-	-	3.31	4.46
記録__割合 (%)	40	10 25.0%	30 75.0%	-	-	-	-	7.06	5.93
会議__割合 (%)	40	16 40.0%	22 55.0%	1 2.5%	1 2.5%	-	-	6.23	9.31
調整__割合 (%)	40	26 65.0%	14 35.0%	-	-	-	-	0.92	1.7
利用者、家族への対応__割合 (%)	40	30 75.0%	10 25.0%	-	-	-	-	0.37	0.75
緊急対応__割合 (%)	40	37 92.5%	3 7.5%	-	-	-	-	0.16	0.65
その他__割合 (%)	40	1 2.5%	36 90.0%	2 5.0%	1 2.5%	-	-	10.24	9.09
訪問看護__割合 (%)	40	16 40.0%	10 25.0%	13 32.5%	1 2.5%	-	-	13.36	13.85
休憩__割合 (%)	40	4 10.0%	36 90.0%	-	-	-	-	7.2	3.67
複合型サービス以外の併設サービスにおける勤務__割合 (%)	40	35 87.5%	4 10.0%	1 2.5%	-	-	-	2.02	5.84

図表 114 業務行為別、総業務時間数【複合型サービス】

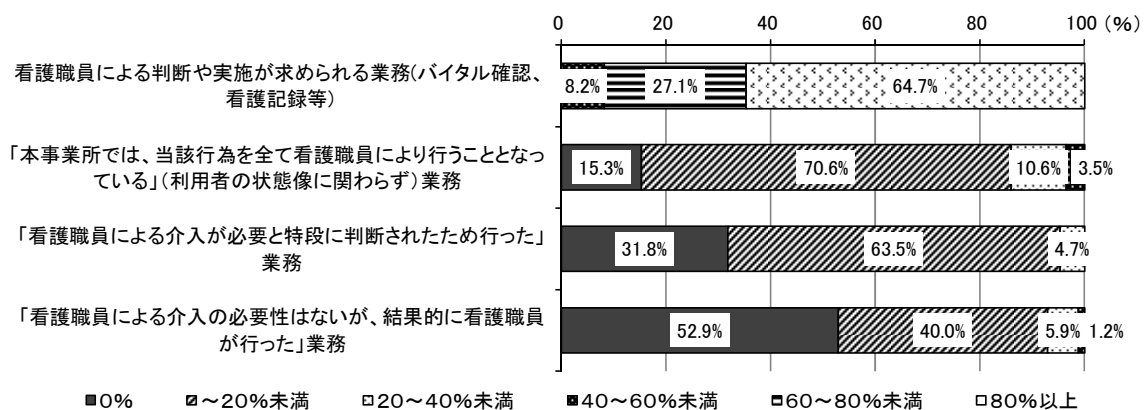
	件 数	0 分	1 0 分 未 満	2 満 0 分 未 満	2 満 0 分 未 満	6 未 満 0 分	1 2 0 分 以 上	平(単 位 均:分 値)	標(単 準 位 偏:分 差)
準備	40	17 42.5%	11 27.5%	10 25.0%	2 5.0%	-	-	11.38	13.92
健康管理	40	3 7.5%	10 25.0%	10 25.0%	8 20.0%	8 20.0%	1 2.5%	36.5	30.81
診療の補助	40	4 10.0%	2 5.0%	11 27.5%	5 12.5%	16 40.0%	2 5.0%	53.63	40.03
移動の介助	40	16 40.0%	13 32.5%	9 22.5%	2 5.0%	-	-	11.88	13.31
居室、リビング等での見守り	40	14 35.0%	10 25.0%	13 32.5%	3 7.5%	-	-	14.88	15.06
食事	40	9 22.5%	5 12.5%	8 20.0%	13 32.5%	4 10.0%	1 2.5%	31.25	28.63
排泄ケア	40	5 12.5%	8 20.0%	13 32.5%	7 17.5%	6 15.0%	1 2.5%	33.38	28.62
入浴	40	11 27.5%	7 17.5%	10 25.0%	9 22.5%	3 7.5%	-	25.38	23.14
服薬	40	1 2.5%	12 30.0%	12 30.0%	10 25.0%	3 7.5%	2 5.0%	37	37.43
口腔ケア	40	21 52.5%	16 40.0%	3 7.5%	-	-	-	5	6.89
集団レクリエーション	40	35 87.5%	2 5.0%	2 5.0%	1 2.5%	-	-	3	9.67
リハビリ(機能訓練)	40	21 52.5%	6 15.0%	3 7.5%	7 17.5%	3 7.5%	-	17.75	24.06
記録	40	10 25.0%	3 7.5%	8 20.0%	7 17.5%	12 30.0%	-	37.75	31.72
会議	40	16 40.0%	6 15.0%	6 15.0%	4 10.0%	6 15.0%	2 5.0%	33.38	47.06
調整	40	26 65.0%	9 22.5%	5 12.5%	-	-	-	5	9.15
利用者、家族への対応	40	30 75.0%	10 25.0%	-	-	-	-	1.88	3.66
緊急対応	40	37 92.5%	2 5.0%	1 2.5%	-	-	-	0.88	3.52
その他	40	1 2.5%	4 10.0%	11 27.5%	10 25.0%	10 25.0%	4 10.0%	55.38	49.08
訪問看護	40	16 40.0%	1 2.5%	1 2.5%	2 5.0%	8 20.0%	12 30.0%	75	86.81
休憩	40	4 10.0%	2 5.0%	10 25.0%	15 37.5%	9 22.5%	-	38.5	19.34
複合型サービス以外の併設 サービスにおける勤務	40	35 87.5%	-	-	-	4 10.0%	1 2.5%	13	35.33

3) 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（看護職が実施する必要性区分別）

【介護老人福祉施設】

- 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の81.9%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務は9.5%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は4.8%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は3.9%であった。
- 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均444.8分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務が平均51.2分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均25.5分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均20.8分/日であった。

図表 115 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合
【介護老人福祉施設】



	件数	0%	0%未満	2満0%未満	4満0%未満	6満0%未満	80%以上	平均値	標準偏差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	85	-	-	-	7	23	55	81.91	12.76
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	85	13	60	9	3	-	-	9.48	10.34
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	85	27	54	4	-	-	-	4.75	6.29
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	85	45	34	5	1	-	-	3.86	7.39

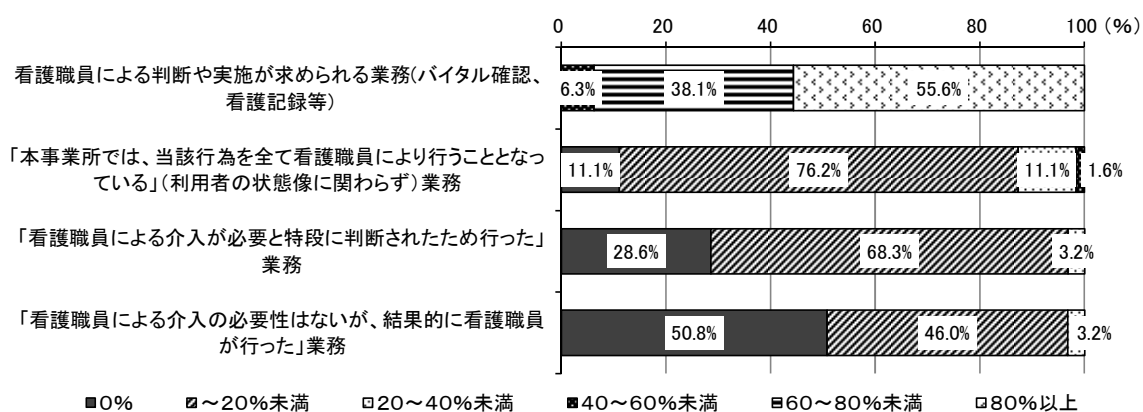
図表 116 看護職が実施する必要性区分別時間数【介護老人福祉施設】

	件 数	1 時 間 未 満	1 間 時 未 満 以 上 2 時	2 間 時 未 満 以 上 3 時	3 間 時 未 満 以 上 4 時	4 間 時 未 満 以 上 5 時	5 間 時 未 満 以 上 6 時	6 間 時 未 満 以 上 7 時	7 間 時 未 満 以 上 8 時	8 時 間 以 上	(単 位 均 ：) 値	(単 位 偏 ：) 差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	85	-	-	-	-	4 4.7%	10 11.8%	12 14.1%	27 31.8%	32 37.6%	444.82	78.79
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	85	57 67.1%	18 21.2%	6 7.1%	4 4.7%	-	-	-	-	-	51.18	55.49
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	85	73 85.9%	9 10.6%	3 3.5%	-	-	-	-	-	-	25.53	33.28
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	85	75 88.2%	4 4.7%	5 5.9%	1 1.2%	-	-	-	-	-	20.76	39.47

【特定施設入居者生活介護】

- 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の 80.0%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務は 10.7%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は 5.6%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 3.6%であった。
- 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均 434.3 分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務が平均 58.5 分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均 27.9 分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均 19.4 分/日であった。

図表 117 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合
【特定施設入居者生活介護】



	件数	0%	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上	平均(単位:%)	標準偏差(%)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	63	0	20	40	60	80		80	11.99
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	63	7	48	7	1			10.74	9.17
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	63	18	43	2				5.64	6.6
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	63	32	29	2				3.61	6.22

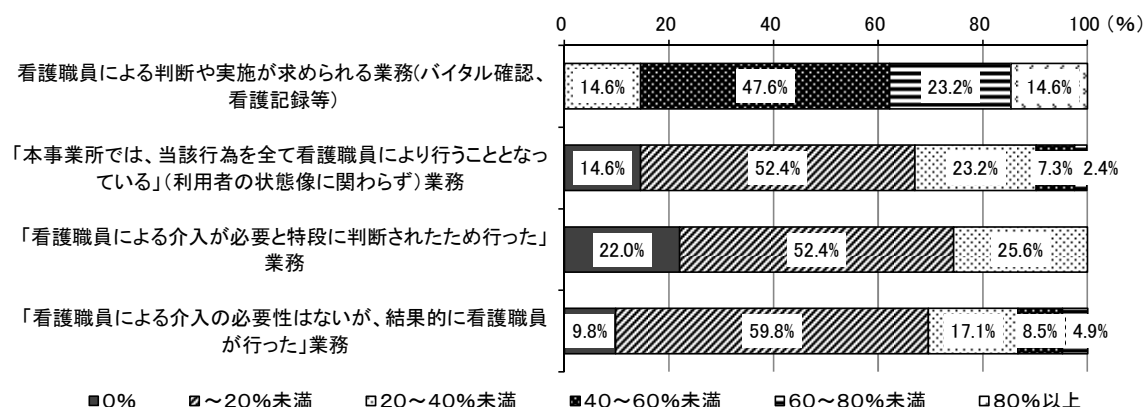
図表 118 看護職が実施する必要性区分別時間数【特定施設入居者生活介護】

	件数	1時間未満	1未満時間以上2時間	2未満時間以上3時間	3未満時間以上4時間	4未満時間以上5時間	5未満時間以上6時間	6未満時間以上7時間	7未満時間以上8時間	8時間以上	(単位：時間) 平均値	(単位：時間) 標準偏差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	63	1 1.6%	-	-	-	2 3.2%	8 12.7%	13 20.6%	17 27.0%	22 34.9%	434.29	95.2
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	63	37 58.7%	20 31.7%	4 6.3%	2 3.2%	-	-	-	-	-	58.49	48.95
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	63	53 84.1%	10 15.9%	-	-	-	-	-	-	-	27.94	30.1
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	63	56 88.9%	5 7.9%	1 1.6%	1 1.6%	-	-	-	-	-	19.44	33.5

【通所介護】

- 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の 57.4%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務は 15.8%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は 10.3%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 16.5%であった。勤務時間が 6 時間未満の看護職員と勤務時間 6 時間以上の看護職員を比較すると、後者の方が「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合が高かった。
- 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均 260.8 分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務が平均 74.3 分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均 46.5 分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均 79.2 分/日であった。

図表 119 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合【通所介護】



	件数	0%	0~20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上	平均(単位:%)	標準偏差(%)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	82	-	-	12	39	19	12	57.4	17.77
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	82	14.6%	52.4%	23.2%	7.3%	2.4%	-	15.82	15.31
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	82	22.0%	52.4%	25.6%	-	-	-	10.29	11.17
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	82	9.8%	59.8%	17.1%	8.5%	4.9%	-	16.48	18.03

図表 120 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合【通所介護】
(勤務時間 6 時間未満/6 時間以上別)

6時間未満	件数	0 %	1 2 0 % 未満	2 満 0 1 4 0 % 未	4 満 0 1 6 0 % 未	6 満 0 1 8 0 % 未	8 0 % 以上	(単位：%) 平均値	(単位：%) 標準偏差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	11	-	-	9.1%	54.5%	27.3%	9.1%	55.0	16.1
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	11	-	63.6%	18.2%	9.1%	9.1%	-	20.1	17.1
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	11	27.3%	27.3%	45.5%	-	-	-	15.2	11.6
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	11	9.1%	81.8%	9.1%	-	-	-	9.7	8.0

6時間以上	件数	0 %	1 2 0 % 未満	2 満 0 1 4 0 % 未	4 満 0 1 6 0 % 未	6 満 0 1 8 0 % 未	8 0 % 以上	(単位：%) 平均値	(単位：%) 標準偏差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	71	-	-	15.5%	46.5%	22.5%	15.5%	57.8	18.0
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	71	16.9%	50.7%	23.9%	7.0%	1.4%	-	15.2	14.9
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	71	21.1%	56.3%	22.5%	-	-	-	9.5	10.9
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	71	9.9%	56.3%	18.3%	9.9%	5.6%	-	17.5	18.9

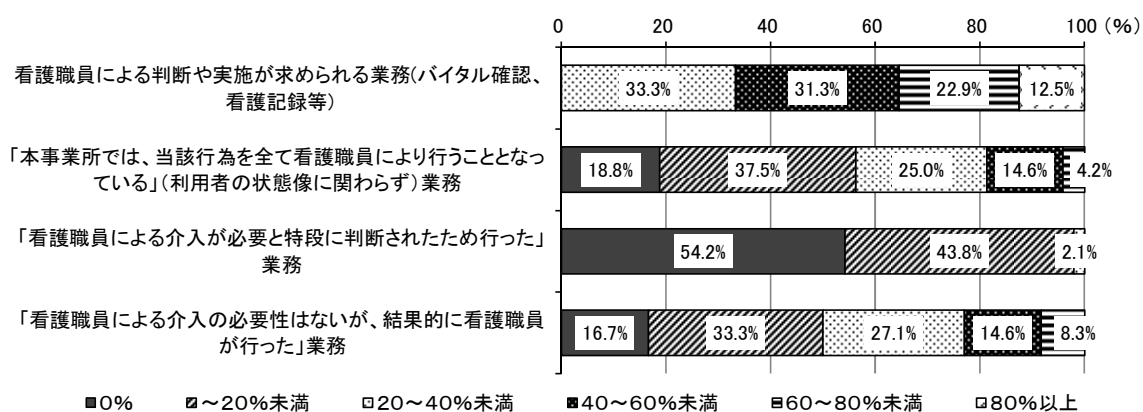
図表 121 看護職が実施する必要性区分別時間数【通所介護】

	件数	1 時間 未満	1 未 満 時間 以上 2 時間	2 未 満 時間 以上 3 時間	3 未 満 時間 以上 4 時間	4 未 満 時間 以上 5 時間	5 未 満 時間 以上 6 時間	6 未 満 時間 以上 7 時間	7 未 満 時間 以上 8 時間	8 時間 以上	(単位：時間) 平均値	(単位：時間) 標準偏差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	82	-	3 3.7%	14 17.1%	17 20.7%	20 24.4%	17 20.7%	8 9.8%	3 3.7%	-	260.79	83.62
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	82	49 59.8%	12 14.6%	12 14.6%	4 4.9%	4 4.9%	-	1 1.2%	-	-	74.27	76.38
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	82	53 64.6%	19 23.2%	9 11.0%	1 1.2%	-	-	-	-	-	46.52	51.42
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	82	52 63.4%	8 9.8%	9 11.0%	5 6.1%	5 6.1%	2 2.4%	1 1.2%	-	-	79.15	91.85

【認知症対応型通所介護】

- 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の 52.8%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務は 20.5%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は 16.5%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 23.3%であった。
- 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均 287.9 分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務が平均 95.4 分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均 16.5 分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均 116.7 分/日であった。

図表 122 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合
【認知症対応型通所介護】



	件数	0%	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上	平均(単位:%)	標準偏差(%)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	48	-	-	16 (33.3%)	15 (31.3%)	11 (22.9%)	6 (12.5%)	52.78	21.7
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	48	9 (18.8%)	18 (37.5%)	12 (25.0%)	7 (14.6%)	2 (4.2%)	-	20.54	18.98
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	48	26 (54.2%)	21 (43.8%)	1 (2.1%)	-	-	-	3.17	6.33
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	48	8 (16.7%)	16 (33.3%)	13 (27.1%)	7 (14.6%)	4 (8.3%)	-	23.52	20.41

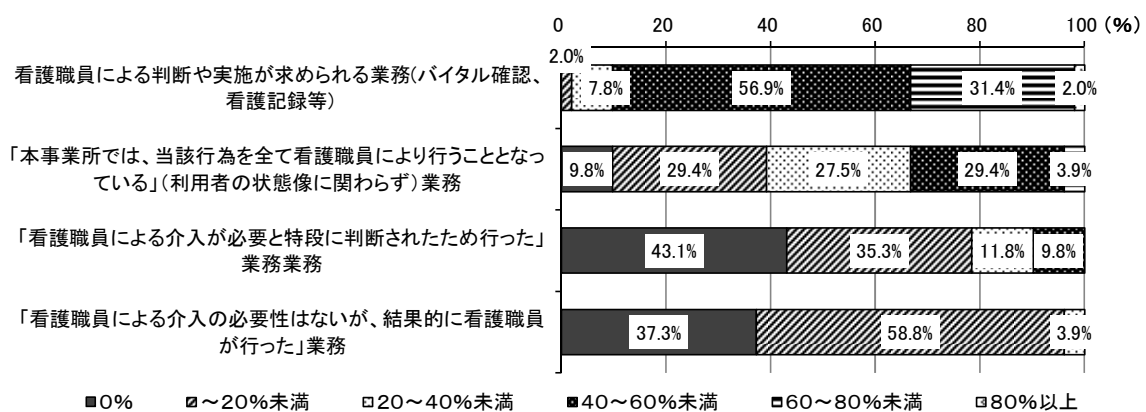
図表 123 看護職が実施する必要性区別時間数【認知症対応型通所介護】

	件数	1時間未満	1未満時間以上2時間	2未満時間以上3時間	3未満時間以上4時間	4未満時間以上5時間	5未満時間以上6時間	6未満時間以上7時間	7未満時間以上8時間	8時間以上	(単位：時間) 平均値	(単位：時間) 標準偏差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	48	2 4.2%	1 2.1%	12 25.0%	9 18.8%	7 14.6%	6 12.5%	3 6.3%	-	8 16.7%	287.92	176.75
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	48	19 39.6%	11 22.9%	7 14.6%	8 16.7%	3 6.3%	-	-	-	-	95.42	84.06
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	48	44 91.7%	3 6.3%	1 2.1%	-	-	-	-	-	-	16.46	29.72
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	48	18 37.5%	10 20.8%	6 12.5%	8 16.7%	3 6.3%	2 4.2%	1 2.1%	-	-	116.67	101.17

【訪問入浴介護】

- 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の 55.1%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務は 29.6%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は 10.6%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 4.7%であった。
- 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均 271.2 分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務が平均 158.9 分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均 53.0 分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均 24.6 分/日であった。

図表 124 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合【訪問入浴介護】



	件数	0%	0%未満	2満0%未満	4満0%未満	6満0%未満	8満0%以上	平均(単位:%)	標準偏差(単位:%)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	51	-	1	4	29	16	1	55.1	12.11
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	51	9.8	15	14	15	2	-	29.61	19.34
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務業務	51	22	18	6	5	-	-	10.59	15.56
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	51	19	30	2	-	-	-	4.71	6.69

図表 125 看護職が実施する必要性区分別時間数【訪問入浴介護】

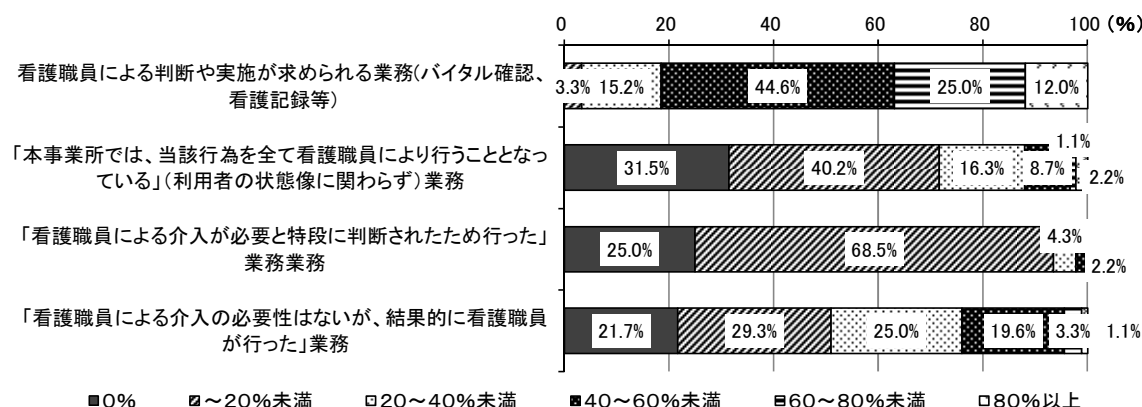
	件 数	1 時 間 未 満	1 未 時 満 以 上 2 時 間	2 未 時 満 以 上 3 時 間	3 未 時 満 以 上 4 時 間	4 未 時 満 以 上 5 時 間	5 未 時 満 以 上 6 時 間	6 未 時 満 以 上 7 時 間	7 未 時 満 以 上 8 時 間	8 時 間 以 上	(単 位 均 ： 時 間)	(単 位 偏 ： 時 間)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	51	-	1 2.0%	5 9.8%	6 11.8%	21 41.2%	16 31.4%	2 3.9%	-	-	271.18	64.7
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	51	13 25.5%	9 17.6%	5 9.8%	16 31.4%	3 5.9%	1 2.0%	2 3.9%	1 2.0%	1 2.0%	158.92	135.71
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務業務	51	35 68.6%	6 11.8%	4 7.8%	2 3.9%	4 7.8%	-	-	-	-	53.04	81.42
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	51	43 84.3%	6 11.8%	2 3.9%	-	-	-	-	-	-	24.61	37.06

【小規模多機能型居宅介護】

- 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の 54.9%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務は 14.8%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は 7.2%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 23.2%であった。勤務時間が 6 時間未満の看護職員と勤務時間 6 時間以上の看護職員を比較すると、後者の方が「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」の割合が低く、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務の割合が高かった。
- 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均 228.9 分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務が平均 66.3 分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均 30.8 分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均 97.5 分/日であった。

図表 126 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合

【小規模多機能型居宅介護】



	件数	0%	5%未満	2満0%未満	4満0%未満	6満0%未満	80%以上	平均(単位:%)	標準偏差(%)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	92	-	3	14	41	23	11	54.88	19.84
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	92	29	37	15	8	1	2	14.76	20.15
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務業務	92	23	63	4	2	-	-	7.17	9.2
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	92	20	27	23	18	3	1	23.2	20.81

図表 127 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合【通所介護】
(勤務時間 6 時間未満/6 時間以上別)

	件数	0 %	1 2 0 % 未満	2 満 0 1 4 0 % 未満	4 満 0 1 6 0 % 未満	6 満 0 1 8 0 % 未満	8 0 % 以上	平(単位均：%) 値)	標(単位準偏：差%))
6時間未満									
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	28	-	-	7.1%	42.9%	42.9%	7.1%	59.8	14.0
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	28	42.9%	32.1%	21.4%	3.6%	-	-	10.2	13.2
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	28	32.1%	64.3%	3.6%	-	-	-	5.6	7.4
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	28	25.0%	17.9%	32.1%	25.0%	-	-	24.4	19.9

	件数	0 %	1 2 0 % 未満	2 満 0 1 4 0 % 未満	4 満 0 1 6 0 % 未満	6 満 0 1 8 0 % 未満	8 0 % 以上	平(単位均：%) 値)	標(単位準偏：差%))
6時間以上									
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	64	-	4.7%	18.8%	45.3%	17.2%	14.1%	52.7	21.6
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	64	26.6%	43.8%	14.1%	10.9%	1.6%	3.1%	16.8	22.2
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	64	21.9%	70.3%	4.7%	3.1%	-	-	7.8	9.8
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	64	20.3%	34.4%	21.9%	17.2%	4.7%	1.6%	22.7	21.2

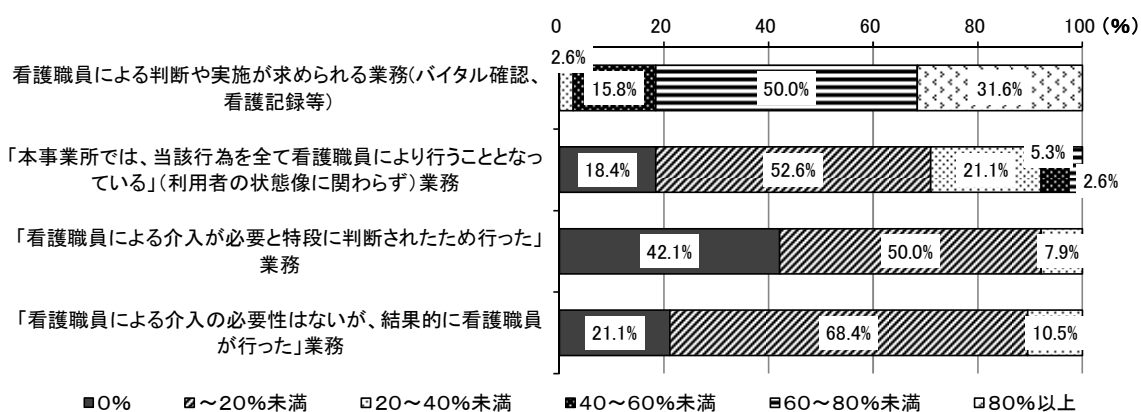
図表 128 看護職が実施する必要性区分別時間数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	1 時間 未満	1 未 満 2 時間 以上 2 時間 未満	2 未 満 3 時間 以上 3 時間 未満	3 未 満 4 時間 以上 4 時間 未満	4 未 満 5 時間 以上 5 時間 未満	5 未 満 6 時間 以上 6 時間 未満	6 未 満 7 時間 以上 7 時間 未満	7 未 満 8 時間 以上 8 時間 未満	8 時間 以上	平(単位均：時間) 値)	標(単位準偏：差時間))
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	92	2.2%	16.3%	18.5%	21.7%	17.4%	14.1%	4.3%	2.2%	3.3%	228.91	116.58
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	92	67.4%	12.0%	7.6%	4.3%	4.3%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	66.25	101.29
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務業務	92	83.7%	12.0%	2.2%	2.2%	-	-	-	-	-	30.76	42.3
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	92	46.7%	20.7%	10.9%	9.8%	7.6%	2.2%	-	2.2%	-	97.45	100.97

【短期入所生活介護（単独型）】

- 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の 73.0%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている（利用者の状態像に関わらず）」業務は 13.8%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は 5.4%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 7.8%であった。
- 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均 412.5 分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている（利用者の状態像に関わらず）」業務が平均 74.2 分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均 30.5 分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均 44.3 分/日であった。

図表 129 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合
【短期入所生活介護（単独型）】



	件数	0 %	20 %未満	2 満0 %未満	4 満0 %未満	6 満0 %未満	8 0 %以上	平(単位均：%値)	標(単位偏：差%)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	38	-	-	12.6%	15.8%	50.0%	21.6%	72.97	15.41
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	38	718.4%	52.6%	21.1%	5.3%	2.6%	-	13.78	15.63
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	38	1642.1%	50.0%	7.9%	-	-	-	5.42	7.23
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	38	821.1%	68.4%	10.5%	-	-	-	7.83	9.29

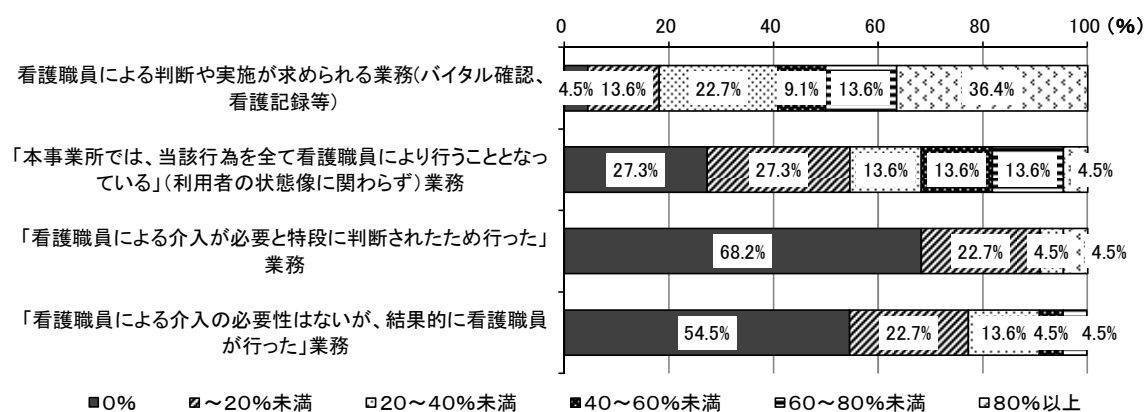
図表 130 看護職が実施する必要性区分別時間数【短期入所生活介護（単独型）】

	件 数	1 時 間 未 満	1 未 時 満 以 上 2 時 間	2 未 時 満 以 上 3 時 間	3 未 時 満 以 上 4 時 間	4 未 時 満 以 上 5 時 間	5 未 時 満 以 上 6 時 間	6 未 時 満 以 上 7 時 間	7 未 時 満 以 上 8 時 間	8 時 間 以 上	平(単 均 位 ： 時 値 間)	(単 位 ： 時 間 差)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	38	-	-	1 2.6%	1 2.6%	2 5.3%	10 26.3%	9 23.7%	7 18.4%	8 21.1%	412.5	123.39
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	38	22 57.9%	6 15.8%	6 15.8%	2 5.3%	1 2.6%	-	1 2.6%	-	-	74.21	83.48
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	38	29 76.3%	8 21.1%	1 2.6%	-	-	-	-	-	-	30.53	39.93
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	38	29 76.3%	6 15.8%	1 2.6%	2 5.3%	-	-	-	-	-	44.34	53.26

【認知症対応型共同生活介護】

- ・ 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の 56.5%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務は 24.7%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は 6.9%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 11.9%であった。
- ・ 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均 180.0 分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務が平均 86.6 分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均 11.6 分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均 58.9 分/日であった。

図表 131 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合
【認知症対応型共同生活介護】



	件数	0 %	20 %未満	20 ~ 40 %未満	40 ~ 60 %未満	60 ~ 80 %未満	80 %以上	平均(単位: %)	標準偏差(単位: %)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	22	4.5%	13.6%	22.7%	9.1%	13.6%	36.4%	56.49	32.45
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	22	27.3%	27.3%	13.6%	13.6%	13.6%	4.5%	24.68	26.14
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	22	68.2%	22.7%	4.5%	-	-	4.5%	6.92	20.99
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	22	54.5%	22.7%	13.6%	4.5%	4.5%	-	11.92	19.82

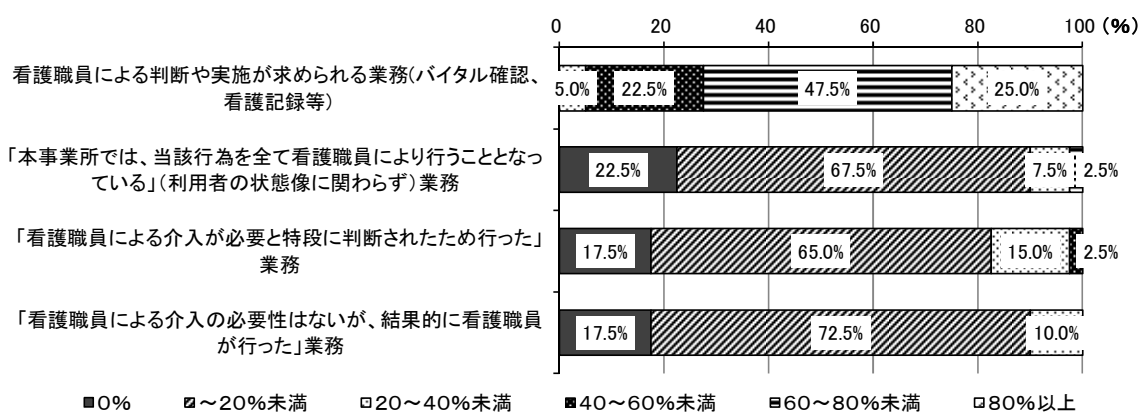
図表 132 看護職が実施する必要性区別時間数【認知症対応型共同生活介護】

	件数	1時間未満	1未満時間以上2時間	2未満時間以上3時間	3未満時間以上4時間	4未満時間以上5時間	5未満時間以上6時間	6未満時間以上7時間	7未満時間以上8時間	8時間以上	(単位：時間) 平均値	(単位：時間) 標準偏差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	22	2 9.1%	7 31.8%	7 31.8%	-	2 9.1%	-	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	180	141.58
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	22	14 63.6%	1 4.5%	3 13.6%	2 9.1%	-	1 4.5%	-	1 4.5%	-	86.59	113.75
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	22	20 90.9%	2 9.1%	-	-	-	-	-	-	-	11.59	22.43
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	22	17 77.3%	-	2 9.1%	1 4.5%	-	1 4.5%	1 4.5%	-	-	58.86	110.43

【複合型サービス】

- 一日の総業務時間数に占める割合をみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」は平均で業務時間の 69.0%を占めていた。その他、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務は 10.1%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務は 10.7%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 10.1%であった。
- 看護職が実施する必要性区分別の業務時間数は、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が平均 379.9 分/日、「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている(利用者の状態像に関わらず)」業務が平均 55.3 分/日、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が平均 54.6 分/日、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が平均 52.0 分/日であった。

図表 133 総時間数に占める看護職が実施する必要性区分別時間数の割合
【複合型サービス】



	件数	0%	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上	平均(単位:%)	標準偏差(%)
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	40	-	-	5.0%	22.5%	47.5%	25.0%	68.97	15.97
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	40	9	27	3	-	1	-	10.12	12.38
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	40	7	26	6	1	-	-	10.73	10.86
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	40	7	29	4	-	-	-	10.17	8.58

図表 134 看護職が実施する必要性区分別時間数【複合型サービス】

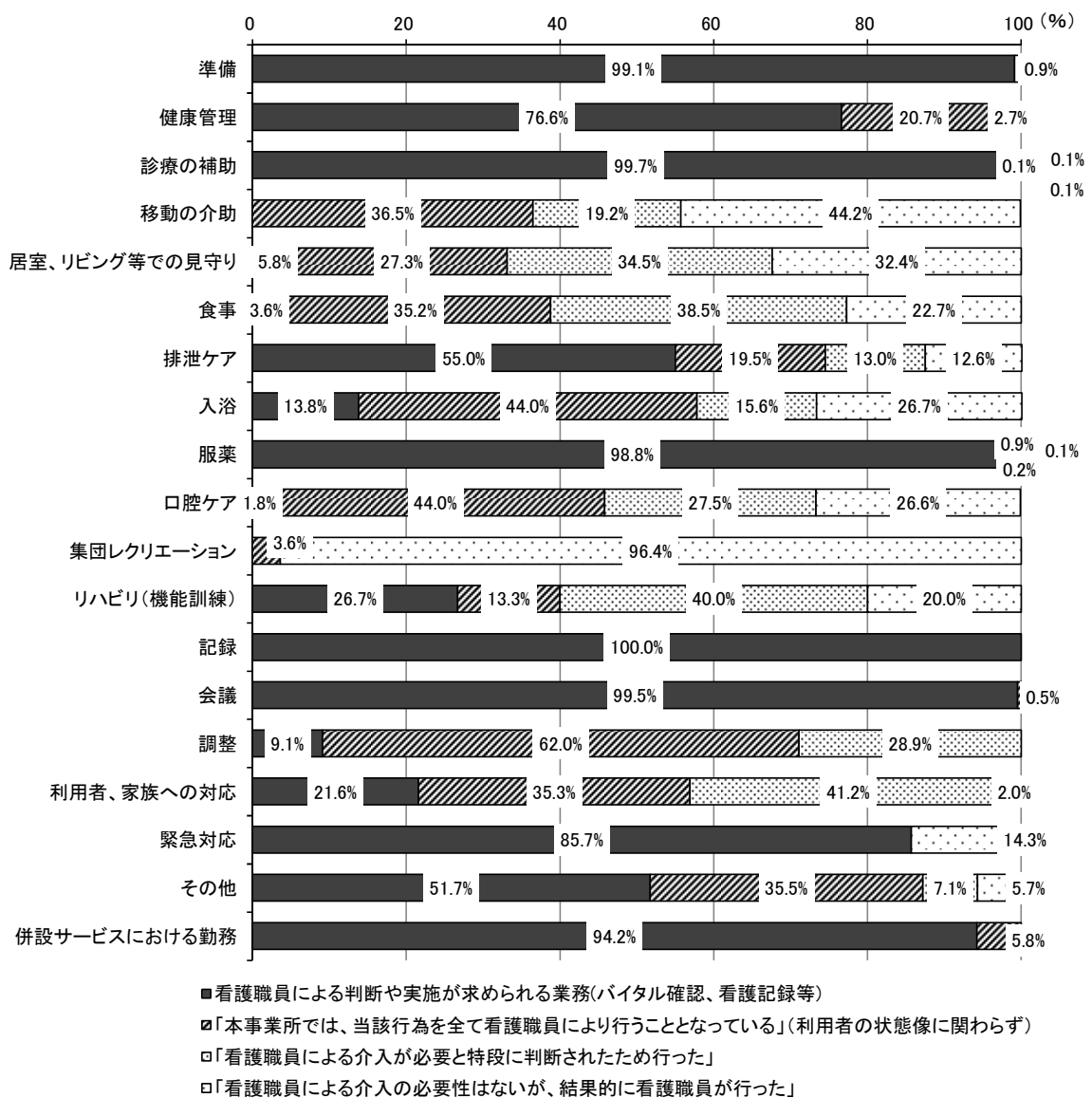
	件数	1時間未満	1未満時間以上2時間	2未満時間以上3時間	3未満時間以上4時間	4未満時間以上5時間	5未満時間以上6時間	6未満時間以上7時間	7未満時間以上8時間	8時間以上	(単位：時間) 平均値	(単位：時間) 標準偏差
看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)	40	-	-	-	4 10.0%	8 20.0%	11 27.5%	8 20.0%	3 7.5%	6 15.0%	379.88	145.95
「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務	40	26 65.0%	9 22.5%	3 7.5%	1 2.5%	-	1 2.5%	-	-	-	55.25	66.63
「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務	40	26 65.0%	10 25.0%	2 5.0%	1 2.5%	1 2.5%	-	-	-	-	54.63	55.51
「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務	40	26 65.0%	10 25.0%	4 10.0%	-	-	-	-	-	-	52	44.27

4) 看護職員が実施した業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）

【介護老人福祉施設】

- ・ 介護老人福祉施設における全 85 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果をみると、「食事」では「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 35.2%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 38.5%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 22.7%を占めていた。
- ・ 「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 19.5%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 13.0%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 12.6%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 44.0%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 15.6%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 26.7%を占めていた。
- ・ 「移動の介助」「居室、リビング等での見守り」「口腔ケア」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は「移動の介助」でそれぞれ 36.5%、19.2%、44.2%、「居室、リビング等での見守り」で 27.3%、34.5%、32.4%、「口腔ケア」で 44.0%、27.5%、26.6%であった。
- ・ 「集団レクリエーション」では「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合が高く、96.4%であった。
- ・ 「調整」及び「利用者、家族への対応」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は「調整」でそれぞれ 62.0%、28.9%、0.0%、「利用者、家族への対応」で 35.3%、41.2%、2.0%であった。

図表 135 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）
【介護老人福祉施設】



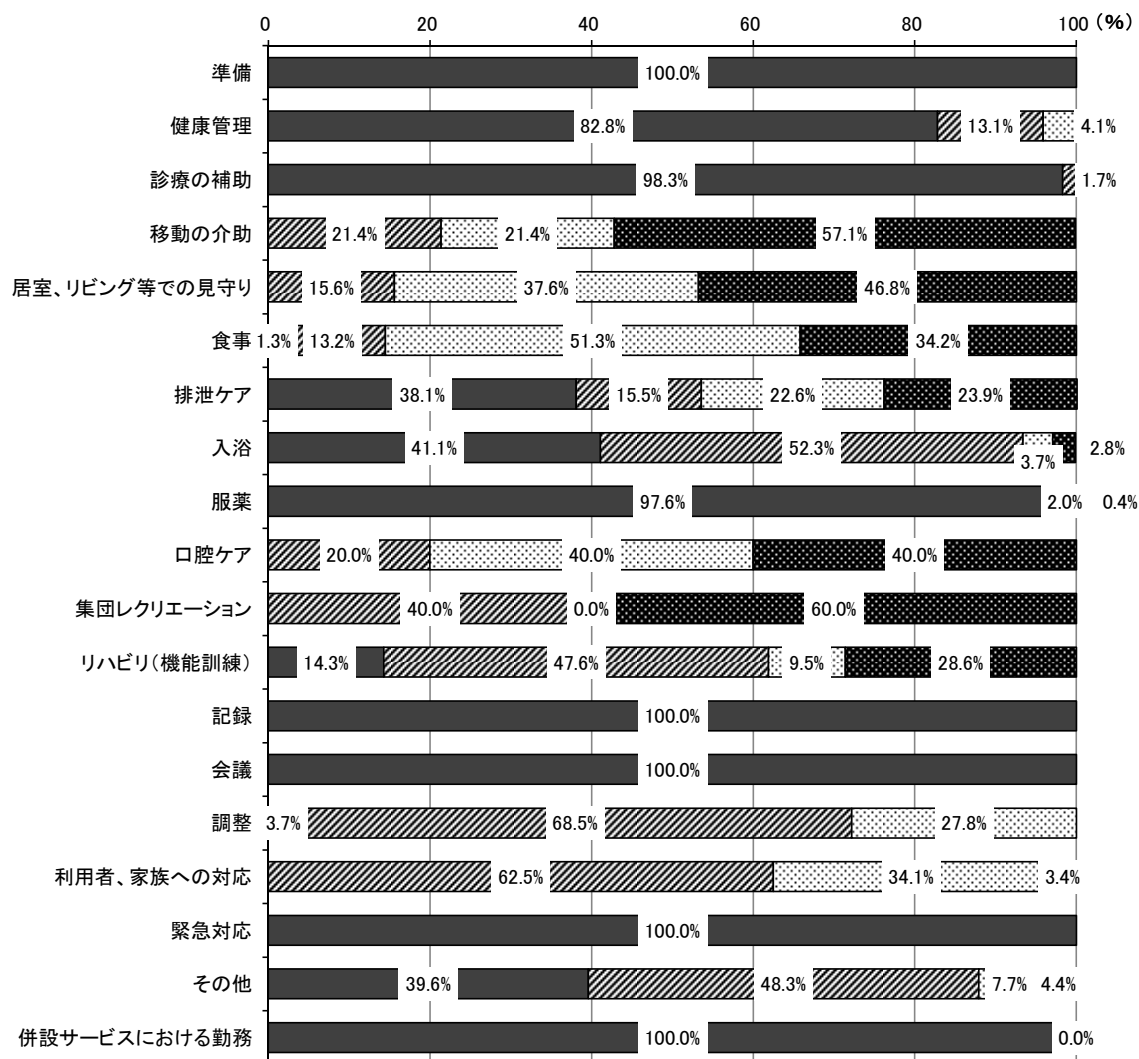
	(単位：分) 実数合計	求めらる業務 確認、看護記録等 （看護職員による判断や実施が	関係する利用者 の状況像に て看護職員により行うこととな る業務所では、当該行為を全	特段に判断されたため行った 看護職員による介入が必要と	は行なった 看護職員が、結果的に看護 必要職員が
準備	1705	1690 99.1%	0 0.0%	0 0.0%	15 0.9%
健康管理	2075	1590 76.6%	430 20.7%	55 2.7%	0 0.0%
診療の補助	8495	8470 99.7%	10 0.1%	10 0.1%	5 0.1%
移動の介助	260	0 0.0%	95 36.5%	50 19.2%	115 44.2%
居室、リビング等での見守り	695	40 5.8%	190 27.3%	240 34.5%	225 32.4%
食事	1920	70 3.6%	675 35.2%	740 38.5%	435 22.7%
排泄ケア	1155	635 55.0%	225 19.5%	150 13.0%	145 12.6%
入浴	1125	155 13.8%	495 44.0%	175 15.6%	300 26.7%
服薬	9240	9130 98.8%	85 0.9%	20 0.2%	5 0.1%
口腔ケア	545	10 1.8%	240 44.0%	150 27.5%	145 26.6%
集団レクリエーション	140	0 0.0%	5 3.6%	0 0.0%	135 96.4%
リハビリ(機能訓練)	75	20 26.7%	10 13.3%	30 40.0%	15 20.0%
記録	5315	5315 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
会議	3135	3120 99.5%	15 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
調整	605	55 9.1%	375 62.0%	175 28.9%	0 0.0%
利用者、家族への対応	255	55 21.6%	90 35.3%	105 41.2%	5 2.0%
緊急対応	35	30 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 14.3%
その他	3790	1960 51.7%	1345 35.5%	270 7.1%	215 5.7%
休憩	4585	4575 99.8%	10 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
介護老人福祉施設以外の併設サービスにおける勤務	945	890 94.2%	55 5.8%	0 0.0%	0 0.0%

【特定施設入居者生活介護】

- ・ 特定施設入居者生活介護における全 63 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別集計した結果をみると、「食事」では「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 13.2%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 51.3%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 34.2%を占めていた。
- ・ 「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 15.5%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 22.6%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 23.9%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 52.3%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 3.7%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 2.8%を占めていた。
- ・ 「移動の介助」「居室、リビング等での見守り」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は「移動の介助」でそれぞれ 21.4%、21.4%、57.1%、「居室、リビング等での見守り」で 15.6%、37.6%、46.8%であった。
- ・ 「調整」及び「利用者、家族への対応」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は「調整」でそれぞれ 68.5%、27.8%、0.0%、「利用者、家族への対応」で 62.5%、34.1%、3.4%であった。

図表 136 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）

【特定施設入居者生活介護】



■看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)

▨「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)

□「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」

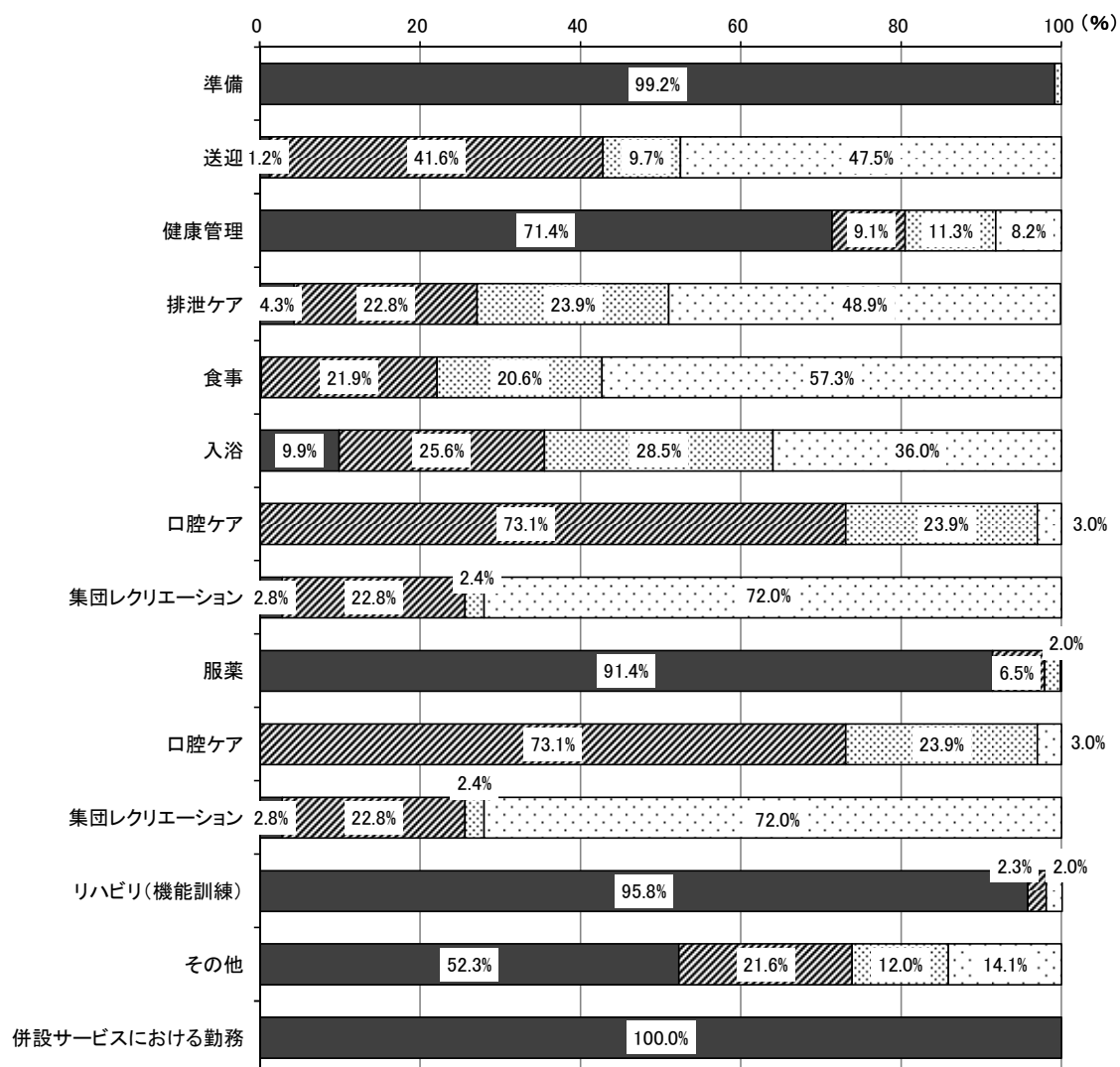
■「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」

	(単位：分) 実数合計	（求められる業務 確認、看護記録等） 看護職員による判断や実施が	（関わらず） 「利用者の状態像に て看護職員により行うこととな る」 本事業所では、当該行為を全	特 段に判断されたため行った」 看護職員による介入が必要と	は行った」 看護職員による結果的に看護 職員が、結果的に看護職員が
準備	1420	1420 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	2210	1830 82.8%	290 13.1%	90 4.1%	0 0.0%
診療の補助	5895	5795 98.3%	100 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
移動の介助	210	0 0.0%	45 21.4%	45 21.4%	120 57.1%
居室、リビング等での見守り	545	0 0.0%	85 15.6%	205 37.6%	255 46.8%
食事	1140	15 1.3%	150 13.2%	585 51.3%	390 34.2%
排泄ケア	775	295 38.1%	120 15.5%	175 22.6%	185 23.9%
入浴	535	220 41.1%	280 52.3%	20 3.7%	15 2.8%
服薬	7825	7635 97.6%	160 2.0%	30 0.4%	0 0.0%
口腔ケア	75	0 0.0%	15 20.0%	30 40.0%	30 40.0%
集団レクリエーション	50	0 0.0%	20 40.0%	0 0.0%	30 60.0%
リハビリ(機能訓練)	105	15 14.3%	50 47.6%	10 9.5%	30 28.6%
記録	4180	4180 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
会議	1045	1045 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
調整	540	20 3.7%	370 68.5%	150 27.8%	0 0.0%
利用者、家族への対応	440	0 0.0%	275 62.5%	150 34.1%	15 3.4%
緊急対応	115	115 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3500	1385 39.6%	1690 48.3%	270 7.7%	155 4.4%
休憩	3335	3300 99.0%	35 1.0%	0 0.0%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護以外の併設 サービスにおける勤務	90	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【通所介護】

- ・ 通所介護における全 82 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区別集計した結果をみると、「食事」では「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 21.9%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 20.6%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 57.3%を占めていた。
- ・ 「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 22.8%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 23.9%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 48.9%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 25.6%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 28.5%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 36.0%を占めていた。
- ・ 「送迎」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 41.6%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 9.7%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 47.5%を占めていた。
- ・ 「集団レクリエーション」では「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合が高く、72.0%であった。

図表 137 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）
【通所介護】



- 看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)
- ▨「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務
- ▤「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」
- 「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」

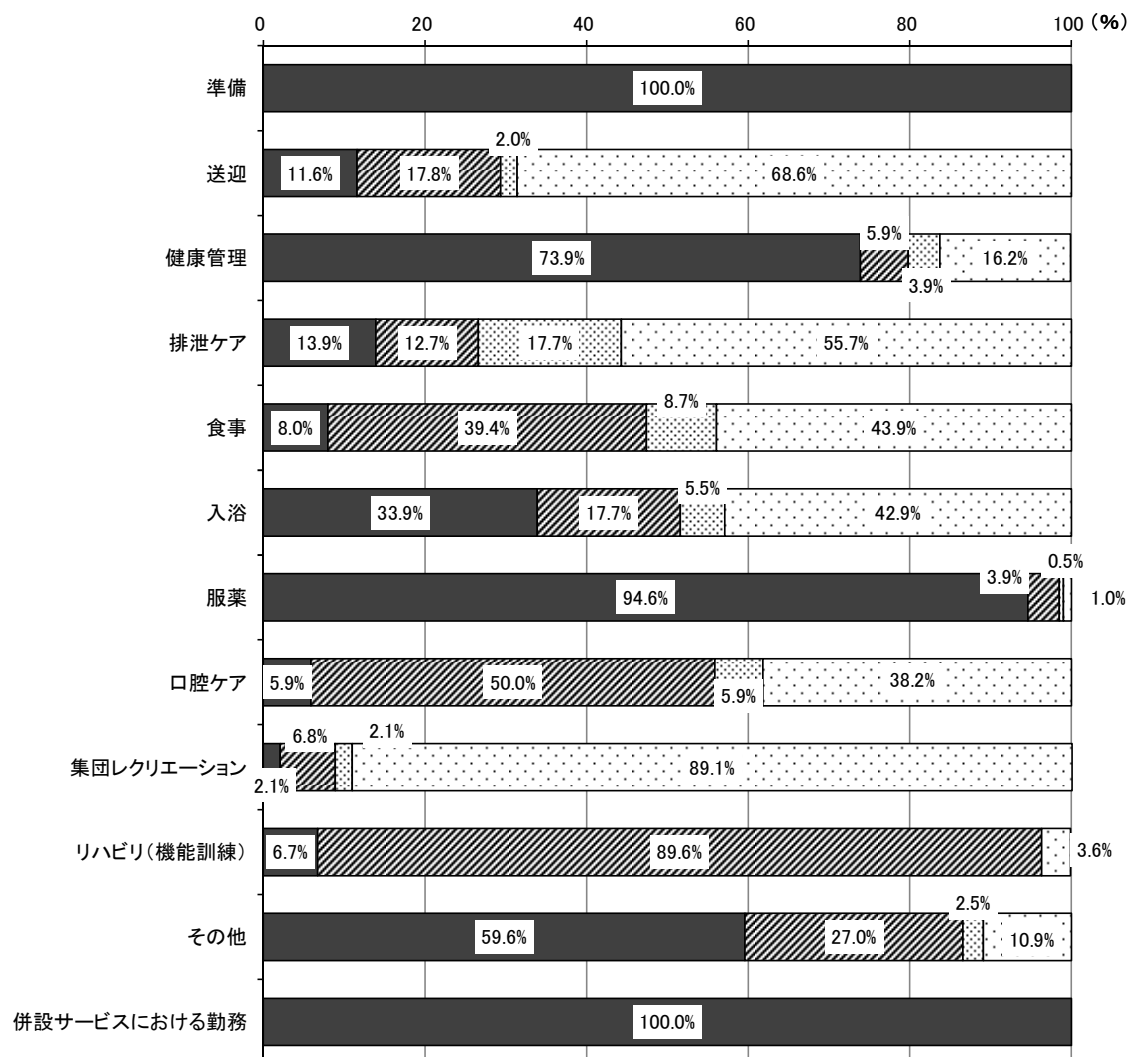
	(単位：分) 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	（関係する） 開いて利用者の状態像に て看護職員により行うこととな 本事業所では、当該行為を全	特 段に判断されたため行った 看護職員による介入が必要と	は行 った 看護職員による介入の看護職員性が
準備	615	610 99.2%	0 0.0%	5 0.8%	0 0.0%
送迎	1695	20 1.2%	705 41.6%	165 9.7%	805 47.5%
健康管理	5200	3715 71.4%	475 9.1%	585 11.3%	425 8.2%
診療の補助	520	490 94.2%	15 2.9%	15 2.9%	0 0.0%
排泄ケア	920	40 4.3%	210 22.8%	220 23.9%	450 48.9%
食事	2165	5 0.2%	475 21.9%	445 20.6%	1240 57.3%
入浴	2265	225 9.9%	580 25.6%	645 28.5%	815 36.0%
服薬	4180	3820 91.4%	270 6.5%	85 2.0%	5 0.1%
口腔ケア	335	0 0.0%	245 73.1%	80 23.9%	10 3.0%
集団レクリエーション	1230	35 2.8%	280 22.8%	30 2.4%	885 72.0%
リハビリ(機能訓練)	2000	1915 95.8%	45 2.3%	0 0.0%	40 2.0%
その他	12770	6685 52.3%	2760 21.6%	1530 12.0%	1795 14.1%
休憩	3780	3720 98.4%	30 0.8%	10 0.3%	20 0.5%
通所介護以外の併設サービスにおける勤務	105	105 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【認知症対応型通所介護】

- ・ 認知症対応型通所介護における全 48 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果をみると、「食事」では「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 39.4%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 8.7%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 43.9%を占めていた。
- ・ 「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 12.7%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 17.7%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 55.7%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 17.7%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 5.5%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 42.9%を占めていた。
- ・ 「送迎」「集団レクリエーション」では「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合が高く、それぞれ 68.6%、72.0%であった。

図表 138 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）

【認知症対応型通所介護】



■看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)

▣「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)

□「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」

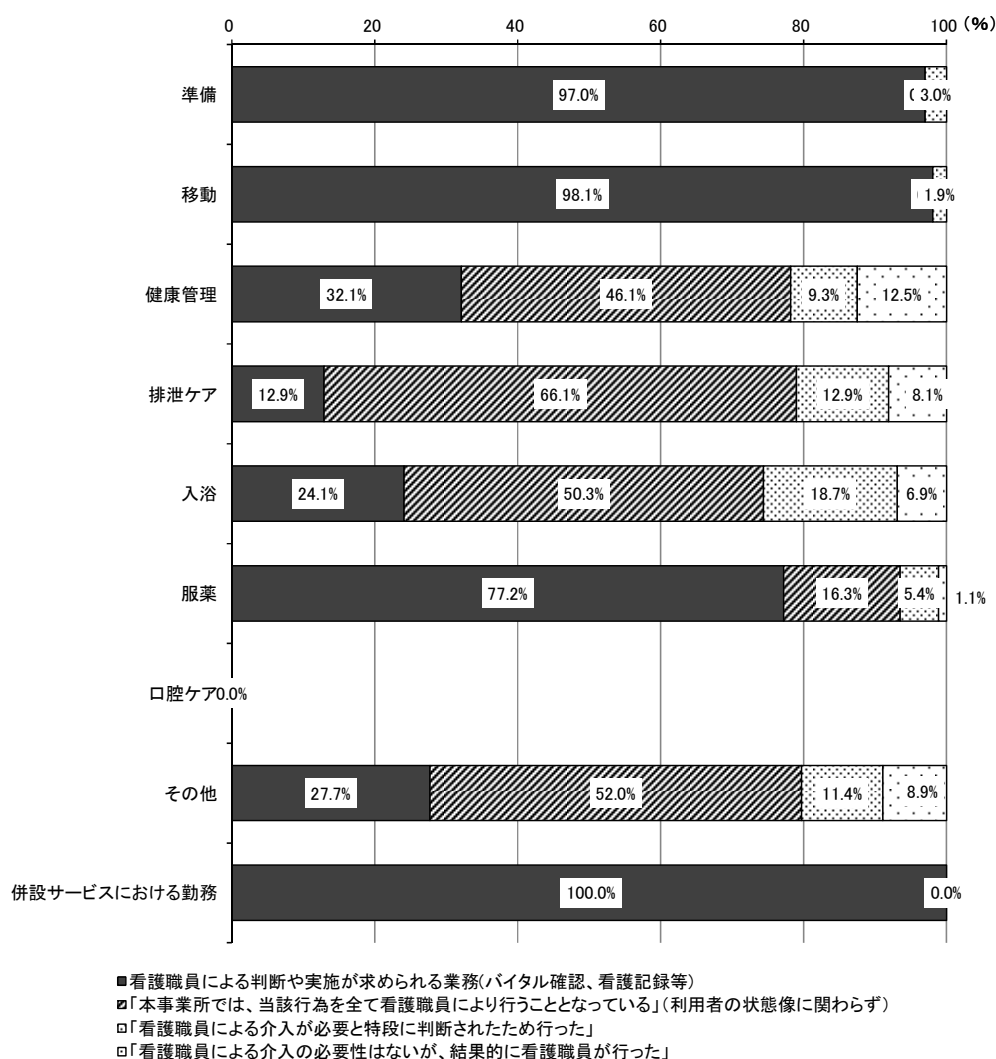
□「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」

	(単位：分) 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	（開いて） 関係する 看護職員により行うこととな	特 看護に判断されたため行った 看護職員による介入が必要と	は行 ないが、結果的に看護職員性が
準備	675	675 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
送迎	1515	175 11.6%	270 17.8%	30 2.0%	1040 68.6%
健康管理	2185	1615 73.9%	130 5.9%	85 3.9%	355 16.2%
排泄ケア	790	110 13.9%	100 12.7%	140 17.7%	440 55.7%
食事	2425	195 8.0%	955 39.4%	210 8.7%	1065 43.9%
入浴	2540	860 33.9%	450 17.7%	140 5.5%	1090 42.9%
服薬	2030	1920 94.6%	80 3.9%	10 0.5%	20 1.0%
口腔ケア	170	10 5.9%	85 50.0%	10 5.9%	65 38.2%
集団レクリエーション	960	20 2.1%	65 6.8%	20 2.1%	855 89.1%
リハビリ(機能訓練)	965	65 6.7%	865 89.6%	0 0.0%	35 3.6%
その他	5845	3485 59.6%	1580 27.0%	145 2.5%	635 10.9%
休憩	1965	1965 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
認知症対応型通所介護以外の併設 サービスにおける勤務	2725	2725 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【訪問入浴介護】

- ・ 訪問入浴介護における全 51 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区別に集計した結果をみると、「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 66.1%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 12.9%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 8.1%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 50.3%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 18.7%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 6.9%を占めていた。
- ・ 「健康管理」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 46.1%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 9.3%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 12.5%を占めていた。

図表 139 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）
【訪問入浴介護】

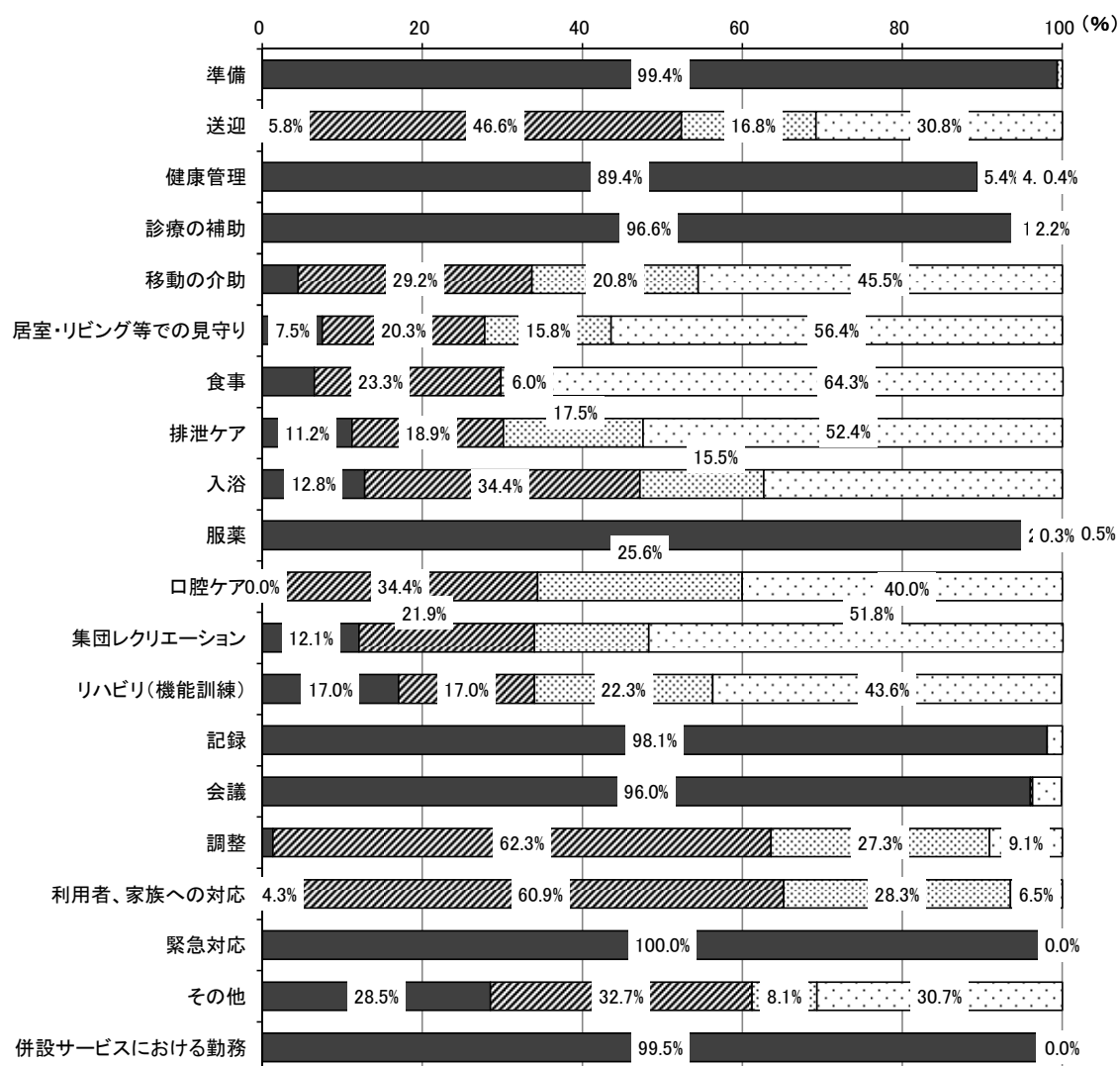


	(単位：分) 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	（開わらず） 関係する利用者 の状況像に て看護職員により 行うこととな 本事業所では、当該行為を全	特 看護職員に 断されたため 行った」	は行 った」 看護職員に よる結果 的に看護 職員が
準備	1170	1135 97.0%	0 0.0%	35 3.0%	0 0.0%
移動	5925	5815 98.1%	0 0.0%	110 1.9%	0 0.0%
健康管理	1400	450 32.1%	645 46.1%	130 9.3%	175 12.5%
排泄ケア	310	40 12.9%	205 66.1%	40 12.9%	25 8.1%
入浴	10215	2465 24.1%	5135 50.3%	1915 18.7%	700 6.9%
服薬	460	355 77.2%	75 16.3%	25 5.4%	5 1.1%
口腔ケア	0	0 -	0 -	0 -	0 -
その他	3935	1090 27.7%	2045 52.0%	450 11.4%	350 8.9%
休憩	2330	2330 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
訪問入浴介護以外の併設サービスにおける勤務	150	150 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【小規模多機能型居宅介護】

- ・ 小規模多機能型居宅介護における全 92 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果をみると、「食事」では「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 23.3%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 6.0%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 64.3%を占めていた。
- ・ 「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 18.9%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 17.5%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 54.4%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 34.4%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 15.5%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 37.3%を占めていた。
- ・ 「送迎」「移動の介助」「居室、リビング等での見守り」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は、「送迎」でそれぞれ 46.6%、16.8%、30.8%、「移動の介助」で 29.2%、20.8%、45.5%、「居室、リビング等での見守り」で 20.3%、15.8%、56.4%であった。
- ・ 「集団レクリエーション」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 21.9%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 14.3%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 51.8%を占めていた。
- ・ 「リハビリ（機能訓練）」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 17.0%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 22.3%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 43.6%を占めていた。
- ・ 「調整」及び「利用者、家族への対応」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は、「調整」で 62.3%、27.3%、9.1%、「利用者、家族への対応」で 60.9%、25.3%、6.5%であった。

図表 140 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）
【小規模多機能型居宅介護】



- 看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)
- ▨「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)業務
- 「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務
- 「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務

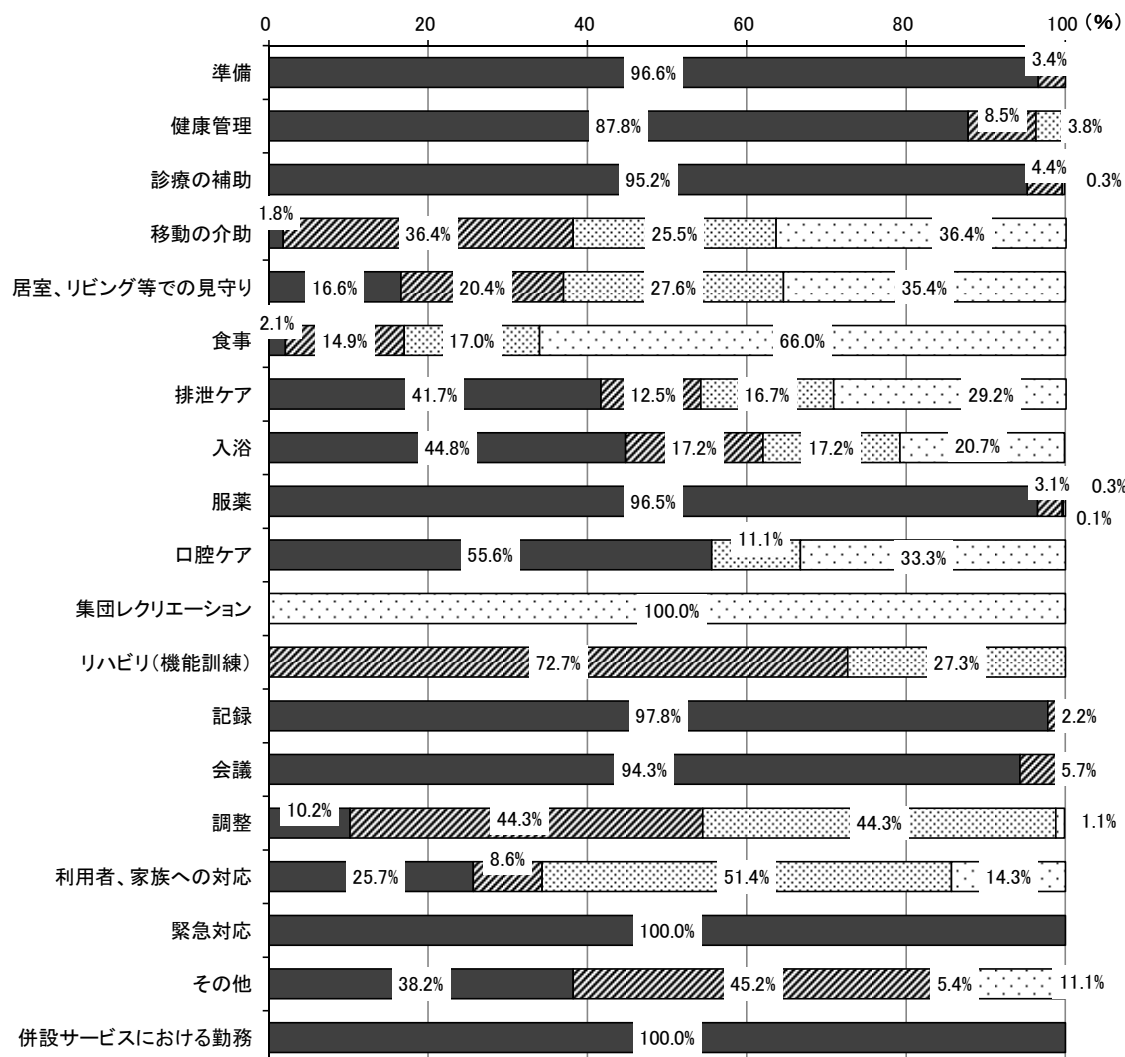
	(単位：分) 実数合計	（求められる業務、看護職員による判断や実施が） （バイタル確認、看護記録等）	（関わらず） （利用者の状態像に） （本看護職員により行うこととな） （て看する）	（特） （看護に判断されたため行った） （看護職員による介入が必要と）	（行った） （看護職員による結果的に看護の必要職員性が） （はなない）
準備	850	845 99.4%	0 0.0%	5 0.6%	0 0.0%
送迎	1460	85 5.8%	680 46.6%	245 16.8%	450 30.8%
健康管理	3825	3420 89.4%	205 5.4%	185 4.8%	15 0.4%
診療の補助	895	865 96.6%	0 0.0%	10 1.1%	20 2.2%
移動の介助	770	35 4.5%	225 29.2%	160 20.8%	350 45.5%
居室・リビング等での見守り	2190	165 7.5%	445 20.3%	345 15.8%	1235 56.4%
食事	3610	235 6.5%	840 23.3%	215 6.0%	2320 64.3%
排泄ケア	1745	195 11.2%	330 18.9%	305 17.5%	915 52.4%
入浴	1715	220 12.8%	590 34.4%	265 15.5%	640 37.3%
服薬	4870	4705 96.6%	125 2.6%	15 0.3%	25 0.5%
口腔ケア	450	0 0.0%	155 34.4%	115 25.6%	180 40.0%
集団レクリエーション	1120	135 12.1%	245 21.9%	160 14.3%	580 51.8%
リハビリ(機能訓練)	940	160 17.0%	160 17.0%	210 22.3%	410 43.6%
記録	3090	3030 98.1%	0 0.0%	0 0.0%	60 1.9%
会議	1510	1450 96.0%	5 0.3%	0 0.0%	55 3.6%
調整	385	5 1.3%	240 62.3%	105 27.3%	35 9.1%
利用者、家族への対応	230	10 4.3%	140 60.9%	65 28.3%	15 6.5%
緊急対応	70	70 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5215	1485 28.5%	1705 32.7%	425 8.1%	1600 30.7%
休憩	2965	2905 98.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 2.0%
小規模多機能型居宅介護以外の併設サービスにおける勤務	1045	1040 99.5%	5 0.5%	0 0.0%	0 0.0%

【短期入所生活介護（単独型）】

- ・ 短期入所生活介護における全 38 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果をみると、「食事」では「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 14.9%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 17.0%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 66.0%を占めていた。
- ・ 「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 12.5%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 16.7%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 29.2%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 17.2%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 17.2%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 20.7%を占めていた。
- ・ 「移動の介助」「居室、リビング等での見守り」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は「移動の介助」でそれぞれ 36.4%、25.5%、36.4%、「居室、リビング等での見守り」で 20.4%、27.6%、35.4%であった。
- ・ 「集団レクリエーション」では「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合が 100.0%であった。
- ・ 「調整」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 44.3%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 44.3%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 1.1%であった。
- ・ 「利用者、家族への対応」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 8.6%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 51.4%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 14.3%を占めていた。

図表 141 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）

【短期入所生活介護（単独型）】



■看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)

▣「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)

□「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」

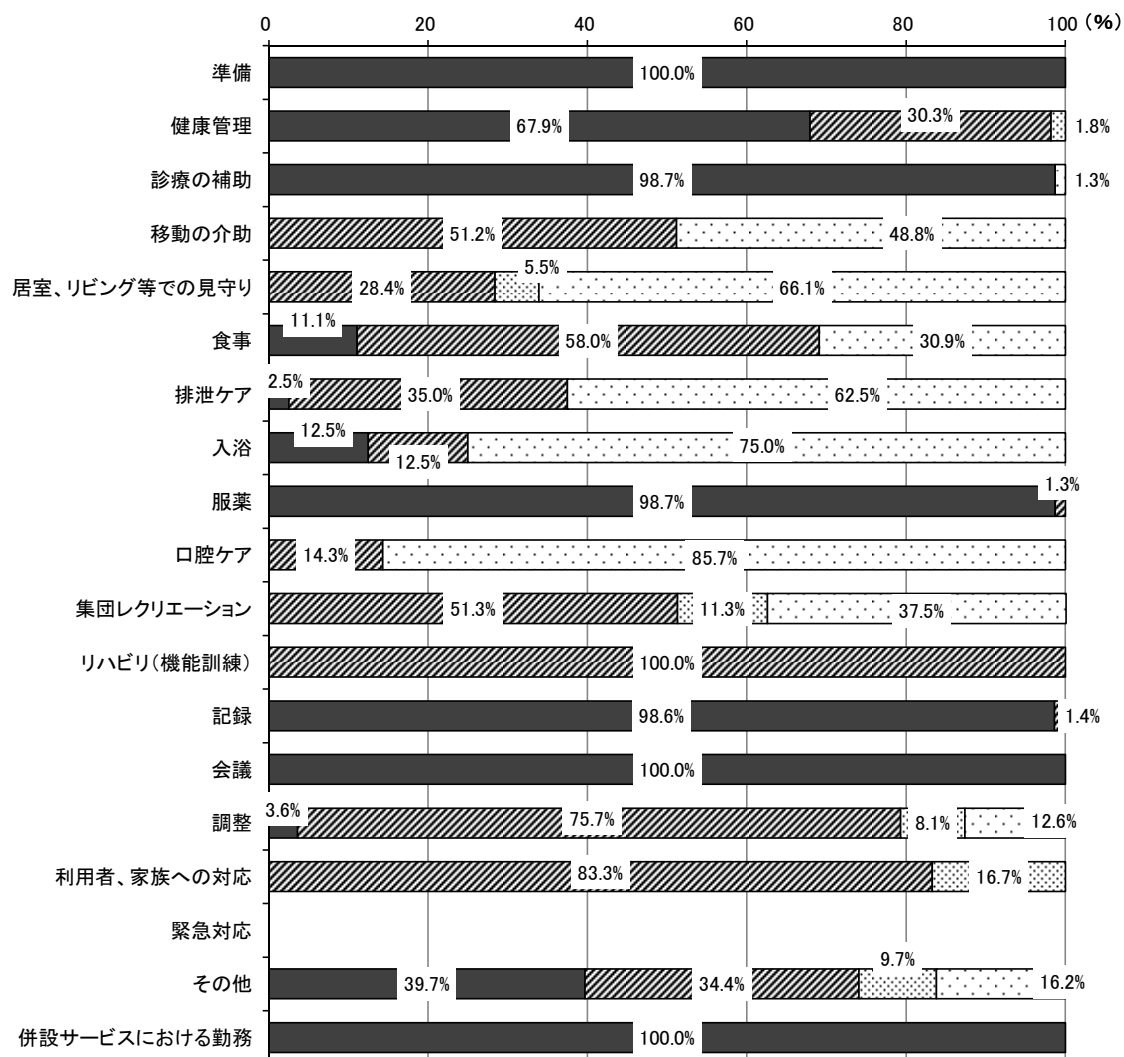
○「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」

【認知症対応型共同生活介護】

- ・ 認知症対応型共同生活介護における全 22 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果をみると、「食事」では「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 58.0%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 0.0%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 30.9%を占めていた。
- ・ 「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 35.0%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 0.0%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 62.5%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 12.5%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 0.0%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 75.0%を占めていた。
- ・ 「健康管理」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 30.3%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 1.8%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 0.0%を占めていた。
- ・ 「移動の介助」「居室、リビング等での見守り」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は「移動の介助」でそれぞれ 51.2%、0.0%、48.8%、「居室、リビング等での見守り」で 28.4%、5.5%、66.1%であった。
- ・ 「集団レクリエーション」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 51.3%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 11.3%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 37.5%を占めていた。
- ・ 「調整」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 75.7%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 8.1%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 12.6%を占めていた。

図表 142 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）

【認知症対応型共同生活介護】



■看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)

▨「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)

▤「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」

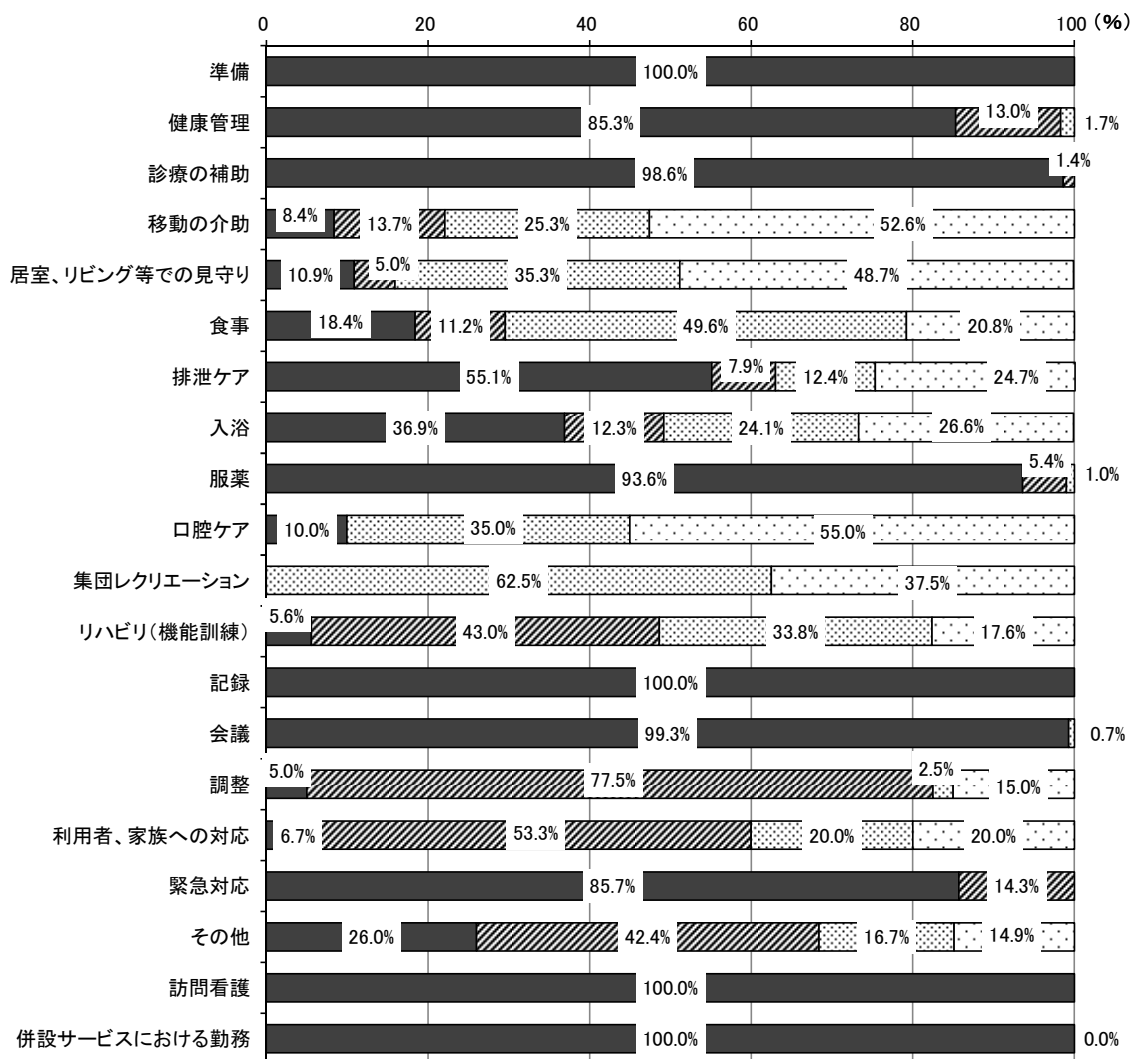
▩「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、 看護職員による判断 や実施が	（開いて） 関係する利用者 の状況像に て看護職員により 行うこととな る業務所では、 当該行為を全	特 に 看護職員による 介入が行った と	は行 った 結果、 看護職員による 介入の看護職員 が
準備	210	210 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	545	370 67.9%	165 30.3%	10 1.8%	0 0.0%
診療の補助	745	735 98.7%	0 0.0%	0 0.0%	10 1.3%
移動の介助	215	0 0.0%	110 51.2%	0 0.0%	105 48.8%
居室、リビング等での見守り	545	0 0.0%	155 28.4%	30 5.5%	360 66.1%
食事	405	45 11.1%	235 58.0%	0 0.0%	125 30.9%
排泄ケア	200	5 2.5%	70 35.0%	0 0.0%	125 62.5%
入浴	160	20 12.5%	20 12.5%	0 0.0%	120 75.0%
服薬	380	375 98.7%	5 1.3%	0 0.0%	0 0.0%
口腔ケア	35	0 0.0%	5 14.3%	0 0.0%	30 85.7%
集団レクリエーション	400	0 0.0%	205 51.3%	45 11.3%	150 37.5%
リハビリ(機能訓練)	55	0 0.0%	55 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
記録	700	690 98.6%	10 1.4%	0 0.0%	0 0.0%
会議	310	310 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
調整	555	20 3.6%	420 75.7%	45 8.1%	70 12.6%
利用者、家族への対応	30	0 0.0%	25 83.3%	5 16.7%	0 0.0%
緊急対応	0	0 -	0 -	0 -	0 -
その他	1235	490 39.7%	425 34.4%	120 9.7%	200 16.2%
休憩	395	395 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
認知症対応型共同生活介護以外の併 設サービスにおける勤務	295	295 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【複合型サービス】

- ・ 複合型サービスにおける全 40 人日分の看護職員の業務行為（大項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果をみると、「食事」では「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 11.2%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 49.6%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 20.8%を占めていた。
- ・ 「排泄ケア」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 7.9%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 12.4%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 24.7%を占めていた。
- ・ 「入浴」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 12.3%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 24.1%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 26.6%を占めていた。
- ・ 「移動の介助」「居室、リビング等での見守り」「口腔ケア」についてみると、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合は「移動の介助」でそれぞれ 13.7%、25.3%、52.6%、「居室、リビング等での見守り」で 5.0%、35.3%、48.7%、「口腔ケア」で 0.0%、35.0%、55.0%であった。
- ・ 「リハビリ（機能訓練）」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務が全体の 43.0%、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 33.8%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 17.6%を占めていた。
- ・ 「調整」では、「本事業所では、当該業務を全て看護職員が行うこととなっている」業務、「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」業務、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合はそれぞれ 77.5%、2.5%、15.0%であった。

図表 143 業務行為（大項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）
【複合型サービス】



- 看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)
- ▨「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」(利用者の状態像に関わらず)
- ▤「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行った」
- 「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 確認、看護記録等 看護職員による判断や実施が	「見ていない」 「関わらず」 「本看護職員により行うこととな	特段に判断されたため行った」 看護職員による介入が必要と	「行った」 「行かない」 看護職員による介入の必要性が
準備	455	455 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康管理	1460	1245 85.3%	190 13.0%	25 1.7%	0 0.0%
診療の補助	2145	2115 98.6%	30 1.4%	0 0.0%	0 0.0%
移動の介助	475	40 8.4%	65 13.7%	120 25.3%	250 52.6%
居室、リビング等での見守り	595	65 10.9%	30 5.0%	210 35.3%	290 48.7%
食事	1250	230 18.4%	140 11.2%	620 49.6%	260 20.8%
排泄ケア	1335	735 55.1%	105 7.9%	165 12.4%	330 24.7%
入浴	1015	375 36.9%	125 12.3%	245 24.1%	270 26.6%
服薬	1480	1385 93.6%	80 5.4%	15 1.0%	0 0.0%
口腔ケア	200	20 10.0%	0 0.0%	70 35.0%	110 55.0%
集団レクリエーション	120	0 0.0%	0 0.0%	75 62.5%	45 37.5%
リハビリ(機能訓練)	710	40 5.6%	305 43.0%	240 33.8%	125 17.6%
記録	1510	1510 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
会議	1335	1325 99.3%	0 0.0%	10 0.7%	0 0.0%
調整	200	10 5.0%	155 77.5%	5 2.5%	30 15.0%
利用者、家族への対応	75	5 6.7%	40 53.3%	15 20.0%	15 20.0%
緊急対応	35	30 85.7%	5 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
その他	2215	575 26.0%	940 42.4%	370 16.7%	330 14.9%
訪問看護	3000	3000 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
休憩	1540	1515 98.4%	0 0.0%	0 0.0%	25 1.6%
複合型サービス以外の併設サービス における勤務	520	520 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

５）看護職員が実施した業務行為（小項目）総時間数（看護職員が実施する必要性区分別）

【介護老人福祉施設】

- ・ 介護老人福祉施設における全 85 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 144～図表 163 に示す。

図表 144 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」【介護老人福祉施設】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全て行わない」（利用者との関係に支障をきたす）	「特段に判断されたために行つた」	「は行つた」 「看護職員による結果的に看護の必要性が」
01__準備__介護職員からの申し送り、ミーティング	1705	1690 99.1%	0 0.0%	0 0.0%	15 0.9%

図表 145 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」【介護老人福祉施設】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全て行わない」（利用者との関係に支障をきたす）	「特段に判断されたために行つた」	「は行つた」 「看護職員による結果的に看護の必要性が」
02__健康管理__バイタル確認	1565	1565 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
03__健康管理__その他	510	25 4.9%	430 84.3%	55 10.8%	0 0.0%

図表 146 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「診療の補助」

【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「行っていいから」(利用者)の状況に「行っていいから」(利用者)の状況に	「特段に判断されたために行う必要」と	「は行った」(利用者)の結果的に看護職員が
04_診療の補助_医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案	745	745 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
05_診療の補助_診察の準備、介助、後片付け	1100	1100 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
06_診療の補助_吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導	480	480 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
07_診療の補助_胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導	3720	3720 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
08_診療の補助_静脈内注射の準備、実施、後片付け	15	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
09_診療の補助_点滴の調整、確認、抜去	35	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10_診療の補助_褥瘡予防のケア	120	120 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
11_診療の補助_褥瘡処置の準備、実施、後片付け	465	465 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12_診療の補助_留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け	150	150 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
13_診療の補助_外部医療機関への受診同行	180	180 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
14_診療の補助_その他	1485	1460 98.3%	10 0.7%	10 0.7%	5 0.3%

図表 147 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「移動の介助」

【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「行っていいから」(利用者)の状況に「行っていいから」(利用者)の状況に	「特段に判断されたために行う必要」と	「は行った」(利用者)の結果的に看護職員が
15_移動の介助_居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★	260	0 0.0%	95 36.5%	50 19.2%	115 44.2%

図表 148 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「居室、リビング等での見守り」
【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全うして見守る」(利用者の状態像に「関わらず」)	「特段に判断されたために行った」(看護職員による介入が必要と)	「行った」(看護職員が、結果的に看護職員の必要性が)
16 居室、リビング等での見守り 日常会話、声掛け★	220	20 9.1%	35 15.9%	70 31.8%	95 43.2%
17 居室、リビング等での見守り 居室の見回り、リビング等での見守り★	355	0 0.0%	105 29.6%	170 47.9%	80 22.5%
18 居室、リビング等での見守り その他	120	20 16.7%	50 41.7%	0 0.0%	50 41.7%

図表 149 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「食事」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全うして見守る」(利用者の状態像に「関わらず」)	「特段に判断されたために行った」(看護職員による介入が必要と)	「行った」(看護職員が、結果的に看護職員の必要性が)
19 食事 配膳の準備★	245	0 0.0%	95 38.8%	70 28.6%	80 32.7%
20 食事 食事、おやつ、水分摂取の介助★	1440	70 4.9%	475 33.0%	585 40.6%	310 21.5%
21 食事 食事、おやつ、水分摂取の見守り★	80	0 0.0%	40 50.0%	35 43.8%	5 6.3%
22 食事 咀嚼、嚥下機能の観察★	15	0 0.0%	10 66.7%	5 33.3%	0 0.0%
23 食事 食事摂取量・水分摂取量の観察★	50	0 0.0%	10 20.0%	30 60.0%	10 20.0%
24 食事 下膳★	35	0 0.0%	15 42.9%	5 14.3%	15 42.9%
25 食事 その他	55	0 0.0%	30 54.5%	10 18.2%	15 27.3%

図表 150 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「排泄ケア」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「関わらず」(利用者の状態像にて看護職員により行うこととなる本事業所では、当該行為を全)	「特段に判断されたため行った」(看護職員による介入が必要と)	「行った」(結果的に看護職員が「看護職員による介入の必要性
26__排泄ケア__トイレへの誘導、居室等への誘導★	30	0 0.0%	0 0.0%	5 16.7%	25 83.3%
27__排泄ケア__トイレへの移乗・移動★	35	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	35 100.0%
28__排泄ケア__排泄時の脱衣、着衣の介助★	20	0 0.0%	0 0.0%	5 25.0%	15 75.0%
29__排泄ケア__排泄時の見守り★	35	0 0.0%	25 71.4%	10 28.6%	0 0.0%
30__排泄ケア__腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★	10	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
31__排泄ケア__排泄物・排泄量の確認★	155	0 0.0%	50 32.3%	85 54.8%	20 12.9%
32__排泄ケア__おむつ交換★	60	0 0.0%	0 0.0%	20 33.3%	40 66.7%
33__排泄ケア__排便の準備、実施、観察、後片付け	300	295 98.3%	5 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
34__排泄ケア__浣腸の準備、実施、観察、後片付け	280	280 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
35__排泄ケア__人工肛門等の対応★	60	0 0.0%	45 75.0%	5 8.3%	10 16.7%
36__排泄ケア__その他	170	60 35.3%	90 52.9%	20 11.8%	0 0.0%

図表 151 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「入浴」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	（バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務等）	（利用者との関係に「本事業所では、当該行為を全」）	（利用者との関係に「本事業所では、当該行為を全」）	（利用者との関係に「本事業所では、当該行為を全」）
37__入浴__バイタル確認	90	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
38__入浴__浴場への誘導★	15	0 0.0%	5 33.3%	0 0.0%	10 66.7%
39__入浴__脱衣、着衣の介助★	435	0 0.0%	240 55.2%	80 18.4%	115 26.4%
40__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★	80	0 0.0%	0 0.0%	20 25.0%	60 75.0%
41__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)★	105	0 0.0%	60 57.1%	40 38.1%	5 4.8%
42__入浴__整髪の介助★	70	0 0.0%	40 57.1%	10 14.3%	20 28.6%
43__入浴__機械浴の介助★	0	0 -	0 -	0 -	0 -
44__入浴__浴場と居室との間の移動の介助、誘導★	75	0 0.0%	35 46.7%	5 6.7%	35 46.7%
45__入浴__その他	255	65 25.5%	115 45.1%	20 7.8%	55 21.6%

図表 152 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「服薬」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全行っていない」（利用者との状態像に「本事業所では、当該行為を全行っていない」）	「特段に判断されたために行つた」と「看護職員による介入が必要」と	「は行つた」と「看護職員による介入の必要性が」
46__服薬__薬品庫、常備薬、保冷库の確認、薬品発注	355	355 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
47__服薬__処方箋と処方薬との照合、処方の確認	985	985 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
48__服薬__薬の区分け・与薬の準備、後片付け	4500	4500 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
49__服薬__薬を利用者に配布	220	220 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50__服薬__服薬介助（経口）	950	945 99.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.5%
51__服薬__服薬介助（塗布薬、貼布薬）	1185	1185 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
52__服薬__服薬介助（点眼、点鼻薬）	545	545 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
53__服薬__服薬介助（座薬）	195	195 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
54__服薬__服薬介助（注射）	115	115 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
55__服薬__服薬の見守り★	15	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%
56__服薬__その他	175	85 48.6%	85 48.6%	5 2.9%	0 0.0%

図表 153 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全行っていない」（利用者との状態像に「本事業所では、当該行為を全行っていない」）	「特段に判断されたために行つた」と「看護職員による介入が必要」と	「は行つた」と「看護職員による介入の必要性が」
57__口腔ケア__義歯の清掃★	25	0 0.0%	10 40.0%	0 0.0%	15 60.0%
58__口腔ケア__歯磨きの介助★	330	10 3.0%	140 42.4%	105 31.8%	75 22.7%
59__口腔ケア__口腔内の衛生確認★	30	0 0.0%	10 33.3%	20 66.7%	0 0.0%
60__口腔ケア__その他	160	0 0.0%	80 50.0%	25 15.6%	55 34.4%

図表 154 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「集団レクリエーション」
【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、看護記録等） 看護職員による判断や実施が	「関わらず」 （利用者の状態像について見る）」 （本事業所では、当該行為を全	「特段に判断されたため行なった」 「看護職員による介入が必要と	「は行なった」 「看護職員による介入の必要性が
61__集団レクリエーション__レクレーションの企画★	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
62__集団レクリエーション__レクリエーションの準備、実施、介助★	95	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	95 100.0%
63__集団レクリエーション__その他	40	0 0.0%	5 12.5%	0 0.0%	35 87.5%

図表 155 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「リハビリ（機能訓練）」
【介護老人福祉施設】

	(単位:分) 実数合計	求められる業務 確認、看護記録等	「利用者」の状態像に て「看護職員」により行うことと 「看護職員」による介入が必要と 「看護職員」による介入の必要性が 「看護職員」による介入の必要性が 「看護職員」による介入の必要性が	「看護職員」による介入の必要性が 「看護職員」による介入の必要性が 「看護職員」による介入の必要性が	「看護職員」による介入の必要性が 「看護職員」による介入の必要性が 「看護職員」による介入の必要性が
64__リハビリ(機能訓練)__バイタル確認	15	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
65__リハビリ(機能訓練)__身体状態、機能観察・評価★	10	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
66__リハビリ(機能訓練)__個別の機能訓練計画の立案★	0	0 -	0 -	0 -	0 -
67__リハビリ(機能訓練)__リハビリの実施、介助★	45	0 0.0%	10 22.2%	20 44.4%	15 33.3%
68__リハビリ(機能訓練)__リハビリの記録・評価★	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 156 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「記録」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「行ってもらう」 (利用者)の状況に 「本事業所」では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状況に 「看護職員」(利用者)の状況に 「看護職員」(利用者)の状況に	「特段に判断されたために行つた」 (利用者)の状況に	「は行つた」 (利用者)の状況に
69_記録_看護記録の作成(リハビリの記録を除く)	5190	5190 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
70_記録_看護計画の作成、評価、見直し	125	125 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 157 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「会議」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「行ってもらう」 (利用者)の状況に 「本事業所」では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状況に 「看護職員」(利用者)の状況に	「特段に判断されたために行つた」 (利用者)の状況に	「は行つた」 (利用者)の状況に
71_会議_カンファレンスの参加	510	510 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
72_会議_ミーティングまたは打合せ	2325	2325 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
73_会議_サービス担当者会議への参加	300	285 95.0%	15 5.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 158 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「調整」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「行ってもらう」 (利用者)の状況に 「本事業所」では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状況に 「看護職員」(利用者)の状況に	「特段に判断されたために行つた」 (利用者)の状況に	「は行つた」 (利用者)の状況に
74_調整_職員からの利用者の健康情報の報告の受理★	370	5 1.4%	270 73.0%	95 25.7%	0 0.0%
75_調整_他機関への連絡調整(主治医等)★	170	30 17.6%	65 38.2%	75 44.1%	0 0.0%
76_調整_インテーク、退院・利用調整★	65	20 30.8%	40 61.5%	5 7.7%	0 0.0%

図表 159 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「利用者、家族への対応」
【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	関わらず） （利用者 の状態像に て看護職員 により行う こととな 「本事業所 では、当該 行為を全	特段に判断 されたため 行った」 看護職員 による介入 が必要と	「行った」 はないが、 結果的に 看護職員 による介入 の必要性が
77__利用者、家族への対応__家族への連絡調整★	105	0 0.0%	55 52.4%	50 47.6%	0 0.0%
78__利用者、家族への対応__利用者、家族からの相談対応★	150	55 36.7%	35 23.3%	55 36.7%	5 3.3%

図表 160 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「緊急対応」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」（利用者の状態像に 関わらず）	「特段に判断されたため行った」 「看護職員による介入が必要と	「は行っていないが、結果的に看護職員による介入の必要性
79_緊急対応_ナースコール対応	35	30 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 14.3%
80_緊急対応_ターミナルケア★	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 161 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「その他」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全うしてはならない」（利用者との関係に「本事業所では、当該行為を全うしてはならない」）	「特段に看護職員による介入が必要」と判断されたため	「行った方がいい」と判断されたため
81_その他_介護職員への研修	35	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
82_その他_介護職員への指導	185	185 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
83_その他_家族への指導★	5	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
84_その他_本人への指導★	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
85_その他_ケアマネジャーとの相談、連携★	115	10 8.7%	40 34.8%	55 47.8%	10 8.7%
86_その他_器具の消毒、感染性廃棄物の管理★	55	0 0.0%	55 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
87_その他_清掃★	110	35 31.8%	35 31.8%	40 36.4%	0 0.0%
88_その他_帰りの申し送り	475	475 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
89_その他_死後の処置★	0	0 -	0 -	0 -	0 -
90_その他_その他1	2010	830 41.3%	965 48.0%	85 4.2%	130 6.5%
90_その他_その他2	555	240 43.2%	190 34.2%	50 9.0%	75 13.5%
90_その他_その他3	240	150 62.5%	55 22.9%	35 14.6%	0 0.0%

図表 162 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「休憩」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全うしてはならない」（利用者との関係に「本事業所では、当該行為を全うしてはならない」）	「特段に看護職員による介入が必要」と判断されたため	「行った方がいい」と判断されたため
91_休憩_休憩	4585	4575 99.8%	10 0.2%	0 0.0%	0 0.0%

図表 163 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「介護老人福祉施設以外の併設サービスにおける勤務」【介護老人福祉施設】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務 （バイタル確認、看護記録等） 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て「見ていない」 （利用者の状態像に よる判断）」	「特段に判断されたために行 った」 （看護職員による判断が 必要だった）」	「行った」 （看護職員による結果的 な介入の必要性が なかった）」
92_介護老人福祉施設以外の併設サービスにおける勤務	945	890 94.2%	55 5.8%	0 0.0%	0 0.0%

- ・ 特定施設入居者生活介護における全 63 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 164～図表 183 に示す。

図表 164 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」の詳細業務内
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等)求められる業務 看護職員による判断や実施が	「見た」「聞かされた」だけでは、結果的に看護職員の介入が必要となる場合がある。また、業務上必要な情報は、必ずしも「見た」「聞かされた」だけでは得られないため、必要に応じて他の方法で情報を収集する必要がある。	「見た」「聞かされた」だけでは、結果的に看護職員の介入が必要となる場合がある。また、業務上必要な情報は、必ずしも「見た」「聞かされた」だけでは得られないため、必要に応じて他の方法で情報を収集する必要がある。	「見た」「聞かされた」だけでは、結果的に看護職員の介入が必要となる場合がある。また、業務上必要な情報は、必ずしも「見た」「聞かされた」だけでは得られないため、必要に応じて他の方法で情報を収集する必要がある。
01_準備_介護職員からの申し送り、ミーティング	1420	1420 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 165 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「特段に判断されたため介入が必要」と 「看護職員による介入が行った」と 「看護職員により行うこととなる」(利用者の状態像にて看護職員により行うこととなる)業務	業務 「行った」業務 「結果的に看護職員が 「看護職員による介入の必要性」
02_健康管理_バイタル確認	1680	1675 99.7%	5 0.3%	0 0.0%
03_健康管理_その他	530	155 29.2%	285 53.8%	90 17.0%

図表 166 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「診療の補助」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 求められる業務の判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態に 関わらず」業務 を行っている」	「特 業務 「看護職員に判断されたため 「看護職員による介入が必要 と」	「は 行 った 」業務 「看護職員による介入の必要 性が
04_診療の補助_医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案	730	720 98.6%	10 1.4%	0 0.0%	0 0.0%
05_診療の補助_診察の準備、介助、後片付け	785	785 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
06_診療の補助_吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導	455	455 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
07_診療の補助_胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導	1640	1640 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
08_診療の補助_静脈内注射の準備、実施、後片付け	105	105 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
09_診療の補助_点滴の調整、確認、抜去	55	55 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10_診療の補助_褥瘡予防のケア	50	50 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
11_診療の補助_褥瘡処置の準備、実施、後片付け	375	375 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12_診療の補助_留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け	95	95 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
13_診療の補助_外部医療機関への受診同行	610	610 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
14_診療の補助_その他	995	905 91.0%	90 9.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 167 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「移動の介助」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 求められる業務の判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態に 関わらず」業務 を行っている」	「特 業務 「看護職員に判断されたため 「看護職員による介入が必要 と」	「は 行 った 」業務 「看護職員による介入の必要 性が
15_移動の介助_居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★	210	0 0.0%	45 21.4%	45 21.4%	120 57.1%

図表 168 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「居室、リビング等での見守り」の詳細業務内容【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル業務による判断や実施が)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に 関わらず」業務 を行っている」	「特業務 看護職員に判断されたため 「看護職員による介入が必 要」と	「行 った」業務 「看護職員による介入の 必要性が
16 居室、リビング等での見守り 日常会話、声掛け★	275	0 0.0%	70 25.5%	110 40.0%	95 34.5%
17 居室、リビング等での見守り 居室の見回り、リビング等での見守り★	255	0 0.0%	15 5.9%	95 37.3%	145 56.9%
18 居室、リビング等での見守り その他	15	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%

図表 169 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「食事」【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル業務による判断や実施が)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に 関わらず」業務 を行っている」	「特業務 看護職員に判断されたため 「看護職員による介入が必 要」と	「行 った」業務 「看護職員による介入の 必要性が
19 食事 配膳の準備★	125	0 0.0%	15 12.0%	10 8.0%	100 80.0%
20 食事 食事、おやつ、水分摂取の介助★	660	0 0.0%	0 0.0%	480 72.7%	180 27.3%
21 食事 食事、おやつ、水分摂取の見守り★	110	15 13.6%	35 31.8%	30 27.3%	30 27.3%
22 食事 咀嚼、嚥下機能の観察★	20	0 0.0%	0 0.0%	15 75.0%	5 25.0%
23 食事 食事摂取量・水分摂取量の観察★	95	0 0.0%	30 31.6%	30 31.6%	35 36.8%
24 食事 下膳★	55	0 0.0%	25 45.5%	0 0.0%	30 54.5%
25 食事 その他	75	0 0.0%	45 60.0%	20 26.7%	10 13.3%

図表 170 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「排泄ケア」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、看護職員による判断や実施が確認記録等）	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	業務 「看護職員による介入が必要と 」特段に判断されたため行った 業務	「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が 行った」業務
26__排泄ケア__トイレへの誘導、居室等への誘導★	50	0 0.0%	0 0.0%	10 20.0%	40 80.0%
27__排泄ケア__トイレへの移乗・移動★	40	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	40 100.0%
28__排泄ケア__排泄時の脱衣、着衣の介助★	35	0 0.0%	0 0.0%	5 14.3%	30 85.7%
29__排泄ケア__排泄時の見守り★	10	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	5 50.0%
30__排泄ケア__腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★	30	0 0.0%	5 16.7%	25 83.3%	0 0.0%
31__排泄ケア__排泄物・排泄量の確認★	65	0 0.0%	35 53.8%	30 46.2%	0 0.0%
32__排泄ケア__おむつ交換★	60	0 0.0%	0 0.0%	20 33.3%	40 66.7%
33__排泄ケア__排便の準備、実施、観察、後片付け	155	150 96.8%	0 0.0%	5 3.2%	0 0.0%
34__排泄ケア__浣腸の準備、実施、観察、後片付け	135	135 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
35__排泄ケア__人工肛門等の対応★	80	0 0.0%	25 31.3%	55 68.8%	0 0.0%
36__排泄ケア__その他	115	10 8.7%	55 47.8%	20 17.4%	30 26.1%

図表 171 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「入浴」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務の判断や実施が （バイタル確認、看護記録等）	「本看護職員による業務」 （利用者との関係性）	「特業務」 （看護職員による業務）	「は行った」業務 （看護職員による業務）
37__入浴__バイタル確認	210	210 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
38__入浴__浴場への誘導★	40	0 0.0%	40 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
39__入浴__脱衣、着衣の介助★	45	0 0.0%	35 77.8%	0 0.0%	10 22.2%
40__入浴__洗身・清拭の介助（医療的処置のない方）★	15	0 0.0%	10 66.7%	0 0.0%	5 33.3%
41__入浴__洗身・清拭の介助（医療的処置のある方：褥瘡や創傷ありなど）★	5	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
42__入浴__整髪の介助★	45	0 0.0%	45 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
43__入浴__機械浴の介助★	0	0 -	0 -	0 -	0 -
44__入浴__浴場と居室との間の移動の介助、誘導★	110	10 9.1%	100 90.9%	0 0.0%	0 0.0%
45__入浴__その他	65	0 0.0%	50 76.9%	15 23.1%	0 0.0%

図表 172 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「服薬」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うことと像 に 開いていない」業務 利用者の状態像	「特業務 看護に判断されたために行つた」 「看護職員による介入が必要」と	「は行 った」業務 「看護職員による介入の必要性が ない」業務
46_服薬_薬品庫、常備薬、保冷庫の確認、薬品発注	100	100	0.0%	0.0%	0.0%
47_服薬_処方箋と処方薬との照合、処方の確認	980	980	0.0%	0.0%	0.0%
48_服薬_薬の区分け・与薬の準備、後片付け	3790	3790	0.0%	0.0%	0.0%
49_服薬_薬を利用者に配布	260	260	0.0%	0.0%	0.0%
50_服薬_服薬介助(経口)	335	335	0.0%	0.0%	0.0%
51_服薬_服薬介助(塗布薬、貼布薬)	1495	1490	0.0%	5	0.0%
52_服薬_服薬介助(点眼、点鼻薬)	405	405	0.0%	0.0%	0.0%
53_服薬_服薬介助(座薬)	130	130	0.0%	0.0%	0.0%
54_服薬_服薬介助(注射)	70	70	0.0%	0.0%	0.0%
55_服薬_服薬の見守り★	15	15	0.0%	0.0%	0.0%
56_服薬_その他	245	60	160	25	0.0%

図表 173 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うことと像 に 開いていない」業務 利用者の状態像	「特業務 看護に判断されたために行つた」 「看護職員による介入が必要」と	「は行 った」業務 「看護職員による介入の必要性が ない」業務
57_口腔ケア_義歯の清掃★	20	0	0.0%	5	15
58_口腔ケア_歯磨きの介助★	45	0	15	15	15
59_口腔ケア_口腔内の衛生確認★	5	0	0.0%	5	0
60_口腔ケア_その他	5	0	0.0%	5	0

図表 174 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「集団レクリエーション」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護職員による判断や実施が）	「本事業所では、当該行為を全て「看護職員により行うこととなっていない」（利用者の状態像に「本事業所では、当該行為を全て「看護職員により行うこととなっていない」（利用者の状態像に）業務に判断されたために行ったと」看護職員による結果的に看護職員が行った業務」	「看護職員による結果的に看護職員が行った業務」
61_集団レクリエーション_レクリエーションの企画★	0	0	0	0
62_集団レクリエーション_レクリエーションの準備、実施、介助★	30	0.0%	0.0%	0.0%
63_集団レクリエーション_その他	20	0.0%	100.0%	0.0%

図表 175 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「リハビリ（機能訓練）」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護職員による判断や実施が）	「本事業所では、当該行為を全て「看護職員により行うこととなっていない」（利用者の状態像に「本事業所では、当該行為を全て「看護職員により行うこととなっていない」（利用者の状態像に）業務に判断されたために行ったと」看護職員による結果的に看護職員が行った業務」	「看護職員による結果的に看護職員が行った業務」
64_リハビリ(機能訓練)_バイタル確認	15	100.0%	0.0%	0.0%
65_リハビリ(機能訓練)_身体状態、機能観察・評価★	20	0.0%	50.0%	25.0%
66_リハビリ(機能訓練)_個別の機能訓練計画の立案★	0	0	0	0
67_リハビリ(機能訓練)_リハビリの実施、介助★	45	0.0%	88.9%	11.1%
68_リハビリ(機能訓練)_リハビリの記録・評価★	25	0.0%	0.0%	0.0%

図表 176 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「記録」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に 関わらず」業務 として 「看護職員」(利用者)の状 態像に 関わらず」業務 として	「特業務 看護に 判断に された ため が行 った」	「は行 った」 「看護 職員 による 結果 的に 看護 職員 が」
69_記録_看護記録の作成(リハビリの記録を除く)	4120	4120 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
70_記録_看護計画の作成、評価、見直し	60	60 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 177 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「会議」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に 関わらず」業務 として 「看護職員」(利用者)の状 態像に 関わらず」業務 として	「特業務 看護に 判断に された ため が行 った」	「は行 った」 「看護 職員 による 結果 的に 看護 職員 が」
71_会議_カンファレンスの参加	45	45 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
72_会議_ミーティングまたは打合せ	1000	1000 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
73_会議_サービス担当者会議への参加	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 178 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「調整」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護職員による判断や実施が）	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全
74_調整_職員からの利用者の健康情報の報告の受理★	210	10 4.8%	185 88.1%	15 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
75_調整_他機関への連絡調整(主治医等)★	245	10 4.1%	155 63.3%	80 32.7%	0 0.0%	0 0.0%
76_調整_インテーク、退院・利用調整★	85	0 0.0%	30 35.3%	55 64.7%	0 0.0%	0 0.0%

図表 179 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「利用者、家族への対応」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護職員による判断や実施が）	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全
77_利用者、家族への対応_家族への連絡調整★	155	0 0.0%	95 61.3%	50 32.3%	10 6.5%	0 0.0%
78_利用者、家族への対応_利用者、家族からの相談対応★	285	0 0.0%	180 63.2%	100 35.1%	5 1.8%	0 0.0%

図表 180 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「緊急対応」
【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護職員による判断や実施が）	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全	「本事業所では、当該行為を全
79_緊急対応_ナースコール対応	115	115 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
80_緊急対応_ターミナルケア★	0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 181 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「その他」
【特定施設入居者生活介護】

		(単位：分) 実数合計	「バイタル確認、看護記録等」 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「利用者の状態像に て看護職員により行うこととな る」本事業所では、当該行為を全 て「関わらず」業務 として行っている	「特 業務 」看護職員による介入が必要と 「看護職員による介入が行った」 「看護職員による介入の必要性が はたした」業務 「看護職員による介入の必要性が はたした」業務
81_その他_介護職員への研修	0	0	0	0	0
82_その他_介護職員への指導	160	150 93.8%	10 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
83_その他_家族への指導★	0	0	0	0	0
84_その他_本人への指導★	50	0 0.0%	20 40.0%	25 50.0%	5 10.0%
85_その他_ケアマネジャーとの相談、連携★	50	0 0.0%	40 80.0%	10 20.0%	0 0.0%
86_その他_器具の消毒、感染性廃棄物の管理★	15	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
87_その他_清掃★	45	0 0.0%	45 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
88_その他_帰りの申し送り	705	705 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
89_その他_死後の処置★	0	0	0	0	0
90_その他_その他1	1555	290 18.6%	980 63.0%	195 12.5%	90 5.8%
90_その他_その他2	595	110 18.5%	410 68.9%	35 5.9%	40 6.7%
90_その他_その他3	325	130 40.0%	170 52.3%	5 1.5%	20 6.2%

図表 182 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「休憩」
【特定施設入居者生活介護】

[illegible]

図表 183 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「介護老人福祉施設以外の併設サービスにおける勤務」【特定施設入居者生活介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「看護職員に判断されたために行 った」(特務)	「看護職員による結果的に看護 職員が業務を行った」(行 った)
92_介護老人福祉施設以外の併設サービスにおける勤務	90	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【通所介護】

- ・ 通所介護における全 82 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 184～図表 197 に示す。

図表 184 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」の詳細業務内【通所介護】

	（単位：分） 実数合計	求められる業務による判断や実施が （バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」により行うこととな る（利用者の状態像に 関わらず）業務	「特業務 」看護職員に判断されたため行 った業務	「は行った業務 」看護職員による結果的に看護 職員の必要性が
01__準備__職員間の打合せ、連絡(分)	615	610 99.2%	0 0.0%	5 0.8%	0 0.0%

図表 185 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「送迎」【通所介護】

	（単位：分） 実数合計	求められる業務による判断や実施が （バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」により行うこととな る（利用者の状態像に 関わらず）業務	「特業務 」看護職員に判断されたため行 った業務	「は行った業務 」看護職員による結果的に看護 職員の必要性が
02__送迎__乗車、降車の介助★(分)	505	0 0.0%	155 30.7%	100 19.8%	250 49.5%
03__送迎__乗車中の見守り★(分)	325	0 0.0%	275 84.6%	0 0.0%	50 15.4%
04__送迎__その他(分)	865	20 2.3%	275 31.8%	65 7.5%	505 58.4%

図表 186 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」【通所介護】

	（単位：分） 実数合計	求められる業務による判断や実施が （バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」により行うこととな る（利用者の状態像に 関わらず）業務	「特業務 」看護職員に判断されたため行 った業務	「は行った業務 」看護職員による結果的に看護 職員の必要性が
05__健康管理__バイタル確認(分)	4130	3595 87.0%	235 5.7%	300 7.3%	0 0.0%
06__健康管理__日常会話、声掛け★(分)	1070	120 11.2%	240 22.4%	285 26.6%	425 39.7%

図表 187 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「診療の補助」【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていない」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「看護職員による介入が必要と 特段に判断されたため行った」 業務	「行っていない」業務 「看護職員による結果的に看護職員が 必要」
07_診療の補助_(医療処置、準備、片付け等含む)(分)	520	490 94.2%	15 2.9%	15 2.9%	0 0.0%

図表 188 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「排泄ケア」【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていない」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「看護職員による介入が必要と 特段に判断されたため行った」 業務	「行っていない」業務 「看護職員による結果的に看護職員が 必要」
08_排泄ケア_トイレへの誘導、デイルームへの誘導★(分)	330	0 0.0%	75 22.7%	80 24.2%	175 53.0%
09_排泄ケア_トイレへの移乗・移動★(分)	220	15 6.8%	75 34.1%	45 20.5%	85 38.6%
10_排泄ケア_排泄時の脱衣、着衣の介助★(分)	140	0 0.0%	20 14.3%	15 10.7%	105 75.0%
11_排泄ケア_排泄時の見守り★(分)	30	0 0.0%	5 16.7%	5 16.7%	20 66.7%
12_排泄ケア_腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★(分)	20	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%	0 0.0%
13_排泄ケア_排泄物・排泄量の確認★(分)	15	0 0.0%	5 33.3%	10 66.7%	0 0.0%
14_排泄ケア_おむつ交換★(分)	55	0 0.0%	0 0.0%	20 36.4%	35 63.6%
15_排泄ケア_摘便(分)	25	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
16_排泄ケア_浣腸(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
17_排泄ケア_人工肛門等の対応★(分)	30	0 0.0%	15 50.0%	10 33.3%	5 16.7%
18_排泄ケア_その他(分)	55	0 0.0%	15 27.3%	15 27.3%	25 45.5%

図表 189 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「食事」【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て見ていない」業務 「本事業所では、当該行為を全 て見ていない」業務	「特段に判断されたため行った」 「看護職員による介入が必要と」 「特段に判断されたため行った」 「看護職員による介入が必要と」	「行った」業務 「看護職員による介入の必要性が」 「看護職員による介入の必要性が」
19_食事_配膳の準備★(分)	585	5 0.9%	175 29.9%	60 10.3%	345 59.0%
20_食事_食事、おやつ、水分摂取の介助・見守り★(分)	745	0 0.0%	200 26.8%	250 33.6%	295 39.6%
21_食事_咀嚼、嚥下機能の観察★(分)	35	0 0.0%	0 0.0%	10 28.6%	25 71.4%
22_食事_食事摂取量・水分摂取量の観察★(分)	120	0 0.0%	35 29.2%	5 4.2%	80 66.7%
23_食事_下膳★(分)	165	0 0.0%	30 18.2%	5 3.0%	130 78.8%
24_食事_その他(分)	515	0 0.0%	35 6.8%	115 22.3%	365 70.9%

図表 190 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「入浴」【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て見ていない」業務 「本事業所では、当該行為を全 て見ていない」業務	「特段に判断されたため行った」 「看護職員による介入が必要と」 「特段に判断されたため行った」 「看護職員による介入が必要と」	「行った」業務 「看護職員による介入の必要性が」 「看護職員による介入の必要性が」
25_入浴_バイタル確認(分)	160	155 96.9%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.1%
26_入浴_浴場への誘導★(分)	210	0 0.0%	65 31.0%	85 40.5%	60 28.6%
27_入浴_脱衣、着衣の介助★(分)	890	0 0.0%	275 30.9%	365 41.0%	250 28.1%
28_入浴_洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
29_入浴_洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)★(分)	145	0 0.0%	80 55.2%	55 37.9%	10 6.9%
30_入浴_整髪(分)	185	0 0.0%	15 8.1%	10 5.4%	160 86.5%
31_入浴_機械浴の介助★(分)	15	0 0.0%	5 33.3%	10 66.7%	0 0.0%
32_入浴_浴場からデイルームへの誘導★(分)	105	0 0.0%	20 19.0%	20 19.0%	65 61.9%
33_入浴_その他(分)	555	70 12.6%	120 21.6%	100 18.0%	265 47.7%

図表 191 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「服薬」【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護職員による判断や実施が)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていません」(業務 関わらず)	「特業務 看護職員に判断されたため 看護職員による介入が必要と 」	「は行 った」 業務 「看護職員による結果的に看護職員が 必要」
34__服薬__薬の区分け・与薬の準備(分)	735	720 98.0%	15 2.0%	0 0.0%	0 0.0%
35__服薬__薬を利用者に配布(分)	660	640 97.0%	20 3.0%	0 0.0%	0 0.0%
36__服薬__服薬介助(経口)(分)	645	625 96.9%	20 3.1%	0 0.0%	0 0.0%
37__服薬__服薬介助(塗布薬、貼布薬)(分)	1435	1435 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
38__服薬__服薬介助(点眼、点鼻薬)(分)	320	320 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
39__服薬__服薬の見守り★(分)	50	20 40.0%	20 40.0%	10 20.0%	0 0.0%
40__服薬__その他(分)	335	60 17.9%	195 58.2%	75 22.4%	5 1.5%

図表 192 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護職員による判断や実施が)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていません」(業務 関わらず)	「特業務 看護職員に判断されたため 看護職員による介入が必要と 」	「は行 った」 業務 「看護職員による結果的に看護職員が 必要」
41__口腔ケア__義歯の清掃★(分)	25	0 0.0%	10 40.0%	10 40.0%	5 20.0%
42__口腔ケア__歯磨きの介助★(分)	245	0 0.0%	185 75.5%	60 24.5%	0 0.0%
43__口腔ケア__口腔内の衛生確認★(分)	15	0 0.0%	10 66.7%	5 33.3%	0 0.0%
44__口腔ケア__その他(分)	50	0 0.0%	40 80.0%	5 10.0%	5 10.0%

図表 193 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「集団レクリエーション」
【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていない」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「看護職員による介入が行った 」特業務 「看護職員による介入が必要と 」業務	「行っていない」業務 「看護職員による結果的に看護職員が 必要」業務
45__集団レクリエーション★__(分)	1230	35 2.8%	280 22.8%	30 2.4%	885 72.0%

図表 194 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「リハビリ（機能訓練）」
【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていない」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「看護職員による介入が行った 」特業務 「看護職員による介入が必要と 」業務	「行っていない」業務 「看護職員による結果的に看護職員が 必要」業務
46__リハビリ(機能訓練)__ (分)	2000	1915 95.8%	45 2.3%	0 0.0%	40 2.0%

図表 195 看護職員が実施する必要性区別業務時間数「その他」【通所介護】

		(単位：分) 実数合計	「バイタル確認、看護記録等」 求められる業務 看護職員による判断や実施が	（利用者の状態像に て「看護師」により行うこととな る本事業所では、当該行為を全 く行わない）業務 「看護職員による介入が必要と した」と業務 「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が 行った」業務	
47_その他_職員からの利用者の健康情報の報告の受理★(分)	145	10 6.9%	100 69.0%	30 20.7%	5 3.4%
48_その他_看護記録の作成(リハビリの記録を除く)(分)	4950	4805 97.1%	95 1.9%	50 1.0%	0 0.0%
49_その他_カンファレンスの参加(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
50_その他_ミーティングまたは打合せ(分)	805	805 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
51_その他_サービス担当者会議への参加(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
52_その他_他機関への連絡調整(主治医等)★(分)	10	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%
53_その他_退院・利用調整★(分)	10	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	5 50.0%
54_その他_利用者、家族からの相談対応★(分)	105	0 0.0%	10 9.5%	85 81.0%	10 9.5%
55_その他_家族への連絡調整★(分)	285	25 8.8%	180 63.2%	70 24.6%	10 3.5%
56_その他_介護職員への研修(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
57_その他_介護職員への指導(分)	30	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
58_その他_家族への指導★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
59_その他_本人への指導★(分)	35	0 0.0%	15 42.9%	20 57.1%	0 0.0%
60_その他_ケアマネジャーとの相談、連携★(分)	55	0 0.0%	40 72.7%	15 27.3%	0 0.0%
61_その他_器具の消毒、感染性廃棄物の管理★(分)	50	15 30.0%	30 60.0%	0 0.0%	5 10.0%
62_その他_清掃★(分)	755	30 4.0%	105 13.9%	40 5.3%	580 76.8%
63_その他_帰りの申し送り(分)	145	135 93.1%	10 6.9%	0 0.0%	0 0.0%
64_その他_その他1(分)	3360	365 10.9%	1560 46.4%	935 27.8%	500 14.9%
64_その他_その他2(分)	1125	155 13.8%	280 24.9%	215 19.1%	475 42.2%
64_その他_その他3(分)	905	310 34.3%	335 37.0%	55 6.1%	205 22.7%

図表 196 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「休憩」【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「看護職員による介入が必要と 特段に判断されたため行った」 業務	「行っていない業務 は、結果的に看護職員が 「看護職員による介入の必要性が 行っていない業務」
65__休憩__休憩(分)	3780	3720 98.4%	30 0.8%	10 0.3%	20 0.5%

図表 197 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「通所介護以外の
併設サービスにおける勤務」【通所介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「看護職員による介入が必要と 特段に判断されたため行った」 業務	「行っていない業務 は、結果的に看護職員が 「看護職員による介入の必要性が 行っていない業務」
66__通所介護以外の併設サービスにおける勤務__(分)	105	105 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【認知症対応型通所介護】

- ・ 認知症対応型通所介護における全 48 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 198～図表 210 に示す。

図表 198 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」の詳細業務内
【認知症対応型通所介護】

	(単位：分) 実数合計	「バイタル確認、看護記録等」 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「看護職員により行うこととな る当該行為を全 て看護職員に 関わらず」業務 （利用者の状態像に て看護職員により行うこととな る当該行為を全 て看護職員に	「看護職員による介入が必要と する」業務 （特段に判断されたため行った 看護職員による介入が必要と する」業務	「看護職員による介入の必要性が ない」業務 （看護職員による介入の必要性が ない」業務
01 準備 職員間の打合せ、連絡(分)	675	675 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 199 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「送迎」【認知症対応型通所介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わず)業務	業務 特段に判断されたため行った 「看護職員による介入が必要と 」	行った「業務 はないが、結果的に看護職員が 「看護職員による介入の必要性
02 送迎 乗車、降車の介助★(分)	435	40 9.2%	50 11.5%	10 2.3%	335 77.0%
03 送迎 乗車中の見守り★(分)	545	35 6.4%	175 32.1%	0 0.0%	335 61.5%

図表 200 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」
【認知症対応型通所介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「開かず」業務 「利用者の状態像に て看護職員により行うこととな る」(本事業所では、当該行為を全 て看護職員に)	業務 「看護職員による介入が必要」と 「看護職員による介入の必要性が 行っていない」業務	行った業務
04_健康管理_その他★(分)	535	100 18.7%	45 8.4%	20 3.7%	370 69.2%
05_健康管理_バイタル確認(分)	1590	1580 99.4%	10 0.6%	0 0.0%	0 0.0%
06_健康管理_日常会話、声掛け★(分)	595	35 5.9%	120 20.2%	85 14.3%	355 59.7%

図表 201 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「排泄ケア」
【認知症対応型通所介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状態像に 関わらず」業務	業務 「看護職員による判断されたため行くと 「看護職員による判断や実施が	「看護職員による判断や実施が 「看護職員による判断や実施が
07__排泄ケア__トイレへの誘導、デイルームへの誘導★(分)	205	5 2.4%	15 7.3%	35 17.1%	150 73.2%
08__排泄ケア__トイレへの移乗・移動★(分)	175	5 2.9%	20 11.4%	50 28.6%	100 57.1%
09__排泄ケア__排泄時の脱衣、着衣の介助★(分)	80	0 0.0%	30 37.5%	5 6.3%	45 56.3%
10__排泄ケア__排泄時の見守り★(分)	115	5 4.3%	20 17.4%	10 8.7%	80 69.6%
11__排泄ケア__腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★(分)	15	0 0.0%	0 0.0%	5 33.3%	10 66.7%
12__排泄ケア__排泄物・排泄量の確認★(分)	35	0 0.0%	5 14.3%	25 71.4%	5 14.3%
13__排泄ケア__おむつ交換★(分)	55	10 18.2%	0 0.0%	5 9.1%	40 72.7%
14__排泄ケア__摘便(分)	40	40 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
15__排泄ケア__浣腸(分)	30	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
16__排泄ケア__人工肛門等の対応★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
17__排泄ケア__その他★(分)	35	15 42.9%	10 28.6%	5 14.3%	5 14.3%

図表 202 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「食事」【認知症対応型通所介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「関わらず」業務 「見ていない」(利用者の状態像に 「本事業所では、当該行為を全	業務 「特段に判断されたため行つた」 「看護職員による介入が必要と	「行つた」業務 「看護職員による介入の必要性
18__食事__配膳の準備★(分)	615	0 0.0%	335 54.5%	10 1.6%	270 43.9%
19__食事__食事、おやつ、水分摂取の介助★(分)	715	10 1.4%	215 30.1%	155 21.7%	335 46.9%
20__食事__食事、おやつ、水分摂取の見守り★(分)	245	0 0.0%	95 38.8%	10 4.1%	140 57.1%
21__食事__咀嚼、嚥下機能の観察★(分)	25	0 0.0%	10 40.0%	0 0.0%	15 60.0%
22__食事__食事摂取量・水分摂取量の観察★(分)	55	0 0.0%	10 18.2%	0 0.0%	45 81.8%
23__食事__下膳★(分)	175	0 0.0%	80 45.7%	20 11.4%	75 42.9%
24__食事__その他★(分)	595	185 31.1%	210 35.3%	15 2.5%	185 31.1%

図表 203 看護職員が実施する必要性区別業務時間数「入浴」【認知症対応型通所介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「開かず」業務 「利用者の状態像に ては、当該行為を全 て看護職員により行 うこととしない」と 「本事業所では、当 該行為を全	業務 特段に判断されたた め介入が必要と 「看護職員による介 入が行った」業務 「看護職員による介 入の必要性が はないが、結果的に 看護職員の必要
25__入浴__バイタル確認(分)	450	450 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
26__入浴__浴場への誘導★(分)	95	0 0.0%	10 10.5%	5 5.3%
27__入浴__脱衣、着衣の介助★(分)	550	15 2.7%	75 13.6%	25 4.5%
28__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★(分)	230	30 13.0%	45 19.6%	20 8.7%
29__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)★ (分)	350	315 90.0%	0 0.0%	25 7.1%
30__入浴__整髪の介助★(分)	195	0 0.0%	25 12.8%	0 0.0%
31__入浴__機械浴の介助★(分)	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
32__入浴__浴場からデイルームへの誘導★(分)	130	0 0.0%	35 26.9%	5 3.8%
33__入浴__その他★(分)	520	50 9.6%	260 50.0%	60 11.5%

図表 204 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「服薬」【認知症対応型通所介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「関わらず」業務 「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関する)	業務 「特段に判断されたため行つた」 「看護職員による介入が必要と 判断された」	「行つた」業務 「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が 介入した」
34__服薬__薬の区分け・与薬の準備(分)	415	415 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
35__服薬__薬を利用者に配布(分)	170	170 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
36__服薬__服薬介助(経口)(分)	420	385 91.7%	35 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
37__服薬__服薬介助(塗布薬、貼布薬)(分)	825	820 99.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.6%
38__服薬__服薬介助(点眼、点鼻薬)(分)	110	110 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
39__服薬__服薬の見守り★(分)	25	0 0.0%	0 0.0%	10 40.0%	15 60.0%
40__服薬__その他★(分)	65	20 30.8%	45 69.2%	0 0.0%	0 0.0%

図表 205 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」
【認知症対応型通所介護】

		(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	関わらず)業務 「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな	業務 「看護職員による介入が必要と 特段に判断されたため行つた」	行つた」業務 「看護職員による介入の必要性が はないが、結果的に看護職員が
41__口腔ケア__義歯の清掃★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
42__口腔ケア__歯磨きの介助★(分)	60	10 16.7%	20 33.3%	10 16.7%	20 33.3%	5 8.3%
43__口腔ケア__口腔内の衛生確認★(分)	40	0 0.0%	5 12.5%	0 0.0%	35 87.5%	5 12.5%
44__口腔ケア__その他★(分)	65	0 0.0%	60 92.3%	0 0.0%	5 7.7%	5 7.7%

図表 206 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「集団レクリエーション」

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「特段に判断されたため行つた」 業務 「看護職員による介入が必要と」 業務	「行つた」業務 「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が」
45_ 集団レクリエーション__レクリエーションの企画★(分)	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
46_ 集団レクリエーション__レクリエーションの準備、実施、介助★(分)	775	20 2.6%	60 7.7%	0 0.0%	695 89.7%
47_ 集団レクリエーション__その他★(分)	180	0 0.0%	0 0.0%	20 11.1%	160 88.9%

図表 207 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「リハビリ（機能訓練）」

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「関わらず」業務 「見てるだけ」業務 「本業務所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな って」業務	「特段に判断されたため行なった」 「看護職員による介入が必要」と	「行なった」業務 「看護職員による介入の必要性が はないが、結果的に看護職員が」
48_リハビリ(機能訓練)_バイタル確認(分)	50	50 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
49_リハビリ(機能訓練)_身体状態、機能観察・評価★(分)	90	0 0.0%	70 77.8%	0 0.0%	20 22.2%
50_リハビリ(機能訓練)_個別の機能訓練計画の立案★(分)	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
51_リハビリ(機能訓練)_リハビリの実施、介助★(分)	660	0 0.0%	645 97.7%	0 0.0%	15 2.3%
52_リハビリ(機能訓練)_リハビリの記録・評価★(分)	160	15 9.4%	145 90.6%	0 0.0%	0 0.0%

【訪問入浴介護】

- ・ 訪問入浴介護における全 51 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 211～図表 220 に示す。

図表 211 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」の詳細業務内【訪問入浴介護】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）
01_準備_職員間の打合せ、連絡(分)	1170	1135 97.0%	0 0.0%	35 3.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 212 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「移動」【訪問入浴介護】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）
02_移動_移動(分)	5925	5815 98.1%	0 0.0%	110 1.9%	0 0.0%	0 0.0%

図表 213 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」【訪問入浴介護】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）	「見て聞かず」業務（利用者状態像に即座に業務所では、当該行為を全うする）
03_健康管理_バイタル確認(分)	465	450 96.8%	15 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
04_健康管理_日常会話、声掛け★(分)	935	0 0.0%	630 67.4%	130 13.9%	175 18.7%	0 0.0%

図表 214 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「排泄ケア」【訪問入浴介護】

		(単位：分) 実数合計	「バイタル確認、看護記録等」 看護職員による判断や実施が	「関わらず」業務 「利用者の状態像に て看護職員により行うこととな 本事業所では、当該行為を全	「看護職員による介入が必要と」 「看護職員による介入が行った」 業務	「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が 行なった」業務
05__排泄ケア__トイレへの誘導★(分)	15	0 0.0%	5 33.3%	0 0.0%	10 66.7%	
06__排泄ケア__トイレへの移乗・移動★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	
07__排泄ケア__排泄時の脱衣、着衣の介助★(分)	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
08__排泄ケア__排泄時の見守り★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -	
09__排泄ケア__腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -	
10__排泄ケア__排泄物・排泄量の確認★(分)	100	10 10.0%	80 80.0%	5 5.0%	5 5.0%	
11__排泄ケア__おむつ交換★(分)	145	0 0.0%	105 72.4%	35 24.1%	5 3.4%	
12__排泄ケア__摘便(分)	20	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
13__排泄ケア__浣腸(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -	
14__排泄ケア__人工肛門等の対応★(分)	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
15__排泄ケア__その他★(分)	15	10 66.7%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	

図表 215 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「入浴」【訪問入浴介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「本事業所では、利用者の状態像に 関わらず」業務 「本事業所では、利用者の状態像に 関わらず」業務 「本事業所では、利用者の状態像に 関わらず」業務	特設業務 「看護職員による介入が必要」と 「看護職員による介入が必要」と	「行った」業務 「看護職員による介入の必要性が ない」業務
16__入浴__バイタル確認(分)	2215	2200 99.3%	15 0.7%	0 0.0%	0 0.0%
17__入浴__浴槽への誘導★(分)	615	25 4.1%	285 46.3%	235 38.2%	70 11.4%
18__入浴__脱衣、着衣の介助★(分)	2815	105 3.7%	1975 70.2%	525 18.7%	210 7.5%
19__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★(分)	1625	30 1.8%	1105 68.0%	395 24.3%	95 5.8%
20__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)★(分)	1600	70 4.4%	1045 65.3%	385 24.1%	100 6.3%
21__入浴__整髪の介助★(分)	325	10 3.1%	200 61.5%	75 23.1%	40 12.3%
22__入浴__浴槽からの誘導★(分)	485	0 0.0%	235 48.5%	225 46.4%	25 5.2%
23__入浴__機械浴の介助★(分)	15	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
24__入浴__その他★(分)	520	25 4.8%	275 52.9%	75 14.4%	145 27.9%

図表 216 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「服薬」【訪問入浴介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「本事業所では、利用者の状態像に 関わらず」業務 「本事業所では、利用者の状態像に 関わらず」業務 「本事業所では、利用者の状態像に 関わらず」業務	特設業務 「看護職員による介入が必要」と 「看護職員による介入が必要」と	「行った」業務 「看護職員による介入の必要性が ない」業務
25__服薬__薬の区分け・与薬の準備(分)	10	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
26__服薬__薬を利用者に配布(分)	10	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
27__服薬__服薬介助(経口)(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
28__服薬__服薬介助(塗布薬、貼布薬)(分)	410	335 81.7%	45 11.0%	25 6.1%	5 1.2%
29__服薬__服薬介助(点眼、点鼻薬)(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
30__服薬__服薬の見守り★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
31__服薬__その他★(分)	30	0 0.0%	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 217 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」【訪問入浴介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が	（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全	て「看護職員」(利用者)の状態で	「本事業所では、当該行為を全	て「看護職員」(利用者)の状態で	「本事業所では、当該行為を全	て「看護職員」(利用者)の状態で	「本事業所では、当該行為を全	て「看護職員」(利用者)の状態で
32__口腔ケア__義歯の清掃★(分)	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
33__口腔ケア__歯磨きの介助★(分)	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
34__口腔ケア__口腔内の衛生確認★(分)	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
35__口腔ケア__その他★(分)	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

図表 218 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「その他」【訪問入浴介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、看護記録等）	「見てもらう」業務 （利用者との状態像に 関する観察等）	「特段に判断されたため 介入が必要」と 「看護職員による介入が 必要」と	「行った業務 の結果、看護職員による 介入の必要性が ない」と
36_その他_ミーティングまたは打ち合わせ(分)	455	440 96.7%	0 0.0%	15 3.3%	0 0.0%
37_その他_訪問入浴記録の作成(リハビリの記録を除く)★(分)	1290	150 11.6%	1000 77.5%	140 10.9%	0 0.0%
38_その他_カンファレンスの参加(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
39_その他_サービス担当者会議への参加(分)	25	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
40_その他_他機関への連絡調整(主治医等)★(分)	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
41_その他_退院・利用調整★(分)	10	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
42_その他_利用者、家族からの相談対応★(分)	225	0 0.0%	160 71.1%	65 28.9%	0 0.0%
43_その他_家族への連絡調整★(分)	85	5 5.9%	55 64.7%	5 5.9%	20 23.5%
44_その他_介護職員への研修(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
45_その他_介護職員への指導(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
46_その他_家族への指導★(分)	45	0 0.0%	0 0.0%	35 77.8%	10 22.2%
47_その他_本人への指導★(分)	10	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
48_その他_ケアマネジャーとの相談、連携★(分)	35	0 0.0%	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
49_その他_器具の消毒、感染性廃棄物の管理★(分)	60	0 0.0%	60 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
50_その他_清掃★(分)	25	10 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 60.0%
51_その他_シーツの交換★(分)	45	0 0.0%	5 11.1%	0 0.0%	40 88.9%
52_その他_帰りの申し送り(分)	170	170 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
53_その他_その他1★(分)	1265	285 22.5%	665 52.6%	105 8.3%	210 16.6%
53_その他_その他2★(分)	170	5 2.9%	25 14.7%	85 50.0%	55 32.4%
53_その他_その他3★(分)	15	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 219 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「休憩」【訪問入浴介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、看護記録等） 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」（利用者状態像に 関わらず）業務	「看護職員による介入が必要と 業務 特段に判断されたため行った」	「行 った」業務 「看護職員による結果的に看護職員が 必要」
54__休憩__休憩(分)	2330	2330 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 220 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「訪問入浴介護以外の併設サービスにおける勤務」【訪問入浴介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、看護記録等） 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」（利用者状態像に 関わらず）業務	「看護職員による介入が必要と 業務 特段に判断されたため行った」	「行 った」業務 「看護職員による結果的に看護職員が 必要」
55__訪問入浴介護以外の併設サービスにおける勤務__(分)	150	150 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【小規模多機能型居宅介護】

- ・ 小規模多機能型居宅介護における全 92 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 221～図表 240 に示す。

図表 221 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」の詳細業務内
【小規模多機能型居宅介護】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全」 「て、看護職員（利用者）の状況像に 「関わらず」業務	「特業務」 「看護職員に判断されたために行った」	「は行」 「看護職員による結果的に看護職員性が
01_準備_介護職員からの申し送り、ミーティング(分)	850	845 99.4%	0 0.0%	5 0.6%	0 0.0%

図表 222 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「送迎」【小規模多機能型居宅介護】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全」 「て、看護職員（利用者）の状況像に 「関わらず」業務	「特業務」 「看護職員に判断されたために行った」	「は行」 「看護職員による結果的に看護職員性が
02_送迎_乗車、降車の介助★(分)	320	15 4.7%	75 23.4%	65 20.3%	165 51.6%
03_送迎_乗車中の見守り★(分)	170	65 38.2%	70 41.2%	0 0.0%	35 20.6%
04_送迎_その他★(分)	970	5 0.5%	535 55.2%	180 18.6%	250 25.8%

図表 223 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「本事業所では、当該行為を全 て見ていない」業務 (利用者の状態像に 関わらず)	「特 業務 看護に判断されたために行 った」	「は行 ないが、業務 の結果的に看護 職員による必要 性が」
05_健康管理__バイタル確認(分)	3420	3305 96.6%	80 2.3%	35 1.0%	0 0.0%
06_健康管理__その他★(分)	405	115 28.4%	125 30.9%	150 37.0%	15 3.7%

図表 224 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「診療の補助」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「本事業所では、当該行為を全 て見ていない」業務 (利用者の状態像に 関わらず)	「特 業務 看護に判断されたために行 った」	「は行 ないが、業務 の結果的に看護 職員による必要 性が」
07_診療の補助__(医療処置、準備、片付け等含む)(分)	895	865 96.6%	0 0.0%	10 1.1%	20 2.2%

図表 225 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「移動の介助」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「本事業所では、当該行為を全 て見ていない」業務 (利用者の状態像に 関わらず)	「特 業務 看護に判断されたために行 った」	「は行 ないが、業務 の結果的に看護 職員による必要 性が」
08_移動の介助__居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★(分)	770	35 4.5%	225 29.2%	160 20.8%	350 45.5%
09_移動の介助__日常会話、声掛け★(分)	1325	145 10.9%	240 18.1%	270 20.4%	670 50.6%
10_移動の介助__居室の見回り、リビング等での見守り★(分)	735	10 1.4%	195 26.5%	45 6.1%	485 66.0%
11_移動の介助__その他★(分)	130	10 7.7%	10 7.7%	30 23.1%	80 61.5%

図表 226 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「食事」【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、 看護職員による 判断や実施が 確認記録等）	「本事業所では、 当該行為を全 て行わない」と 判断された業務 （利用者との 関係に支障を 生じない業務）	「特段に判断 されたため行 った」と判断 された業務	「行なった業務 の結果、介護 職員の必要性 が確認された」
12__食事__配膳の準備★(分)	915	80 8.7%	205 22.4%	5 0.5%	625 68.3%
13__食事__食事、おやつ、水分摂取の介助★(分)	1220	45 3.7%	160 13.1%	160 13.1%	855 70.1%
14__食事__食事、おやつ、水分摂取の見守り★(分)	535	10 1.9%	255 47.7%	30 5.6%	240 44.9%
15__食事__咀嚼、嚥下機能の観察★(分)	65	40 61.5%	0 0.0%	10 15.4%	15 23.1%
16__食事__食事摂取量・水分摂取量の観察★(分)	85	5 5.9%	10 11.8%	10 11.8%	60 70.6%
17__食事__下膳★(分)	265	5 1.9%	40 15.1%	0 0.0%	220 83.0%
18__食事__その他★(分)	525	50 9.5%	170 32.4%	0 0.0%	305 58.1%

図表 227 看護職員が実施する必要性区別業務時間数「排泄ケア」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな って（利用者の状態像に 関わらず）業務	「特段に判断されたために行つた」 業務 看護職員による介入が必要と	「行った」業務 看護職員による結果的介入の看護職員が
19__排泄ケア__トイレへの誘導、居室等への誘導★(分)	460	20 4.3%	85 18.5%	65 14.1%	290 63.0%
20__排泄ケア__トイレへの移乗・移動★(分)	390	25 6.4%	65 16.7%	65 16.7%	235 60.3%
21__排泄ケア__排泄時の脱衣、着衣の介助★(分)	260	15 5.8%	65 25.0%	55 21.2%	125 48.1%
22__排泄ケア__排泄時の見守り★(分)	190	15 7.9%	40 21.1%	10 5.3%	125 65.8%
23__排泄ケア__腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★(分)	20	0 0.0%	0 0.0%	15 75.0%	5 25.0%
24__排泄ケア__排泄物・排泄量の確認★(分)	90	20 22.2%	0 0.0%	30 33.3%	40 44.4%
25__排泄ケア__おむつ交換★(分)	140	5 3.6%	5 3.6%	50 35.7%	80 57.1%
26__排泄ケア__排便の準備、実施、観察、後片付け(分)	35	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
27__排泄ケア__浣腸の準備、実施、観察、後片付け(分)	60	60 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
28__排泄ケア__人工肛門等の対応★(分)	40	0 0.0%	30 75.0%	10 25.0%	0 0.0%
29__排泄ケア__その他★(分)	60	0 0.0%	40 66.7%	5 8.3%	15 25.0%

図表 228 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「入浴」【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「関わらず」業務 「看護職員による介入が必要と 判断されたため行なった」業務	「看護職員による介入の必要性が ないが、結果的に看護職員が 行なった」業務
30__入浴__バイタル確認(分)	125	125 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
31__入浴__浴場への誘導★(分)	50	0 0.0%	30 60.0%	20 40.0%
32__入浴__脱衣、着衣の介助★(分)	380	5 1.3%	160 42.1%	45 11.8%
33__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★(分)	225	0 0.0%	105 46.7%	15 6.7%
34__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のある方：褥瘡や創傷ありなど)★(分)	160	25 15.6%	25 15.6%	85 53.1%
35__入浴__整髪の介助★(分)	160	0 0.0%	30 18.8%	10 6.3%
36__入浴__機械浴の介助★(分)	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
37__入浴__浴場と居室との間の移動の介助、誘導★(分)	130	0 0.0%	65 50.0%	0 0.0%
38__入浴__その他★(分)	480	65 13.5%	170 35.4%	110 22.9%

図表 229 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「服薬」【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 （バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」に利用者の状態像に 関わらず」業務	「特務 看護に 判断に 断された ため が 必要 と」	「は行 った 業務 の結果 的に 看護 職員 性が」
39 服薬 薬品庫、常備薬、保冷庫の確認、薬品発注(分)	50	50 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
40 服薬 処方箋と処方薬との照合、処方の確認(分)	680	670 98.5%	10 1.5%	0 0.0%	0 0.0%
41 服薬 薬の区分け・与薬の準備、後片付け(分)	2320	2300 99.1%	20 0.9%	0 0.0%	0 0.0%
42 服薬 薬を利用者に配布(分)	140	140 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
43 服薬 服薬介助(経口)(分)	650	620 95.4%	5 0.8%	10 1.5%	15 2.3%
44 服薬 服薬介助(塗布薬、貼布薬)(分)	680	680 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
45 服薬 服薬介助(点眼、点鼻薬)(分)	145	145 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
46 服薬 服薬介助(座薬)(分)	25	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
47 服薬 服薬介助(注射)(分)	30	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
48 服薬 服薬の見守り★(分)	50	30 60.0%	5 10.0%	5 10.0%	10 20.0%
49 服薬 その他★(分)	100	15 15.0%	85 85.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 230 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 （バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」に利用者の状態像に 関わらず」業務	「特務 看護に 判断に 断された ため が 必要 と」	「は行 った 業務 の結果 的に 看護 職員 性が」
50 口腔ケア 義歯の清掃★(分)	50	0 0.0%	20 40.0%	0 0.0%	30 60.0%
51 口腔ケア 歯磨きの介助★(分)	235	0 0.0%	95 40.4%	45 19.1%	95 40.4%
52 口腔ケア 口腔内の衛生確認★(分)	85	0 0.0%	5 5.9%	60 70.6%	20 23.5%
53 口腔ケア その他★(分)	80	0 0.0%	35 43.8%	10 12.5%	35 43.8%

図表 231 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「集団レクリエーション」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていません」(業務 関わらず)	「特 業務 看護職員に 判断された ために行っ た」と	「行 った」業務 はないが、結 果的に看護 職員による 介入の必要 性が
54__集団レクリエーション__レクリエーションの企画★(分)	10	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
55__集団レクリエーション__レクリエーションの準備、実施、介助★(分)	960	125 13.0%	225 23.4%	160 16.7%	450 46.9%
56__集団レクリエーション__その他★(分)	150	10 6.7%	20 13.3%	0 0.0%	120 80.0%

図表 232 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「リハビリ（機能訓練）」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていません」(業務 関わらず)	「特 業務 看護職員に 判断された ために行っ た」と	「行 った」業務 はないが、結 果的に看護 職員による 介入の必要 性が
57__リハビリ(機能訓練)__バイタル確認(分)	10	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
58__リハビリ(機能訓練)__身体状態、機能観察・評価★(分)	100	75 75.0%	10 10.0%	15 15.0%	0 0.0%
59__リハビリ(機能訓練)__個別の機能訓練計画の立案★(分)	80	0 0.0%	0 0.0%	25 31.3%	55 68.8%
60__リハビリ(機能訓練)__リハビリの実施、介助★(分)	735	75 10.2%	145 19.7%	160 21.8%	355 48.3%
61__リハビリ(機能訓練)__リハビリの記録・評価★(分)	15	0 0.0%	5 33.3%	10 66.7%	0 0.0%

図表 233 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「記録」【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「特段に判断されたため行つた」 業務 看護職員による介入が必要と	「は行 なつた」 看護職員による結果的介入の看護 職員が業務的必要性が
62__記録__看護記録の作成(リハビリの記録を除く)(分)	2975	2915 98.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 2.0%
63__記録__看護計画の作成、評価、見直し(分)	115	115 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 234 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「会議」【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「特段に判断されたため行つた」 業務 看護職員による介入が必要と	「は行 なつた」 看護職員による結果的介入の看護 職員が業務的必要性が
64__会議__カンファレンスの参加(分)	35	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
65__会議__ミーティングまたは打合せ(分)	1475	1415 95.9%	5 0.3%	0 0.0%	55 3.7%
66__会議__サービス担当者会議への参加(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 235 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「調整」【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「特段に判断されたため行つた」 業務 看護職員による介入が必要と	「は行 なつた」 看護職員による結果的介入の看護 職員が業務的必要性が
67__調整__職員からの利用者の健康情報の報告の受理★(分)	180	5 2.8%	125 69.4%	35 19.4%	15 8.3%
68__調整__他機関への連絡調整(主治医等)★(分)	135	0 0.0%	50 37.0%	70 51.9%	15 11.1%
69__調整__インテーク、退院・利用調整★(分)	70	0 0.0%	65 92.9%	0 0.0%	5 7.1%

図表 236 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「利用者、家族への対応」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に 関わらず」業務	「特業務 看護職員に判断されたため に行った」業務	「行 った」業務 「看護職員による結果的 に看護職員が必要」
70__利用者、家族への対応__家族への連絡調整★(分)	185	5 2.7%	105 56.8%	60 32.4%	15 8.1%
71__対応__利用者、家族からの相談対応★(分)	45	5 11.1%	35 77.8%	5 11.1%	0 0.0%

図表 237 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「緊急対応」
【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に 関わらず」業務	「特業務 看護職員に判断されたため に行った」業務	「行 った」業務 「看護職員による結果的 に看護職員が必要」
72__緊急対応__ナースコール対応(分)	70	70 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
73__緊急対応__ターミナルケア★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 238 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「その他」
【小規模多機能型居宅介護】

		(単位：分) 実数合計	「求められる業務 看護職員による判断 や実施が	「本業務所では、 当該行為を全 て「看護職員」に 行っている」(利用 者の状態像に 関わらず)業務	「特業務 に判断されたため 介入が必要と」 看護職員による介入	「行った業務 は、結果的に看護 職員が、結果的に 看護職員の必要性が
74_その他_介護職員への研修(分)	70	70 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
75_その他_介護職員への指導(分)	460	460 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
76_その他_家族への指導★(分)	10	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	5 50.0%	
77_その他_本人への指導★(分)	35	0 0.0%	10 28.6%	15 42.9%	10 28.6%	
78_その他_ケアマネジャーとの相談、連携★(分)	155	0 0.0%	20 12.9%	85 54.8%	50 32.3%	
79_その他_器具の消毒、感染性廃棄物の管理★(分)	40	0 0.0%	20 50.0%	5 12.5%	15 37.5%	
80_その他_清掃★(分)	400	55 13.8%	200 50.0%	45 11.3%	100 25.0%	
81_その他_帰りの申し送り(分)	115	100 87.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 13.0%	
82_その他_死後の処置★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -	
83_その他_その他1★(分)	2670	485 18.2%	1005 37.6%	110 4.1%	1070 40.1%	
83_その他_その他2★(分)	820	110 13.4%	405 49.4%	95 11.6%	210 25.6%	
83_その他_その他3★(分)	440	205 46.6%	45 10.2%	65 14.8%	125 28.4%	

図表 239 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「休憩」【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	0	0	60
84__休憩__休憩(分)	2965	2905 98.0%	0 0.0%	0 0.0%	2.0%

図表 240 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「小規模多機能型居宅介護以外の併設サービスにおける勤務」【小規模多機能型居宅介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全て行っている」（利用者の状態像に関わらず）業務	「特段に判断されたために行った」（看護職員による介入が必要と）業務	「行った」業務（結果的に看護職員が）
85 小規模多機能型居宅介護以外の併設サービスにおける勤務(分)	1045	1040 99.5%	5 0.5%	0 0.0%	0 0.0%

【短期入所生活介護（単独型）】

- ・ 短期入所生活介護における全 38 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 241～図表 260 に示す。

図表 241 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」の詳細業務内
【短期入所生活介護（単独型）】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全	「特業務」に判断されたため行った	「行っていない」業務結果的に看護職員が
01__準備__介護職員からの申し送り、ミーティング(分)	885	855 96.6%	30 3.4%	0 0.0%	0 0.0%

図表 242 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」
【短期入所生活介護（単独型）】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全	「特業務」に判断されたため行った	「行っていない」業務結果的に看護職員が
02__健康管理__バイタル確認(分)	1440	1375 95.5%	65 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
03__健康管理__その他(分)	275	130 47.3%	80 29.1%	65 23.6%	0 0.0%

図表 243 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「診療の補助」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「看護職員による介入が必要」と 特業務	「看護職員による介入の必要性が はないが、結果的に看護職員が 行った」業務
04__診療の補助__医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案(分)	25	20 80.0%	0 0.0%	5 20.0%	0 0.0%
05__診療の補助__診察の準備、介助、後片付け(分)	80	80 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
06__診療の補助__吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導(分)	55	45 81.8%	10 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
07__診療の補助__胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導(分)	780	725 92.9%	55 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
08__診療の補助__静脈内注射の準備、実施、後片付け(分)	25	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
09__診療の補助__点滴の調整、確認、抜去(分)	50	50 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10__診療の補助__褥瘡予防のケア(分)	75	75 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
11__診療の補助__褥瘡処置の準備、実施、後片付け(分)	210	210 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12__診療の補助__留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け(分)	75	75 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
13__診療の補助__外部医療機関への受診同行(分)	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
14__診療の補助__その他(分)	195	190 97.4%	5 2.6%	0 0.0%	0 0.0%

図表 244 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「移動の介助」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「利用者」(利用者の状態像にて看護職員により行うこととな「本事業所では、当該行為を全	開ならず)業務 「看断されるため介入が必要と	業務 特段に判断されたため介入が必要と	「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務 「看護職員による介入の必要性
15__移動の介助__居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★(分)	275	5 1.8%	100 36.4%	70 25.5%	100 36.4%	

図表 245 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「居室、リビング等での見守り」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「利用者の状態像に ては、当該行為を全 て看護職員により行 うこととな る」(業務所では、当 該行為を全 て看護職員により行 うこととな る)	「特段に判断されたた めに行った」(業務 所では、当該行為を 全て看護職員により 行うこととなる)	「行 った」業務 所では、結果的に 看護職員による介 入の必要性が ないが、業務所 では、結果的に 看護職員による介 入の必要性が ない
16__居室、リビング等での見守り__日常会話、声掛け★(分)	400	140 35.0%	55 13.8%	75 18.8%	130 32.5%
17__居室、リビング等での見守り__居室の見回り、リビング等での見守り★ (分)	425	5 1.2%	130 30.6%	140 32.9%	150 35.3%
18__居室、リビング等での見守り__その他(分)	80	5 6.3%	0 0.0%	35 43.8%	40 50.0%

図表 246 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「食事」【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	（利用者の状態像に 「看護職員により行うこととな 「本事業所では、当該行為を全 関わらず」業務 っている」	業務 「看護職員に判断されたため行 「看護職員による介入が必要と 特段に判断されたため行 業務 「看護職員による介入の必要性 行った」業務 「看護職員による介入の必要性	
19__食事__配膳の準備★(分)	175	0 0.0%	30 17.1%	0 0.0%	145 82.9%
20__食事__食事、おやつ、水分摂取の介助★(分)	320	0 0.0%	35 10.9%	105 32.8%	180 56.3%
21__食事__食事、おやつ、水分摂取の見守り★(分)	65	10 15.4%	10 15.4%	10 15.4%	35 53.8%
22__食事__咀嚼、嚥下機能の観察★(分)	25	5 20.0%	10 40.0%	0 0.0%	10 40.0%
23__食事__食事摂取量・水分摂取量の観察★(分)	20	0 0.0%	0 0.0%	5 25.0%	15 75.0%
24__食事__下膳★(分)	65	0 0.0%	10 15.4%	0 0.0%	55 84.6%
25__食事__その他(分)	35	0 0.0%	10 28.6%	0 0.0%	25 71.4%

図表 247 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「排泄ケア」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていません」（業務 関わらず）	「特務 業務に 看護職員に 判断された ために行っ た」と	「行った業務 は、結果的に 看護職員による 介入の必要性が ない」と
26__排泄ケア__トイレへの誘導、居室等への誘導★(分)	80	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	80 100.0%
27__排泄ケア__トイレへの移乗・移動★(分)	45	0 0.0%	0 0.0%	15 33.3%	30 66.7%
28__排泄ケア__排泄時の脱衣、着衣の介助★(分)	45	20 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	25 55.6%
29__排泄ケア__排泄時の見守り★(分)	30	0 0.0%	5 16.7%	20 66.7%	5 16.7%
30__排泄ケア__腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★(分)	30	5 16.7%	0 0.0%	15 50.0%	10 33.3%
31__排泄ケア__排泄物・排泄量の確認★(分)	45	20 44.4%	5 11.1%	20 44.4%	0 0.0%
32__排泄ケア__おむつ交換★(分)	40	10 25.0%	0 0.0%	20 50.0%	10 25.0%
33__排泄ケア__排便の準備、実施、観察、後片付け(分)	100	90 90.0%	0 0.0%	10 10.0%	0 0.0%
34__排泄ケア__浣腸の準備、実施、観察、後片付け(分)	145	105 72.4%	40 27.6%	0 0.0%	0 0.0%
35__排泄ケア__人工肛門等の対応★(分)	15	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
36__排泄ケア__その他(分)	25	0 0.0%	10 40.0%	0 0.0%	15 60.0%

図表 248 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「入浴」【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に「関わらず」業務 を行っている」	「特段に判断されたため行 った」業務 看護職員による介入が必要と した	「は行 った」業務 看護職員による結果的に看護 職員が
37__入浴__バイタル確認(分)	115	105 91.3%	5 4.3%	5 4.3%	0 0.0%
38__入浴__浴場への誘導★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
39__入浴__脱衣、着衣の介助★(分)	75	0 0.0%	0 0.0%	20 26.7%	55 73.3%
40__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★(分)	20	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%	0 0.0%
41__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありな ど)★(分)	15	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
42__入浴__整髪の介助★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
43__入浴__機械浴の介助★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
44__入浴__浴場と居室との間の移動の介助、誘導★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
45__入浴__その他(分)	60	10 16.7%	45 75.0%	5 8.3%	0 0.0%

図表 249 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「服薬」【短期入所生活介護（単独型）】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全て「看護職員」による利用者の状態像に「関わらず」業務を行っている」業務	「特務に判断されたため介入が必要」と「看護職員による介入が必要」と	「行っていない業務の結果的に看護職員が行った業務」
46__服薬__薬品庫、常備薬、保冷庫の確認、薬品発注(分)	70	70 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
47__服薬__処方箋と処方薬との照合、処方の確認(分)	325	325 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
48__服薬__薬の区分け・与薬の準備、後片付け(分)	2340	2275 97.2%	60 2.6%	5 0.2%	0 0.0%
49__服薬__薬を利用者に配布(分)	85	85 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50__服薬__服薬介助(経口)(分)	265	265 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
51__服薬__服薬介助(塗布薬、貼布薬)(分)	240	240 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
52__服薬__服薬介助(点眼、点鼻薬)(分)	225	225 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
53__服薬__服薬介助(座薬)(分)	45	45 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
54__服薬__服薬介助(注射)(分)	80	80 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
55__服薬__服薬の見守り★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
56__服薬__その他(分)	190	120 63.2%	60 31.6%	0 0.0%	10 5.3%

図表 250 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」
【短期入所生活介護（単独型）】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全て「看護職員」による利用者の状態像に「関わらず」業務を行っている」業務	「特務に判断されたため介入が必要」と「看護職員による介入が必要」と	「行っていない業務の結果的に看護職員が行った業務」
57__口腔ケア__義歯の清掃★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
58__口腔ケア__歯磨きの介助★(分)	25	15 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 40.0%
59__口腔ケア__口腔内の衛生確認★(分)	20	10 50.0%	0 0.0%	5 25.0%	5 25.0%
60__口腔ケア__その他(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 251 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「集団レクリエーション」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「本事業所では、当該行為を全 て看護師員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わず)業務	「看護職員による介入が必要と 特段に判断されたため行った」 業務	「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が 行った」業務
61_ 集団レクリエーション__レクレーションの企画★(分)	45	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	45 100.0%
62_ 集団レクリエーション__レクリエーションの準備、実施、介助★(分)	75	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	75 100.0%
63_ 集団レクリエーション__その他(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 0

図表 252 看護職員が実施する必要性区別業務時間数「リハビリ（機能訓練）」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「開わず」業務 「利用者の状態像に て看職により行うこととな る」(利用者)の業務 「本事業所では、当該行為を全 て看職により行うこととな る」(利用者)の業務	「特務」 「看護職員による介入が必要と する」業務 「看護職員による介入が行った」 業務	「行なった」業務 「看護職員による介入の結果的に看護職員が 必要とする」業務
64_リハビリ(機能訓練)_バイタル確認(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
65_リハビリ(機能訓練)_身体状態・機能観察・評価★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
66_リハビリ(機能訓練)_個別の機能訓練計画の立案★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
67_リハビリ(機能訓練)_リハビリの実施、介助★(分)	45	0 0.0%	35 77.8%	10 22.2%	0 0.0%
68_リハビリ(機能訓練)_リハビリの記録・評価★(分)	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 253 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「記録」【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務確認、看護記録等） 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全	「関わらず」業務 「看護職員により利用者の状態像に	「特段に判断されたため介入が必要と	業務 「看護職員による結果的に看護職員が
69__記録__看護記録の作成(リハビリの記録を除く)(分)	2455	2400 97.8%	55 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
70__記録__看護計画の作成、評価、見直し(分)	45	45 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 254 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「会議」【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が	（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全	「関わらず」業務 「看護職員により利用者の状態像に	「特段に判断されたため介入が必要と	業務 「看護職員による結果的に看護職員が	行った」業務 「看護職員による介入の必要性が
71_会議_カンファレンスの参加(分)	65	65	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
72_会議_ミーティングまたは打合せ(分)	745	695	93.3%	50	6.7%	0	0.0%	0
73_会議_サービス担当者会議への参加(分)	65	65	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0

図表 255 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「調整」【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が	（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全	「関わらず」業務 「看護職員により利用者の状態像に	「特段に判断されたため介入が必要」と	業務 「看護職員による結果的に看護職員が行った」業務 「看護職員による介入の必要性が
74__調整__職員からの利用者の健康情報の報告の受理★(分)	190	10 5.3%	110 57.9%	70 36.8%	0 0.0%		
75__調整__他機関への連絡調整(主治医等)★(分)	30	10 33.3%	5 16.7%	10 33.3%	5 16.7%		
76__調整__インテーク、退院・利用調整★(分)	220	25 11.4%	80 36.4%	115 52.3%	0 0.0%		

図表 256 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「利用者、家族への対応」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全	「特業務に判断されたため行った」	「は行っていないが、業務的に結果的に看護職員が必要」
77_利用者、家族への対応_家族への連絡調整★(分)	70	20 28.6%	5 7.1%	45 64.3%	0 0.0%
78_利用者、家族への対応_利用者、家族からの相談対応★(分)	105	25 23.8%	10 9.5%	45 42.9%	25 23.8%

図表 257 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「緊急対応」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全	「特業務に判断されたため行った」	「は行っていないが、業務的に結果的に看護職員が必要」
79_緊急対応_ナースコール対応(分)	30	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
80_緊急対応_ターミナルケア★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 258 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「その他」
【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等)求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっていない」(利用者の状態像に	「開わず」業務 「関わる」業務 「看断されるために行った」 「看護職員による介入が必要と	業務 「行なった」業務 「看護職員による介入の必要性
81_その他_介護職員への研修(分)	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
82_その他_介護職員への指導(分)	80	70 87.5%	10 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
83_その他_家族への指導★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
84_その他_本人への指導★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
85_その他_ケアマネジャーとの相談、連携★(分)	20	0 0.0%	10 50.0%	10 50.0%	0 0.0%
86_その他_器具の消毒、感染性廃棄物の管理★(分)	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%
87_その他_清掃★(分)	155	30 19.4%	115 74.2%	0 0.0%	10 6.5%
88_その他_帰りの申し送り(分)	360	360 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
89_その他_死後の処置★(分)	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
90_その他_その他1(分)	1765	665 37.7%	675 38.2%	140 7.9%	285 16.1%
90_その他_その他2(分)	725	65 9.0%	595 82.1%	10 1.4%	55 7.6%
90_その他_その他3(分)	360	140 38.9%	180 50.0%	20 5.6%	20 5.6%

図表 259 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「休憩」【短期入所生活介護（単独型）】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等)求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっていない」(利用者の状態像に「看護職員による介入が必要と特段に判断されたため行なった」)	業務	行った」業務はないが、結果的に看護職員が「看護職員による介入の必要性
91 休憩 休憩(分)	1930	1930 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 260 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「短期入所生活介護以外の併設サービスにおける勤務」【短期入所生活介護（単独型）】

	（単位：分） 実数合計	看護職員による業務の判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全て行っている」（利用者との関係）	「特設業務に判断されたため行った」（看護職員による介入が必要と）	「行った」（業務の結果、看護職員による介入の必要性が）
92_短期入所生活介護以外の併設サービスにおける勤務(分)	850	850 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【認知症対応型共同生活介護】

- ・ 認知症対応型共同生活介護における全 22 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 261～図表 280 に示す。

図表 261 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」

【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全て見ていない」業務（利用者との状態像に「関係ない」業務）	「特段に判断された介入が必要」と「看護職員による介入が行った」業務	「行った」業務（結果的に看護職員が「行った」業務）
01_準備_介護職員からの申し送り、ミーティング(分)	210	210 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 262 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」

【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全て見ていない」業務（利用者との状態像に「関係ない」業務）	「特段に判断された介入が必要」と「看護職員による介入が行った」業務	「行った」業務（結果的に看護職員が「行った」業務）
02_健康管理_バイタル確認(分)	305	305 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
03_健康管理_その他(分)	240	65 27.1%	165 68.8%	10 4.2%	0 0.0%

図表 263 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「診療の補助」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「関わらず」業務 「見てわかる」業務 「本事業所では、当該行為を全	業務 特段に判断されたため行つた「看護職員による介入が必要」と	行つた「業務 はなはだ、結果的に看護職員が「看護職員による介入の必要性
04__診療の補助__医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案(分)	120	120 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
05__診療の補助__診察の準備、介助、後片付け(分)	360	360 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
06__診療の補助__吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
07__診療の補助__胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
08__診療の補助__静脈内注射の準備、実施、後片付け(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
09__診療の補助__点滴の調整、確認、抜去(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
10__診療の補助__褥瘡予防のケア(分)	10	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
11__診療の補助__褥瘡処置の準備、実施、後片付け(分)	30	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12__診療の補助__留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
13__診療の補助__外部医療機関への受診同行(分)	120	120 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
14__診療の補助__その他(分)	105	95 90.5%	0 0.0%	0 0.0%	10 9.5%

図表 264 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「移動の介助」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「関連する」業務 利用者の状態像に て看護職員により行うこととな 「本事業所では、当該行為を全 関わらず」業務 について	業務 特段に判断されたため行った 「看護職員による介入が必要と 看護職員による介入が	行った」業務 はないが、結果的に看護職員が 「看護職員による介入の必要性
15 移動の介助 居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★(分)	215	0 0.0%	110 51.2%	0 0.0%	105 48.8%

図表 265 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「居室、リビング等での見守り」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「見ていない」業務 に「関わらず」業務 を行っている」(利用者 の状況像に 「本事業所では、当該行為を全 て「見ていない」業務 に「関わらず」業務 を行っている」(利用者 の状況像に	「特 業務 」看護職員による介入が必要と 「看護職員による介入が必要と 「看護職員による介入が必要と	「は行 った」業務 「看護職員による介入の必要性が 「看護職員による介入の必要性が
16 居室、リビング等での見守り 日常会話、声掛け★(分)	455	0 0.0%	110 24.2%	10 2.2%	335 73.6%
17 居室、リビング等での見守り 居室の見回り、リビング等での見守り★(分)	90	0 0.0%	45 50.0%	20 22.2%	25 27.8%
18 居室、リビング等での見守り その他(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 266 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「食事」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「見ていない」業務 に「関わらず」業務 を行っている」(利用者 の状況像に 「本事業所では、当該行為を全 て「見ていない」業務 に「関わらず」業務 を行っている」(利用者 の状況像に	「特 業務 」看護職員による介入が必要と 「看護職員による介入が必要と 「看護職員による介入が必要と	「は行 った」業務 「看護職員による介入の必要性が 「看護職員による介入の必要性が
19 食事 配膳の準備★(分)	75	0 0.0%	45 60.0%	0 0.0%	30 40.0%
20 食事 食事、おやつ、水分摂取の介助★(分)	35	0 0.0%	25 71.4%	0 0.0%	10 28.6%
21 食事 食事、おやつ、水分摂取の見守り★(分)	240	45 18.8%	110 45.8%	0 0.0%	85 35.4%
22 食事 咀嚼、嚥下機能の観察★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
23 食事 食事摂取量・水分摂取量の観察★(分)	15	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
24 食事 下膳★(分)	25	0 0.0%	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
25 食事 その他(分)	15	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 267 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「排泄ケア」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数 合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「特段に判断されたため行つた」 看護職員による介入が必要と	「看護職員による介入の必要性 はない」業務 は「看護職員による介入の必要性が ない」業務
26__排泄ケア__トイレへの誘導、居室等への誘導★(分)	110	0 0.0%	50 45.5%	0 0.0%	60 54.5%
27__排泄ケア__トイレへの移乗・移動★(分)	20	0 0.0%	5 25.0%	0 0.0%	15 75.0%
28__排泄ケア__排泄時の脱衣、着衣の介助★(分)	15	0 0.0%	5 33.3%	0 0.0%	10 66.7%
29__排泄ケア__排泄時の見守り★(分)	40	0 0.0%	10 25.0%	0 0.0%	30 75.0%
30__排泄ケア__腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
31__排泄ケア__排泄物・排泄量の確認★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
32__排泄ケア__おむつ交換★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
33__排泄ケア__排便の準備、実施、観察、後片付け(分)	15	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 66.7%
34__排泄ケア__浣腸の準備、実施、観察、後片付け(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
35__排泄ケア__人工肛門等の対応★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
36__排泄ケア__その他(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 0%

図表 268 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「入浴」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の 「関わらず」(業務)に 「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の 「関わらず」(業務)に	「特業務」 「看護職員による介入が必要」と 「看護職員による介入が行った」と	「は行った」業務 「看護職員による介入の必要性が ない」業務
37__入浴__バイタル確認(分)	20	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
38__入浴__浴場への誘導★(分)	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%
39__入浴__脱衣、着衣の介助★(分)	25	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%
40__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★(分)	25	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%
41__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)★ (分)	10	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
42__入浴__整髪の介助★(分)	10	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
43__入浴__機械浴の介助★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
44__入浴__浴場と居室との間の移動の介助、誘導★(分)	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%
45__入浴__その他(分)	30	0 0.0%	20 66.7%	0 0.0%	10 33.3%

図表 269 看護職員が実施する必要性区別業務時間数「服薬」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っている」(利用者の状態像に 関わらず)業務	「特段に判断されたため行った」 看護職員による介入が必要と	「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が 行った」業務
46__服薬__薬品庫、常備薬、保冷庫の確認、薬品発注(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
47__服薬__処方箋と処方薬との照合、処方確認(分)	75	75 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
48__服薬__薬の区分け・与薬の準備、後片付け(分)	95	90 94.7%	5 5.3%	0 0.0%	0 0.0%
49__服薬__薬を利用者に配布(分)	20	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50__服薬__服薬介助(経口)(分)	35	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
51__服薬__服薬介助(塗布薬、貼布薬)(分)	95	95 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
52__服薬__服薬介助(点眼、点鼻薬)(分)	10	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
53__服薬__服薬介助(座薬)(分)	35	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
54__服薬__服薬介助(注射)(分)	15	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
55__服薬__服薬の見守り★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
56__服薬__その他(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 270 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等) 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「開わず」業務 利用者の状態像に て看護職員により行うこととな 「本事業所では、当該行為を全	「特段に判断されたため行つた」 看護職員による介入が必要と	「行つた」業務 「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が
57__口腔ケア__義歯の清掃★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
58__口腔ケア__歯磨きの介助★(分)	35	0.0%	14.3%	0.0%	30 85.7%
59__口腔ケア__口腔内の衛生確認★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
60__口腔ケア__その他(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 271 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「集団レクリエーション」

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務)	「開（開）わらず」業務 「利用者の状態像に ては、当該行為を全 て看護職員により行 うこと」とな	「特段に判断されたため 「看護職員による介入 が必要」と	「行った」業務 「結果的に看護職員が 必要ないが、結果的に 看護職員による介入の 必要性が」
61__ 集団レクリエーション__ レクレーションの企画★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
62__ 集団レクリエーション__ レクリエーションの準備、実施、介助★(分)	395	0 0.0%	205 51.9%	45 11.4%	145 36.7%
63__ 集団レクリエーション__ その他(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 272 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「リハビリ（機能訓練）」

	(単位：分) 実数合計	「バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務」	「利用者（本人）の状況像について、当該行為を全うする」という観点から、業務上必要と判断されたため、介護職員の介入が必要となる場合があること」	「結果的に介護職員の介入が必要となる場合があること」	「結果的に介護職員の介入が必要となる場合があること」
64__リハビリ(機能訓練)__バイタル確認(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
65__リハビリ(機能訓練)__身体状態、機能観察・評価★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
66__リハビリ(機能訓練)__個別の機能訓練計画の立案★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
67__リハビリ(機能訓練)__リハビリの実施、介助★(分)	55	0 0.0%	55 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
68__リハビリ(機能訓練)__リハビリの記録・評価★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 273 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「記録」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全	「特業務に判断されたため行っ	「は行っ
		看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全	「特業務に判断されたため行っ	「は行っ
69 記録 看護記録の作成(リハビリの記録を除く)(分)	610	605 99.2%	5 0.8%	0 0.0%	0 0.0%
70 記録 看護計画の作成、評価、見直し(分)	90	85 94.4%	5 5.6%	0 0.0%	0 0.0%

図表 274 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「会議」
【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全	「特業務に判断されたため行っ	「は行っ
		看護職員による業務確認、看護記録等（バイタル確認）	「本事業所では、当該行為を全	「特業務に判断されたため行っ	「は行っ
71 会議 カンファレンスの参加(分)	50	50 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
72 会議 ミーティングまたは打合せ(分)	230	230 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
73 会議 サービス担当者会議への参加(分)	30	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	「（バイタル確認、看護職員による判断や実施が求められる業務）」	「（利用者の状態像に「看護職員により行うこととな」本事業所では、当該行為を全開わず）業務についている」	「特段に判断されたため行った」看護職員による介入が必要と	「業務は行った」業務はないが、結果的に看護職員が「看護職員による介入の必要性
74_調整_職員からの利用者の健康情報の報告の受理★(分)	70	0 0.0%	25 35.7%	45 64.3%	0 0.0%
75_調整_他機関への連絡調整(主治医等)★(分)	475	20 4.2%	385 81.1%	0 0.0%	70 14.7%
76_調整_インテーク、退院・利用調整★(分)	10	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	「バイタル確認、看護記録等」 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「開わず」業務 「開いてる」(利用者の状態像に て看護職員により行うこととな 「本事業所では、当該行為を全	「特段に判断されたため行った」 「看護職員による介入が必要と	「業務 業務 は行った」業務 はないが、結果的に看護職員が 「看護職員による介入の必要性が
77_利用者、家族への対応_家族への連絡調整★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
78_利用者、家族への対応_利用者、家族からの相談対応★(分)	30	0 0.0%	25 83.3%	5 16.7%	0 0.0%

【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	「バイタル確認、看護記録等」求められる業務 看護職員による判断や実施が	「開わず」業務 「利用者の状態像に て看護職員により行うこととな 一本事業所では、当該行為を全	「特段に判断されたため行った」 「看護職員による介入が必要と	「行った」業務 「はないが、結果的に看護職員が 「看護職員による介入の必要性
79_緊急対応_ナースコール対応(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
80_緊急対応_ターミナルケア★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -

図表 278 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「その他」

【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等	「本事業所では、当該行為を全	「特業務」に判断されたために行った	「は行った」業務結果的に看護職員が
81 その他 介護職員への研修(分)	85	85 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
82 その他 介護職員への指導(分)	150	135 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 10.0%
83 その他 家族への指導★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
84 その他 本人への指導★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
85 その他 ケアマネジャーとの相談、連携★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
86 その他 器具の消毒、感染性廃棄物の管理★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
87 その他 清掃★(分)	30	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%
88 その他 帰りの申し送り(分)	95	95 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
89 その他 死後の処置★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
90 その他 その他1(分)	560	130 23.2%	215 38.4%	100 17.9%	115 20.5%
90 その他 その他2(分)	185	40 21.6%	85 45.9%	20 10.8%	40 21.6%
90 その他 その他3(分)	130	5 3.8%	125 96.2%	0 0.0%	0 0.0%

図表 279 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「休憩」

【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等	「本事業所では、当該行為を全	「特業務」に判断されたために行った	「は行った」業務結果的に看護職員が
91 休憩 休憩(分)	395	395 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 280 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「認知症対応型共同生活介護以外の併設サービスにおける勤務」【認知症対応型共同生活介護】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、看護記録等)求められる業務 看護職員による判断や実施が	「利用者」の状態でなければならぬこととな	「本事業所では、当該行為を全	開(わらず)業務として行っていることを示す必要はない。また、「利用者の状態像に即して見守る」という観点から、介護職員の役割は、単に生活介助を行うだけでなく、結果的に看護職員が必要となる場合がある。	行った」「業務ではないが、結果的に看護職員が行った」「業務ではないが、結果的に看護職員が行った」
92_認知症対応型共同生活介護以外の併設サービスにおける勤務(分)	295	295 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【複合型サービス】

- ・ 複合型サービスにおける全 40 人日分の看護職員の業務行為（小項目）時間について、看護職員が実施する必要性区分別に集計した結果を図表 281～図表 301 に示す。

図表 281 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「準備」の詳細業務内
【複合型サービス】

	（単位：分） 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本業務所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな 関わず」業務 利用者の状態像に て看護職員による介入が必要と 特段に判断されたため行った」 看護職員による介入が必要と 業務	「看護職員による結果的に看護職員が 行なった」業務 「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が 行なった」業務	
01_準備_介護職員からの申し送り、ミーティング(分)	455	455 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 282 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「健康管理」【複合型サービス】

	（単位：分） 実数合計	（バイタル確認、看護記録等） 求められる業務 看護職員による判断や実施が	「本業務所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな る」 （利用者の状態像に 関わらず）業務	業務 「看護職員による介入が必要と 判断されたため行った」 「看護職員による介入の必要性 はないが、結果的に看護職員が 行った」業務
02_健康管理_バイタル確認(分)	1235	1235 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
03_健康管理_その他★(分)	225	10 4.4%	190 84.4%	25 11.1%

図表 283 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「診療の補助」
【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護記録等）	「本看護業務所では、当該行為を全」 「てってわらず」業務 「本看護職員」(利用者)の状態像に	「看護職員による介入が行った」 「看護職員による介入が行った」	「は行った」業務 「看護職員による介入の看護職員が」
04_診療の補助__医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案(分)	100	100 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
05_診療の補助__診察の準備、介助、後片付け(分)	85	85 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
06_診療の補助__吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導(分)	400	400 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
07_診療の補助__胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導(分)	905	895 98.9%	10 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
08_診療の補助__静脈内注射の準備、実施、後片付け(分)	65	55 84.6%	10 15.4%	0 0.0%	0 0.0%
09_診療の補助__点滴の調整、確認、抜去(分)	60	60 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10_診療の補助__褥瘡予防のケア(分)	25	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
11_診療の補助__褥瘡処置の準備、実施、後片付け(分)	100	100 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
12_診療の補助__留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け(分)	50	50 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
13_診療の補助__外部医療機関への受診同行(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
14_診療の補助__その他★(分)	355	345 97.2%	10 2.8%	0 0.0%	0 0.0%

図表 284 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「移動の介助」
【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務確認、看護記録等（バイタル確認、看護記録等）	「本看護業務所では、当該行為を全」 「てってわらず」業務 「本看護職員」(利用者)の状態像に	「看護職員による介入が行った」 「看護職員による介入が行った」	「は行った」業務 「看護職員による介入の看護職員が」
15_移動の介助__居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★(分)	475	40 8.4%	65 13.7%	120 25.3%	250 52.6%

図表 285 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「居室、リビング等での見守り」
【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	(バイタル確認、 看護職員による判断や実施が 求められる業務)	「利用者」の 状態像に 関係する業務 （利用者の状態像に 関係する業務）	業務 「看護職員による介入が必要と 判断されたため行った」	業務 「看護職員による介入の必要性 がなかった」
16__居室、リビング等__日常会話、声掛け★(分)	340	50 14.7%	0 0.0%	115 33.8%	175 51.5%
17__居室、リビング等__居室の見回り、リビング等での見守り★(分)	135	10 7.4%	15 11.1%	35 25.9%	75 55.6%
18__居室、リビング等__その他★(分)	120	5 4.2%	15 12.5%	60 50.0%	40 33.3%

図表 286 看護職員が実施する必要性区別業務時間数「食事」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	求められ る業務 による判 断や実施が	(バイタル 確認、 看護記録等)	「利用者 の状態で は、当該 行為を全 て「看護 職員」に お任せし ていただく こととす る」業務 に関する 業務	「特段に 判断され たため に介入が 必要と す」業務 による 業務	「行った が、結果 的に看護 職員が 必要と す」業務 による 業務
19__食事__配膳の準備★(分)	75	20 26.7%	10 13.3%	15 20.0%	30 40.0%	
20__食事__食事、おやつ、水分摂取の介助★(分)	795	80 10.1%	100 12.6%	535 67.3%	80 10.1%	
21__食事__食事、おやつ、水分摂取の見守り★(分)	180	40 22.2%	20 11.1%	45 25.0%	75 41.7%	
22__食事__咀嚼、嚥下機能の観察★(分)	50	35 70.0%	0 0.0%	10 20.0%	5 10.0%	
23__食事__食事摂取量・水分摂取量の観察★(分)	55	45 81.8%	5 9.1%	0 0.0%	5 9.1%	
24__食事__下膳★(分)	25	10 40.0%	5 20.0%	0 0.0%	10 40.0%	
25__食事__その他★(分)	70	0 0.0%	0 0.0%	15 21.4%	55 78.6%	

図表 287 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「排泄ケア」【複合型サービス】

	（単位：分） 実数合計	（求められる業務 看護職員による判断や実施が バイタル確認、看護記録等）	（関わらず業務 を遂行する） 「本看護職員による 当該行為を全 て行わない」業務 （利用者 の状態像に よる判断）	（特務 業務） 「看護職員による 介入が必要と 判断されたため 行った」業務	（行った業務 の結果、看護 職員による 介入の必要性が なくなった）
26_排泄ケア__トイレへの誘導、居室等への誘導★(分)	70	20 28.6%	0 0.0%	25 35.7%	25 35.7%
27_排泄ケア__トイレへの移乗・移動★(分)	135	10 7.4%	0 0.0%	40 29.6%	85 63.0%
28_排泄ケア__排泄時の脱衣、着衣の介助★(分)	75	35 46.7%	0 0.0%	20 26.7%	20 26.7%
29_排泄ケア__排泄時の見守り★(分)	35	15 42.9%	0 0.0%	15 42.9%	5 14.3%
30_排泄ケア__腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★(分)	45	10 22.2%	25 55.6%	5 11.1%	5 11.1%
31_排泄ケア__排泄物・排泄量の確認★(分)	55	25 45.5%	10 18.2%	20 36.4%	0 0.0%
32_排泄ケア__おむつ交換★(分)	270	30 11.1%	25 9.3%	35 13.0%	180 66.7%
33_排泄ケア__排便の準備、実施、観察、後片付け(分)	160	160 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
34_排泄ケア__浣腸の準備、実施、観察、後片付け(分)	395	395 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
35_排泄ケア__人工肛門等の対応★(分)	40	30 75.0%	10 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
36_排泄ケア__その他★(分)	55	5 9.1%	35 63.6%	5 9.1%	10 18.2%

図表 288 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「入浴」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て看護職員により行うことと 関わらず」(利用者)の状態で 「看護職員」(業務)	「特 業務 看護職員に 判断された ために行 った」	「は行 った」業務 看護職員に 結果的に 看護職員 の必要性が
37__入浴__バイタル確認(分)	10	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
38__入浴__浴場への誘導★(分)	45	15 33.3%	10 22.2%	10 22.2%	10 22.2%
39__入浴__脱衣、着衣の介助★(分)	265	20 7.5%	30 11.3%	120 45.3%	95 35.8%
40__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★(分)	25	10 40.0%	0 0.0%	15 60.0%	0 0.0%
41__入浴__洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)★(分)	295	235 79.7%	50 16.9%	10 3.4%	0 0.0%
42__入浴__整髪の介助★(分)	100	10 10.0%	15 15.0%	0 0.0%	75 75.0%
43__入浴__機械浴の介助★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
44__入浴__浴場と居室との間の移動の介助、誘導★(分)	45	15 33.3%	5 11.1%	15 33.3%	10 22.2%
45__入浴__その他★(分)	230	60 26.1%	15 6.5%	75 32.6%	80 34.8%

図表 289 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「服薬」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本業務所では、当該行為を全 て見てもらう」業務 (利用者、当行の状況像に 関わらず)	「特業務 看護職員による介入が必要と 判断されたため行った」	「は行 った」業務 看護職員による結果的に看護 職員が
46__服薬__薬品庫、常備薬、保冷庫の確認、薬品発注(分)	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
47__服薬__処方箋と処方薬との照合、処方確認(分)	95	95 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
48__服薬__薬の区分け・与薬の準備、後片付け(分)	545	540 99.1%	5 0.9%	0 0.0%	0 0.0%
49__服薬__薬を利用者に配布(分)	90	85 94.4%	5 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
50__服薬__服薬介助(経口)(分)	85	85 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
51__服薬__服薬介助(塗布薬、貼布薬)(分)	290	280 96.6%	10 3.4%	0 0.0%	0 0.0%
52__服薬__服薬介助(点眼、点鼻薬)(分)	30	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
53__服薬__服薬介助(座薬)(分)	45	45 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
54__服薬__服薬介助(注射)(分)	220	220 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
55__服薬__服薬の見守り★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
56__服薬__その他★(分)	75	0 0.0%	60 80.0%	15 20.0%	0 0.0%

図表 290 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「口腔ケア」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本業務所では、当該行為を全 て見てもらう」業務 (利用者、当行の状況像に 関わらず)	「特業務 看護職員による介入が必要と 判断されたため行った」	「は行 った」業務 看護職員による結果的に看護 職員が
57__口腔ケア__義歯の清掃★(分)	5	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
58__口腔ケア__歯磨きの介助★(分)	130	10 7.7%	0 0.0%	20 15.4%	100 76.9%
59__口腔ケア__口腔内の衛生確認★(分)	35	10 28.6%	0 0.0%	20 57.1%	5 14.3%
60__口腔ケア__その他★(分)	30	0 0.0%	0 0.0%	25 83.3%	5 16.7%

図表 291 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「集団レクリエーション」
【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっていない」（利用者の状態像に「関わらず」業務を行っている）	「特段に看護職員による介入が必要と」	「は行っていない」業務結果的に看護職員が「看護職員による介入の必要性が」
61 集団レクリエーション レクリエーションの企画★(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
62 集団レクリエーション レクリエーションの準備、実施、介助★(分)	90	0 0.0%	0 0.0%	45 50.0%	45 50.0%
63 集団レクリエーション その他★(分)	30	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%	0 0.0%

図表 292 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「リハビリ（機能訓練）」
【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）	「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっていない」（利用者の状態像に「関わらず」業務を行っている）	「特段に看護職員による介入が必要と」	「は行っていない」業務結果的に看護職員が「看護職員による介入の必要性が」
64 リハビリ(機能訓練) バイタル確認(分)	0	0 -	0 -	0 -	0 -
65 リハビリ(機能訓練) 身体状態、機能観察・評価★(分)	50	0 0.0%	0 0.0%	50 100.0%	0 0.0%
66 リハビリ(機能訓練) 個別の機能訓練計画の立案★(分)	55	0 0.0%	55 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
67 リハビリ(機能訓練) リハビリの実施、介助★(分)	580	40 6.9%	250 43.1%	165 28.4%	125 21.6%
68 リハビリ(機能訓練) リハビリの記録・評価★(分)	25	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%	0 0.0%

図表 293 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「記録」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本業務所では、当該行為を全 て見てもらう」業務 (利用者、当行の状況像に 関係する)	「特業務 看護職員による介入が必要と 判断されたため行った」	「は行 った」業務 看護職員による結果的に看護 職員が、業務的に看護職員が 必要でない業務
69_記録_看護記録の作成(リハビリの記録を除く)(分)	1305	1305 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
70_記録_看護計画の作成、評価、見直し(分)	205	205 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 294 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「会議」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本業務所では、当該行為を全 て見てもらう」業務 (利用者、当行の状況像に 関係する)	「特業務 看護職員による介入が必要と 判断されたため行った」	「は行 った」業務 看護職員による結果的に看護 職員が、業務的に看護職員が 必要でない業務
71_会議_カンファレンスの参加(分)	40	40 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
72_会議_ミーティングまたは打合せ(分)	1215	1205 99.2%	0 0.0%	10 0.8%	0 0.0%
73_会議_サービス担当者会議への参加(分)	80	80 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 295 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「調整」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本業務所では、当該行為を全 て見てもらう」業務 (利用者、当行の状況像に 関係する)	「特業務 看護職員による介入が必要と 判断されたため行った」	「は行 った」業務 看護職員による結果的に看護 職員が、業務的に看護職員が 必要でない業務
74_調整_職員からの利用者の健康情報の報告の受理★(分)	95	10 10.5%	80 84.2%	0 0.0%	5 5.3%
75_調整_他機関への連絡調整(主治医等)★(分)	45	0 0.0%	35 77.8%	5 11.1%	5 11.1%
76_調整_インテーク、退院・利用調整★(分)	60	0 0.0%	40 66.7%	0 0.0%	20 33.3%

図表 296 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「利用者、家族への対応」
【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に「関わらず」業務 を行っている」	「特業務 看護職員に判断されたため 「看護職員による介入が必 要」と	「は行った」業務 看護職員による結果的に 看護職員が「必要」
77_利用者、家族への対応_家族への連絡調整★(分)	45	5 11.1%	30 66.7%	5 11.1%	5 11.1%
78_対応_利用者、家族からの相談対応★(分)	30	0 0.0%	10 33.3%	10 33.3%	10 33.3%

図表 297 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「緊急対応」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 看護職員による判断や実施が (バイタル確認、看護記録等)	「本事業所では、当該行為を全 て「看護職員」(利用者)の状 態像に「関わらず」業務 を行っている」	「特業務 看護職員に判断されたため 「看護職員による介入が必 要」と	「は行った」業務 看護職員による結果的に 看護職員が「必要」
79_緊急対応_ナースコール対応(分)	30	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
80_緊急対応_ターミナルケア★(分)	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 298 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「その他」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本業務所では、当該行為を全 て見てもらえず」業務 (利用者)の状態像に 関係する業務	「特務 看護に 判断さ れたた めに行 った」	「は行 った」 業務 結果 的に 看護 職員 が必 要性
81__その他__介護職員への研修(分)	0	0	0	0	0
82__その他__介護職員への指導(分)	195	175 89.7%	20 10.3%	0 0.0%	0 0.0%
83__その他__家族への指導★(分)	40	0 0.0%	30 75.0%	0 0.0%	10 25.0%
84__その他__本人への指導★(分)	30	0 0.0%	20 66.7%	0 0.0%	10 33.3%
85__その他__ケアマネジャーとの相談、連携★(分)	65	15 23.1%	45 69.2%	5 7.7%	0 0.0%
86__その他__器具の消毒、感染性廃棄物の管理★(分)	20	0 0.0%	5 25.0%	15 75.0%	0 0.0%
87__その他__清掃★(分)	115	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	115 100.0%
88__その他__帰りの申し送り(分)	65	65 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
89__その他__死後の処置★(分)	0	0	0	0	0
90__その他__その他1★(分)	1035	240 23.2%	510 49.3%	180 17.4%	105 10.1%
90__その他__その他2★(分)	345	50 14.5%	150 43.5%	110 31.9%	35 10.1%
90__その他__その他3★(分)	305	30 9.8%	160 52.5%	60 19.7%	55 18.0%

図表 299 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「訪問看護」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	看護職員による業務確認、看護記録等 (バイタル確認、看護記録等)	「本業務所では、当該行為を全 て見てもらえず」業務 (利用者)の状態像に 関係する業務	「特務 看護に 判断さ れたた めに行 った」	「は行 った」 業務 結果 的に 看護 職員 が必 要性
91__訪問看護__訪問看護としての勤務(分)	3000	3000 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 300 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「休憩」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、看護記録等） 看護職員による判断や実施が	「本業務所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていない」（業務 関係者）	「特業務 看護職員による介入が必要と 」看護職員に判断されたため行 った	「行 った」業務 看護職員による結果的に看護 職員が必要
92_ 休憩_ 休憩(分)	1540	1515 98.4%	0 0.0%	0 0.0%	25 1.6%

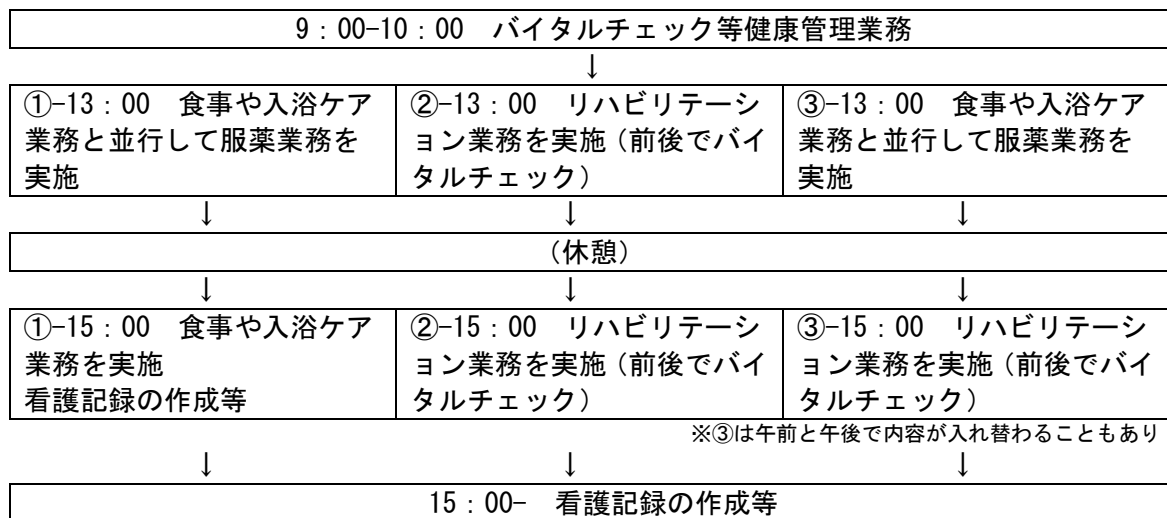
図表 301 看護職員が実施する必要性区分別業務時間数「複合型サービス以外の
併設サービスにおける勤務」【複合型サービス】

	(単位：分) 実数合計	求められる業務 （バイタル確認、看護記録等） 看護職員による判断や実施が	「本業務所では、当該行為を全 て看護職員により行うこととな っていない」（業務 関係者）	「特業務 看護職員による介入が必要と 」看護職員に判断されたため行 った	「行 った」業務 看護職員による結果的に看護 職員が必要
93_ 複合型サービス以外の併設サービスにおける勤務_(分)	520	520 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

6) 看護職員の業務の密集度及び時間帯

- ・ 通所介護について、看護職員が実施した業務の密集度や時間帯について、定性的に把握し類型化した。
- ・ タイムスタディ調査の対象となった 82 件のデータによると、通所介護サービス事業所における看護職員の業務の流れは概ね以下に示す通りであった。これらの業務の合間に会議や各種の準備、清掃、手段レクリエーション等の業務を実施していた。なお、半日シフト等短時間勤務の看護職員の場合は、午前中あるいは午後の早い時間に看護記録等の記録業務を実施していた。

図表 302 通所介護事業所における業務の流れ



(4) (参考) 事業所票結果一覧 (一部抜粋)

【介護老人福祉施設】

1) 基本情報

図表 303 開設主体【介護老人福祉施設】

	件 数	公 立	社 会 福 祉 法 人	そ の 他
合 計	23	1 4.3%	22 95.7%	-

図表 304 開設年【介護老人福祉施設】

	件 数	〽 1 9 8 4 年	1 8 9 9 8 年 5 〽 1 9	1 9 9 4 9 年 0 〽 1 9	1 9 9 9 9 年 5 〽 1 9	2 0 0 4 0 年 0 〽 2 0	2 0 0 5 年 〽 9
合 計	23	4 17.4%	3 13.0%	1 4.3%	4 17.4%	2 8.7%	9 39.1%

図表 305 短期入所生活介護の併設【介護老人福祉施設】

	件 数	併 設 し て い る	併 設 し て い な い
合 計	23	23 100.0%	-

図表 306 定員数【介護老人福祉施設】

《特別養護老人ホーム》

	件数	60人未満	60～80人未満	80～100人未満	100人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	23	8 34.8%	3 13.0%	2 8.7%	10 43.5%	84.52	32.35

《ショートステイ》

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	23	6 26.1%	5 21.7%	8 34.8%	4 17.4%	9.13	6.26

図表 307 利用者数【介護老人福祉施設】

《特別養護老人ホーム》

	件数	60人未満	60～80人未満	80～100人未満	100人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	23	8 34.8%	2 8.7%	4 17.4%	7 30.4%	2 8.7%	81.71	31.25

《ショートステイ》

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	23	6 26.1%	8 34.8%	5 21.7%	2 8.7%	2 8.7%	7.86	5.45

図表 308 要介護度別利用者数（実人数）【介護老人福祉施設】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要介護1	23	22 95.7%	1 4.3%	－	－	1.39	1.81
要介護2	23	10 43.5%	8 34.8%	4 17.4%	1 4.3%	6.13	5.36
要介護3	23	2 8.7%	6 26.1%	7 30.4%	8 34.8%	16	8.85
要介護4	23	1 4.3%	－	8 34.8%	14 60.9%	26.52	13.27
要介護5	23	－	－	7 30.4%	16 69.6%	31.57	16.03

図表 309 平均要介護度【介護老人福祉施設】

	件数	0・5未満	0・5以上1未満	1以上1・5未満	1・5以上2未満	2以上2・5未満	2・5以上3未満	3以上3・5未満	3・5以上4未満	4以上4・5未満	4・5以上	（単位：要介護度） 平均値	（単位：要介護度） 標準偏差
合計	23	－	－	－	－	－	－	1 4.3%	9 39.1%	12 52.2%	1 4.3%	4	0.32

図表 310 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【介護老人福祉施設】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	23	19 82.6%	2 8.7%	－	－	2 8.7%	1.26	2.21
I	23	15 65.2%	5 21.7%	1 4.3%	－	2 8.7%	2.65	2.85
II	23	4 17.4%	5 21.7%	5 21.7%	7 30.4%	2 8.7%	14.52	11.69
III	23	4 17.4%	－	1 4.3%	16 69.6%	2 8.7%	31.87	18.01
IV	23	4 17.4%	－	8 34.8%	9 39.1%	2 8.7%	19.35	14.95
M	23	20 87.0%	1 4.3%	－	－	2 8.7%	1.39	1.88

図表 311 障害者高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【介護老人福祉施設】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	23	18 78.3%	-	-	-	5 21.7%	0.28	0.73
J	23	17 73.9%	-	-	1 4.3%	5 21.7%	1.72	5.68
A	23	1 4.3%	7 30.4%	6 26.1%	4 17.4%	5 21.7%	13.28	7.96
B	23	1 4.3%	-	3 13.0%	14 60.9%	5 21.7%	39.78	24.9
C	23	2 8.7%	4 17.4%	5 21.7%	7 30.4%	5 21.7%	18.28	14.84

図表 312 平均入所期間【介護老人福祉施設】

	件数	3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5年以上	（単位：年） 平均値	（単位：年） 標準偏差
合計	23	4 17.4%	12 52.2%	5 21.7%	2 8.7%	5.23	8.79

図表 313 入所期間別利用者数【介護老人福祉施設】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
6ヶ月未満	23	4 17.4%	12 52.2%	5 21.7%	2 8.7%	8.91	5.96
6ヶ月以上1年未満	23	4 17.4%	8 34.8%	9 39.1%	2 8.7%	9.35	5.6
1年以上3年未満	23	-	-	6 26.1%	17 73.9%	32.09	17.93
3年以上5年未満	23	4 17.4%	7 30.4%	9 39.1%	3 13.0%	12.22	8.34
5年以上	23	4 17.4%	2 8.7%	7 30.4%	10 43.5%	19.17	14.27

2) 職員体制

図表 314 全職員数（常勤・非常勤）【介護老人福祉施設】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 5 10人未満	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
常 勤	23	-	1 4.3%	-	-	1 4.3%	17 73.9%	4 17.4%	41.68	23.28
非 常 勤	23	-	1 4.3%	-	2 8.7%	3 13.0%	13 56.5%	4 17.4%	18.58	15.25

図表 315 職員数内訳（常勤換算数）【介護老人福祉施設】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1人未満	1 2人未満	2 3人未満	3 4人未満	4 5 10人未満	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
看 護 師	23	1 4.3%	1 4.3%	4 17.4%	4 17.4%	5 21.7%	7 30.4%	-	1 4.3%	3.15	2
准 看 護 師	23	3 13.0%	3 13.0%	6 26.1%	6 26.1%	3 13.0%	1 4.3%	-	1 4.3%	1.59	1.17

《介護職員》

	件数	0人	3人未満	3 5人未満	5 10人未満	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合 計	23	1 4.3%	-	-	-	21 91.3%	1 4.3%	35.72	19.25

図表 316 看護師・准看護師が他に行っている（兼務している）職務【介護老人福祉施設】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 5 10人未満	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
管理者	23	12 52.2%	2 8.7%	-	-	-	-	9 39.1%	0.14	0.35
生活相談員	23	14 60.9%	-	-	-	-	-	9 39.1%	0	0
介護支援専門員	23	13 56.5%	1 4.3%	-	-	-	-	9 39.1%	0.07	0.26
機能訓練指導員	23	10 43.5%	4 17.4%	-	-	-	-	9 39.1%	0.29	0.45
兼務なし	23	10 43.5%	-	-	-	4 17.4%	-	9 39.1%	1.57	2.64

3) 看護職員について

図表 317 看護職員の勤務している時間帯【介護老人福祉施設】

	件数	6 ：8 0 05 9	9 ：1 06 0 59	1 71 ：9 0 05 9	2 02 ：1 0 05 9	2 5 ： 0 05 9	無回答
合計	23	7 30.4%	21 91.3%	10 43.5%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%

図表 318 看護職員の夜間の対応【介護老人福祉施設】

	件数	必ず いる 夜勤の 看護職員が	必ず いる 宿直の 看護職員が	ロー ン シ ョ ン に よ り 見 護 職 員 が い る 間 と	通常 の 勤 務 状 態 に あ る	オン コ ー ル で 対 応 す る	特 に 対 応 し て い な い	そ の 他	無 回 答
合 計	23	2 8.7%	1 4.3%	1 4.3%	-	15 65.2%	3 13.0%	1 4.3%	1 4.3%

4) 利用者の状況

図表 319 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【介護老人福祉施設】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	平均（単位：人）	標準偏差（単位：人）
インスリン注射	23	11 47.8%	11 47.8%	-	-	-	1 4.3%	0.86	1.06
中心静脈栄養の管理	23	22 95.7%	-	-	-	-	1 4.3%	0	0
注射・点滴の管理（1及び2以外）	23	19 82.6%	3 13.0%	-	-	-	1 4.3%	0.27	0.69
透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理	23	21 91.3%	1 4.3%	-	-	-	1 4.3%	0.05	0.21
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	23	6 26.1%	16 69.6%	-	-	-	1 4.3%	1.27	1.09
酸素療法	23	16 69.6%	6 26.1%	-	-	-	1 4.3%	0.36	0.64
レスピレーター（人工呼吸器）の管理	23	22 95.7%	-	-	-	-	1 4.3%	0	0
気管切開のケア	23	21 91.3%	1 4.3%	-	-	-	1 4.3%	0.05	0.21
疼痛の看護	23	19 82.6%	3 13.0%	-	-	-	1 4.3%	0.23	0.67
経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	23	-	11 47.8%	8 34.8%	3 13.0%	-	1 4.3%	6.27	4.54
モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	23	13 56.5%	4 17.4%	-	1 4.3%	3 13.0%	2 8.7%	12.76	31.23
じょくそうの処置	23	4 17.4%	14 60.9%	4 17.4%	-	-	1 4.3%	2.5	2.31
テーテル、留置カテーテル等）	23	5 21.7%	16 69.6%	1 4.3%	-	-	1 4.3%	1.86	1.42
喀痰吸引	23	4 17.4%	12 52.2%	4 17.4%	1 4.3%	1 4.3%	1 4.3%	4.91	8.12
ネブライザー	23	20 87.0%	2 8.7%	-	-	-	1 4.3%	0.14	0.46
創傷処置	23	3 13.0%	8 34.8%	3 13.0%	5 21.7%	3 13.0%	1 4.3%	7	7.72
服薬管理	23	-	1 4.3%	1 4.3%	-	11 47.8%	10 43.5%	70.31	39.31
導尿	23	22 95.7%	-	-	-	-	1 4.3%	0	0
浣腸	23	6 26.1%	8 34.8%	4 17.4%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	6.68	11.55
摘便	23	3 13.0%	10 43.5%	6 26.1%	3 13.0%	-	1 4.3%	4.09	3.62
簡易血糖測定	23	11 47.8%	10 43.5%	1 4.3%	-	-	1 4.3%	1.14	1.52
看取り期のケア	23	9 39.1%	11 47.8%	1 4.3%	-	1 4.3%	1 4.3%	4	13.8
その他	23	21 91.3%	1 4.3%	-	-	-	1 4.3%	0.05	0.21

図表 320 医療機関から往診を受けた利用者数【介護老人福祉施設】

	件数	0人	5人未満	5人～10人未満	10人～20人未満	20人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合計	23	14 60.9%	2 8.7%	-	-	3 13.0%	4 17.4%	32	107.35

図表 321 医療機関から往診を受けた科の内訳【介護老人福祉施設】

	件数	内科	泌尿器科	精神科	整形外科	眼科	皮膚科	歯科	耳鼻科	その他
合計	5	5 100.0%	-	3 60.0%	1 20.0%	-	1 20.0%	-	-	1 20.0%

図表 322 医療機関から訪問診療を受けた利用者数【介護老人福祉施設】

	件数	0人	5人未満	5人～10人未満	10人～20人未満	20人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合計	23	5 21.7%	-	-	4 17.4%	6 26.1%	8 34.8%	21.13	22.48

図表 323 医療機関を受診（通院）した利用者数【介護老人福祉施設】

	件数	0人	5人未満	5人～10人未満	10人～20人未満	20人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合計	23	-	4 17.4%	5 21.7%	4 17.4%	9 39.1%	1 4.3%	17.05	12.56

図表 324 医療機関へ入院した利用者数【介護老人福祉施設】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
計	23	2 8.7%	14 60.9%	6 26.1%	-	-	1 4.3%	3.36	2.08
a. 予定入院(手術、治療目的の入院)	20	13 65.0%	6 30.0%	-	-	-	1 5.0%	0.47	0.75
b. 緊急入院	20	2 10.0%	12 60.0%	5 25.0%	-	-	1 5.0%	3.11	2.17
c. ターミナルを前提とした入院	20	17 85.0%	2 10.0%	-	-	-	1 5.0%	0.16	0.49

図表 325 事業所内での看取りをおこなった利用者数【介護老人福祉施設】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合計	23	6 26.1%	1 4.3%	5 21.7%	8 34.8%	2 8.7%	1 4.3%	9.86	10.07

【特定施設入居者生活介護】

1) 基本情報

図表 326 開設主体【特定施設入居者生活介護】

	件数	公立	社会福祉法人	営利法人	医療法人	その他	無回答
合 計	16	-	-	10 62.5%	1 6.3%	4 25.0%	1 6.3%

図表 327 開設年【特定施設入居者生活介護】

	件数	5 1 9 8 4 年	18 9 9 8 年	19 9 4 9 年	19 9 9 年	20 0 4 0 年	2 0 0 5 年
合 計	16	-	1 6.3%	-	1 6.3%	2 12.5%	12 75.0%

図表 328 定員数【特定施設入居者生活介護】

	件数	6 0 人 未 満	6 満 0 5 8 0 人 未	8 未 0 満 5 1 0 0 人	1 0 0 人 以 上	平(単位 均:人 値)	標(単位 準偏: 偏差人)
合 計	16	6 37.5%	3 18.8%	2 12.5%	5 31.3%	103.69	99.79

図表 329 利用者数【特定施設入居者生活介護】

	件数	6 0 人 未 満	6 満 0 5 8 0 人 未	8 未 0 満 5 1 0 0 人	1 0 0 人 以 上	平(単位 均:人 値)	標(単位 準偏: 偏差人)
合 計	16	8 50.0%	3 18.8%	2 12.5%	3 18.8%	93.69	94.33

図表 330 要介護度別利用者数（実人数）【特定施設入居者生活介護】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	16	13 81.3%	-	-	3 18.8%	26.56	75.43
要支援1	16	7 43.8%	6 37.5%	1 6.3%	2 12.5%	6.94	7.34
要支援2	16	9 56.3%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	6.25	5.88
要介護1	16	1 6.3%	5 31.3%	6 37.5%	4 25.0%	13.88	9.24
要介護2	16	3 18.8%	5 31.3%	6 37.5%	2 12.5%	10.94	7.38
要介護3	16	2 12.5%	6 37.5%	6 37.5%	2 12.5%	10	4.91
要介護4	16	2 12.5%	8 50.0%	4 25.0%	2 12.5%	10.13	5.69
要介護5	16	4 25.0%	6 37.5%	5 31.3%	1 6.3%	9	5.37

図表 331 平均要介護度【特定施設入居者生活介護】

	件数	0.5未満	0.5以上1未満	1以上1.5未満	1.5以上2未満	2以上2.5未満	2.5以上3未満	3以上3.5未満	3.5以上4未満	4以上4.5未満	4.5以上	（単位：要介護度） 平均値	（単位：要介護度） 標準偏差
合計	16	-	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	6 37.5%	4 25.0%	1 6.3%	1 6.3%	-	-	2.24	0.77

図表 332 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【特定施設入居者生活介護】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	16	5 31.3%	1 6.3%	2 12.5%	3 18.8%	5 31.3%	35.73	71.97
I	16	3 18.8%	2 12.5%	4 25.0%	2 12.5%	5 31.3%	15.45	20.34
II	16	1 6.3%	2 12.5%	5 31.3%	3 18.8%	5 31.3%	17.18	13.39
III	16	2 12.5%	1 6.3%	5 31.3%	3 18.8%	5 31.3%	16.09	11.79
IV	16	6 37.5%	3 18.8%	1 6.3%	1 6.3%	5 31.3%	5.82	6.18
M	16	11 68.8%	-	-	-	5 31.3%	0.45	0.78

図表 333 障害者高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【特定施設入居者生活介護】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	16	7 43.8%	-	1 6.3%	2 12.5%	6 37.5%	35.7	83.58
J	16	7 43.8%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	6 37.5%	9.6	19.67
A	16	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	5 31.3%	6 37.5%	23.4	19.56
B	16	2 12.5%	2 12.5%	2 12.5%	4 25.0%	6 37.5%	15	11.31
C	16	3 18.8%	5 31.3%	2 12.5%	-	6 37.5%	5.9	4.46

図表 334 平均在所期間【特定施設入居者生活介護】

	件数	3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5年以上	無回答	（単位：年） 平均値	（単位：年） 標準偏差
合計	16	9 56.3%	3 18.8%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	2.99	3.57

図表 335 入所期間別利用者数【特定施設入居者生活介護】

	件 数	5 人 未 満	5 人 未 満	1 満 0 人 未	2 0 人 以 上	無 回 答	（単位： 平均：人 値）	（単位： 標準： 偏差：人）
6ヶ月未満	16	7 43.8%	5 31.3%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	8.47	8.82
6ヶ月以上1年未満	16	7 43.8%	4 25.0%	1 6.3%	3 18.8%	1 6.3%	11.53	14.08
1年以上3年未満	16	3 18.8%	2 12.5%	3 18.8%	7 43.8%	1 6.3%	22.07	21.09
3年以上5年未満	16	5 31.3%	4 25.0%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	9.07	7.89
5年以上	16	5 31.3%	1 6.3%	3 18.8%	6 37.5%	1 6.3%	42.8	87.02

2) 職員体制

図表 336 全職員数（常勤・非常勤）【特定施設入居者生活介護】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	平均（単位：人） （単位：人） 値	標準偏差（単位：人） （単位：人） 差
常 勤	16	-	-	-	-	-	15 93.8%	1 6.3%	38.93	20.55
非 常 勤	16	-	-	-	-	5 31.3%	10 62.5%	1 6.3%	27.93	23.71

図表 337 職員数内訳（常勤換算数）【特定施設入居者生活介護】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1人未満	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	4 ～ 10人未満	10人以上	平均（単位：人） （単位：人） 値	標準偏差（単位：人） （単位：人） 差
看 護 師	16	1 6.3%	1 6.3%	5 31.3%	4 25.0%	-	5 31.3%	-	3.17	2.57
准 看 護 師	16	5 31.3%	3 18.8%	3 18.8%	2 12.5%	-	3 18.8%	-	1.44	1.66

《介護職員》

	件数	0人	3人未満	3 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	平均（単位：人） （単位：人） 値	標準偏差（単位：人） （単位：人） 差
合 計	16	-	-	-	-	16 100.0%	32.83	18.74

図表 338 看護師・准看護師が他に行っている（兼務している）職務

【特定施設入居者生活介護】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 5 10人未満	10人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
管理者	16	13 81.3%	-	-	-	-	-	3 18.8%	0	0
生活相談員	16	13 81.3%	-	-	-	-	-	3 18.8%	0	0
計画作成担当者	16	13 81.3%	-	-	-	-	-	3 18.8%	0	0
機能訓練指導員	16	5 31.3%	7 43.8%	-	1 6.3%	-	-	3 18.8%	0.77	0.8
兼務なし	16	10 62.5%	-	-	-	1 6.3%	2 12.5%	3 18.8%	2.23	4.19

3) 看護職員について

図表 339 看護職員の勤務している時間帯【特定施設入居者生活介護】

	件数	6 時 : 8 0 : 0 5 9	9 時 : 1 0 6 0 : 5 9	1 時 7 1 : 9 0 : 0 5 9	2 時 0 2 : 1 0 : 0 5 9	2 時 2 5 : : 0 5 0 9	無 回 答
合 計	16	7 43.8%	15 93.8%	8 50.0%	6 37.5%	6 37.5%	1 6.3%

図表 340 看護職員の夜間の対応【特定施設入居者生活介護】

	件数	必ず ずる 夜勤 の 看護 職員 が	必ず ずる 宿直 の 看護 職員 が	ロー ー テ ー シ ョ ン に よ り と	看護 職 員 が い る 時 間 と	通常 、 看護 職員 は 勤 務 し て い る 時 間 に あ る	オン コ ール で 対 応 す る	特 に 対 応 し て い な い	そ の 他	無 回 答
合 計	16	5 31.3%	1 6.3%	-	-	-	7 43.8%	2 12.5%	-	1 6.3%

4) 利用者の状況

図表 341 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【特定施設入居者生活介護】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
インスリン注射	16	6 37.5%	9 56.3%	—	1 6.3%	—	1.88	3.28
中心静脈栄養の管理	16	13 81.3%	3 18.8%	—	—	—	0.31	0.77
注射・点滴の管理（1及び2以外）	16	12 75.0%	4 25.0%	—	—	—	0.31	0.58
透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理	16	13 81.3%	3 18.8%	—	—	—	0.19	0.39
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	16	8 50.0%	8 50.0%	—	—	—	0.63	0.78
酸素療法	16	5 31.3%	9 56.3%	1 6.3%	1 6.3%	—	2.19	3.5
レスピレーター（人工呼吸器）の管理	16	15 93.8%	1 6.3%	—	—	—	0.06	0.24
気管切開のケア	16	14 87.5%	2 12.5%	—	—	—	0.19	0.53
疼痛の看護	16	8 50.0%	8 50.0%	—	—	—	0.69	0.77
経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	16	5 31.3%	4 25.0%	5 31.3%	—	2 12.5%	6.81	12.23
モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	16	13 81.3%	1 6.3%	—	—	—	3.14	10.53
じょくそうの処置	16	12 75.0%	2 12.5%	—	—	2 12.5%	3.5	7.13
テーテル、留置カテーテル等）	16	6 37.5%	—	—	—	10 62.5%	2.25	2.28
喀痰吸引	16	4 25.0%	—	—	—	12 75.0%	6.75	14.78
ネブライザー	16	5 31.3%	—	—	—	11 68.8%	0.88	2.03
創傷処置	16	10 62.5%	3 18.8%	—	—	3 18.8%	7.94	14.03
服薬管理	16	2 12.5%	4 25.0%	4 25.0%	—	6 37.5%	45.92	27.94
導尿	16	5 31.3%	—	—	—	11 68.8%	0	0
浣腸	16	15 93.8%	1 6.3%	—	—	—	1.63	3.16
排便	16	11 68.8%	1 6.3%	—	—	4 25.0%	1.88	2.76
簡易血糖測定	16	7 43.8%	—	—	—	9 56.3%	2.06	2.88
看取り期のケア	16	6 37.5%	—	—	—	10 62.5%	1.06	1.56
その他	16	8 50.0%	—	—	—	8 50.0%	0.5	1.46

図表 342 医療機関から往診を受けた利用者数【特定施設入居者生活介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	16	8 50.0%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	3 18.8%	1 6.3%	11.6	18.75

図表 343 医療機関から往診を受けた科の内訳【特定施設入居者生活介護】

	件数	内科	泌尿器科	精神科	整形外科	眼科	皮膚科	歯科	耳鼻科	その他	無回答
合計	7	4 57.1%	-	2 28.6%	-	-	2 28.6%	2 28.6%	-	-	2 28.6%

図表 344 医療機関から訪問診療を受けた利用者数【特定施設入居者生活介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	16	1 6.3%	-	-	-	11 68.8%	4 25.0%	52.75	38.95

図表 345 医療機関を受診（通院）した利用者数【特定施設入居者生活介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	16	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%	5 31.3%	4 25.0%	3 18.8%	19.77	18.11

図表 346 医療機関へ入院した利用者数【特定施設入居者生活介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均(単位:人)	標準偏差(単位:人)
計	16	3 18.8%	9 56.3%	-	2 12.5%	-	2 12.5%	3.57	4.35
a. 予定入院(手術、治療目的の入院)	11	6 54.5%	4 36.4%	1 9.1%	-	-	-	1.18	1.99
b. 緊急入院	11	-	9 81.8%	1 9.1%	1 9.1%	-	-	3.27	3.11
c. ターミナルを前提とした入院	11	10 90.9%	1 9.1%	-	-	-	-	0.09	0.29

図表 347 事業所内での看取りをおこなった利用者数【特定施設入居者生活介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均(単位:人)	標準偏差(単位:人)
合計	16	2 12.5%	7 43.8%	2 12.5%	4 25.0%	-	1 6.3%	5.07	4.7

【通所介護】

1) 基本情報

図表 348 開設主体【通所介護】

	件 数	公 立	社 会 福 祉 法 人	医 療 法 人	社 団 ・ 財 団 法 人	営 利 法 人	そ の 他
合 計	37	-	17 45.9%	1 2.7%	-	19 51.4%	-

図表 349 開設年【通所介護】

	件 数	〽 1 9 8 4 年	1 8 9 9 8 年 5 〽 1 9	1 9 9 4 9 年 0 〽 1 9	1 9 9 9 9 年 5 〽 1 9	2 0 0 4 0 年 0 〽 2 0	2 0 0 5 年 〽
合 計	37	-	3 8.1%	6 16.2%	6 16.2%	6 16.2%	16 43.2%

図表 350 要介護度別利用者数【通所介護】

《実人数》

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	37	22 59.5%	10 27.0%	3 8.1%	2 5.4%	7.11	11.53
要支援2	37	11 29.7%	15 40.5%	7 18.9%	4 10.8%	9.78	10.71
要介護1	37	-	2 5.4%	15 40.5%	20 54.1%	21.16	10.03
要介護2	37	-	3 8.1%	17 45.9%	17 45.9%	18.68	8.31
要介護3	37	1 2.7%	14 37.8%	20 54.1%	2 5.4%	11.27	4.99
要介護4	37	10 27.0%	21 56.8%	6 16.2%	-	6.19	3.17
要介護5	37	23 62.2%	13 35.1%	1 2.7%	-	4.11	3.04

《延べ人数》

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	37	8 21.6%	2 5.4%	11 29.7%	15 40.5%	1 2.7%	32.06	58.6
要支援2	37	2 5.4%	2 5.4%	3 8.1%	29 78.4%	1 2.7%	62.22	70.66
要介護1	37	-	-	-	36 97.3%	1 2.7%	154.14	69.94
要介護2	37	-	-	-	36 97.3%	1 2.7%	150.64	73.02
要介護3	37	-	-	1 2.7%	35 94.6%	1 2.7%	91.78	59.05
要介護4	37	-	4 10.8%	3 8.1%	29 78.4%	1 2.7%	48.78	33.02
要介護5	37	8 21.6%	2 5.4%	6 16.2%	20 54.1%	1 2.7%	30.03	25.62

図表 351 平均要介護度【通所介護】

	件数	0.5未満	0.5以上1未満	1以上1.5未満	1.5以上2未満	2以上2.5未満	2.5以上3未満	3以上3.5未満	3.5以上4未満	4以上4.5未満	4.5以上	（単位：要介護度） 平均値	（単位：要介護度） 標準偏差
合計	37	-	-	4 10.8%	11 29.7%	20 54.1%	2 5.4%	-	-	-	-	2	0.34

図表 352 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【通所介護】

	件 数	5 人 未 満	5 ～ 1 0 人 未 満	1 満 0 ～ 2 0 人 未	2 0 人 以 上	無 回 答	（単位： 平均：人 値）	（単位： 標準： 偏差：人 ）
自立	37	7 18.9%	3 8.1%	5 13.5%	5 13.5%	17 45.9%	35.75	111.28
I	37	3 8.1%	6 16.2%	6 16.2%	5 13.5%	17 45.9%	14.25	10.62
II	37	4 10.8%	2 5.4%	8 21.6%	6 16.2%	17 45.9%	14.2	9.21
III	37	8 21.6%	6 16.2%	6 16.2%	—	17 45.9%	6.9	5.79
IV	37	17 45.9%	2 5.4%	1 2.7%	—	17 45.9%	2.15	3.1
M	37	20 54.1%	—	—	—	17 45.9%	0.25	0.62

2) 職員体制

図表 353 全職員数（常勤・非常勤）【通所介護】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	無回答	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
常 勤	37	-	-	4 10.8%	7 18.9%	18 48.6%	8 21.6%	6.2	3.14
非 常 勤	37	-	1 2.7%	1 2.7%	1 2.7%	13 35.1%	21 56.8%	11.11	7.18

図表 354 職員数内訳（常勤換算数）【通所介護】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	4 ～ 10人未満	10人以上	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
看 護 師	37	5 13.5%	27 73.0%	3 8.1%	1 2.7%	1 2.7%	-	1.02	0.81
准 看 護 師	37	18 48.6%	18 48.6%	1 2.7%	-	-	-	0.42	0.52

《介護職員》

	件数	0人	3人未満	3 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
合 計	37	2 5.4%	4 10.8%	10 27.0%	16 43.2%	5 13.5%	6.05	3.67

3) 利用者の状況

図表 355 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【通所介護】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
インスリン注射	37	23 62.2%	12 32.4%	1 2.7%	1 2.7%	-	0.92	1.91
中心静脈栄養の管理	37	37 100.0%	-	-	-	-	0	0
注射・点滴の管理（1及び2以外）	37	37 100.0%	-	-	-	-	0	0
透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理	37	36 97.3%	1 2.7%	-	-	-	0.03	0.16
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	37	22 59.5%	15 40.5%	-	-	-	0.57	0.89
酸素療法	37	20 54.1%	17 45.9%	-	-	-	0.76	0.97
レスピレーター（人工呼吸器）の管理	37	37 100.0%	-	-	-	-	0	0
気管切開のケア	37	34 91.9%	3 8.1%	-	-	-	0.08	0.27
疼痛の看護	37	30 81.1%	3 8.1%	1 2.7%	2 5.4%	1 2.7%	1.68	5.02
経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	37	29 78.4%	8 21.6%	-	-	-	0.32	0.66
モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	37	33 89.2%	2 5.4%	-	-	-	0.09	0.37
じょくそうの処置	37	18 48.6%	17 45.9%	2 5.4%	-	-	1.27	1.64
テーテル、留置カテーテル等）	37	22 59.5%	14 37.8%	1 2.7%	-	-	0.78	1.25
喀痰吸引	37	34 91.9%	3 8.1%	-	-	-	0.11	0.39
ネブライザー	37	35 94.6%	2 5.4%	-	-	-	0.08	0.36
創傷処置	37	19 51.4%	17 45.9%	1 2.7%	-	-	1.43	1.82
服薬管理	37	5 13.5%	1 2.7%	-	4 10.8%	24 64.9%	31.91	24.91
導尿	37	36 97.3%	1 2.7%	-	-	-	0.03	0.16
浣腸	37	35 94.6%	2 5.4%	-	-	-	0.05	0.23
摘便	37	32 86.5%	5 13.5%	-	-	-	0.22	0.58
簡易血糖測定	37	29 78.4%	8 21.6%	-	-	-	0.35	0.85
看取り期のケア	37	37 100.0%	-	-	-	-	0	0
その他	37	32 86.5%	2 5.4%	-	-	3 8.1%	2.32	7.7

【認知症対応型通所介護】

1) 基本情報

図表 356 開設主体【認知症対応型通所介護】

	件数	公立	社会福祉法人	医療法人	社団・財団法人	営利法人	その他
合計	17	1 5.9%	13 76.5%	—	1 5.9%	2 11.8%	—

図表 357 開設年【認知症対応型通所介護】

	件数	〽 1 9 8 4 年	1 8 9 9 8 年 5 〽 1 9	1 9 9 4 9 年 0 〽 1 9	1 9 9 9 9 年 5 〽 1 9	2 0 0 4 0 年 0 〽 2 0	2 0 0 5 年 〽
合計	17	—	—	3 17.6%	3 17.6%	4 23.5%	7 41.2%

図表 358 要介護度別利用者数（実人数）【認知症対応型通所介護】

《実人数》

	件数	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	17	16 94.1%	-	-	1 5.9%	1.29	4.7
要支援2	17	16 94.1%	-	-	1 5.9%	1.71	6.58
要介護1	17	12 70.6%	1 5.9%	3 17.6%	1 5.9%	4.65	7.04
要介護2	17	12 70.6%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	4.59	5.29
要介護3	17	8 47.1%	7 41.2%	2 11.8%	-	6.12	4.19
要介護4	17	8 47.1%	8 47.1%	1 5.9%	-	5.06	2.58
要介護5	17	6 35.3%	8 47.1%	3 17.6%	-	5.65	3.56

《延べ人数》

	件数	5人未満 5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	17	15 88.2%	1 5.9%	-	-	1 5.9%	5.69	20.06
要支援2	17	15 88.2%	-	1 5.9%	-	1 5.9%	11.5	43.27
要介護1	17	11 64.7%	3 17.6%	2 11.8%	-	1 5.9%	36.94	53.24
要介護2	17	13 76.5%	1 5.9%	2 11.8%	-	1 5.9%	43.44	48.63
要介護3	17	8 47.1%	6 35.3%	2 11.8%	-	1 5.9%	54.06	35.73
要介護4	17	7 41.2%	9 52.9%	-	-	1 5.9%	47.94	24.47
要介護5	17	10 58.8%	4 23.5%	2 11.8%	-	1 5.9%	45.75	31.16

図表 359 平均要介護度【認知症対応型通所介護】

	件数	0.5未満	0.5以上 1未満	1以上 1.5未満	1.5以上 2未満	2以上 2.5未満	2.5以上 3未満	3以上 3.5未満	3.5以上 4未満	4以上 4.5未満	4.5以上	（単位：要介護度） 平均値	（単位：要介護度） 標準偏差
合計	17	-	-	-	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	3 17.6%	7 41.2%	2 11.8%	-	3.23	0.8

図表 360 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【認知症対応型通所介護】

	件 数	5 人 未 満	5 人 未 満 10 人 未 満	10 人 未 満 20 人 未 満	20 人 以 上	無 回 答	平 均 （単 位 ：人 値）	標 準 偏 差 （単 位 ：人）
自立	17	9 52.9%	-	1 5.9%	-	7 41.2%	1	3
I	17	9 52.9%	-	-	1 5.9%	7 41.2%	6.9	17.75
II	17	4 23.5%	4 23.5%	1 5.9%	1 5.9%	7 41.2%	8.6	10.12
III	17	3 17.6%	4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	7 41.2%	8.7	7.06
IV	17	5 29.4%	3 17.6%	2 11.8%	-	7 41.2%	4.9	3.56
M	17	10 58.8%	-	-	-	7 41.2%	1.5	1.57

図表 361 障害者高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【認知症対応型通所介護】

	件 数	5 人 未 満	5 人 未 満 10 人 未 満	10 人 未 満 20 人 未 満	20 人 以 上	無 回 答	平 均 （単 位 ：人 値）	標 準 偏 差 （単 位 ：人）
自立	17	8 47.1%	-	-	1 5.9%	8 47.1%	2.78	7.51
J	17	7 41.2%	1 5.9%	-	1 5.9%	8 47.1%	5.22	10.03
A	17	-	4 23.5%	3 17.6%	2 11.8%	8 47.1%	15.56	13.49
B	17	3 17.6%	3 17.6%	3 17.6%	-	8 47.1%	6.89	5.11
C	17	5 29.4%	4 23.5%	-	-	8 47.1%	3.89	3.07

2) 職員体制

図表 362 全職員数（常勤・非常勤）【認知症対応型通所介護】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
常 勤	17	-	2 11.8%	2 11.8%	4 23.5%	9 52.9%	-	4	2.14
非 常 勤	17	-	-	1 5.9%	2 11.8%	10 58.8%	4 23.5%	8.29	6.68

図表 363 職員数内訳（常勤換算数）【認知症対応型通所介護】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1人未満	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	4 ～ 10人未満	10人以上	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
看 護 師	17	6 35.3%	6 35.3%	1 5.9%	4 23.5%	-	-	-	0.74	0.9
准 看 護 師	17	7 41.2%	6 35.3%	4 23.5%	-	-	-	-	0.42	0.42

《介護職員》

	件数	0人	3人未満	3 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
合 計	17	-	4 23.5%	8 47.1%	5 29.4%	-	4.38	2.24

3) 利用者の状況

図表 364 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【認知症対応型通所介護】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
インスリン注射	17	15 88.2%	2 11.8%	—	—	—	0.12	0.32
中心静脈栄養の管理	17	17 100.0%	—	—	—	—	0	0
注射・点滴の管理（1及び2以外）	17	17 100.0%	—	—	—	—	0	0
透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理	17	17 100.0%	—	—	—	—	0	0
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	17	11 64.7%	6 35.3%	—	—	—	0.47	0.78
酸素療法	17	15 88.2%	2 11.8%	—	—	—	0.29	0.82
レスピレーター（人工呼吸器）の管理	17	17 100.0%	—	—	—	—	0	0
気管切開のケア	17	17 100.0%	—	—	—	—	0	0
疼痛の看護	17	16 94.1%	1 5.9%	—	—	—	0.06	0.24
経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	17	10 58.8%	6 35.3%	1 5.9%	—	—	0.88	1.45
モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	17	13 76.5%	1 5.9%	—	2 11.8%	1 5.9%	3	6.14
じょくそうの処置	17	9 52.9%	7 41.2%	1 5.9%	—	—	0.76	1.21
テーテル、留置カテーテル等）	17	13 76.5%	4 23.5%	—	—	—	0.29	0.57
喀痰吸引	17	14 82.4%	3 17.6%	—	—	—	0.53	1.29
ネブライザー	17	17 100.0%	—	—	—	—	0	0
創傷処置	17	12 70.6%	4 23.5%	1 5.9%	—	—	0.82	1.58
服薬管理	17	3 17.6%	3 17.6%	4 23.5%	2 11.8%	2 11.8%	8.5	9.77
導尿	17	17 100.0%	—	—	—	—	0	0
浣腸	17	16 94.1%	1 5.9%	—	—	—	0.12	0.47
摘便	17	15 88.2%	2 11.8%	—	—	—	0.18	0.51
簡易血糖測定	17	15 88.2%	2 11.8%	—	—	—	0.12	0.32
看取り期のケア	17	17 100.0%	—	—	—	—	0	0
その他	17	16 94.1%	—	1 5.9%	—	—	0.35	1.41

【訪問入浴介護】

1) 基本情報

図表 365 開設主体【訪問入浴介護】

	件数	公立	社会福祉法人	医療法人	社団・財団法人	営利法人	その他
合計	18	-	4 22.2%	-	-	12 66.7%	2 11.1%

図表 366 開設年【訪問入浴介護】

	件数	5 1 9 8 4 年	18 9 9 8 年	19 9 4 9 年	19 9 9 年	20 0 4 0 年	2 0 5 年
合計	18	-	-	-	2 11.1%	7 38.9%	9 50.0%

図表 367 利用者数【訪問入浴介護】

	件数	5 人 未 満	5 5 1 0 人 未 満	1 満 0 5 2 0 人 未	2 0 人 以 上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	18	-	-	1 5.6%	17 94.4%	61.78	45.87

図表 368 要介護度別利用者数【訪問入浴介護】

《実人数》

	件数	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
要支援1	18	18 100.0%	-	-	-	0	0
要支援2	18	18 100.0%	-	-	-	0.56	0.83
要介護1	18	18 100.0%	-	-	-	1.28	0.8
要介護2	18	9 50.0%	6 33.3%	3 16.7%	-	5.06	4.39
要介護3	18	7 38.9%	4 22.2%	5 27.8%	2 11.1%	8.11	5.82
要介護4	18	2 11.1%	4 22.2%	7 38.9%	5 27.8%	15.28	10.99
要介護5	18	-	1 5.6%	8 44.4%	9 50.0%	31.5	26.36

《延べ回数》

	件数	50回未満 50回未満	50回未満 50回未満	100回未満 100回未満	200回以上	(単位：回) 平均値	(単位：回) 標準偏差
要支援1	18	18 100.0%	-	-	-	0	0
要支援2	18	18 100.0%	-	-	-	1.89	2.6
要介護1	18	18 100.0%	-	-	-	5.56	3.62
要介護2	18	16 88.9%	2 11.1%	-	-	20.89	17.91
要介護3	18	16 88.9%	2 11.1%	-	-	35.11	24.92
要介護4	18	7 38.9%	6 33.3%	4 22.2%	1 5.6%	71.28	52.67
要介護5	18	2 11.1%	6 33.3%	5 27.8%	5 27.8%	158.61	141.57

図表 369 平均要介護度【訪問入浴介護】

	件数	0.5未満	0.5以上1未満	1以上1.5未満	1.5以上2未満	2以上2.5未満	2.5以上3未満	3以上3.5未満	3.5以上4未満	4以上4.5未満	4.5以上	(単位：要介護度) 平均値	(単位：要介護度) 標準偏差
合計	18	-	-	-	-	-	-	-	6 33.3%	11 61.1%	1 5.6%	4.12	0.22

図表 370 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【訪問入浴介護】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	平均（単位：人）	標準偏差（単位：人）
自立	18	5 27.8%	-	-	1 5.6%	12 66.7%	7.5	14.58
I	18	5 27.8%	-	1 5.6%	-	12 66.7%	4	6.03
II	18	4 22.2%	1 5.6%	1 5.6%	-	12 66.7%	3.83	5.34
III	18	5 27.8%	-	1 5.6%	-	12 66.7%	3.83	5.18
IV	18	4 22.2%	1 5.6%	1 5.6%	-	12 66.7%	3.83	3.85
M	18	5 27.8%	1 5.6%	-	-	12 66.7%	2	3.06

図表 371 障害者高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）【訪問入浴介護】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	平均（単位：人）	標準偏差（単位：人）
自立	18	7 38.9%	-	-	-	11 61.1%	0	0
J	18	7 38.9%	-	-	-	11 61.1%	0.86	1.36
A	18	5 27.8%	1 5.6%	1 5.6%	-	11 61.1%	3.71	5.87
B	18	4 22.2%	1 5.6%	2 11.1%	-	11 61.1%	4.71	6.06
C	18	4 22.2%	-	1 5.6%	2 11.1%	11 61.1%	12.29	13.83

2) 職員体制

図表 372 全職員数（常勤・非常勤）【訪問入浴介護】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
常 勤	18	—	2 11.1%	5 27.8%	2 11.1%	7 38.9%	2 11.1%	4.78	3.72
非 常 勤	18	1 5.6%	—	—	2 11.1%	7 38.9%	8 44.4%	9.06	5.77

図表 373 職員数内訳（常勤換算数）【訪問入浴介護】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1人未満	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	4 ～ 10人未満	10人以上	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
看 護 師	18	2 11.1%	3 16.7%	6 33.3%	3 16.7%	1 5.6%	3 16.7%	—	1.82	1.57
准 看 護 師	18	5 27.8%	7 38.9%	5 27.8%	1 5.6%	—	—	—	0.7	0.71

《介護職員》

	件数	0人	3人未満	3 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	平均：人 （単位：人） 値	標準偏差：人 （単位：人） 差
合 計	18	1 5.6%	4 22.2%	7 38.9%	3 16.7%	3 16.7%	5.64	5.16

3) 利用者の状況

図表 374 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【訪問入浴介護】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	平均（単位：人）	標準偏差（単位：人）
インスリン注射	18	15 83.3%	2 11.1%	—	—	—	1 5.6%	0.35	0.97
中心静脈栄養の管理	18	13 72.2%	3 16.7%	—	—	1 5.6%	1 5.6%	1.41	4.91
注射・点滴の管理（1及び2以外）	18	16 88.9%	—	—	1 5.6%	—	1 5.6%	0.82	3.29
透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理	18	14 77.8%	3 16.7%	—	—	—	1 5.6%	0.35	0.84
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	18	8 44.4%	8 44.4%	1 5.6%	—	—	1 5.6%	1.06	1.7
酸素療法	18	8 44.4%	8 44.4%	—	1 5.6%	—	1 5.6%	2.12	3.12
レスピレーター（人工呼吸器）の管理	18	13 72.2%	4 22.2%	—	—	—	1 5.6%	0.29	0.57
気管切開のケア	18	10 55.6%	5 27.8%	—	2 11.1%	—	1 5.6%	2.53	5.27
疼痛の看護	18	15 83.3%	—	1 5.6%	—	1 5.6%	1 5.6%	1.59	5.24
経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	18	5 27.8%	4 22.2%	4 22.2%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	9.65	15.84
モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	18	14 77.8%	—	1 5.6%	1 5.6%	—	2 11.1%	1.38	3.79
じょくそうの処置	18	4 22.2%	5 27.8%	5 27.8%	—	3 16.7%	1 5.6%	10.35	16.03
テーテル、留置カテーテル等）	18	6 33.3%	8 44.4%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	4	6.37
喀痰吸引	18	8 44.4%	6 33.3%	3 16.7%	—	—	1 5.6%	1.94	2.26
ネブライザー	18	17 94.4%	—	—	—	—	1 5.6%	0	0
創傷処置	18	9 50.0%	6 33.3%	2 11.1%	—	—	1 5.6%	1.76	2.36
服薬管理	18	16 88.9%	—	—	1 5.6%	—	1 5.6%	0.59	2.35
導尿	18	15 83.3%	2 11.1%	—	—	—	1 5.6%	0.12	0.32
浣腸	18	16 88.9%	1 5.6%	—	—	—	1 5.6%	0.18	0.71
摘便	18	13 72.2%	4 22.2%	—	—	—	1 5.6%	0.41	0.77
簡易血糖測定	18	15 83.3%	2 11.1%	—	—	—	1 5.6%	0.24	0.73
看取り期のケア	18	12 66.7%	4 22.2%	—	—	1 5.6%	1 5.6%	1.65	4.93
その他	18	14 77.8%	3 16.7%	—	—	—	1 5.6%	0.35	0.84

【小規模多機能型居宅介護】

1) 基本情報

図表 375 開設主体【小規模多機能型居宅介護】

	件数	社会福祉法人	医療法人	営利法人	NPO法人	その他
合計	28	12 42.9%	1 3.6%	10 35.7%	5 17.9%	-

図表 376 開設年【小規模多機能型居宅介護】

	件数	1984年	1985年	1989年	1990年	1991年	1992年	2000年	2005年	無回答
合計	28	-	-	-	-	-	-	27 96.4%	1 3.6%	

図表 377 登録者数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	5人未満	5人未満	10人未満	10人以上	平均値	標準偏差
合計	28	-	1 3.6%	11 39.3%	16 57.1%	19.25	5.03

図表 378 定員数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	5人未満	5人未満	10人未満	10人以上	平均値	標準偏差
合計	28	-	-	6 21.4%	3 10.7%	18 64.3%	1 3.6%

図表 379 要介護度別登録者数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	28	28 100.0%	-	-	-	0.39	0.62
要支援2	28	28 100.0%	-	-	-	0.57	1.21
要介護1	28	18 64.3%	8 28.6%	2 7.1%	-	4.07	2.7
要介護2	28	13 46.4%	14 50.0%	1 3.6%	-	4.68	2.25
要介護3	28	14 50.0%	14 50.0%	-	-	4.82	2.17
要介護4	28	23 82.1%	5 17.9%	-	-	2.79	2.11
要介護5	28	24 85.7%	4 14.3%	-	-	1.93	2.05

図表 380 認知症高齢者の日常生活自立度別の登録者数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	28	27 96.4%	-	-	-	1 3.6%	1.15	1.11
I	28	25 89.3%	2 7.1%	-	-	1 3.6%	2.07	1.84
II	28	6 21.4%	15 53.6%	6 21.4%	-	1 3.6%	6.96	3.57
III	28	7 25.0%	18 64.3%	2 7.1%	-	1 3.6%	6	2.79
IV	28	22 78.6%	5 17.9%	-	-	1 3.6%	2.41	1.81
M	28	27 96.4%	-	-	-	1 3.6%	0.78	0.96

図表 381 障害者高齢者の日常生活自立度別の登録者数【小規模多機能型居宅介護】

	件 数	5 人 未 満	5 人 未 満 1 0 人 未 満	1 満 0 人 未 満	2 0 人 以 上	無 回 答	平 均 値 （単位：人）	標準偏差 （単位：人）
自立	28	26 92.9%	-	-	-	2 7.1%	0.58	0.97
J	28	18 64.3%	6 21.4%	2 7.1%	-	2 7.1%	3.58	2.63
A	28	3 10.7%	13 46.4%	10 35.7%	-	2 7.1%	8.88	3.4
B	28	13 46.4%	11 39.3%	2 7.1%	-	2 7.1%	4.69	2.84
C	28	24 85.7%	2 7.1%	-	-	2 7.1%	1.46	1.62

図表 382 要介護度別利用者数（実人数）【小規模多機能型居宅介護】

《実人数》

	件数	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	28	27 96.4%	-	-	-	1 3.6%	0.41	0.62
要支援2	28	27 96.4%	-	-	-	1 3.6%	0.59	1.23
要介護1	28	18 64.3%	7 25.0%	2 7.1%	-	1 3.6%	4.11	2.78
要介護2	28	11 39.3%	15 53.6%	1 3.6%	-	1 3.6%	4.93	2.24
要介護3	28	14 50.0%	13 46.4%	-	-	1 3.6%	4.63	2.31
要介護4	28	22 78.6%	5 17.9%	-	-	1 3.6%	2.85	2.14
要介護5	28	23 82.1%	4 14.3%	-	-	1 3.6%	1.74	1.99

《延べ人数》

	件数	50人未満	50未満 50未満 100人	100未満 100未満 200人	200人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	28	25 89.3%	-	-	-	3 10.7%	5.4	11.33
要支援2	28	23 82.1%	2 7.1%	-	-	3 10.7%	9.8	21.47
要介護1	28	7 25.0%	10 35.7%	6 21.4%	2 7.1%	3 10.7%	81.56	59.81
要介護2	28	6 21.4%	6 21.4%	10 35.7%	3 10.7%	3 10.7%	112.68	87.14
要介護3	28	4 14.3%	5 17.9%	12 42.9%	4 14.3%	3 10.7%	126.16	82.88
要介護4	28	8 28.6%	8 28.6%	5 17.9%	4 14.3%	3 10.7%	110.52	118.52
要介護5	28	16 57.1%	2 7.1%	5 17.9%	2 7.1%	3 10.7%	60.8	77.68

2) 職員体制

図表 383 全職員数（常勤・非常勤）【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
常 勤	28	-	-	-	3 10.7%	19 67.9%	3 10.7%	3 10.7%	7.04	2.72
非 常 勤	28	-	-	1 3.6%	3 10.7%	10 35.7%	11 39.3%	3 10.7%	9.08	6.28

図表 384 職員数内訳（常勤換算数）【小規模多機能型居宅介護】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1人未満	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
看 護 師	28	10 35.7%	10 35.7%	6 21.4%	1 3.6%	-	-	-	1 3.6%	0.53	0.57
准 看 護 師	28	15 53.6%	5 17.9%	7 25.0%	-	-	-	-	1 3.6%	0.36	0.44

《介護職員》

	件数	0人	3人未満	3 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合 計	28	-	2 7.1%	1 3.6%	10 35.7%	14 50.0%	1 3.6%	9.18	3.32

図表 385 看護師・准看護師が他に行っている（兼務している）職務
【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
管理者	28	9 32.1%	3 10.7%	-	-	-	-	16 57.1%	0.25	0.43
介護支援専門員	28	9 32.1%	3 10.7%	-	-	-	-	16 57.1%	0.25	0.43
兼務なし	28	3 10.7%	5 17.9%	2 7.1%	2 7.1%	-	-	16 57.1%	1.25	1.01

3) 看護職員について

図表 386 看護職員の勤務している時間帯【小規模多機能型居宅介護】

	件数	6 5 : 9 0 0 ～ 8 :	9 : 5 0 9 0 ～ 1 6	1 9 7 : 5 0 9 0 ～ 1 1	2 1 0 : 5 0 9 0 ～ 2 2	2 : 2 5 : 9 0 0 ～ 5	無回答
合計	28	2 7.1%	24 85.7%	3 10.7%	1 3.6%	1 3.6%	3 10.7%

図表 387 看護職員の夜間の対応【小規模多機能型居宅介護】

	件数	必ずいる 夜勤の看護職員が	必ずいる 宿直の看護職員が	ローテーションによる 看護職員がいる時間と	通常、看護職員は勤務 しないが、状態に応じ	て勤務することがある	オンコールで対応する	特に対応していない	その他	無回答
合計	28	－	1 3.6%	4 14.3%	5 17.9%	14 50.0%	6 21.4%	1 3.6%	1 3.6%	

4) 利用者の状況

図表 388 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
インスリン注射	28	21 75.0%	7 25.0%	—	—	—	0.32	0.6
中心静脈栄養の管理	28	28 100.0%	—	—	—	—	0	0
注射・点滴の管理（1及び2以外）	28	27 96.4%	1 3.6%	—	—	—	0.04	0.19
透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理	28	27 96.4%	1 3.6%	—	—	—	0.07	0.37
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	28	26 92.9%	2 7.1%	—	—	—	0.07	0.26
酸素療法	28	28 100.0%	—	—	—	—	0	0
レスピレーター（人工呼吸器）の管理	28	28 100.0%	—	—	—	—	0	0
気管切開のケア	28	27 96.4%	1 3.6%	—	—	—	0.04	0.19
疼痛の看護	28	24 85.7%	4 14.3%	—	—	—	0.25	0.69
経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	28	25 89.3%	3 10.7%	—	—	—	0.18	0.6
モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	28	24 85.7%	2 7.1%	—	1 3.6%	—	0.74	3.22
じょくそうの処置	28	22 78.6%	6 21.4%	—	—	—	0.36	0.85
テーテル、留置カテーテル等）	28	25 89.3%	3 10.7%	—	—	—	0.11	0.31
喀痰吸引	28	25 89.3%	3 10.7%	—	—	—	0.18	0.6
ネブライザー	28	28 100.0%	—	—	—	—	0	0
創傷処置	28	18 64.3%	10 35.7%	—	—	—	0.68	1.04
服薬管理	28	5 17.9%	2 7.1%	4 14.3%	10 35.7%	5 17.9%	10.88	8.17
導尿	28	28 100.0%	—	—	—	—	0	0
浣腸	28	23 82.1%	3 10.7%	2 7.1%	—	—	0.5	1.43
摘便	28	22 78.6%	5 17.9%	1 3.6%	—	—	0.64	1.78
簡易血糖測定	28	22 78.6%	6 21.4%	—	—	—	0.25	0.51
看取り期のケア	28	26 92.9%	2 7.1%	—	—	—	0.07	0.26
その他	28	26 92.9%	1 3.6%	—	—	—	0.04	0.19

図表 389 医療機関から往診を受けた利用者数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
合計	28	17 60.7%	5 17.9%	1 3.6%	1 3.6%	-	4 14.3%	1.25	3.36

図表 390 医療機関から往診を受けた科の内訳【小規模多機能型居宅介護】

	件数	内科	泌尿器科	精神科	整形外科	眼科	皮膚科	歯科	耳鼻科	その他
合計	7	6 85.7%	-	-	-	-	-	3 42.9%	-	-

図表 391 医療機関から訪問診療を受けた利用者数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答
合計	28	10 35.7%	8 28.6%	2 7.1%	3 10.7%	1 3.6%	4 14.3%

図表 392 医療機関を受診（通院）した利用者数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
合計	28	5 17.9%	11 39.3%	5 17.9%	4 14.3%	3 10.7%	6.43	6.95

図表 393 医療機関へ入院した利用者数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均(単位:人)	標準偏差(単位:人)
計	28	11 39.3%	15 53.6%	-	-	-	2 7.1%	0.92	1
a. 予定入院(手術、治療目的の入院)	15	13 86.7%	2 13.3%	-	-	-	-	0.13	0.34
b. 緊急入院	15	1 6.7%	14 93.3%	-	-	-	-	1.47	0.88
c. ターミナルを前提とした入院	15	14 93.3%	1 6.7%	-	-	-	-	0.07	0.25

図表 394 事業所内での看取りをおこなった利用者数【小規模多機能型居宅介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均(単位:人)	標準偏差(単位:人)
合計	28	19 67.9%	6 21.4%	2 7.1%	-	-	1 3.6%	0.78	1.5

【短期入所生活介護（単独型）】

1) 基本情報

図表 395 開設主体【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	公立	社会福祉法人	医療法人	社団・財団法人	営利法人	その他
合計	12	-	3 25.0%	2 16.7%	-	7 58.3%	-

図表 396 開設年【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	1984年	1985年	1989年	1990年	1991年	2000年	2005年	無回答
合計	12	-	-	-	-	1 8.3%	10 83.3%	1 8.3%	

図表 397 定員数【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	平均（単位：人）	標準偏差（単位：人）
合計	12	-	-	1 8.3%	11 91.7%	30.83	14.01

図表 398 利用者数【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均（単位：人）	標準偏差（単位：人）
合計	12	-	-	2 16.7%	8 66.7%	2 16.7%	138.7	197.29

図表 399 要介護度別利用者数（実人数）【短期入所生活介護（単独型）】

	件 数	5 人 未 満	5 ～ 1 0 人 未 満	1 満 0 ～ 2 0 人 未	2 0 人 以 上	無 回 答	平 均 （単 位 ：人 値）	標 準 差 （単 位 ：人）
要支援1	12	10 83.3%	1 8.3%	-	-	1 8.3%	0.73	1.42
要支援2	12	10 83.3%	1 8.3%	-	-	1 8.3%	1.64	1.55
要介護1	12	2 16.7%	4 33.3%	2 16.7%	3 25.0%	1 8.3%	14.64	13.79
要介護2	12	3 25.0%	-	2 16.7%	6 50.0%	1 8.3%	23.36	22.69
要介護3	12	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	5 41.7%	1 8.3%	17.91	12.72
要介護4	12	2 16.7%	3 25.0%	3 25.0%	3 25.0%	1 8.3%	16.09	16.38
要介護5	12	2 16.7%	4 33.3%	2 16.7%	3 25.0%	1 8.3%	13.73	11.31

図表 400 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数【短期入所生活介護（単独型）】

《実人数》

	件数	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	無回答	平均（単位：人） （単位：人）	標準偏差（単位：人） （単位：人）
自立	12	5 41.7%	-	-	-	7 58.3%	1	0.63
I	12	3 25.0%	2 16.7%	-	-	7 58.3%	3	2.28
II	12	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	-	7 58.3%	4.4	3.61
III	12	4 33.3%	-	1 8.3%	-	7 58.3%	4.6	5.82
IV	12	3 25.0%	2 16.7%	-	-	7 58.3%	3.6	1.85
M	12	4 33.3%	1 8.3%	-	-	7 58.3%	2.6	2.42

《延べ人数》

	件数	5人未満 5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	無回答	平均（単位：人） （単位：人）	標準偏差（単位：人） （単位：人）
要支援1	12	10 83.3%	-	-	-	2 16.7%	1.6	2.46
要支援2	12	10 83.3%	-	-	-	2 16.7%	9.5	9.17
要介護1	12	2 16.7%	4 33.3%	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	113.1	71.1
要介護2	12	-	3 25.0%	3 25.0%	4 33.3%	2 16.7%	175.1	85.35
要介護3	12	-	-	5 41.7%	5 41.7%	2 16.7%	200.5	74.98
要介護4	12	1 8.3%	1 8.3%	3 25.0%	5 41.7%	2 16.7%	180	86.2
要介護5	12	-	4 33.3%	2 16.7%	4 33.3%	2 16.7%	147.9	75.82

図表 401 障害者高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）

【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	無回答	平均（単位：人） （単位：人）	標準偏差（単位：人） （単位：人）
要支援1	12	10 83.3%	1 8.3%	-	-	1 8.3%	0.82	1.4
要支援2	12	10 83.3%	1 8.3%	-	-	1 8.3%	2.18	1.8
要介護1	12	1 8.3%	1 8.3%	5 41.7%	4 33.3%	1 8.3%	19.36	12.37
要介護2	12	-	-	2 16.7%	9 75.0%	1 8.3%	29.91	14.9
要介護3	12	-	-	2 16.7%	9 75.0%	1 8.3%	27.91	11.52
要介護4	12	-	1 8.3%	5 41.7%	5 41.7%	1 8.3%	22.73	14.62
要介護5	12	-	1 8.3%	5 41.7%	5 41.7%	1 8.3%	20.36	10.61

2) 職員体制

図表 402 全職員数（常勤・非常勤）【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	0人	1人	2人	3人	4人 10人未満	10人以上	無回答	平均（単位：人） （単位：人）	標準偏差（単位：人） （単位：人）
常 勤	12	-	-	-	-	-	11 91.7%	1 8.3%	19.45	8.89
非 常 勤	12	-	-	1 8.3%	-	2 16.7%	8 66.7%	1 8.3%	14.09	10.7

図表 403 職員数内訳（常勤換算数）【短期入所生活介護（単独型）】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1人未満	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	4 ～ 10人未満	10人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
看護師	12	2 16.7%	1 8.3%	7 58.3%	1 8.3%	1 8.3%	-	-	1.28	1.01
准看護師	12	4 33.3%	1 8.3%	4 33.3%	2 16.7%	1 8.3%	-	-	1.07	1.09

《介護職員》

	件数	0人	3人未満	3 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
合計	12	1 8.3%	-	-	2 16.7%	9 75.0%	14.58	7.28

図表 404 看護師・准看護師が他に行っている（兼務している）職務

【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
管理者	12	8 66.7%	-	-	-	-	-	4 33.3%	0	0
生活相談員	12	8 66.7%	-	-	-	-	-	4 33.3%	0	0
介護支援専門員	12	8 66.7%	-	-	-	-	-	4 33.3%	0	0
機能訓練指導員	12	-	5 41.7%	2 16.7%	-	1 8.3%	-	4 33.3%	1.75	1.3
兼務なし	12	8 66.7%	-	-	-	-	-	4 33.3%	0	0

3) 看護職員について

図表 405 看護職員の勤務している時間帯【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	6 5 : 9 0 0 5 8 :	9 : : 5 0 9 0 5 1 6	1 9 7 : : 5 0 9 0 5 1	2 1 0 : : 5 0 9 0 5 2	2 : 2 5 : 9 0 0 5
合 計	12	2 16.7%	12 100.0%	1 8.3%	-	-

図表 406 看護職員の夜間の対応【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	必ずいる 夜勤の看護職員が	必ずいる 宿直の看護職員が	ローテーションにより 看護職員がいる時間と	通常の看護職員は勤務 しないが、状態に応じ て勤務することがある	オンコールで対応する	特に対応していない	その他
合計	12	-	-	-	-	7 58.3%	6 50.0%	3 25.0%

4) 利用者の状況

図表 407 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
インスリン注射	12	2 16.7%	9 75.0%	1 8.3%	—	—	1.5	1.76
中心静脈栄養の管理	12	11 91.7%	1 8.3%	—	—	—	0.08	0.28
注射・点滴の管理（1及び2以外）	12	12 100.0%	—	—	—	—	0	0
透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理	12	11 91.7%	1 8.3%	—	—	—	0.08	0.28
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	12	10 83.3%	2 16.7%	—	—	—	0.42	1.11
酸素療法	12	4 33.3%	7 58.3%	1 8.3%	—	—	1.42	1.85
レスピレーター（人工呼吸器）の管理	12	12 100.0%	—	—	—	—	0	0
気管切開のケア	12	11 91.7%	—	1 8.3%	—	—	0.42	1.38
疼痛の看護	12	9 75.0%	2 16.7%	—	1 8.3%	—	1.58	3.86
経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	12	8 66.7%	3 25.0%	1 8.3%	—	—	0.67	1.37
モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	12	9 75.0%	—	—	—	1 8.3%	2.2	6.6
じょくそうの処置	12	5 41.7%	4 33.3%	3 25.0%	—	—	2	2.65
テーテル、留置カテーテル等）	12	3 25.0%	9 75.0%	—	—	—	1.08	0.76
喀痰吸引	12	9 75.0%	3 25.0%	—	—	—	0.25	0.43
ネブライザー	12	12 100.0%	—	—	—	—	0	0
創傷処置	12	4 33.3%	5 41.7%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	6.33	13.5
服薬管理	12	2 16.7%	—	—	—	6 50.0%	35	31.97
導尿	12	12 100.0%	—	—	—	—	0	0
浣腸	12	6 50.0%	6 50.0%	—	—	—	1.17	1.28
排便	12	7 58.3%	4 33.3%	1 8.3%	—	—	1.25	1.69
簡易血糖測定	12	5 41.7%	7 58.3%	—	—	—	0.92	0.95
看取り期のケア	12	12 100.0%	—	—	—	—	0	0
その他	12	10 83.3%	2 16.7%	—	—	—	0.17	0.37

図表 408 医療機関から往診を受けた利用者数【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均値（単位：人）	標準偏差（単位：人）
合計	12	4 33.3%	4 33.3%	-	-	1 8.3%	3 25.0%	3	6.07

図表 409 医療機関から往診を受けた科の内訳【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	内科	泌尿器科	精神科	整形外科	眼科	皮膚科	歯科	耳鼻科	その他
合計	5	5 100.0%	-	-	-	-	-	2 40.0%	-	-

図表 410 医療機関を受診（通院）した利用者数【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	平均値（単位：人）	標準偏差（単位：人）
合計	12	5 41.7%	7 58.3%	-	-	-	1.58	1.55

図表 411 医療機関へ入院した利用者数【短期入所生活介護（単独型）】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均値（単位：人）	標準偏差（単位：人）
計	12	6 50.0%	3 25.0%	-	-	-	3 25.0%	0.67	1.05
a. 予定入院（手術、治療目的の入院）	3	2 66.7%	1 33.3%	-	-	-	-	0.33	0.47
b. 緊急入院	3	-	3 100.0%	-	-	-	-	1.33	0.47
c. ターミナルを前提とした入院	3	2 66.7%	1 33.3%	-	-	-	-	0.33	0.47

図表 412 事業所内での看取りをおこなった利用者数【短期入所生活介護（単独型）】

	件 数	0 人	5 人 未 満	5 ～ 1 0 人 未 満	1 満 0 ～ 2 0 人 未 満	2 0 人 以 上	（単位：人） 平 均 値	（単位：人） 標 準 偏 差
合 計	12	9 75.0%	3 25.0%	-	-	-	0.25	0.43

【認知症対応型共同生活介護】

1) 基本情報

図表 413 開設主体【認知症対応型共同生活介護】

	件数	公立	社会福祉法人	医療法人	営利法人	NPO	その他
合 計	7	-	2 28.6%	1 14.3%	4 57.1%	-	-

図表 414 開設年【認知症対応型共同生活介護】

	件数	1984年	1998年	1999年	1999年	2004年	2005年
合 計	7	-	-	-	-	2 28.6%	5 71.4%

図表 415 定員数【認知症対応型共同生活介護】

《ユニット数》

	件数	1ユニット	2ユニット	3ユニット以上	平均値 (単位：ユニット)	標準偏差 (単位：ユニット)
合 計	7	5 71.4%	2 28.6%	-	1.29	0.45

《定員数》

	件数	8人未満	9人未満	10人未満	27人以上	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合 計	7	-	5 71.4%	2 28.6%	-	11.57	4.07

図表 416 利用者数【認知症対応型共同生活介護】

	件数	8人未満	9人未満	10人未満	11人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合計	7	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	-	2 28.6%	11	4.47

図表 417 要介護度別利用者数（実人数）【認知症対応型共同生活介護】

	件数	5人未満	5人未満	10人未満	11人以上	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
要支援2	7	7 100.0%	-	-	-	0	0
要介護1	7	6 85.7%	1 14.3%	-	-	2.43	1.76
要介護2	7	6 85.7%	1 14.3%	-	-	2	2.56
要介護3	7	4 57.1%	3 42.9%	-	-	3.57	2.66
要介護4	7	7 100.0%	-	-	-	1.57	0.73
要介護5	7	7 100.0%	-	-	-	1.43	1.18

図表 418 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）
【認知症対応型共同生活介護】

	件数	5人未満	5人未満	10人未満	11人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
自立	7	6 85.7%	-	-	-	1 14.3%	0	0
I	7	6 85.7%	-	-	-	1 14.3%	0.33	0.75
II	7	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	-	1 14.3%	5.33	4.53
III	7	5 71.4%	-	1 14.3%	-	1 14.3%	3.67	2.98
IV	7	6 85.7%	-	-	-	1 14.3%	1.5	0.76
M	7	6 85.7%	-	-	-	1 14.3%	0.5	0.76

図表 419 障害者高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数）

【認知症対応型共同生活介護】

	件 数	5 人 未 満	5 人 未 満 1 0 人 未 満	1 0 人 未 満 2 0 人 未 満	2 0 人 以 上	無 回 答	平 均 （単位：人 値）	標準 偏差 （単位：人）
自立	7	4 57.1%	-	-	-	3 42.9%	0	0
J	7	4 57.1%	-	-	-	3 42.9%	1.25	1.64
A	7	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	-	3 42.9%	6	6.6
B	7	4 57.1%	-	-	-	3 42.9%	0.5	0.5
C	7	4 57.1%	-	-	-	3 42.9%	1	1.22

2) 職員体制

図表 420 全職員数（常勤・非常勤）【認知症対応型共同生活介護】

	件数	0人	3人未満	3人未満	5人未満	10人以上	平均：人 （単位：人）	標準偏差：人 （単位：人）
常勤	7	-	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	2 28.6%	6.57	3.66
非常勤	7	-	-	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	7.57	3.42

図表 421 職員数内訳（常勤換算数）【認知症対応型共同生活介護】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1人未満	1人未満	2人未満	3人未満	4人未満	10人以上	平均：人 （単位：人）	標準偏差：人 （単位：人）
看護師	7	4 57.1%	3 42.9%	-	-	-	-	-	0.11	0.17
准看護師	7	7 100.0%	-	-	-	-	-	-	0	0

《介護職員》

	件数	0人	1人未満	1人未満	2人未満	3人未満	4人未満	10人以上	平均：人 （単位：人）	標準偏差：人 （単位：人）
合計	7	1 14.3%	-	-	-	-	4 57.1%	2 28.6%	7.97	4.72

図表 422 看護師・准看護師が他に行っている（兼務している）職務
【認知症対応型共同生活介護】

	件数	0人	3人未満	3人未満	5人未満	10人以上	無回答	平均：人 （単位：人）	標準偏差：人 （単位：人）
管理者	7	1 14.3%	2 28.6%	-	-	-	4 57.1%	0.67	0.47
計画作成担当者	7	1 14.3%	2 28.6%	-	-	-	4 57.1%	0.67	0.47
兼務なし	7	2 28.6%	1 14.3%	-	-	-	4 57.1%	0.33	0.47

3) 看護職員について

図表 423 看護職員の勤務している時間帯【認知症対応型共同生活介護】

	件数	6 5 : 9 0 0)	9 : 5 0 9 0) 1 6	1 9 7 : 5 0 9 0) 1	2 1 0 : 5 0 9 0) 2	2 : 2 5 : 9 0 0) 5	無 回 答
合 計	7	-	6 85.7%	-	-	-	1 14.3%

図表 424 看護職員の夜間の対応【認知症対応型共同生活介護】

	件数	いる 必ず 夜勤の 看護職員が	いる 必ず 宿直の 看護職員が	いる いない 時間がある 看護職員が いる時間と ローテーション により	通常、 看護職員は 勤務し て勤務する ことが ある 状態に 応じて	オン コール で 対応 する	連携 先の 訪問 看護 ステ	応 じ て も ら う 格 別 の 対 応 は あ り ま せ ん	特 に 対 応 し て い な い	そ の 他
合 計	7	-	-	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	-	-	1 14.3%	3 42.9%

4) 利用者の状況

図表 425 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【認知症対応型共同生活介護】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
インスリン注射	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
中心静脈栄養の管理	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
注射・点滴の管理(1及び2以外)	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
酸素療法	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
レスピレーター(人工呼吸器)の管理	7	6 85.7%	1 14.3%	-	-	-	0.14	0.35
気管切開のケア	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
疼痛の看護	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
じょくそうの処置	7	4 57.1%	3 42.9%	-	-	-	0.43	0.49
テーテル、留置カテーテル等)	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
喀痰吸引	7	6 85.7%	1 14.3%	-	-	-	0.14	0.35
ネブライザー	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
創傷処置	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
服薬管理	7	-	-	3 42.9%	2 28.6%	-	12	4.15
導尿	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
浣腸	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
摘便	7	5 71.4%	2 28.6%	-	-	-	0.43	0.73
簡易血糖測定	7	6 85.7%	1 14.3%	-	-	-	0.29	0.7
看取り期のケア	7	6 85.7%	1 14.3%	-	-	-	0.14	0.35
その他	7	6 85.7%	1 14.3%	-	-	-	0.14	0.35

図表 426 医療機関から往診を受けた利用者数【認知症対応型共同生活介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均値	標準偏差
合計	7	3 42.9%	-	2 28.6%	-	-	2 28.6%	3.6	4.41

図表 427 医療機関から往診を受けた科の内訳【認知症対応型共同生活介護】

	件数	内科	泌尿器科	精神科	整形外科	眼科	皮膚科	歯科	耳鼻科	その他
合計	2	2 100.0%	-	1 50.0%	-	-	-	-	-	-

図表 428 医療機関から訪問診療を受けた利用者数【認知症対応型共同生活介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均値	標準偏差
合計	7	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	-	2 28.6%	7.2	5.64

図表 429 医療機関を受診（通院）した利用者数【認知症対応型共同生活介護】

	件数	0人	5人未満	5人未満	10人未満	20人以上	平均値	標準偏差
合計	7	1 14.3%	5 71.4%	-	1 14.3%	-	4.29	5.72

図表 430 医療機関へ入院した利用者数【認知症対応型共同生活介護】

	件 数	0 人	5 人 未 満	5 ～ 1 0 人 未 満	1 満 0 ～ 2 0 人 未 満	2 0 人 以 上	(単位：人) 平 均 値	(単位：人) 標 準 偏 差
計	7	7 100.0%	-	-	-	-	0	0
a. 予定入院(手術、治療目的の入院)	-	-	-	-	-	-	-	-
b. 緊急入院	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 431 事業所内での看取りをおこなった利用者数【認知症対応型共同生活介護】

	件 数	0 人	5 人 未 満	5 ～ 1 0 人 未 満	1 満 0 ～ 2 0 人 未 満	2 0 人 以 上	(単位：人) 平 均 値	(単位：人) 標 準 偏 差
合 計	7	6 85.7%	1 14.3%	-	-	-	0.14	0.35

【複合型サービス】

1) 基本情報

図表 432 開設主体【複合型サービス】

	件 数	社会 福祉 法人	医 療 法 人	営 利 法 人	N P O 法 人	そ の 他
合 計	9	1 11.1%	2 22.2%	4 44.4%	1 11.1%	1 11.1%

図表 433 開設年【複合型サービス】

	件 数	5 1 9 8 4 年	1 8 9 9 8 年	1 9 9 4 9 年	1 9 9 9 年	2 0 0 4 0 年	2 0 0 5 年
合 計	9	-	-	-	-	-	9 100.0%

図表 434 登録者数【複合型サービス】

	件 数	5 人 未 満	5 1 0 人 未 満	1 満 0 2 0 人 未	2 0 人 以 上	平(単 均(位 値:人 値)	標(単 準(位 偏(位 差:人 値)
合 計	9	-	-	5 55.6%	4 44.4%	18	4.9

図表 435 定員数【複合型サービス】

	件 数	5 人 未 満	5 1 0 人 未 満	1 満 0 2 0 人 未	2 満 0 2 5 人 未	2 5 人 以 上	平(単 均(位 値:人 値)	標(単 準(位 偏(位 差:人 値)
合 計	9	-	-	1 11.1%	-	8 88.9%	23.89	3.14

図表 436 要介護度別登録者数【複合型サービス】

	件数	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	9	100.0%	-	-	-	0	0
要支援2	9	100.0%	-	-	-	0	0
要介護1	9	88.9%	11.1%	-	-	2.11	2.42
要介護2	9	88.9%	11.1%	-	-	2.89	1.29
要介護3	9	55.6%	44.4%	-	-	4.11	2.13
要介護4	9	66.7%	11.1%	22.2%	-	4.22	3.55
要介護5	9	55.6%	44.4%	-	-	4.67	2.75

図表 437 認知症高齢者の日常生活自立度別の登録者数【複合型サービス】

	件数	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	9	88.9%	11.1%	-	-	2.33	1.63
I	9	88.9%	11.1%	-	-	2.22	1.55
II	9	66.7%	33.3%	-	-	4.11	2.85
III	9	44.4%	44.4%	11.1%	-	5.67	2.49
IV	9	66.7%	33.3%	-	-	3.56	2.45
M	9	100.0%	-	-	-	0.11	0.31

図表 438 障害者高齢者の日常生活自立度別の登録者数【複合型サービス】

	件数	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
自立	9	9 100.0%	-	-	-	0.22	0.42
J	9	8 88.9%	1 11.1%	-	-	2.11	1.52
A	9	3 33.3%	5 55.6%	1 11.1%	-	6.22	3.46
B	9	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%	-	6.33	2.79
C	9	7 77.8%	2 22.2%	-	-	3.11	2.08

図表 439 要介護度別利用者数（実人数）【複合型サービス】

《実人数》

	件数	5人未満	5人未満 50人未満	10人未満 10人未満	20人以上	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	9	9 100.0%	-	-	-	0	0
要支援2	9	9 100.0%	-	-	-	0	0
要介護1	9	8 88.9%	1 11.1%	-	-	2.11	2.38
要介護2	9	9 100.0%	-	-	-	2.33	1.25
要介護3	9	5 55.6%	4 44.4%	-	-	3.56	2.79
要介護4	9	7 77.8%	1 11.1%	1 11.1%	-	3.11	3.11
要介護5	9	6 66.7%	3 33.3%	-	-	4	2.91

《延べ人数》

	件数	50人未満	50人未満 50人未満	10人未満 10人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
要支援1	9	6 66.7%	-	-	-	3 33.3%	0	0
要支援2	9	6 66.7%	-	-	-	3 33.3%	0	0
要介護1	9	6 66.7%	-	-	-	3 33.3%	17.17	18.53
要介護2	9	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	-	3 33.3%	68.5	46.77
要介護3	9	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	120.67	112.23
要介護4	9	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	138.83	205.72
要介護5	9	2 22.2%	-	1 11.1%	3 33.3%	3 33.3%	152.17	103.01

2) 職員体制

図表 440 全職員数（常勤・非常勤）【複合型サービス】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
常 勤	9	-	-	-	-	4 44.4%	3 33.3%	2 22.2%	11.71	5.97
非 常 勤	9	-	-	-	-	2 22.2%	5 55.6%	2 22.2%	14	8.43

図表 441 職員数内訳（常勤換算数）【複合型サービス】

《看護師・准看護師》

	件数	0人	1人未満	1 ～ 2人未満	2 ～ 3人未満	3 ～ 4人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
看 護 師	9	-	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	-	3.04	2.25
准 看 護 師	9	5 55.6%	1 11.1%	3 33.3%	-	-	-	-	0.47	0.58

《介護職員》

	件数	0人	3人未満	3 ～ 5人未満	5 ～ 10人未満	10人以上	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合 計	9	2 22.2%	-	-	3 33.3%	4 44.4%	7.38	4.58

図表 442 看護師・准看護師が他に行っている（兼務している）職務【複合型サービス】

	件数	0人	1人	2人	3人	4 ～ 10人未満	10人以上	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
管理者	9	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%	-	-	-	0.89	0.57
介護支援専門員	9	7 77.8%	2 22.2%	-	-	-	-	0.22	0.42
兼務なし	9	7 77.8%	-	-	-	2 22.2%	-	1	1.89

3) 看護職員について

図表 443 看護職員の勤務している時間帯【複合型サービス】

	件数	6 5 : 9 0 0 5 8 :	9 : : 5 0 9 0 5 1 6	1 9 7 : : 5 0 9 0 5 1	2 1 0 : : 5 0 9 0 5 2	2 : 2 5 : 9 0 0 5
合 計	9	-	9 100.0%	4 44.4%	-	-

図表 444 看護職員の夜間の対応【複合型サービス】

	件数	必 いる ずる 夜勤の 看護職員が	必 いる ずる 宿直の 看護職員が	ロ 看 い ー 護 な テ 職 い シ 員 時 ョ が 間 ン い が に る ある よ 間 り と	通 し て 常 な 勤 い 務 な が す い する 時 こと 間 がある は 状態 勤 がある 務 じる	オ ン コ ー ル で 対 応 す る	特 に 対 応 し て い な い	そ の 他
合 計	9	1 11.1%	-	-	4 44.4%	7 77.8%	-	-

4) 利用者の状況

図表 445 利用者の医療的ケアの状況（実人数）【複合型サービス】

	件数	0人	5人未満	5～10人未満	10～20人未満	20人以上	無回答	（単位：人） 平均値	（単位：人） 標準偏差
インスリン注射	9	2 22.2%	6 66.7%	—	—	—	1 11.1%	1.13	0.93
中心静脈栄養の管理	9	8 88.9%	1 11.1%	—	—	—	—	0.11	0.31
注射・点滴の管理（1及び2以外）	9	5 55.6%	4 44.4%	—	—	—	—	0.44	0.5
透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理	9	9 100.0%	—	—	—	—	—	0	0
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	9	6 66.7%	2 22.2%	—	—	—	1 11.1%	0.25	0.43
酸素療法	9	5 55.6%	4 44.4%	—	—	—	—	0.56	0.68
レスピレーター（人工呼吸器）の管理	9	9 100.0%	—	—	—	—	—	0	0
気管切開のケア	9	6 66.7%	3 33.3%	—	—	—	—	0.33	0.47
疼痛の看護	9	4 44.4%	4 44.4%	—	—	—	1 11.1%	0.5	0.5
経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	9	4 44.4%	4 44.4%	—	—	—	1 11.1%	0.88	1.05
モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	9	5 55.6%	—	—	2 22.2%	—	2 22.2%	3.57	5.8
じょくそうの処置	9	5 55.6%	4 44.4%	—	—	—	—	0.56	0.68
テーテル、留置カテーテル等）	9	5 55.6%	3 33.3%	—	—	—	1 11.1%	0.38	0.48
喀痰吸引	9	3 33.3%	6 66.7%	—	—	—	—	0.78	0.63
ネブライザー	9	9 100.0%	—	—	—	—	—	0	0
創傷処置	9	6 66.7%	3 33.3%	—	—	—	—	0.44	0.68
服薬管理	9	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	—	2 22.2%	6	7.07
導尿	9	8 88.9%	—	—	—	—	1 11.1%	0	0
浣腸	9	2 22.2%	6 66.7%	—	—	—	1 11.1%	1.25	0.83
摘便	9	2 22.2%	6 66.7%	—	—	—	1 11.1%	1.25	0.83
簡易血糖測定	9	4 44.4%	5 55.6%	—	—	—	—	0.89	0.99
看取り期のケア	9	8 88.9%	—	—	—	—	1 11.1%	0	0
その他	9	9 100.0%	—	—	—	—	—	0	0

図表 446 医療機関から往診を受けた利用者数【複合型サービス】

	件数	0人	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
合計	9	7 77.8%	2 22.2%	-	-	-	0.13	0.33

図表 447 医療機関から往診を受けた科の内訳【複合型サービス】

	件数	内科	泌尿器科	精神科	整形外科	眼科	皮膚科	歯科	耳鼻科	その他
合計	1	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 448 医療機関から訪問診療を受けた利用者数【複合型サービス】

	件数	0人	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上
合計	9	1 11.1%	3 33.3%	3 33.3%	2 22.2%	-

図表 449 医療機関を受診（通院）した利用者数【複合型サービス】

	件数	0人	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満 10人未満	20人以上	(単位：人) 平均値	(単位：人) 標準偏差
合計	9	1 11.1%	-	5 55.6%	2 22.2%	1 11.1%	7.14	3.94

図表 450 医療機関へ入院した利用者数【複合型サービス】

	件数	0人	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
計	9	2 22.2%	6 66.7%	-	-	-	1 11.1%	1	0.71
a. 予定入院(手術、治療目的の入院)	6	4 66.7%	2 33.3%	-	-	-		0.33	0.47
b. 緊急入院	6	2 33.3%	4 66.7%	-	-	-		1	0.82
c. ターミナルを前提とした入院	6	6 100.0%	-	-	-	-		0	0

図表 451 事業所内での看取りをおこなった利用者数【複合型サービス】

	件数	0人	5人未満	5人未満 5人未満	10人未満	20人以上	無回答	平均値 (単位：人)	標準偏差 (単位：人)
合計	9	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	-	-	1 11.1%	1.25	2.63

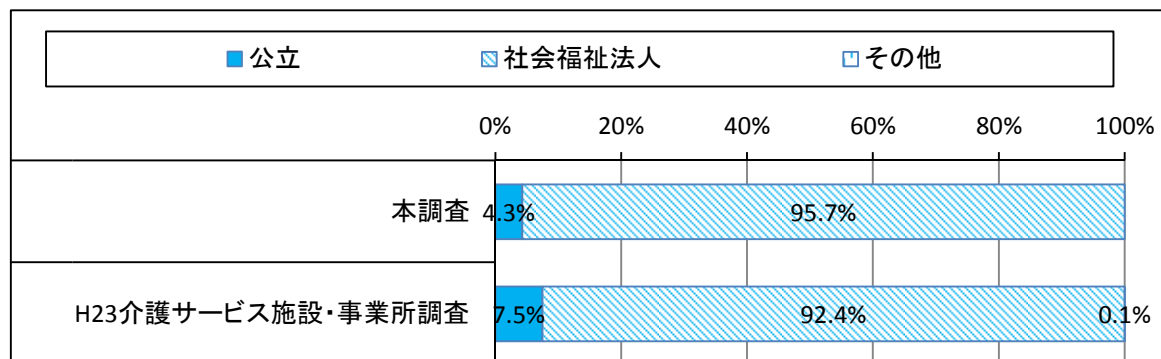
(5) (参考) 介護サービス施設・事業所調査との比較

「平成 23 年度介護サービス施設・事業所調査」の結果を比較対象とし、①開設主体別事業所数割合、②要介護度別利用者数割合等について算出して本調査結果と比較した。

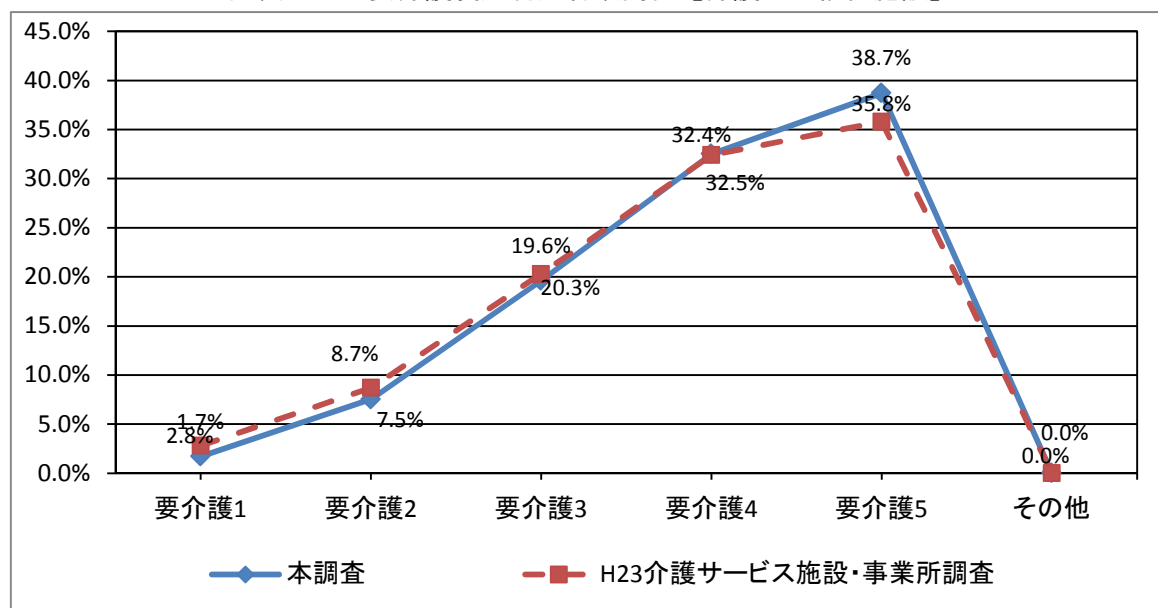
なお、以下においては既存調査との比較のため、本調査の結果については無回答を除いて割合を算出した。

【介護老人福祉施設】

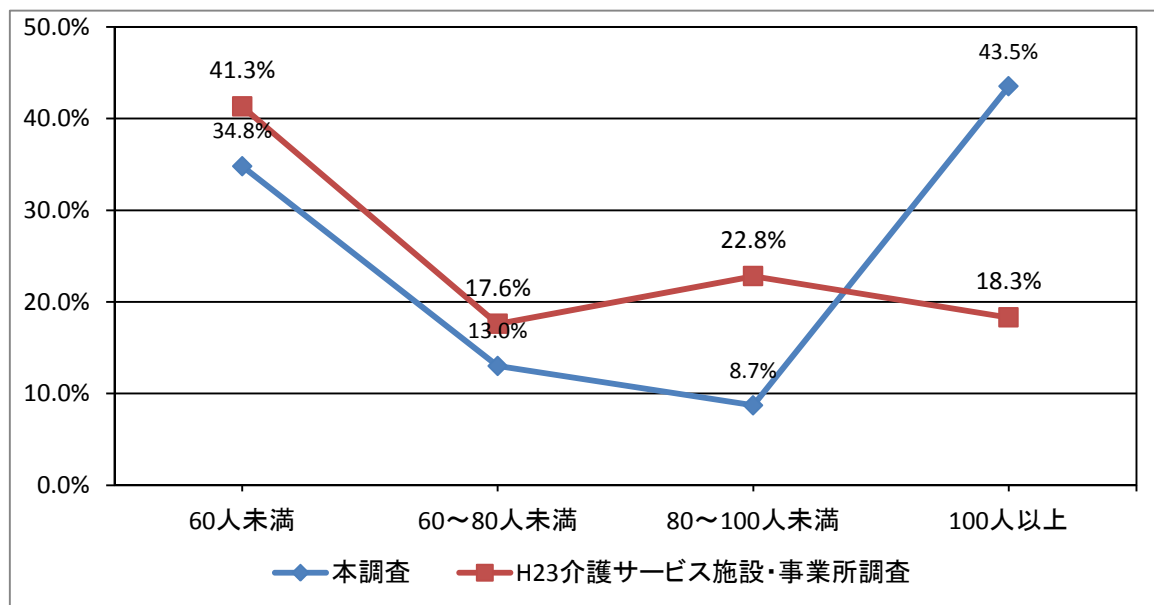
図表 452 開設主体別施設数割合【介護老人福祉施設】



図表 453 要介護度別利用者数割合【介護老人福祉施設】

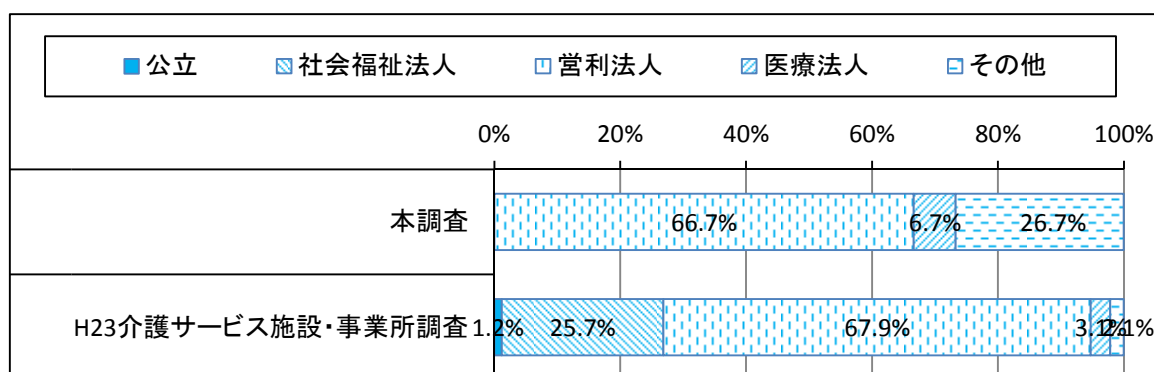


図表 454 定員階級別施設数割合【介護老人福祉施設】

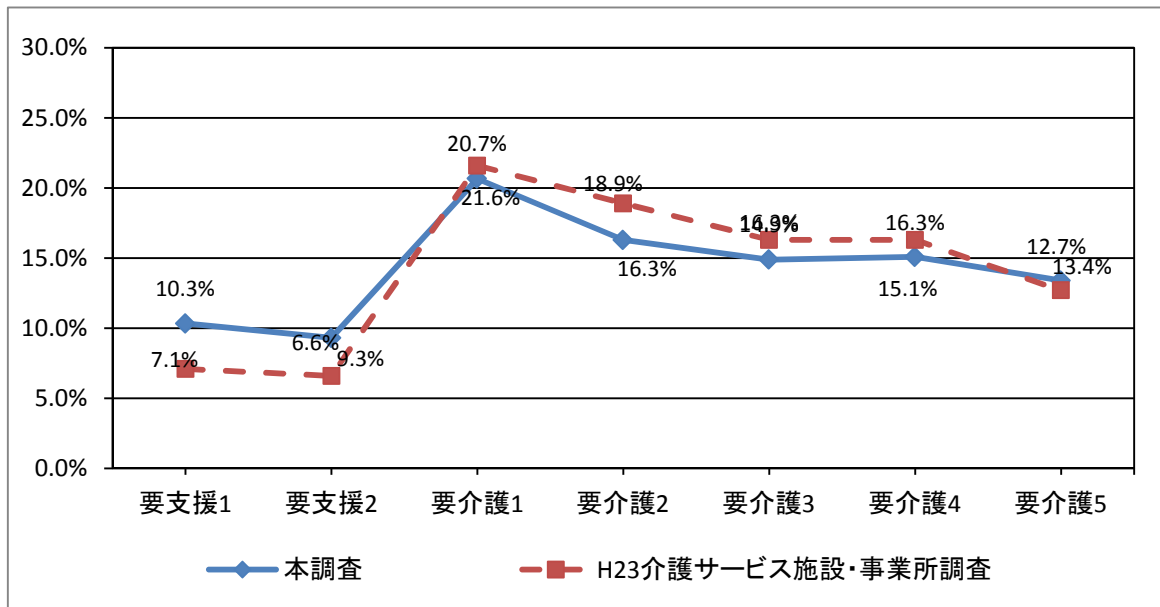


【特定施設入居者生活介護】

図表 455 開設主体別施設数割合【特定施設入居者生活介護】

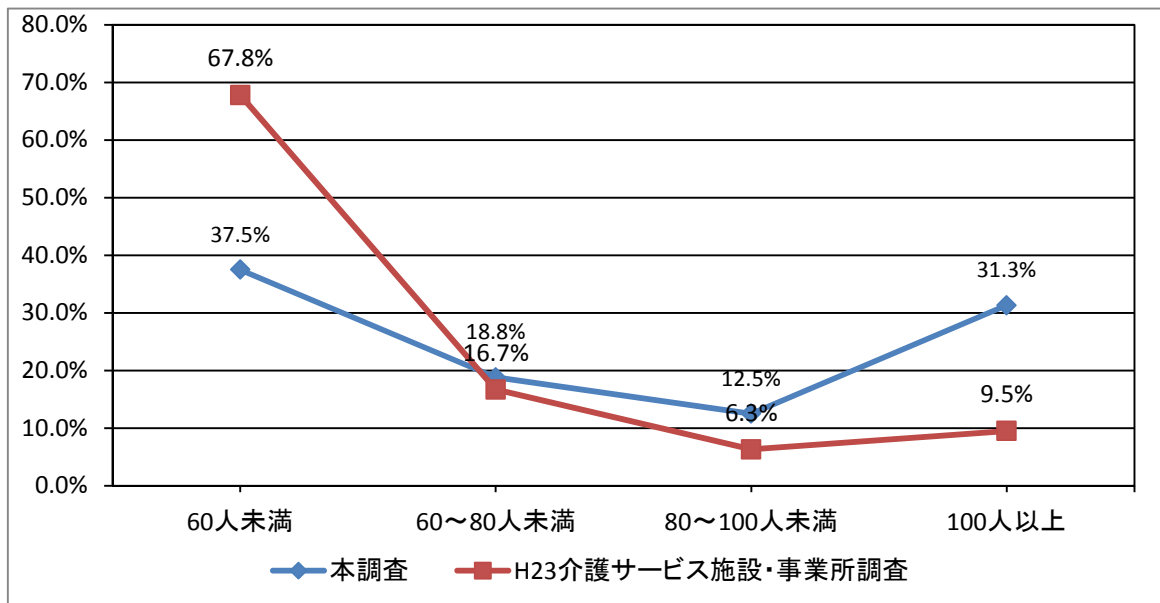


図表 456 要介護度別利用者数割合【特定施設入居者生活介護】



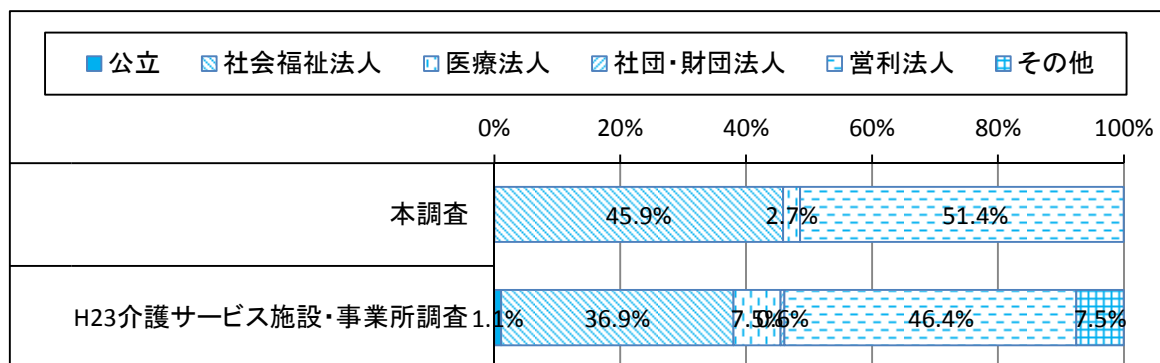
※本調査の自立を除く

図表 457 定員階級別施設数割合【特定施設入居者生活介護】

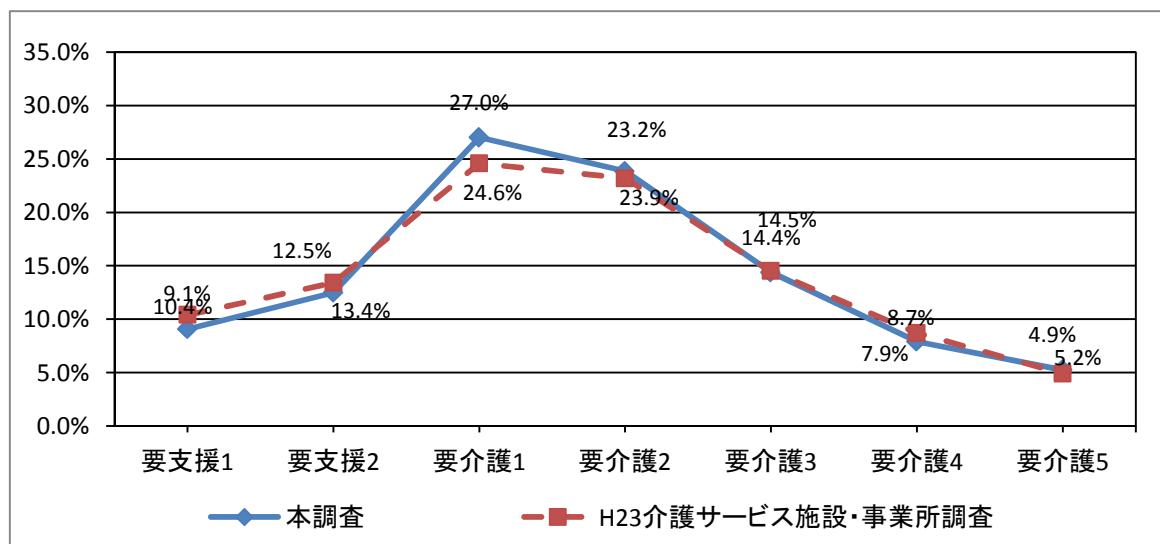


【通所介護】

図表 458 開設主体別施設数割合【通所介護】

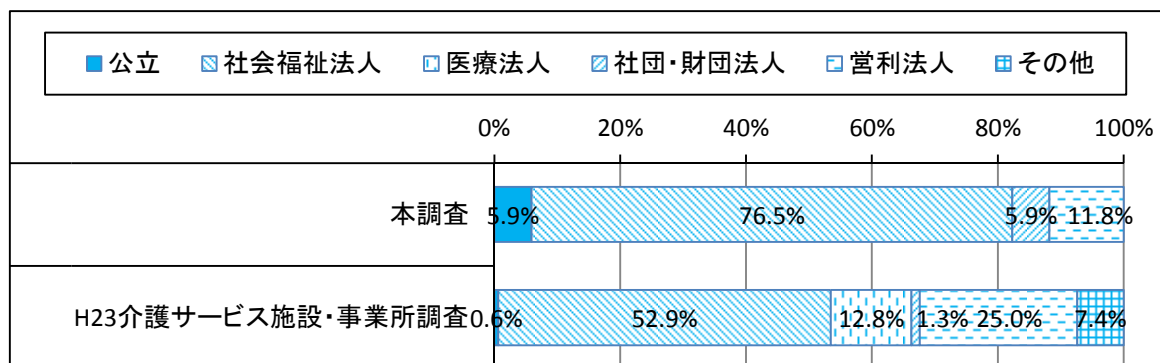


図表 459 要介護度別利用者数割合【通所介護】

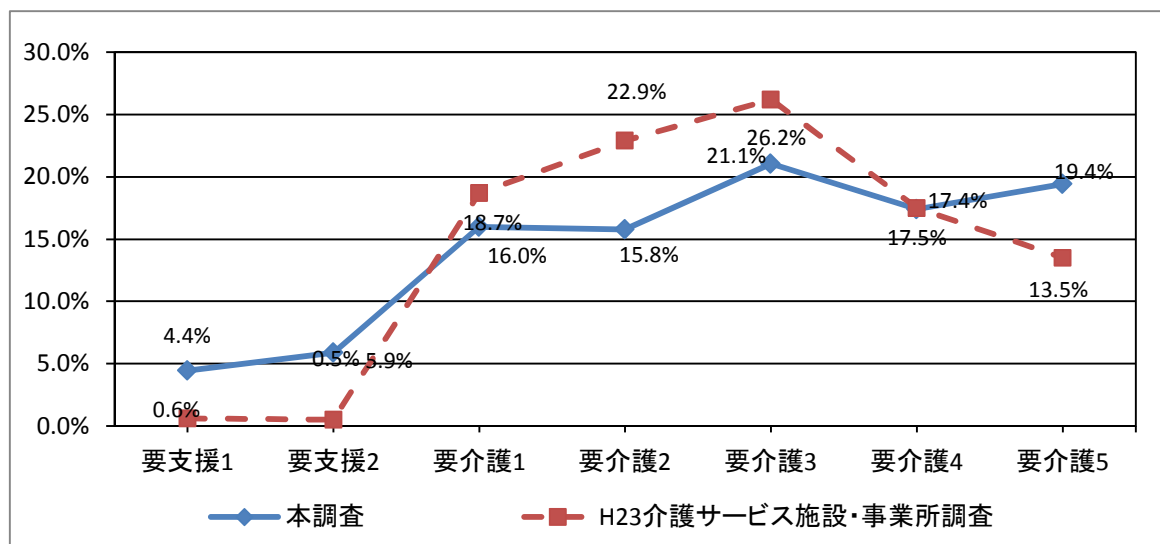


【認知症対応型通所介護】

図表 460 開設主体別施設数割合【認知症対応型通所介護】

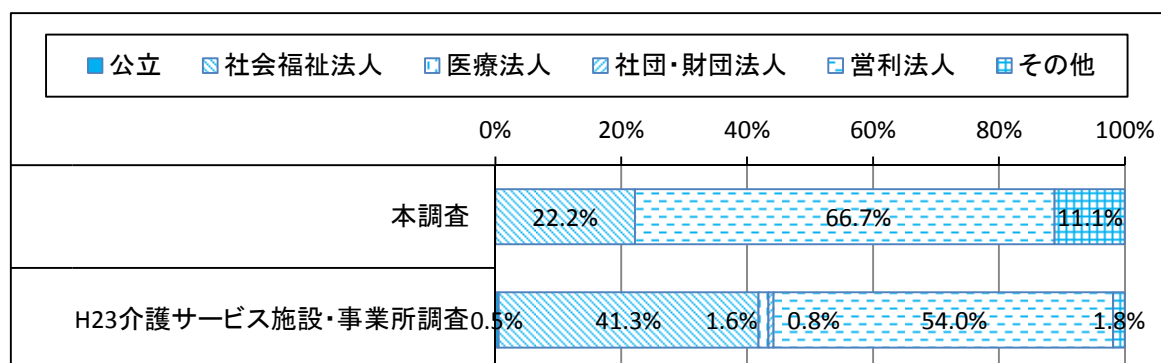


図表 461 要介護度別利用者数割合【認知症対応型通所介護】

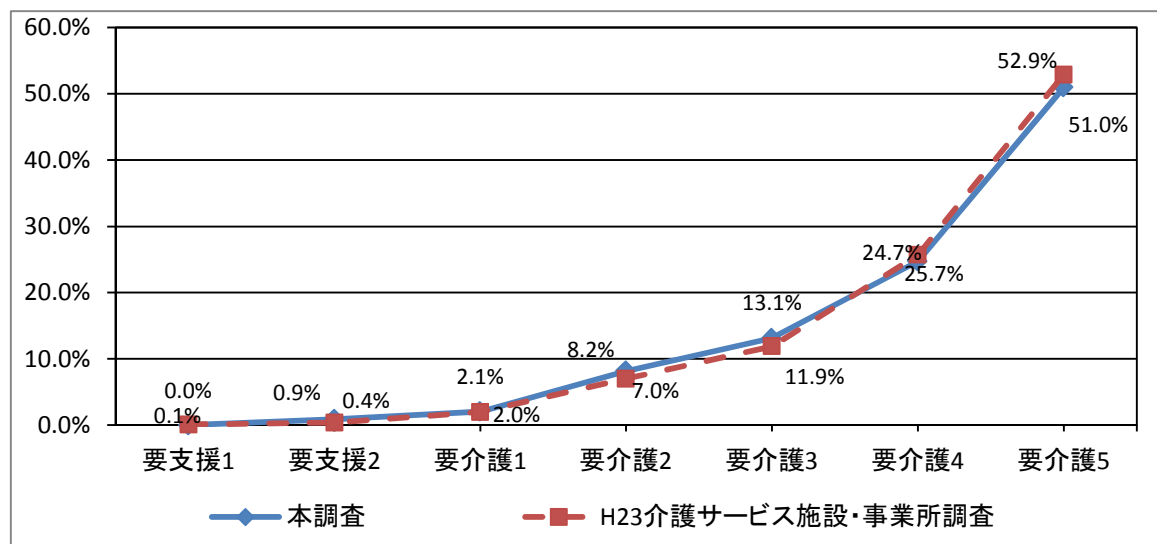


【訪問入浴介護】

図表 462 開設主体別施設数割合【訪問入浴介護】

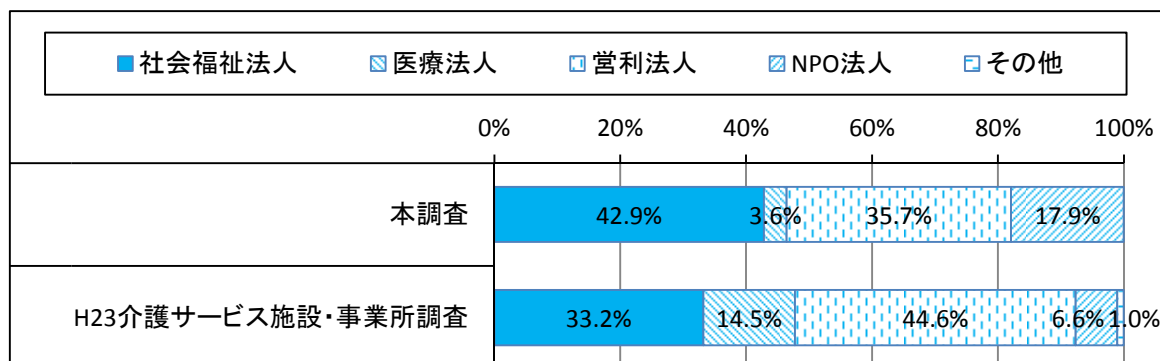


図表 463 要介護度別利用者数割合【訪問入浴介護】

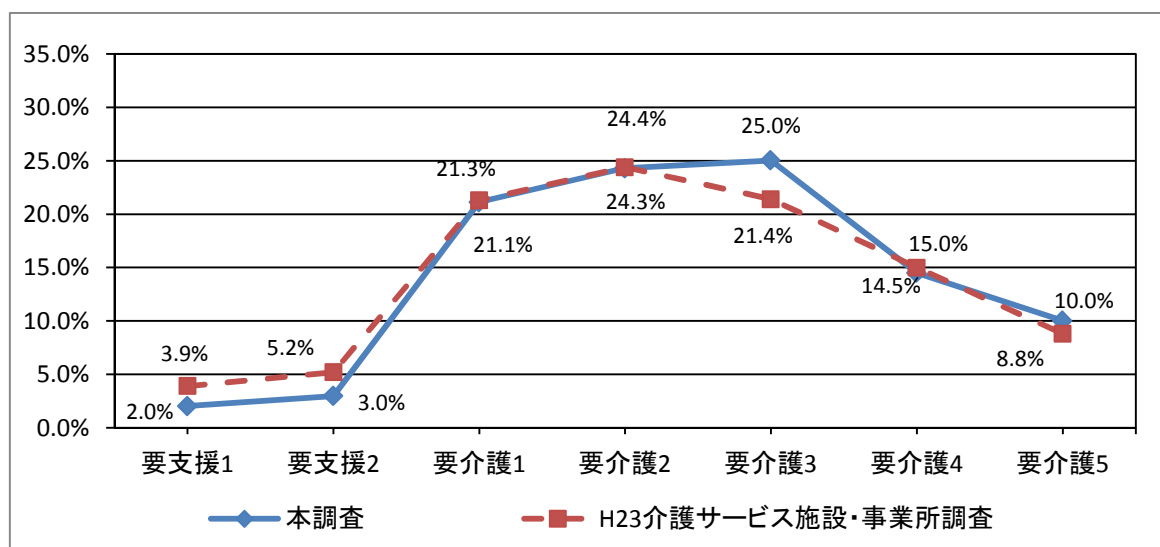


【小規模多機能型居宅介護】

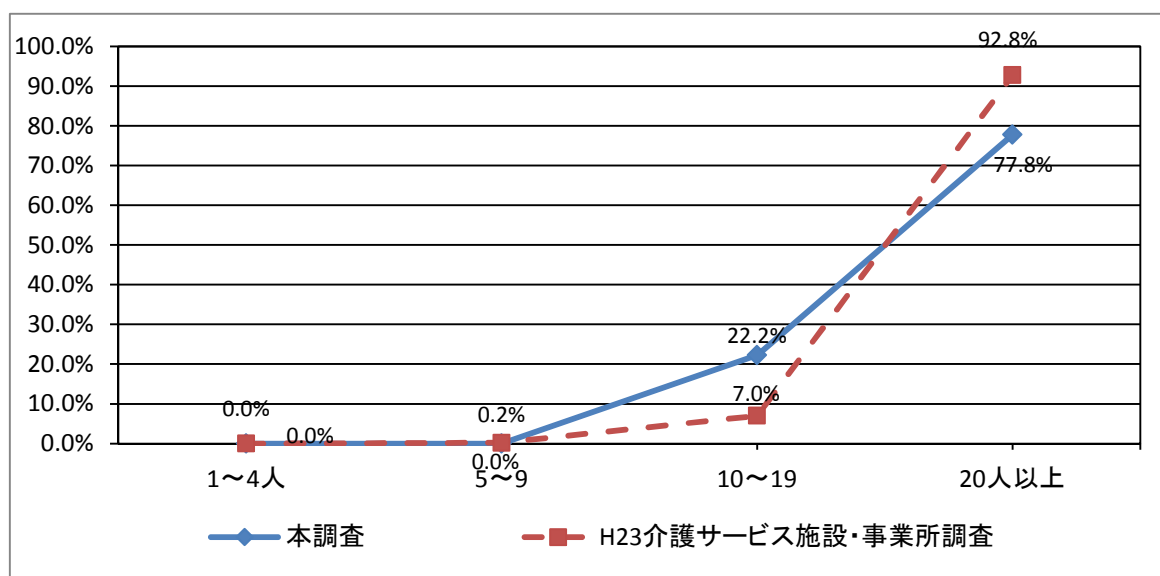
図表 464 開設主体別施設数割合【小規模多機能型居宅介護】



図表 465 要介護度別利用者数割合【小規模多機能型居宅介護】

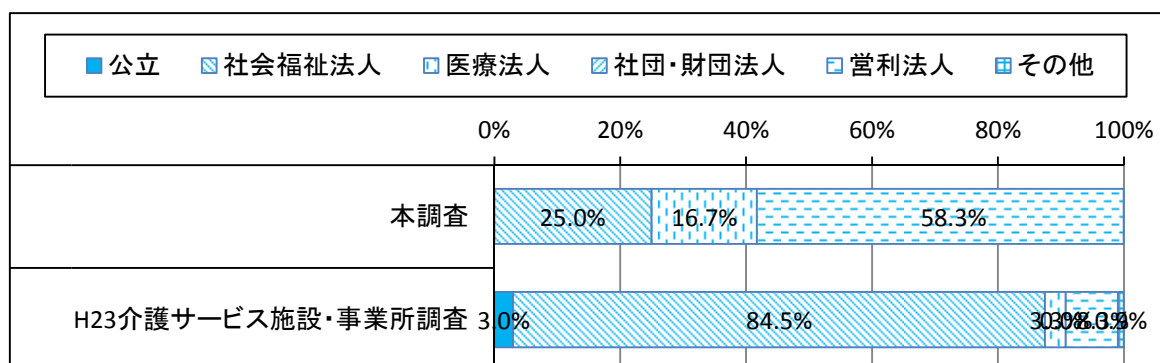


図表 466 定員別事業所数割合【小規模多機能型居宅介護】

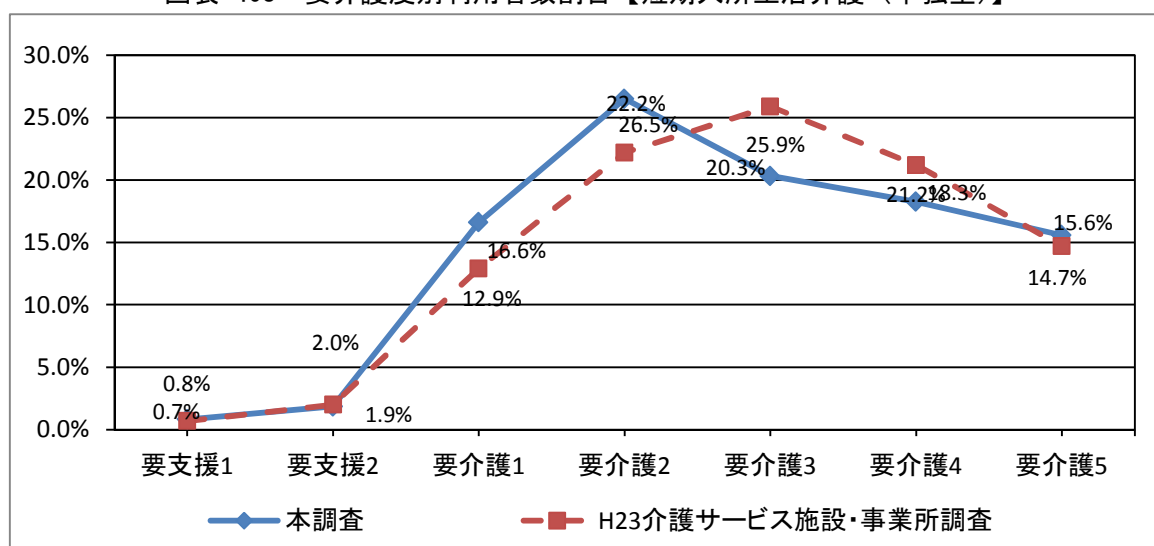


【短期入所生活介護（単独型）】

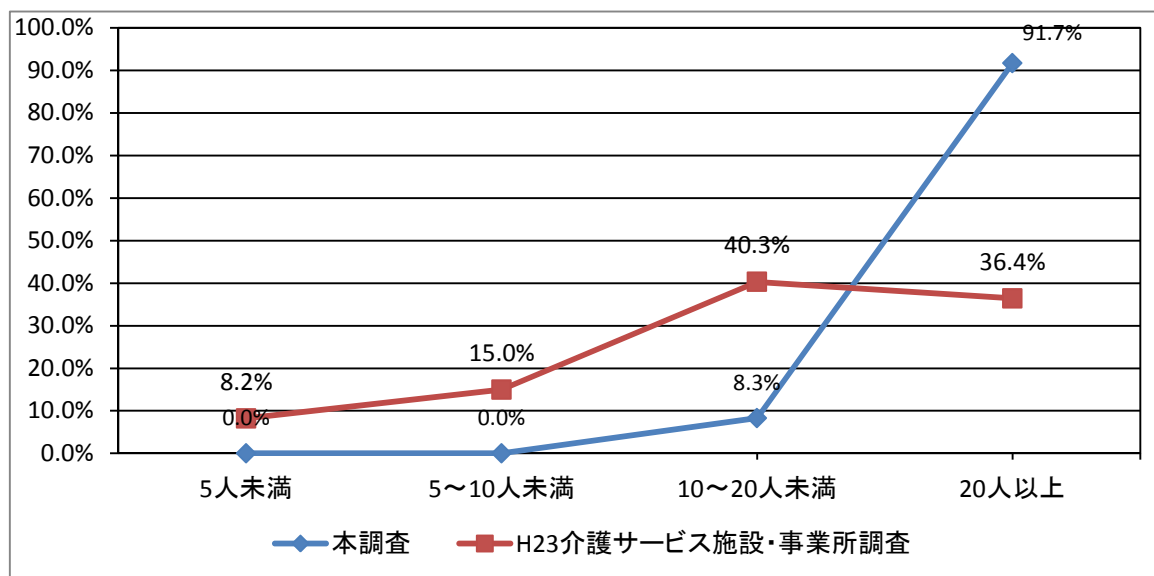
図表 467 開設主体別施設数割合【短期入所生活介護（単独型）】



図表 468 要介護度別利用者数割合【短期入所生活介護（単独型）】

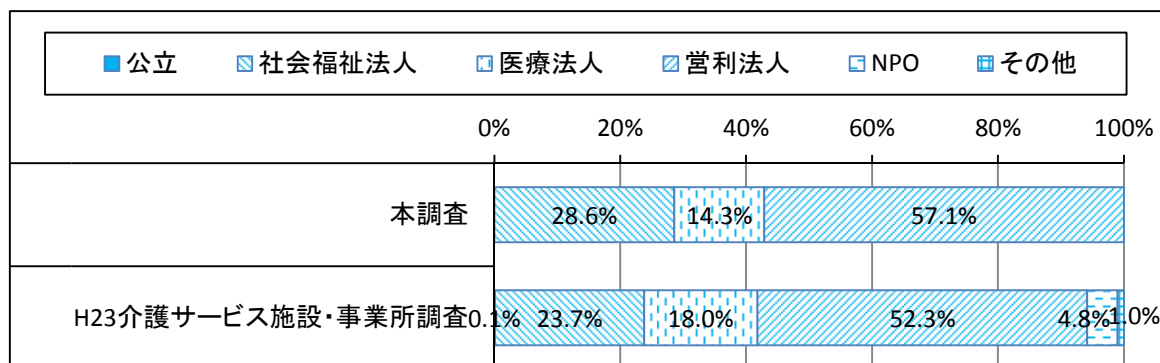


図表 469 定員別事業所数割合【短期入所生活介護（単独型）】

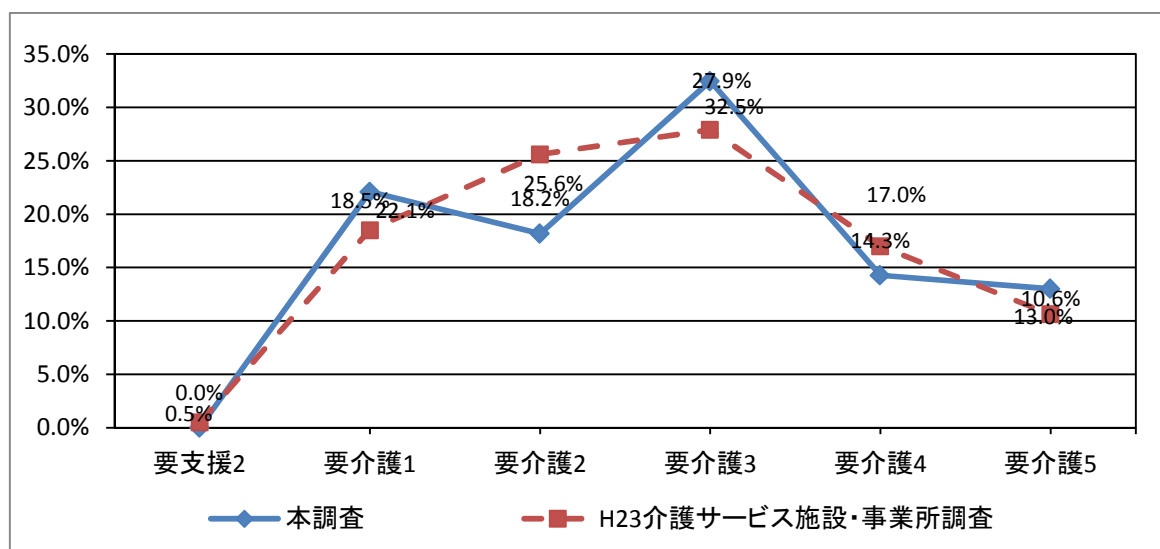


【認知症対応型共同生活介護】

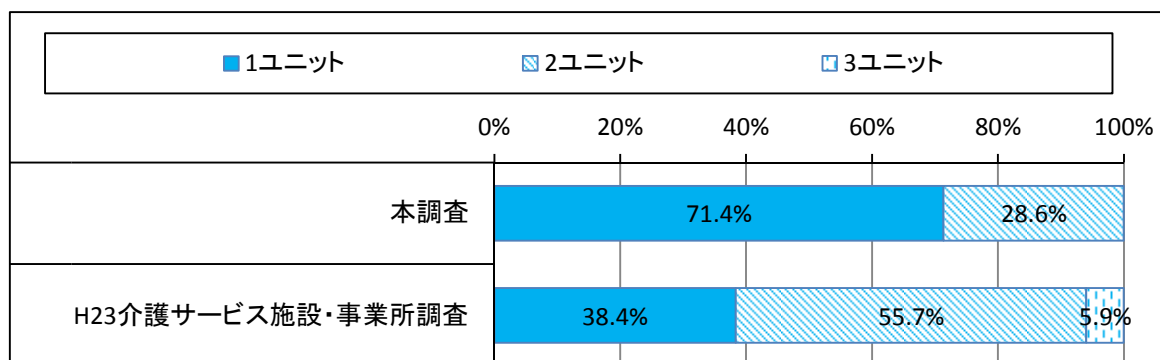
図表 470 開設主体別施設数割合【認知症対応型共同生活介護】



図表 471 要介護度別利用者数割合【認知症対応型共同生活介護】



図表 472 ユニット数別事業所数割合【認知症対応型共同生活介護】



7. まとめ

【介護老人福祉施設】

- 介護老人福祉施設では、一日の業務時間の8割以上を、服薬、診療の補助、記録をはじめとした「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が占めている。
- 3大ケア(食事、排泄ケア、入浴)に費やす時間は一日の業務時間の1割弱。そのうちの大部分は看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されている。
- 「調整」及び「利用者、家族への対応」は看護職員が行う必要性がある業務として実施されている。

- ・ 看護職員 85 人日（計 23 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 533.2 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「服薬（20.0%）」「診療の補助（18.3%）」「記録（11.6%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 81.9%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 9.5%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 4.8%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 3.9%となり、大部分の業務は看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。
- ・ 3大ケア(食事、排泄ケア、入浴)についてみると、一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は食事が 4.1%、排泄ケアが 2.5%、入浴が 2.5%であった。全 85 人日分の総時間ベースでみると、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」ケースは「食事(1920 分)」のうち 22.7%、「排泄ケア(1155 分)」のうち 12.6%、「入浴(1125 分)」のうち 26.7%であり、看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されているケースの方が多いたことが示唆された。
- ・ 「調整」「利用者、家族への対応」の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）はそれぞれ 1.3%、0.6%と低いものの、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」ケースは「調整(605 分：全 85 人日分の総時間)」のうち 0.0%、「利用者、家族への対応(255 分：全 85 人日分の総時間)」のうち 2.0%であり、ほとんどが看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。

【特定施設入居者生活介護】

- 特定施設入居者生活介護では、一日の業務時間の約 8 割を、服薬、診療の補助、記録をはじめとした「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が占めている。
- 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）に費やす時間は一日の業務時間の 8%程度。「入浴」業務の 9 割は予め看護職員が行うべき業務として定められている。
- 「調整」及び「利用者、家族への対応」は看護職員が行う必要性がある業務として実施されている。

- ・ 看護職員 63 人日（計 16 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 531.7 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「服薬（23.5%）」「診療の補助（16.9%）」「記録（12.1%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 80.0%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 10.7%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 5.6%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 3.6%となり、大部分の業務は看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。
- ・ 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）についてみると、一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は食事が 3.8%、排泄ケアが 2.2%、入浴が 1.6%であった。全 63 人日分の総時間ベースでみると、「食事（1140 分）」では「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 51.3%と半数以上を占める一方、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務も 34.2%を占めていた。「排泄ケア（775 分）」については「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 38.1%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 15.5%と半数以上が予め看護職員が行うよう定められた業務が占めていた。一方、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 23.9%であった。「入浴（535 分）」では予め看護職員が行うよう定められた業務が 9 割以上を占めており、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 2.8%と低かった。
- ・ 「調整」「利用者、家族への対応」の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）はそれぞれ 1.6%、1.3%と低いものの、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」ケースは「調整（540 分：全 63 人日分の総時間）」のうち 0.0%、「利用者、家族への対応（440 分：全 63 人日分の総時間）」のうち 3.4%であり、ほとんどが看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。

【通所介護】

- 通所介護では、一日の業務時間の約 6 割を、健康管理、服薬、看護記録の作成等の「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が占めている。一方、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務も約 17% を占めている。
- 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）に費やす時間は一日の業務時間の 14% 程度。「食事」業務の約 6 割、「排泄ケア」業務の約 5 割は「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務で占められている。

- ・ 看護職員 82 人日（計 37 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 456.5 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「その他（33.7%）」以外では「健康管理（14.2%）」「服薬（11.7%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。なお、全 82 人日分の総時間ベースで「その他（12770 分）」の小項目別内訳をみると、「看護記録の作成（リハビリの記録を除く）（4950 分）」が 38.8% を占めていた。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 57.4%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 15.8%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 10.3%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 16.5% であった。「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 20% 以上を占めるケースも 82 人日中 25 人日（30.5%）存在した。
- ・ 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）についてみると、一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は食事が 5.9%、排泄ケアが 2.4%、入浴が 5.8% であった。全 82 人日分の総時間ベースでみると、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」ケースは「食事（2165 分）」のうち 57.3%、「排泄ケア（920 分）」のうち 48.9%、「入浴（2265 分）」のうち 36.0% であり、看護職員が行う必要性は低い、結果として実施したケースが多いことが示唆された。
- ・ 上記ケアについて、看護職員の介入が必要と特段に判断された理由としては、「失語、片麻痺の患者への食事介助」「発熱、出血、排尿がない、人工肛門等の利用者のため」「マッサージで便塊の存在を確認して、腹部マッサージなど実施した上で、シャワーで刺激するよう介護職にアドバイスした」「血圧が低く、過去に入浴中に意識消失を起こしたことがある利用者だったため看護職が見守り」など、主として利用者の状態像によって介入の有無が判断されていた。また看護職員が行う必要性はないが行っている理由としては、「介護職の手が足りない」「他の空いている人が配膳や介助を行う」などが挙げられた。
- ・ 「送迎（1695 分）」では「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 41.6% である一方で、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 47.5% と半数近くを占めていた。

【認知症対応型通所介護】

- 認知症対応型通所介護では、一日の業務時間の約 5 割を健康管理等の「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が占めている。
- 「入浴」「食事」に費やす時間はそれぞれ一日の業務時間の約 1 割。そのうちの 4 割程度は「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務で占められている。

- ・ 看護職員 48 人日（計 17 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 482.5 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「その他（23.1%）」以外では「入浴（11.1%）」「食事（10.8%）」「健康管理（9.4%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。なお、全 48 人日分の総時間ベースで「その他（5845 分）」の小項目別内訳をみると、「看護記録の作成（リハビリの記録を除く）（1770 分）」が 30.3%を占めていた。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 52.8%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 20.5%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 16.5%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 23.3%であった。「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 20%以上を占めるケースは 48 人日中 24 人日（50.0%）存在した。
- ・ 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）についてみると、一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は食事が 10.8%、排泄ケアが 3.3%、入浴が 11.1%であった。全 48 人日分の総時間ベースでみると、「食事（2425 分）」では「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 39.4%である一方、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 43.9%と最も多かった。「排泄ケア（790 分）」については「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 55.7%と半数以上を占めていた。「入浴（2540 分）」では「看護職員が行うべき業務」が 33.9%を占める一方で、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務も 42.9%と高い割合を占めていた。
- ・ 「送迎（1515 分）」では「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 68.6%と最も高い割合を占めていた。

【訪問入浴介護】

- 訪問入浴介護では、一日の業務時間の 6 割弱を、移動、入浴、訪問入浴記録の作成等の「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が占めている。
- 「入浴」業務の 7 割以上が予め看護職員が行う業務として定められている。

- ・ 看護職員 51 人日（計 18 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 493.1 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「入浴（40.6%）」「移動（23.9%）」「その他（14.2%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。なお、全 51 人日分の総時間ベースで「その他（3935 分）」の小項目別内訳をみると、「訪問入浴記録の作成（リハビリの記録を除く）（1290 分）」が 32.8%を占めていた。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 55.1%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 29.6%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 10.6%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 4.7%となり、大部分の業務は看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。
- ・ 「入浴」業務について全 51 人日分の総時間ベースでみると、入浴業務総時間（10215 分）のうち「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 50.3%、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 24.1%であり、予め看護職員が行うよう定められた業務が 7 割以上を占めていることがわかった。なお、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 6.9%と 1 割に満たなかった。
- ・ 「健康管理」業務の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は 4.5%であった。全 51 人日分の総時間ベースでみると、健康管理業務総時間（1400 分）のうち「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 12.5%を占めており、特に健康管理業務のうち「日常会話、声掛け」業務でその割合が高かった。

【小規模多機能型居宅介護】

- 小規模多機能居宅介護では、一日の業務時間の 5 割強を、服薬、健康管理等の「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が占めている。
- 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）に費やす時間は一日の業務時間の 2 割弱。「食事」業務の 6 割以上、「排泄ケア」業務の 5 割以上、「入浴」業務の 4 割弱は「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務で占められている。

- ・ 看護職員 92 人日（計 28 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 420.7 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「その他（13.0%）」以外では「服薬（13.8%）」「健康管理（11.5%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 54.9%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 14.8%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 7.2%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 23.2%であった。「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 20%以上を占めるケースは 92 人日中 45 人日（48.9%）存在した。
- ・ 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）についてみると、一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は食事が 8.9%、排泄ケアが 4.2%、入浴が 4.9%であった。全 92 人日分の総時間ベースでみると、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は「食事（3610 分）」のうち 64.3%、「排泄ケア（1745 分）」のうち 52.4%と、いずれも看護職員が行う必要性は低いが、結果として実施したケースが多いことが示唆された。また、「入浴（1715 分）」でも「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務の割合が一番高く、37.3%を占めていた。
- ・ 上記ケアについて、看護職員の介入が必要と特段に判断された理由としては、「嚥下困難な利用者の食事やおやつの介助を介護職員より依頼された」「便対策の可能性（摘便等）がある利用者だったため、看護師が直接関わったほうが良いと判断し、介助した。」「皮膚の観察、軟膏処置、入浴の介助方法について、判断したり、介護職に対して指導を行う必要があるため」など、主として利用者の状態像によって介入の有無が判断されていた。また看護職員が行う必要性がないが行っている理由としては、「介護職の手があいていないため」「配膳の準備には看護、介護職一緒にかかわり、看護師の手があいていたため実施した」「入浴後、軟膏塗布した利用者に対しその流れで介助した」などが挙げられた。
- ・ 「居室、リビング等での見守り」業務の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は 5.6%であった。全 92 人日分の総時間ベースでみると、「居室、リビング等での見守り」業務総時間（2190 分）のうち「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 56.4%を占めていた。

【短期入所生活介護（単独型）】

- 短期入所生活介護（単独型）では、一日の業務時間の 7 割以上を、服薬、記録をはじめとした「看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）」が占めている。
- 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）に費やす時間は一日の業務時間の 1 割以下。「食事」業務の 6 割以上が「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務である一方、「排泄ケア」業務の 5 割以上、「入浴」業務の 6 割以上は予め看護職員が行うべき業務として定められている。
- 「居室、リビング等での見守り」業務の約 17%が「看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）」として定められている。

- ・ 看護職員 38 人日（計 12 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 536.4 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「その他（16.9%）」以外では「服薬（18.4%）」「記録（12.0%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）」が 73.0%、「（利用者の状態像に関わらず）本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 13.8%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 5.4%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 7.8%となり、大部分の業務は看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。
- ・ 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）についてみると、一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は食事が 3.2%、排泄ケアが 2.7%、入浴が 1.3%であった。全 38 人日分の総時間ベースでみると、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」ケースは「食事（705 分）」のうち 66.0%を占めていた。「排泄ケア（600 分）」では「看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）」が 41.7%、「（利用者の状態像に関わらず）本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 12.5%と、予め看護職員が行うよう定められた業務が 5 割以上を占めていた。一方で、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」ケースも 29.2%を占めていた。「入浴（290 分）」では「看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）」が 44.8%、「（利用者の状態像に関わらず）本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 17.2%であり、予め看護職員が行うよう定められた業務が 6 割以上を占めていた。一方「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務は 20.7%であった。
- ・ 「居室、リビング等での見守り」業務の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は 4.2%であった。全 38 人日分の総時間ベースでみると、「居室、リビング等での見守り」業務総時間（905 分）のうち「看護職員による判断や実施が求められる業務（バイタル確認、看護記録等）」が 16.6%であり、他のサービス種に比べると高い値であった。
- ・ 「調整」の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は 2.1%と低いものの、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」ケースは「調整（440 分：全 38 人日分の総時間）」のうち 1.1%であり、ほとんどが看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。

【認知症対応型共同生活介護】

- 認知症対応型共同生活介護では、一日の業務時間の 6 割弱を、健康管理、記録、診療の補助等の「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が占めている。
- 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）に費やす時間は一日の業務時間の約 1 割。「食事」業務の 7 割以上が予め看護職員が行うべき業務として定められている。一方、「排泄ケア」業務の 6 割以上、「入浴」業務の 7 割以上は「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務で占められている。
- 「集団レクリエーション」業務の 5 割以上が「本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務であった。

- ・ 看護職員 22 人日（計 7 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 356.4 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「その他（21.2%）」以外では「健康管理（11.7%）」「記録（11.5%）」「診療の補助（10.0%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 56.5%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 24.7%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 6.9%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 11.9%となり、大部分の業務は看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。
- ・ 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）についてみると、一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は食事が 5.6%、排泄ケアが 1.9%、入浴が 1.6%であった。全 22 人日分の総時間ベースでみると、「食事（405 分）」のうち「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 11.1%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 58.0%と、予め看護職員が行うよう定められた業務が約 7 割を占めていた。一方、「排泄ケア（200 分）」の 62.5%、「入浴（160 分）」の 75.0%が「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務で占められていた。
- ・ 「集団レクリエーション」の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は 3.3%であった。全 22 人日分の総時間ベースでみると、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 51.3%を占めており、これは他のサービス種に比べると高い値であった。
- ・ 「調整」の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は 5.3%であった。全 22 人日分の総時間ベースでみると、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 75.7%を占めており、大部分が予め看護職員が実施すべき業務として定められていることが示唆された。

【複合型サービス】

- 複合型サービスでは、一日の業務時間の約 7 割を、訪問看護、診療の補助等の「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が占めている。
- 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）に費やす時間は一日の業務時間の約 1 割。それぞれの業務の 7 割以上は看護職員が行う必要性に基づき実施されている。
- 「リハビリ（機能訓練）」業務の 8 割以上が看護職員が行う必要性に基づき実施されている。

- ・ 看護職員 40 人日（計 9 事業所）の業務内容について調査を行った。
- ・ 看護職員一人当たり一日当たり業務時間（休憩含む）の平均は 505.3 分であった。
- ・ 一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）でみると、「その他（10.2%）」以外では「訪問看護（13.4%）」「診療の補助（9.9%）」に多くの時間を費やしていることがわかった。
- ・ 一日の業務内容を看護職員が実施する必要性という観点から区分すると、個人ベースの平均値では「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 69.0%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 10.1%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 10.7%、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」業務が 10.1%となり、大部分の業務は看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されていることが示唆された。
- ・ 3 大ケア（食事、排泄ケア、入浴）についてみると、一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は食事が 5.9%、排泄ケアが 1.9%、入浴が 1.6%であった。全 40 人日分の総時間ベースでみると、「看護職員による介入の必要性はないが、結果的に看護職員が行った」ケースは「食事（1250 分）」のうち 20.8%、「排泄ケア（1335 分）」のうち 24.7%、「入浴（1015 分）」のうち 26.6%であり、看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されているケースが多いことが示唆された。特に「排泄ケア」は 55.1%が「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」として行われていた。
- ・ 「リハビリ（機能訓練）」の一日の業務時間に占める割合（個人ベースの平均値）は 3.3%であった。全 40 人日分の総時間ベースでみると、「看護職員による判断や実施が求められる業務(バイタル確認、看護記録等)」が 5.6%、「(利用者の状態像に関わらず) 本事業所では、当該行為を全て看護職員により行うこととなっている」業務が 43.0%、「看護職員の介入が必要と特段に判断されたため行った」業務が 33.8%であり、看護職員が行う何らかの必要性に基づき実施されているケースが多いことが示唆された。

参考資料 1

通所介護・通所リハ事業所タイムスタディ
調査票

参考資料 2

看護職員タイムスタディ調査票

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
【事業所票】【通所介護】

■記入にあたってのご注意

- ・この調査票は、通所介護の事業所票です。当該事業所に関してご回答ください。
- ・特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2013年11月22日（金）までにご返送下さい。**

■調査に関するお問い合わせ先・返送先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
電話：0120-406-186（平日9時30分～17時30分）
●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
FAX：03-5157-2143（24時間受付）
E-mail：h25kaitei10@mri.co.jp
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

【2013年10月1日時点】

(1) 基本情報							
①所在地	()都・道・府・県						
②開設主体	1. 公立 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. 社団・財団法人 5. 営利法人 6. その他()						
③開設年月	西暦()年()月						
④併設または隣接している医療機関等(複数可)	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護(部門またはステーション) 5. 介護老人保健施設 6. 介護老人福祉施設 7. 併設していない						
⑤施設等区分	1. 小規模型 2. 通常規模型 3. 大規模型(Ⅰ) 4. 大規模型(Ⅱ)						
⑥利用者数 2013年9月の実績							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実人数	人	人	人	人	人	人	人
延べ人数	人	人	人	人	人	人	人
⑦認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数(実人数) 2013年9月の実績	自立	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	
	人	人	人	人	人	人	
(2) 加算の算定状況 2013年9月実績							
①入浴介助加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
②個別機能訓練加算	1. (Ⅰ) 2. (Ⅱ) 3. 算定なし						
③若年性認知症利用者受入加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
④運動器機能向上加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
⑤栄養改善加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
⑥口腔機能向上加算	1. 算定あり 2. 算定なし						

⑦生活機能向上グループ活動加算	1. 算定あり 2. 算定なし									
⑧選択的サービス複数実施加算	1. (Ⅰ) 2. (Ⅱ) 3. 算定なし									
⑨同一建物減算	1. あり 2. なし									
⑩サービス提供体制強化加算	1. (Ⅰ) 2. (Ⅱ) 3. (Ⅲ) 4. 算定なし									
⑪事業所評価加算	1. 算定あり 2. 算定なし									
多職種(2職種以上)が一堂に会してリハビリテーションカンファレンスを行っていますか	1. はい 2. いいえ									
上記で「1. はい」と回答した場合	2013年9月の実施回数 ()回	1. サービス開始前の利用者 2. サービス終了時の利用者 3. 定期的な見直しの時期を迎えた利用者 4. その他()								
各行為を実施する職種 (該当する番号に○)	医師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	薬剤師	看護職員	介護職員	栄養士・管理栄養士	介護支援専門員	その他
個別機能訓練実施計画書の作成(サインの箇所以外)を行う職種(複数回答)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
家族への説明と同意取得を行う職種(複数回答)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(3) 職員体制 ※通所介護に従事する職員(兼務も含む) ※兼務者は常勤換算の上、通所介護の換算人員を計上してください。										
<常勤換算数の計算方法> 〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間(通所介護従事時間)〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕 小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。										
	実人数				常勤換算数					
	常勤	うち機能訓練指導員として配置されている人数	非常勤	うち機能訓練指導員として配置されている人数	常勤換算数合計(常勤＋非常勤)	うち機能訓練指導員として配置されている人数				
医師	人		人		人					
看護師	人	人	人	人	人	人				
准看護師	人	人	人	人	人	人				
PT	人	人	人	人	人	人				
OT	人	人	人	人	人	人				
ST	人	人	人	人	人	人				
介護職員	人		人		人					
歯科衛生士	人		人		人					
管理栄養士	人		人		人					
柔道整復師	人	人	人	人	人	人				
あんまマッサージ指圧師	人	人	人	人	人	人				
生活相談員	人		人		人					
その他	人	人	人	人	人	人				
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか					1. ある 2. ない					

(4) 利用者の状況			
① 利用者の医療的ケアの状況： 11月10日から11月16日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。			
項目	実人数	項目	実人数
1. インスリン注射	() 人	13. カテーテル(コドームカテーテル、留置カテーテル等)	() 人
2. 中心静脈栄養の管理	() 人	14. 喀痰吸引	() 人
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	() 人	15. ネブライザー	() 人
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	() 人	16. 創傷処置	() 人
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	() 人	17. 服薬管理	() 人
6. 酸素療法	() 人	18. 導尿	() 人
7. レスピレーター(人工呼吸器)の管理	() 人	19. 浣腸	() 人
8. 気管切開のケア	() 人	20. 排便	() 人
9. 疼痛の看護	() 人	21. 簡易血糖測定	() 人
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	() 人	22. 看取り期のケア	() 人
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	() 人	23. その他	
12. じょくそうの処置	() 人	処置名 ()	() 人
② 利用者の保有疾患(実人数) (9月に利用実績がある利用者)	1. 脳卒中		() 人
	2. 筋骨格系疾患		() 人
	3. 認知症		() 人
	4. 難病(特定疾患治療研究事業対象疾患)		() 人
	5. その他		() 人
(5) 利用者への機能訓練指導員の関わり方についての課題や工夫、意向、要望			

以下は、タイムスタディ実施日の状況についてご記入ください。11月10日～11月16日の間の任意の1日(通所介護を実施している日)を選定し、その日の状況を以下にご記入ください。

タイムスタディ実施日の状況								
タイムスタディ実施日	月 日							
タイムスタディ実施日の利用者数	() 人	うち個別機能訓練実施者数			() 人			
		うち集団機能訓練実施者数			() 人			
タイムスタディ実施日の機能訓練指導員の勤務状況(実人数)	職種	看護師・准看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	柔道整復師	あんまマッサージ指圧師	その他
	人数	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人

本タイムスタディにおいては、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、その他(柔道整復師、あんまマッサージ指圧師等)の各職種の方、最大1名ずつを対象として実施します。タイムスタディを実施した方の職種について、以下から選択してください。

※タイムスタディ当日に、通所介護の業務を実施していない方は対象外としてください。

調査にご協力いただいた職種	1. 看護師・准看護師
※複数可	2. 理学療法士
	3. 作業療法士
	4. 言語聴覚士
	5. その他(⇒具体的に)

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

通所介護事業所

機能訓練指導員票(自記入式)

記入日：2013年 月 日

対象者：機能訓練指導員

職種：1.理学療法士 ・ 2.作業療法士 ・ 3.言語聴覚士 ・ 4.看護師
 5.准看護師 ・ 6.柔道整復師 ・ 7.あんまマッサージ指圧師
 該当する職種に○

勤務形態：1.常勤(専従) ・ 2.常勤(兼務) ・ 3.非常勤(専従) ・ 4.非常勤(兼務)
 該当する勤務形態に○

勤務日数：週()日 うち通所介護での勤務：週()日
 ()内に記入 ※タイムスタディ実施日を含む1週間について回答

業務開始時間(A)	:		合計①+合計② = 分 ※一致するように調整してください。
業務終了時間(B)	:		
業務時間 (B-A)			

		7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	時間数(分)
1	送迎														
2	健康管理														
3	個別機能訓練														
4	集団機能訓練														
5	居宅訪問														
6	個別機能訓練計画の作成・見直し														
7	その他のケア														
8	管理業務														
9															
10															
11															
12															
13	その他														
14	サービス担当者会議への参加														
15	休憩														
16	当日に実施した業務のうち、通所介護以外の併設サービスにおける勤務														
合計時間①															分

1

記入日：2013年 月 日

		13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	時間数(分)	
1	送迎	乗車、降車の介助、乗車中の見守り、その他																		
2	健康管理	バイタル確認、健康状態確認、日常会話、声掛け																		
3	個別機能訓練	※個別機能訓練加算に該当しない行為も含めて記入																		
4	集団機能訓練																			
5	居宅訪問																			
6	個別機能訓練計画の作成・見直し																			
7	その他のケア	排泄ケア、食事の介助、入浴介助等																		
8	管理業務	記録の作成																		
9		医療職との情報交換																		
10		ケアマネジャーとの情報交換																		
11		カンファレンス																		
12		介護職員への指導																		
13		その他																		
14	サービス担当者会議への参加																			
15	休憩																			
16	当日に実施した業務のうち、通所介護以外の併設サービスにおける勤務																			
合計時間②																				

2

タイムスタディ当日に、あなたが個別機能訓練を実施した利用者全員についてご記入ください。

ID	性別	年齢	利用開始日	要介護度	実施時間 (分)	認知症高齢者の日常生活自立度	ADL					保有疾患 (複数回答)	アセスメントの実施について ※タイムスタディ当日に実施したもの			医師 への 相談	実施した内容 (複数回答)
							1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助						実施の有無 ※当日に実施したものに 1. あり 2. なし	「1. あり」の場合			
														実施時間	アセスメントを実施した観点 (複数回答)		
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17

3

タイムスタディ当日に、あなたが個別機能訓練を実施した利用者全員についてご記入ください。

ID	性別	年齢	利用開始日	要介護度	実施時間(分)	認知症高齢者の日常生活自立度	ADL					保有疾患 (複数回答)	アセスメントの実施について ※タイムスタディ当日に実施したもの			医師への相談	実施した内容 (複数回答)
							1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助						実施の有無 ※当日に実施したものに限る	「1. あり」の場合			
							移動	食事	排泄	入浴	整容(着替え)			実施時間	アセスメントを実施した観点 (複数回答)		
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17

4

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査 【事業所票】【通所リハビリテーション】

■記入にあたってのご注意

- ・この調査票は、通所リハビリテーションの事業所票です。当該事業所に関してのみ回答ください。
- ・特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2013年11月22日（金）までにご返送下さい。**

■調査に関するお問い合わせ先・返送先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
電話：0120-406-186（平日9時30分～17時30分）

●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●

FAX：03-5157-2143（24時間受付）

E-mail：h25kaitei10@mri.co.jp

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

【2013年10月1日時点】

(1) 基本情報							
①所在地	()都・道・府・県						
②開設主体	1. 公立 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. 社団・財団法人 5. 営利法人 6. その他()						
③開設年月	西暦()年()月						
④併設または隣接している医療機関等（複数可）	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護（部門またはステーション） 5. 介護老人保健施設 6. 介護老人福祉施設 7. 併設していない						
⑤施設等区分	1. 通常規模型 2. 大規模型（Ⅰ） 3. 大規模型（Ⅱ）						
⑥利用者数 2013年9月の実績							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実人数	人	人	人	人	人	人	人
延べ人数	人	人	人	人	人	人	人
⑦認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（実人数） 2013年9月の実績	自立	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	
	人	人	人	人	人	人	
(2) 加算等の算定状況 2013年9月実績							
①理学療法士等体制強化加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
②入浴介助加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
③訪問指導等加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
④リハビリテーションマネジメント加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
⑤短期集中リハビリテーション実施加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
⑥個別リハビリテーション実施加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
⑦認知症短期集中リハビリテーション実施加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
⑧若年性認知症利用受入加算	1. 算定あり 2. 算定なし						

⑦栄養改善加算	1. 算定あり 2. 算定なし																																																																												
⑧口腔機能向上加算	1. 算定あり 2. 算定なし																																																																												
⑨運動器機能向上加算	1. 算定あり 2. 算定なし																																																																												
⑨重度療養管理加算	1. 算定あり 2. 算定なし																																																																												
⑩選択的サービス複数実施加算	1. 算定あり 2. 算定なし																																																																												
⑪同一建物減算	1. あり 2. なし																																																																												
⑫サービス提供体制強化加算	1. (Ⅰ) 2. (Ⅱ) 3. 算定なし																																																																												
⑫事業所評価加算	1. 算定あり 2. 算定なし																																																																												
⑬介護職員処遇改善加算	1. 算定あり 2. 算定なし																																																																												
1時間～2時間未満の通所リハビリテーションの実施人数(2013年9月実績)(実人数)	実人数 ()人 延べ人数 ()人																																																																												
多職種(2職種以上)が一堂に会してリハビリテーションカンファレンスを行っていますか	1. はい 2. いいえ																																																																												
上記で「1. はい」と回答した場合	2013年9月の実施回数 ()回 一堂に会して実施するカンファレンスの対象となる利用者(複数回答) 1. サービス開始前の利用者 2. サービス終了時の利用者 3. 定期的な見直しの時期を迎えた利用者 4. その他()																																																																												
各行為を実施する職種 (該当する番号に○)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>医師</th> <th>理学療法士</th> <th>作業療法士</th> <th>言語聴覚士</th> <th>薬剤師</th> <th>看護師</th> <th>介護職員</th> <th>士 管理 士 養</th> <th>門 介 護 支 援 専</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リハビリテーション実施計画書の作成(サインの箇所以外)を行う職種(複数回答)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>家族への説明と同意取得を行う職種(複数回答)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	医師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	薬剤師	看護師	介護職員	士 管理 士 養	門 介 護 支 援 専	その他	リハビリテーション実施計画書の作成(サインの箇所以外)を行う職種(複数回答)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	家族への説明と同意取得を行う職種(複数回答)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																												
医師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	薬剤師	看護師	介護職員	士 管理 士 養	門 介 護 支 援 専	その他																																																																				
リハビリテーション実施計画書の作成(サインの箇所以外)を行う職種(複数回答)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																			
家族への説明と同意取得を行う職種(複数回答)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																			
(3) 職員体制 ※通所リハビリテーションに従事する職員(兼務も含む) ※兼務者は常勤換算の上、通所リハの換算人員を計上してください																																																																													
<常勤換算数の計算方法> 〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間(通所リハ従事時間)〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕 小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">実人数</th> <th rowspan="2">常勤換算 合計</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">実人数</th> <th rowspan="2">常勤換算 合計</th> </tr> <tr> <th>常勤</th> <th>非常勤</th> <th>常勤</th> <th>非常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>歯科衛生士</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>管理栄養士</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>柔道整復師</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>PT</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>あんまマッサージ指圧師</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>OT</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>生活相談員</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ST</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>その他</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>介護職員</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか</td> <td colspan="4">1. ある 2. ない</td> </tr> </tbody> </table>		実人数		常勤換算 合計		実人数		常勤換算 合計	常勤	非常勤	常勤	非常勤	医師	人	人	人	歯科衛生士	人	人	人	看護師	人	人	人	管理栄養士	人	人	人	准看護師	人	人	人	柔道整復師	人	人	人	PT	人	人	人	あんまマッサージ指圧師	人	人	人	OT	人	人	人	生活相談員	人	人	人	ST	人	人	人	その他	人	人	人	介護職員	人	人	人					医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか				1. ある 2. ない			
	実人数		常勤換算 合計				実人数			常勤換算 合計																																																																			
	常勤	非常勤			常勤	非常勤																																																																							
医師	人	人	人	歯科衛生士	人	人	人																																																																						
看護師	人	人	人	管理栄養士	人	人	人																																																																						
准看護師	人	人	人	柔道整復師	人	人	人																																																																						
PT	人	人	人	あんまマッサージ指圧師	人	人	人																																																																						
OT	人	人	人	生活相談員	人	人	人																																																																						
ST	人	人	人	その他	人	人	人																																																																						
介護職員	人	人	人																																																																										
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか				1. ある 2. ない																																																																									

(4) 利用者の状況

① 利用者の医療的ケアの状況： 11月10日から11月16日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。

項目	実人数	項目	実人数
1. インスリン注射	() 人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)	() 人
2. 中心静脈栄養の管理	() 人	14. 喀痰吸引	() 人
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	() 人	15. ネブライザー	() 人
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	() 人	16. 創傷処置	() 人
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	() 人	17. 服薬管理	() 人
6. 酸素療法	() 人	18. 導尿	() 人
7. レスビレーター(人工呼吸器)の管理	() 人	19. 浣腸	() 人
8. 気管切開のケア	() 人	20. 排便	() 人
9. 疼痛の看護	() 人	21. 簡易血糖測定	() 人
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	() 人	22. 看取り期のケア	() 人
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	() 人	23. その他	
12. じょくそうの処置	() 人	処置名 ()	() 人
② 利用者の保有疾患(実人数) (9月に利用実績がある利用者)	1. 脳卒中		() 人
	2. 筋骨格系疾患		() 人
	3. 認知症		() 人
	4. 難病(特定疾患治療研究事業対象疾患)		() 人
	5. その他		() 人

(5) 利用者へのPT・OT・ST等の関わり方についての課題や工夫、意向、要望

以下は、タイムスタディ実施日の状況についてご記入ください。11月11日～11月16日の間の任意の1日(通所リハを実施している日)を選定し、その日の状況を以下にご記入ください。

タイムスタディ実施日の状況						
タイムスタディ実施日	月 日					
タイムスタディ実施日の利用者数	() 人	うち個別リハビリ実施者数		() 人		
		うち集団リハビリ実施者数		() 人		
タイムスタディ実施日のリハビリ専門職の勤務状況(実人数)	職種	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	柔道整復師	あんまマッサージ指圧師
	人数	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人

本タイムスタディにおいては、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、その他(柔道整復師、あんまマッサージ指圧師等)の各職種の方、最大1名ずつを対象として実施します。タイムスタディを実施した方の職種について、以下から選択してください。

※タイムスタディ当日に、通所リハの業務を実施していない方は対象外としてください。

調査にご協力いただける職種 ※複数可	1. 理学療法士
	2. 作業療法士
	3. 言語聴覚士
	4. その他(⇒具体的に)

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

通所リハビリテーション

理学療法士等調査票(自記入式)

記入日：2013年 月 日

職種：1.理学療法士 ・ 2.作業療法士 ・ 3.言語聴覚士 ・ 4.その他()
該当する職種に○勤務形態：1.常勤(専従) ・ 2.常勤(兼務) ・ 3.非常勤(専従) ・ 4.非常勤(兼務)
該当する勤務形態に○

勤務日数：週()日 うち通所リハでの勤務：週()日

()内に記入

※タイムスタディ実施日を含む1週間について回答

業務開始時間(A)	:
業務終了時間(B)	:
業務時間 (B-A)	

合計①+合計②

分 = 分
※一致するように調整してください。

		7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	時間数(分)
1	送迎	乗車、降車の介助、乗車中の見守り、その他													
2	健康管理	バイタル確認、健康状態確認、日常会話、声掛け													
3	個別リハビリ	※個別リハビリ実施加算に該当しない行為も含めて記入													
4	集団リハビリ														
5	居宅訪問														
6	個別リハビリテーション計画の作成・見直し														
7	その他のケア	排泄ケア、食事の介助、入浴介助等 ※リハビリとして実施するものを除く													
8	管理業務	記録の作成													
9		医療職との情報交換													
10		ケアマネジャーとの情報交換													
11		カンファレンス													
12		介護職員への指導													
13		その他													
14	サービス担当者会議への参加														
15	休憩														
16	当日に実施した業務のうち、通所リハ以外の併設サービスにおける勤務														
合計時間①															分

1

記入日：2013年 月 日

		13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	時間数(分)
1	送迎	乗車、降車の介助、乗車中の見守り、その他																	
2	健康管理	バイタル確認、健康状態確認、日常会話、声掛け																	
3	個別リハビリ	※個別リハビリ実施加算に該当しない行為も含めて記入																	
4	集団リハビリ																		
5	居宅訪問																		
6	個別リハビリテーション計画の作成・見直し																		
7	その他のケア	排泄ケア、食事の介助、入浴介助等																	
8	管理業務	記録の作成																	
9		医療職との情報交換																	
10		ケアマネジャーとの情報交換																	
11		カンファレンス																	
12		介護職員への指導																	
13		その他																	
14	サービス担当者会議への参加																		
15	休憩																		
16	当日に実施した業務のうち、通所リハ以外の併設サービスにおける勤務																		
合計時間②																			分

2

タイムスタディ当日に、あなたが個別リハビリテーションを実施した利用者全員についてご記入ください。

ID	性別	年齢	利用開始日	要介護度	実施時間 (分)	認知症高齢者の日常生活自立度	ADL					保有疾患 (複数回答)	アセスメントの実施について ※タイムスタディ当日に実施したもの			医師への相談	実施した内容 (複数回答)					
							1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助						実施の有無 ※当日に実施したもの に属する	実 施 時間	「1. あり」の場合							
															移動			食事	排泄	入浴	整容 (着替え)	アセスメントを実施した観点 (複数回答)
												1. 脳卒中 2. 筋骨格系疾患 3. 認知症 4. 難病 5. その他	実 施 の有無 ※当日に実施したもの に属する 1. あり 2. なし	1. 運動機能 2. 精神・感覚・心理機能 3. 社会生活適応 4. 住環境 5. 機器・用具等 6. 栄養評価 7. 摂食嚥下機能 8. コミュニケーション 9. 高次脳機能 10. 生活動作の能力と実行状況 11. その他	1. あり 2. なし	1. 関節可動域訓練 2. 筋力増強訓練 3. 筋緊張緩和・マッサージ 4. 感覚・知覚訓練 5. 呼吸ケア・肺理学療法 6. 摂食・嚥下訓練 7. コミュニケーション関連訓練 8. 起居・移乗動作訓練 9. 歩行訓練 10. ADL 訓練 11. 家事動作訓練 12. 創作、手工芸、役割等の活動 13. 社会参加支援 14. 高次脳機能訓練 15. 補装具・福祉用具の選定、適合、自助具作製 16. 助言・指導 17. その他()						
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17					
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17					
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17					
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17					
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17					

タイムスタディ当日に、あなたが個別リハビリテーションを実施した利用者全員についてご記入ください。

ID	性別	年齢	利用開始日	要介護度	実施時間(分)	認知症高齢者の日常生活自立度	ADL					保有疾患 (複数回答)	アセスメントの実施について ※タイムスタディ当日に実施したもの			医師への相談	実施した内容 (複数回答)
							1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助						実施の有無 ※当日に実施したものに 「1. あり」	「1. あり」の場合			
														実 施 時 間	アセスメントを実施した観点 (複数回答)		
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17
	男性・女性		年月日	支援1・2 介護1・2・3・4・5	分	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4・5	1・2	分	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 7・8・9・10・11	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11 12・13・14・15・16・17

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査

【事業所票】【介護老人福祉施設】

■記入にあたってのご注意

- この調査票は、**介護老人福祉施設**の調査票です。**貴事業所の看護職員または介護職員の方**が必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- 特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ()の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- 数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- 記入の終わった調査票は、タイムスタディ調査時に調査員にお渡しください。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
 電話：0120-406-186（平日9時30分～17時30分）
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX：03-5157-2143（24時間受付）
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
 三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

【2013年10月1日時点】

（１）基本情報						
①所在地	()都・道・府・県					
②開設主体	1. 公立 2. 社会福祉法人 3. その他()					
③開設年月	西暦 ()年 ()月					
④短期入所生活介護の併設	1. 併設している 2. 併設していない					
⑤定員数	特別養護老人ホーム ()人 ショートステイ ()人					
⑥利用者数	特別養護老人ホーム ()人 ショートステイ ()人					
⑦要介護度別利用者数 (ショート利用者は除く)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	人	人	人	人	人	人
⑧認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数 (ショート利用者は除く)	自立	I	II	III	IV	M
	人	人	人	人	人	人
⑨障害高齢者の日常生活自立度別利用者実人数 (ショート利用者は除く)	自立	J	A	B	C	
	人	人	人	人	人	人
⑩平均入所期間及び入所期間別利用者数 (ショート利用者は除く)	平均入所期間(年)	6ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
	年	人	人	人	人	人
⑪併設または隣接している医療機関等（複数可）	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護（部門またはステーション） 5. 介護老人保健施設 6. 併設していない 7. 医務室が保険医療機関の指定を受けている					

⑫施設の構造 (ショート用は除く)	1. 従来型 2. ユニット型 ¹ →()ユニット 3. 一部ユニット型→()ユニット

(2)加算の算定状況 2013年9月実績

加算 の 状 況	①看護体制加算	(Ⅰ)	1. 算定あり	2. 算定なし
		(Ⅱ)	1. 算定あり	2. 算定なし
	②夜勤職員配置加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	③精神科医師による月 2 回以上の療養指導の実施		1. 算定あり	2. 算定なし
	④看取り介護加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	⑤在宅復帰支援機能加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	⑥在宅・入所相互利用加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	⑦日常生活継続支援加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	⑧常勤専従医師配置加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	⑨認知症専門ケア加算		1. (Ⅰ)	2. (Ⅱ) 3. 算定なし
	⑩若年認知症入所者受入加算		1. 算定あり	2. 算定なし
⑪サービス提供体制強化加算		1. (Ⅰ) 2. (Ⅱ) 3. (Ⅲ) 4. 算定なし		

(3)職員体制
 ※特養本体部分の専従とショート兼務の職員についてお答えください。(ショート専従は含まない)
 ※兼務者は常勤換算の上、特養本体部分の換算人員を計上してください。
 ※本体とショートと明確に分けられない職員については、本体にいれてください。

全職員数(実人数)			常勤	()人	非常勤	()人		
職員数内訳(当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください)								
	実人数		常勤換算 ²		実人数		常勤換算	
	常勤	非常勤	合計		常勤	非常勤	合計	
看護師	人	人	人	ST	人	人	人	
准看護師	人	人	人	生活相談員	人	人	人	
介護職員	人	人	人	管理栄養士・ 栄養士	人	人	人	
PT	人	人	人	介護支援専門 員	人	人	人	
OT	人	人	人	その他	人	人	人	
医師の勤務状況		週あたりの勤務日数		() 日				
		週あたりの勤務合計時間		() 時間				
管理者の職種 (資格)	1. 医師 5. 作業療法士 9. その他 ()		2. 看護師 6. 言語聴覚士 ()		3. 准看護師 7. 介護福祉士 10. 特になし			4. 理学療法士 8. 社会福祉士
貴事業所内で、看護師・准看護師が 他に行っている(兼務している)職務 (実人数)			1. 管理者 ()人 3. 介護支援専門員 ()人 5. 兼務なし ()人		2. 生活相談員 ()人 4. 機能訓練指導員 ()人			
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で 対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はあり ますか				1. ある 2. ない				

¹ 「ユニットケア」とは施設の居室を10人程度のグループに分けて、それぞれをひとつの生活単位とし、少人数の家庭的な雰囲気の中でケアを行うものを指します。

² 常勤換算数の計算方法：小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕

(4) 看護職員について						
① 看護職員の勤務している時間帯(時間帯の半分以上を勤務している場合)に○をつけてください。 ※10月2日の状況 ※看護職員の勤務体制が通常と異なる場合は、他の任意の日について記入してください。		10月2日6時～10月3日6時までの勤務状況				
		6:00～ 8:59	9:00～ 16:59	17:00～ 19:59	20:00～ 21:59	22:00～ 5:59
② 看護職員の夜間の対応	1. 必ず夜勤の看護職員がいる 2. 必ず宿直の看護職員がいる 3. ローテーションにより看護職員がいる時間とない時間がある 4. 通常、看護職員は勤務しないが、状態に応じて勤務することがある 5. オンコールで対応する 6. 特に対応していない 7. その他()					
(5) 利用者の状況						
① 利用者の医療的ケアの状況： 9月29日から10月5日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。						
項目	実人数	項目	実人数			
1. インスリン注射	() 人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)	() 人			
2. 中心静脈栄養の管理	() 人	14. 喀痰吸引	() 人			
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	() 人	15. ネブライザー	() 人			
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	() 人	16. 創傷処置	() 人			
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	() 人	17. 服薬管理	() 人			
6. 酸素療法	() 人	18. 導尿	() 人			
7. レスピレーター(人工呼吸器)の管理	() 人	19. 洗腸	() 人			
8. 気管切開のケア	() 人	20. 排便	() 人			
9. 疼痛の看護	() 人	21. 簡易血糖測定	() 人			
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	() 人	22. 看取り期のケア	() 人			
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	() 人	23. その他				
12. じょくそうの処置	() 人	処置名()	() 人			
② 医療機関から往診を受けた利用者数(※往診の定義は実施要領を参照のこと)		実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績				
受診した科の内訳(複数可)		1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他()				

③ 医療機関から訪問診療を受けた利用者数(※訪問診療の定義は実施要領を参照のこと)	実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績
受診した科の内訳(複数可)	1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他()
④ 医療機関を受診(通院)した利用者数	実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績
受診した科の内訳(複数可)	1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他()
⑤ 医療機関へ入院した利用者数	※2013年9月1日～9月30日実績 計 () 人 a. 予定入院(手術、治療目的の入院) () 人 b. 緊急入院 () 人 c. ターミナルを前提とした入院 () 人
⑥ 施設内で死亡した(看取った)者の人数	() 人 ※2012年10月～2013年9月の状況
(6) 利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
【事業所票】【特定施設入居者生活介護】

■記入にあたってのご注意

- ・この調査票は**特定施設入居者生活介護**の調査票です。貴事業所の**看護職員または介護職員の方が**必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- ・特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・記入の終わった調査票は、タイムスタディ調査時に調査員にお渡しください。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
電話：0120-406-186（平日9時30分～17時30分）
●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
FAX：03-5157-2143（24時間受付）
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

【2013年10月1日時点】

（１）基本情報								
①所在地	()都・道・府・県							
②開設主体	1. 公立 2. 社会福祉法人 3. 営利法人 4. 医療法人 5. その他()							
③開設年月	西暦 ()年 ()月							
④定員数	()人							
⑤利用者数	()人							
⑥要介護度別利用者数	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
	人	人	人	人	人	人	人	人
⑦認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者・入居者数	自立	I	II	III	IV	M		
	人	人	人	人	人	人		
⑧障害高齢者の日常生活自立度別の利用者実人数	自立	J	A	B	C			
	人	人	人	人	人			
⑨平均在所期間及び在所期間別利用者・入居者数	平均在所期間(年)	6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上		
	年	人	人	人	人	人		
⑩併設または隣接している医療機関等(複数可)	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護(部門またはステーション) 5. 介護老人保健施設 6. 併設していない							

①特定施設の種類の	1. 有料老人ホーム(サービス付き高齢者住宅に該当しないもの) 2. 有料老人ホーム(サービス付き高齢者住宅に該当するもの) 3. 養護老人ホーム 4. 軽費老人ホーム
①サービスの提供方法	1. 一般型 2. 外部サービス利用型

(2)加算の算定状況 2013年9月実績						
加算の状況	①夜間看護体制加算	1. 算定あり 2. 算定なし				
	②個別機能訓練加算	1. 算定あり 2. 算定なし				
	③医療機関連携加算	1. 算定あり 2. 算定なし				
	④看取り介護加算	1. 算定あり 2. 算定なし				
	⑤障害者等支援加算	1. 算定あり 2. 算定なし				
(3)職員体制						
全職員数(実人数)		常勤	()人	非常勤	()人	
職員数内訳(当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください)						
	実人数	常勤換算 ¹		実人数	常勤換算	
	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
看護師	人	人	人	ST	人	人
准看護師	人	人	人	生活相談員	人	人
介護職員	人	人	人	管理栄養士・ 栄養士	人	人
PT	人	人	人	計画作成担当者	人	人
OT	人	人	人	その他	人	人
医師の勤務状況		週あたりの勤務日数		() 日		
		週あたりの勤務合計時間		() 時間		
管理者の職種 (資格)	1. 医師 5. 作業療法士 9. その他()	2. 看護師 6. 言語聴覚士 10. 特になし	3. 准看護師 7. 介護福祉士	4. 理学療法士 8. 社会福祉士		
貴事業所内で、看護師・准看護師が他にしている(兼務している)		1. 管理者 ()人 3. 計画作成担当者 ()人 5. 兼務なし ()人	2. 生活相談員 ()人 4. 機能訓練指導員 ()人			
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか				1. ある 2. ない		

¹ 常勤換算数の計算方法：小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕

(4) 看護職員について						
① 看護職員の勤務している時間帯(時間帯の半分以上を勤務している場合)に○をつけてください。 ※10月2日の状況 ※看護職員の勤務体制が通常と異なる場合は、他の任意の日について記入してください。		10月2日6時～10月3日6時までの勤務状況				
		6:00～ 8:59	9:00～ 16:59	17:00～ 19:59	20:00～ 21:59	22:00～ 5:59
② 看護職員の夜間の対応	1. 必ず夜勤の看護職員がいる 2. 必ず宿直の看護職員がいる 3. ローテーションにより看護職員がいる時間とない時間がある 4. 通常、看護職員は勤務しないが、状態に応じて勤務することがある 5. オンコールで対応する 6. 特に対応していない 7. その他()					
(5) 利用者の状況						
① 利用者の医療的ケアの状況： 9月29日から10月5日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。						
項目	実人数	項目	実人数			
1. インスリン注射	() 人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)	() 人			
2. 中心静脈栄養の管理	() 人	14. 喀痰吸引	() 人			
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	() 人	15. ネブライザー	() 人			
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	() 人	16. 創傷処置	() 人			
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	() 人	17. 服薬管理	() 人			
6. 酸素療法	() 人	18. 導尿	() 人			
7. レスピレーター(人工呼吸器)の管理	() 人	19. 洗腸	() 人			
8. 気管切開のケア	() 人	20. 排便	() 人			
9. 疼痛の看護	() 人	21. 簡易血糖測定	() 人			
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	() 人	22. 看取り期のケア	() 人			
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	() 人	23. その他				
12. じょくそうの処置	() 人	処置名()	() 人			
② 医療機関から往診を受けた利用者数(※往診の定義は実施要領を参照のこと)		実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績				
受診した科の内訳(複数可)		1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()				
③ 医療機関から訪問診療を受けた利用者数(※訪問診療の定義は実施要領を参照のこと)		実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績				
受診した科の内訳(複数可)		1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()				

④ 医療機関を受診(通院)した利用者数	実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績
受診した科の内訳(複数可)	1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()
⑤ 医療機関へ入院した利用者数	※2013年9月1日～9月30日実績 計 () 人 a. 予定入院(手術、治療目的の入院) () 人 b. 緊急入院 () 人 c. ターミナルを前提とした入院 () 人
⑥ 施設内で死亡した(看取った)者の人数	() 人 ※2012年10月～2013年9月の状況
(6) 利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査

【事業所票】【通所介護】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**通所介護**の調査票です。貴事業所の看護職員または介護職員の方が必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、タイムスタディ調査時に調査員にお渡しください。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局

電話 : 0120-406-186 (平日9時30分～17時30分)

●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●

FAX : 03-5157-2143 (24時間受付)

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話 :	FAX :	

【2013年10月1日時点】

(1) 基本情報									
①所在地	()都・道・府・県								
②開設主体	1. 公立 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. 社団・財団法人 5. 営利法人 6. その他()								
③開設年月	西暦()年()月								
④併設または隣接している医療機関等(複数可)	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護(部門またはステーション) 5. 介護老人保健施設 6. 併設していない								
⑤利用者数	2013年9月の実績								
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
実人数	人	人	人	人	人	人	人	人	
延べ人数	人	人	人	人	人	人	人	人	
⑥認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数 2013年9月の実績	自立	I	II	III	IV	M			
	人	人	人	人	人	人	人		
⑦事業所規模区分	1. 小規模型事業所 2. 通常規模型事業所 3. 大規模型事業所(I) 4. 大規模型事業所(II)								
(2) 加算の算定状況 2013年9月実績									
加算の状況	①入浴介助加算			1. 算定あり 2. 算定なし					
	②個別機能訓練加算			1. (I) 2. (II) 3. 算定なし					
	③若年性認知症利用者受入加算			1. 算定あり 2. 算定なし					
	④運動器機能向上加算			1. 算定あり 2. 算定なし					
	⑤栄養改善加算			1. 算定あり 2. 算定なし					
	⑥口腔機能向上加算			1. 算定あり 2. 算定なし					
	⑦生活機能向上グループ活動加算			1. 算定あり 2. 算定なし					
	⑧選択的サービス複数実施加算			1. (I) 2. (II) 3. 算定なし					
	⑨同一建物減算			1. あり 2. なし					

⑩サービス提供体制強化加算		1. (I) 2. (II) 3. (III) 4. 算定なし			
⑪事業所評価加算		1. 算定あり 2. 算定なし			
(3) 職員体制 ※通所介護に従事する職員(兼務も含む) ※兼務者は常勤換算の上、通所介護の換算人員を計上してください。					
全職員数(実人数)		常勤	()人	非常勤	()人
職員数内訳(当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください)					
	実人数	常勤換算 ¹		実人数	常勤換算
	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤
看護師	人	人	人	ST	人
准看護師	人	人	人	生活相談員	人
介護職員	人	人	人	管理栄養士・栄養士	人
PT	人	人	人	その他	人
OT	人	人	人		
管理者の職種(資格)	1. 医師 2. 看護師 3. 准看護師 4. 理学療法士 5. 作業療法士 6. 言語聴覚士 7. 介護福祉士 8. 社会福祉士 9. その他() 10. 特になし				
貴事業所内で、看護師・准看護師が他に行っている(兼務している)職務(実人数)	1. 管理者 ()人 2. 生活相談員 ()人 3. 機能訓練指導員 ()人 4. 兼務なし ()人				
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか				1. ある 2. ない	
(4) 利用者の状況					
① 利用者の医療的ケアの状況 : 9月29日から10月5日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。					
項目		実人数	項目		実人数
1. インスリン注射		()人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)		()人
2. 中心静脈栄養の管理		()人	14. 喀痰吸引		()人
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)		()人	15. ネブライザー		()人
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理		()人	16. 創傷処置		()人
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理		()人	17. 服薬管理		()人
6. 酸素療法		()人	18. 導尿		()人
7. レスビレーター(人工呼吸器)の管理		()人	19. 洗腸		()人
8. 気管切開のケア		()人	20. 排便		()人
9. 疼痛の看護		()人	21. 簡易血糖測定		()人
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)		()人	22. 看取り期のケア		()人
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)		()人	23. その他		
12. じょくそうの処置		()人	処置名()		()人
(5) 利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等					

■■■ご協力ありがとうございました■■■

¹ 常勤換算数の計算方法: 小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

〔換算数〕=〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
【事業所票】【認知症対応型通所介護】

■記入にあたってのご注意

- ・この調査票は、認知症対応型通所介護の調査票です。貴事業所の看護職員または介護職員の方が必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- ・特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・記入の終わった調査票は、タイムスタディ調査時に調査員にお渡しください。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
電話：0120-406-186（平日9時30分～17時30分）
●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
FAX：03-5157-2143（24時間受付）
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

【2013年10月1日時点】

（１）基本情報								
①所在地	()都・道・府・県							
②開設主体	1. 公立 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. 社団・財団法人 5. 営利法人 6. その他()							
③開設年月	西暦()年()月							
④併設または隣接している医療機関等（複数可）	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護（部門またはステーション） 5. 介護老人保健施設 6. 併設していない							
⑤利用者数 2013年9月の実績								
1) 要介護度別利用者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
実人数	人	人	人	人	人	人	人	
延べ人数	人	人	人	人	人	人	人	
2) 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数 2013年9月の実績	自立	I	II	III	IV	M		
	人	人	人	人	人	人		
3) 障害高齢者の日常生活自立度別の利用者実人数 2013年9月の実績	自立	J	A	B	C			
	人	人	人	人	人			
（2）加算の算定状況 2013年9月実績								
加算の状況	① 個別機能訓練加算	(I)	1. 算定あり	2. 算定なし				
		(II)	1. 算定あり	2. 算定なし				
	②入浴介助の実施		1. 算定あり	2. 算定なし				
	③若年性認知症利用者受入加算		1. 算定あり	2. 算定なし				
	④栄養改善加算		1. 算定あり	2. 算定なし				
	⑤口腔機能向上加算		1. 算定あり	2. 算定なし				
	⑥同一建物減算		1. あり	2. なし				
	⑦サービス提供体制強化加算		1. (I) 2. (II) 3. 算定なし					

（3）職員体制 ※認知症対応型通所介護に従事する職員（兼務も含む） ※兼務者は常勤換算の上、認知症対応型通所介護の換算人員を計上してください。							
全職員数（実人数）	常勤	()人	非常勤	()人			
職員数内訳（当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください）							
	実人数		常勤換算 ¹ 合計		実人数		常勤換算 合計
	常勤	非常勤			常勤	非常勤	
看護師	人	人	人	ST	人	人	人
准看護師	人	人	人	生活相談員	人	人	人
介護職員	人	人	人	管理栄養士・ 栄養士	人	人	人
PT	人	人	人	その他	人	人	人
OT	人	人	人				
管理者の職種（資格）	1. 医師 2. 看護師 3. 准看護師 4. 理学療法士 5. 作業療法士 6. 言語聴覚士 7. 介護福祉士 8. 社会福祉士 9. その他() 10. 特になし						
貴事業所内で、看護師・准看護師が他に行っている（兼務している）職務（実人数）	1. 管理者 ()人 2. 生活相談員 ()人 3. 機能訓練指導員 ()人 4. 兼務なし ()人						
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか					1. ある 2. ない		
（4）利用者の状況							
① 利用者の医療的ケアの状況： 9月29日から10月5日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。							
項目		実人数		項目		実人数	
1. インスリン注射		()人		13. カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル等）		()人	
2. 中心静脈栄養の管理		()人		14. 喀痰吸引		()人	
3. 注射・点滴の管理（1及び2以外）		()人		15. ネブライザー		()人	
4. 透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理		()人		16. 創傷処置		()人	
5. ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理		()人		17. 服薬管理		()人	
6. 酸素療法		()人		18. 導尿		()人	
7. レスピレーター（人工呼吸器）の管理		()人		19. 浣腸		()人	
8. 気管切開のケア		()人		20. 排便		()人	
9. 疼痛の看護		()人		21. 簡易血糖測定		()人	
10. 経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）		()人		22. 看取り期のケア		()人	
11. モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）		()人		23. その他			
12. じょくそうの処置		()人		処置名()		()人	
（5）利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等							

■■■ご協力ありがとうございました■■■

¹ 常勤換算数の計算方法：小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
【事業所票】【訪問入浴介護】

■記入にあたってのご注意

- ・この調査票は、訪問入浴介護の調査票です。貴事業所の看護職員または介護職員の方が必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- ・特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
電話：0120-406-186（平日9時30分～17時30分）
●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
FAX：03-5157-2143（24時間受付）
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

【2013年10月1日時点】

（1）基本情報							
①所在地	（ ）都・道・府・県						
②開設主体	1. 公立 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. 社団・財団法人 5. 営利法人 6. その他（ ）						
③開設年月	西暦（ ）年（ ）月						
④利用者数	（ ）人						
⑤併設または隣接している医療機関等（複数可）	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護（部門またはステーション） 5. 介護老人保健施設 6. 併設していない						
⑥要介護度別利用者実人数 2013年9月の実績							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実人数	人	人	人	人	人	人	人
延べ回数	回	回	回	回	回	回	回
⑦認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者実人数 2013年9月の実績	自立	I	II	III	IV	M	
	人	人	人	人	人	人	
⑧障害高齢者の日常生活自立度別の利用者実人数 2013年9月の実績	自立	J	A	B	C		
	人	人	人	人	人		
（2）加算等の算定状況 2013年9月実績							
①サービス提供体制強化加算	1. 算定あり 2. 算定なし						
②同一建物減算	1. あり 2. なし						

（3）職員体制						
全職員数(実人数)	常勤	()人	非常勤	()人		
職員数内訳(当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください)						
	実人数	常勤換算 ¹		実人数	常勤換算	
	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
看護師	人	人	人	OT	人	人
准看護師	人	人	人	ST	人	人
介護職員	人	人	人	管理栄養士・ 栄養士	人	人
PT	人	人	人	その他	人	人
管理者の職 種(資格)	1. 医師 5. 作業療法士 9. その他()	2. 看護師 6. 言語聴覚士 ()	3. 准看護師 7. 介護福祉士 10. 特になし	4. 理学療法士 8. 社会福祉士		
貴事業所内で、看護師・准看護師が他に行っている(兼務している)職務(実人数)	1. 管理者 ()人			2. 兼務なし ()人		
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか	1. ある			2. ない		
（4）利用者の状況						
① 利用者の医療的ケアの状況： 9月29日から10月5日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。						
項目	実人数	項目	実人数			
1. インスリン注射	()人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)	()人			
2. 中心静脈栄養の管理	()人	14. 喀痰吸引	()人			
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	()人	15. ネブライザー	()人			
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	()人	16. 創傷処置	()人			
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	()人	17. 服薬管理	()人			
6. 酸素療法	()人	18. 導尿	()人			
7. レスピレーター(人工呼吸器)の管理	()人	19. 浣腸	()人			
8. 気管切開のケア	()人	20. 摘便	()人			
9. 疼痛の看護	()人	21. 簡易血糖測定	()人			
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	()人	22. 看取り期のケア	()人			
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	()人	23. その他				
12. じょくそうの処置	()人	処置名()	()人			
（5）利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等						

■■■ご協力ありがとうございました■■■

¹ 常勤換算数の計算方法：小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査 【事業所票】【小規模多機能型居宅介護】

■記入にあたってのご注意

- この調査票は小規模多機能型居宅介護の調査票です。貴事業所の看護職員または介護職員の方が必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- 特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- 記入の終わった調査票は、タイムスタディ調査時に調査員にお渡しく下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
電話 : 0120-406-186 (平日9時30分～17時30分)
●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
FAX : 03-5157-2143 (24時間受付)
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話 :	FAX :	

【2013年10月1日時点】

(1) 基本情報							
①所在地	()都・道・府・県						
②開設主体	1. 社会福祉法人 2. 医療法人 3. 営利法人 4. NPO法人 5. その他()						
③開設年月	西暦 ()年 ()月						
④登録者数	()人						
⑤定員数	()人						
⑥要介護度別登録者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	人	人	人	人	人	人	人
⑦認知症高齢者の日常生活自立度別の登録者数	自立	I	II	III	IV	M	
	人	人	人	人	人	人	人
⑦障害高齢者の日常生活自立度別の登録者数	自立	J	A	B	C		
	人	人	人	人	人	人	人
⑧利用者数 2013年9月の実績							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実人数	人	人	人	人	人	人	人
延べ人数	人	人	人	人	人	人	人
⑧併設または隣接している医療機関等(複数可)	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護(部門またはステーション) 5. 介護老人保健施設 6. 併設していない						

(2) 加算の算定状況 2013年9月実績						
加算の状況	①看護職員配置加算	1. 算定あり 2. 算定なし				
	②認知症加算	1. 算定あり 2. 算定なし				
	③同一建物減算	1. あり 2. なし				
	④サービス提供体制強化加算	1. (I) 2. (II) 3. (III) 4. 算定なし				
(3) 職員体制						
全職員数(実人数)		常勤	()人	非常勤	()人	
職員数内訳(当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください)						
	実人数	常勤換算 ¹		実人数	常勤換算	
	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
看護師	人	人	人	ST	人	人
准看護師	人	人	人	管理栄養士・ 栄養士	人	人
介護職員	人	人	人	介護支援専門 員	人	人
PT	人	人	人	その他	人	人
OT	人	人	人			
管理者の職種 (資格)	1. 医師 2. 看護師 3. 准看護師 4. 理学療法士 5. 作業療法士 6. 言語聴覚士 7. 介護福祉士 8. 社会福祉士 9. その他() 10. 特になし					
貴事業所内で、看護師・准看護師 が他に任されている(兼務している) 職務(実人数)	1. 管理者 ()人 2. 介護支援専門員 ()人 3. 兼務なし ()人					
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか				1. ある 2. ない		
(4) 看護職員について						
①看護職員の勤務している時間帯(時間帯の半分以上を勤務している場合)に○をつけてください。 ※10月2日の状況 ※看護職員の勤務体制が通常と異なる場合は、他の任意の日について記入してください。		10月2日6時～10月3日6時までの勤務状況				
		6:00～ 8:59	9:00～ 16:59	17:00～ 19:59	20:00～ 21:59	22:00～ 5:59
②看護職員の夜間の対応		1. 必ず夜勤の看護職員がいる 2. 必ず宿直の看護職員がいる 3. ローテーションにより看護職員がいる時間とない時間がある 4. 通常、看護職員は勤務しないが、状態に応じて勤務することがある 5. オンコールで対応する 6. 特に対応していない 7. その他()				

¹ 常勤換算数の計算方法: 小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

〔換算数〕=〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕

(5) 利用者の状況			
① 利用者の医療的ケアの状況： 9月29日から10月5日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。			
項目	実人数	項目	実人数
1. インスリン注射	() 人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)	() 人
2. 中心静脈栄養の管理	() 人	14. 喀痰吸引	() 人
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	() 人	15. ネブライザー	() 人
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	() 人	16. 創傷処置	() 人
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	() 人	17. 服薬管理	() 人
6. 酸素療法	() 人	18. 導尿	() 人
7. レスピレーター(人工呼吸器)の管理	() 人	19. 浣腸	() 人
8. 気管切開のケア	() 人	20. 排便	() 人
9. 疼痛の看護	() 人	21. 簡易血糖測定	() 人
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	() 人	22. 看取り期のケア	() 人
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	() 人	23. その他	
12. じょくそうの処置	() 人	処置名 ()	() 人
② 医療機関から往診を受けた利用者数(※往診の定義は実施要領を参照のこと)		実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績	
受診した科の内訳(複数可)		1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()	
③ 医療機関から訪問診療を受けた利用者数(※訪問診療の定義は実施要領を参照のこと)		実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績	
受診した科の内訳(複数可)		1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()	
④ 医療機関を受診(通院)した利用者数		実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績	
受診した科の内訳(複数可)		1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()	

⑤ 医療機関へ入院した利用者数	※2013年9月1日～9月30日実績	計 () 人
	a. 予定入院(手術、治療目的の入院)	() 人
	b. 緊急入院	() 人
	c. ターミナルを前提とした入院	() 人
⑥ 訪問リハを利用した利用者数	実人数 計 () 人	※2013年9月1日～9月30日実績
⑦ 事業所内で死亡した(看取った)者の人数	() 人 ※2012年10月～2013年9月の状況	
(6) 利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等		

■■■ご協力ありがとうございました■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
【事業所票】【短期入所生活介護（単独型）】

■記入にあたってのご注意

- ・この調査票は、**短期入所生活介護(単独型)**の調査票です。**貴事業所の看護職員または介護職員の方が**必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- ・特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・記入の終わった調査票は、タイムスタディ調査時に調査員にお渡しください。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
電話：0120-406-186（平日9時30分～17時30分）
●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
FAX：03-5157-2143（24時間受付）
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

【2013年10月1日時点】

（1）基本情報								
① 所在地	（ ）都・道・府・県							
② 開設主体	1. 公立 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. 社団・財団法人 5. 営利法人 6. その他（ ）							
③ 開設年月	西暦（ ）年（ ）月							
④ 定員数	（ ）人							
⑤ 利用者数	（ ）人							
⑥ 要介護度別利用者実人数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	人	人	人	人	人	人	人	
⑦ 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者実人数	自立	I	II	III	IV	M		
	人	人	人	人	人	人	人	
⑧ 利用者数 2013年9月の実績								
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
実人数	人	人	人	人	人	人	人	
延べ人数	人	人	人	人	人	人	人	
⑨ 併設または隣接している医療機関等（複数可）	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護（部門またはステーション） 5. 老人保健施設 6. 併設していない							
⑩ 事業所区分	1. 単独型短期入所生活介護（Ⅰ） 2. 単独型短期入所生活介護（Ⅱ） 3. ユニット型短期入所生活介護（Ⅰ） 4. ユニット型短期入所生活介護（Ⅱ）							

（2）加算の算定状況 2013年9月実績						
加算の状況	① 看護体制加算	（Ⅰ）	1. 算定あり	2. 算定なし		
		（Ⅱ）	1. 算定あり	2. 算定なし		
	② 夜勤職員配置加算	（Ⅰ）	1. 算定あり	2. 算定なし		
		（Ⅱ）	1. 算定あり	2. 算定なし		
	③ 専任の機能訓練指導員の配置		1. 算定あり	2. 算定なし		
	④ 認知症行動・心理症状緊急対応加算		1. 算定あり	2. 算定なし		
	⑤ 若年性認知症利用者受入加算		1. 算定あり	2. 算定なし		
	⑥ 送迎加算		1. 算定あり	2. 算定なし		
	⑦ 療養食加算		1. 算定あり	2. 算定なし		
	⑧ 緊急短期入所体制確保加算		1. 算定あり	2. 算定なし		
	⑨ 緊急短期入所受入加算		1. 算定あり	2. 算定なし		
	⑩ 在宅中重度者受入加算		1. 算定あり	2. 算定なし		
⑪ サービス提供体制強化加算		1. （Ⅰ） 2. （Ⅱ） 3. （Ⅲ） 4. 算定なし				
⑫ 機能訓練指導員加算（予防）		1. 算定あり	2. 算定なし			
（3）職員体制						
全職員数（実人数）		常勤	（ ）人	非常勤	（ ）人	
職員数内訳（当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください）						
	実人数		常勤換算 ¹		実人数	
	常勤	非常勤	合計		常勤	非常勤
看護師	人	人	人	ST	人	人
准看護師	人	人	人	生活相談員	人	人
介護職員	人	人	人	管理栄養士・栄養士	人	人
PT	人	人	人	介護支援専門員	人	人
OT	人	人	人	その他	人	人
医師の勤務状況		週あたりの勤務日数		（ ） 日		
		週あたりの勤務合計時間		（ ） 時間		
管理者の職種（資格）	1. 医師 2. 看護師 3. 准看護師 4. 理学療法士 5. 作業療法士 6. 言語聴覚士 7. 介護福祉士 8. 社会福祉士 9. その他（ ） 10. 特になし					
貴事業所内で、看護師・准看護師が行っている（兼務している）職務（実人数）		1. 管理者（ ）人 2. 生活相談員（ ）人 3. 介護支援専門員（ ）人 4. 機能訓練指導員（ ）人 5. 兼務なし（ ）人				
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか				1. ある 2. ない		
（4）看護職員について						
① 看護職員の勤務している時間帯（時間帯の半分以上を勤務している場合）に○をつけてください。 ※10月2日の状況 ※看護職員の勤務体制が通常と異なる場合は、他の任意の日について記入してください。		10月2日6時～10月3日6時までの勤務状況				
		6:00～8:59	9:00～16:59	17:00～19:59	20:00～21:59	22:00～5:59

¹ 常勤換算数の計算方法：小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

【換算数】＝[職員の1週間の勤務時間]÷[施設が定めている1週間の勤務時間]

②看護職員の夜間の対応	1. 必ず夜勤の看護職員がいる 2. 必ず宿直の看護職員がいる 3. ローテーションにより看護職員がいる時間とない時間がある 4. 通常、看護職員は勤務しないが、状態に応じて勤務することがある 5. オンコールで対応する 6. 特に対応していない 7. その他()

(5)利用者の状況

① 利用者の医療的ケアの状況： **9月29日から10月5日の1週間**に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。

項目	実人数	項目	実人数
1. インスリン注射	() 人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)	() 人
2. 中心静脈栄養の管理	() 人	14. 喀痰吸引	() 人
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	() 人	15. ネブライザー	() 人
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	() 人	16. 創傷処置	() 人
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	() 人	17. 服薬管理	() 人
6. 酸素療法	() 人	18. 導尿	() 人
7. レスピレーター(人工呼吸器)の管理	() 人	19. 浣腸	() 人
8. 気管切開のケア	() 人	20. 排便	() 人
9. 疼痛の看護	() 人	21. 簡易血糖測定	() 人
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	() 人	22. 看取り期のケア	() 人
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	() 人	23. その他	
12. じょくそうの処置	() 人	処置名 ()	() 人

② 医療機関から往診を受けた利用者数(※往診の定義は実施要領を参照のこと)

実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績

受診した科の内訳
(複数可)

1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科
5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科
9. その他 ()

③ 医療機関を受診(通院)した利用者数

実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績

受診した科の内訳
(複数可)

1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科
5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科
9. その他 ()

④ 医療機関へ入院した利用者数

※2013年9月1日～9月30日実績 計 () 人

a. 予定入院(手術、治療目的の入院) () 人

b. 緊急入院 () 人

c. ターミナルを前提とした入院 () 人

⑤ 事業所内で死亡した(看取った)者の人数

() 人 ※2012年10月～2013年9月の状況

(6)利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
【事業所票】【認知症対応型共同生活介護】

■記入にあたってのご注意

- この調査票は、**認知症対応型共同生活介護**の調査票です。**貴事業所の看護職員または介護職員の方が**必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- 特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ()の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- 記入の終わった調査票は、タイムスタディ調査時に調査員にお渡しください。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
電話：0120-406-186 (平日9時30分～17時30分)
●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
FAX: 03-5157-2143 (24時間受付)
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

【2013年10月1日時点】

（１）基本情報						
①所在地	()都・道・府・県					
②開設主体	1. 公立 5. NPO	2. 社会福祉法人 6. その他()	3. 医療法人	4. 営利法人		
③開設年月	西暦 ()年 ()月					
④定員数	ユニット数 ()ユニット 定員 ()人					
⑤利用者数	()人					
⑥要介護度別利用者数	要支援2 人	要介護1 人	要介護2 人	要介護3 人	要介護4 人	要介護5 人
⑦認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数	自立 人	I 人	II 人	III 人	IV 人	M 人
⑧障害高齢者の日常生活自立度別利用者実人数(ショート利用者は除く)	自立 人	J 人	A 人	B 人	C 人	
⑨併設または隣接している医療機関等(複数可)	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護(部門またはステーション) 5. 介護老人保健施設 6. 併設していない					

(2)加算の算定状況 2013年9月実績

加算の状況	①夜間ケア加算	(I)	1. 算定あり	2. 算定なし
		(II)	1. 算定あり	2. 算定なし
	②医療連携体制加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	③認知症専門ケア加算	(I)	1. 算定あり	2. 算定なし
		(II)	1. 算定あり	2. 算定なし
	④若年性認知症利用者受入加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	⑤看取り介護加算		1. 算定あり	2. 算定なし
	⑥認知症行動・心理症状緊急対応加算		1. 算定あり	2. 算定なし
⑦サービス提供体制強化加算		1. (I) 2. (II) 3. (III) 4. 算定なし		

(3)職員体制

全職員数(実人数)			常勤	()人	非常勤	()人	
職員数内訳(当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください)							
	実人数		常勤換算 ¹		実人数		常勤換算
	常勤	非常勤	合計		常勤	非常勤	合計
看護師	人	人	人	ST	人	人	人
准看護師	人	人	人	管理栄養士・ 栄養士	人	人	人
介護職員	人	人	人	計画作成担当者	人	人	人
PT	人	人	人	その他	人	人	人
OT	人	人	人				
医師の勤務状況		週あたりの勤務日数		() 日			
		週あたりの勤務合計時間		() 時間			
管理者の職種 (資格)	1. 医師 5. 作業療法士 9. その他 ()		2. 看護師 6. 言語聴覚士 10. 特になし		3. 准看護師 7. 介護福祉士 10. 特になし		
貴事業所内で、看護師・准看護師が他に行っている(兼務している)職務(実人数)			1. 管理者 ()人 3. 兼務なし ()人		2. 計画作成担当者 ()人		
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか				1. ある			2. ない

¹ 常勤換算数の計算方法:小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕

(4) 看護職員について						
① 看護職員の勤務している時間帯(時間帯の半分以上を勤務している場合)に○をつけてください。 ※10月2日の状況 ※看護職員の勤務体制が通常と異なる場合は、他の任意の日について記入してください。		10月2日6時～10月3日6時までの勤務状況				
		6:00～ 8:59	9:00～ 16:59	17:00～ 19:59	20:00～ 21:59	22:00～ 5:59
② 看護職員の夜間の対応	1. 必ず夜勤の看護職員がいる 2. 必ず宿直の看護職員がいる 3. ローテーションにより看護職員がいる時間とない時間がある 4. 通常、看護職員は勤務しないが、状態に応じて勤務することがある 5. オンコールで対応する 6. 連携先の訪問看護ステーションに連絡し、対応してもらう。 7. 特に対応していない 8. その他()					
(5) 利用者の状況						
① 利用者の医療的ケアの状況： 9月29日から10月5日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。						
項目	実人数	項目	実人数			
1. インスリン注射	() 人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)	() 人			
2. 中心静脈栄養の管理	() 人	14. 喀痰吸引	() 人			
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	() 人	15. ネブライザー	() 人			
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	() 人	16. 創傷処置	() 人			
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	() 人	17. 服薬管理	() 人			
6. 酸素療法	() 人	18. 導尿	() 人			
7. レスピレーター(人工呼吸器)の管理	() 人	19. 洗腸	() 人			
8. 気管切開のケア	() 人	20. 排便	() 人			
9. 疼痛の看護	() 人	21. 簡易血糖測定	() 人			
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	() 人	22. 看取り期のケア	() 人			
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	() 人	23. その他				
12. じょくそうの処置	() 人	処置名()	() 人			
② 医療機関から往診を受けた利用者数(※往診の定義は実施要領を参照のこと)		実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績				
受診した科の内訳(複数可)		1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()				

③ 医療機関から訪問診療を受けた利用者数(※訪問診療の定義は実施要領を参照のこと)	実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績
受診した科の内訳(複数可)	1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()
④ 医療機関を受診(通院)した利用者数	実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績
受診した科の内訳(複数可)	1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()
⑤ 医療機関へ入院した利用者数	※2013年9月1日～9月30日実績 計 () 人 a. 予定入院(手術、治療目的の入院) () 人 b. 緊急入院 () 人 c. ターミナルを前提とした入院 () 人
⑥ 事業所内で死亡した(看取った)者の人数	() 人 ※2012年10月～2013年9月の状況
(6) 利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査 【事業所票】【複合型サービス】

■記入にあたってのご注意

- ・この調査票は複合型サービスに関する調査票です。貴事業所の看護職員または介護職員の方が必要に応じ事務職員とも相談の上、ご記入下さい。
- ・特に指定の無い限り、**2013年10月1日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・記入の終わった調査票は、タイムスタディ調査時に調査員にお渡しください。

■調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査」事務局
 電話：0120-406-186（平日9時30分～17時30分）
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX：03-5157-2143（24時間受付）
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
 三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ内

事業所名		ご記入者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

【2013年10月1日時点】

（１）基本情報							
①所在地	()都・道・府・県						
②開設主体	1. 社会福祉法人 2. 医療法人 3. 営利法人 4. NPO法人 5. その他()						
③開設年月	西暦 ()年 ()月						
④登録者数	()人						
⑤定員数	()人						
⑥要介護度別登録者数	要支援1 人	要支援2 人	要介護1 人	要介護2 人	要介護3 人	要介護4 人	要介護5 人
⑦認知症高齢者の日常生活自立度別の登録者数	自立 人	I 人	II 人	III 人	IV 人	M 人	
⑧障害高齢者の日常生活自立度別の登録者数	自立 人	J 人	A 人	B 人	C 人		
⑨利用者数 2013年9月の実績							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実人数	人	人	人	人	人	人	人
延べ人数	人	人	人	人	人	人	人

⑩併設または隣接している医療機関等（複数可）	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 訪問看護（部門またはステーション） 5. 介護老人保健施設 6. 併設していない
⑪主たるサービス	1. 小規模多機能型が中心 2. 訪問看護が中心

（2）加算の算定状況 2013年9月実績			
加算の状況	①緊急時訪問看護加算	1. 算定あり	2. 算定なし
	②認知症加算	1. 算定あり	2. 算定なし
	③特別管理加算	1. 算定あり	2. 算定なし
	④退院時共同指導加算	1. 算定あり	2. 算定なし
	⑤ターミナルケア加算	1. 算定あり	2. 算定なし
	⑥サービス提供体制強化加算	1. (Ⅰ)	2. (Ⅱ) 3. (Ⅲ) 4. 算定なし

(3)職員体制							
全職員数(実人数)		常勤		()人	非常勤		()人
職員数内訳(当該業務を「主として」実施している方の人数を記入し、重複計上はしないでください)							
	実人数		常勤換算 ¹		実人数		常勤換算
	常勤	非常勤	合計		常勤	非常勤	合計
看護師	人	人	人	ST	人	人	人
准看護師	人	人	人	管理栄養士・ 栄養士	人	人	人
介護職員	人	人	人	介護支援専門 員	人	人	人
PT	人	人	人	その他	人	人	人
OT	人	人	人				
管理者の職種 (資格)	1. 医師 5. 作業療法士 9. その他()	2. 看護師 6. 言語聴覚士 ()	3. 准看護師 7. 介護福祉士 10. 特になし	4. 理学療法士 8. 社会福祉士			
貴事業所内で、看護師・准看護師が 他に行っている(兼務している)職務 (実人数)			1. 管理者 ()人 3. 兼務なし ()人				2. 介護支援専門員 ()人
医療的な判断が困難な場合や、事業所内の医療資源で対応困難な場合、連絡が取りやすい医師・医療機関はありますか					1. ある		2. ない

（4）看護職員について					
①看護職員の勤務している時間帯(時間帯の半分以上を勤務している場合)に○をつけてください。 ※10月2日の状況 ※看護職員の勤務体制が通常と異なる場合は、他の任意の日について記入してください。	10月2日6時～10月3日6時までの勤務状況				
	6:00～ 8:59	9:00～ 16:59	17:00～ 19:59	20:00～ 21:59	22:00～ 5:59
②看護職員の夜間の対応	1. 必ず夜勤の看護職員がいる 2. 必ず宿直の看護職員がいる 3. ローテーションにより看護職員がいる時間とない時間がある 4. 通常、看護職員は勤務しないが、状態に応じて勤務することがある 5. オンコールで対応する 6. 特に対応していない 7. その他()				

¹ 常勤換算数の計算方法: 小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上して下さい。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上して下さい。

〔換算数〕=〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕

(5) 利用者の状況

① 利用者の医療的ケアの状況： 9月29日から10月5日の1週間に利用していた方のうち、以下の医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。

項目	実人数	項目	実人数
1. インスリン注射	() 人	13. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)	() 人
2. 中心静脈栄養の管理	() 人	14. 喀痰吸引	() 人
3. 注射・点滴の管理(1及び2以外)	() 人	15. ネブライザー	() 人
4. 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	() 人	16. 創傷処置	() 人
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	() 人	17. 服薬管理	() 人
6. 酸素療法	() 人	18. 導尿	() 人
7. レスビレーター(人工呼吸器)の管理	() 人	19. 洗腸	() 人
8. 気管切開のケア	() 人	20. 排便	() 人
9. 疼痛の看護	() 人	21. 簡易血糖測定	() 人
10. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	() 人	22. 看取り期のケア	() 人
11. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	() 人	23. その他	
12. じょくそうの処置	() 人	処置名 ()	() 人

② 医療機関から往診を受けた利用者数(※往診の定義は実施要領を参照のこと)

受診した科の内訳 (複数可)	1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()

③ 医療機関から訪問診療を受けた利用者数(※訪問診療の定義は実施要領を参照のこと)

受診した科の内訳 (複数可)	1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()

④ 医療機関を受診(通院)した利用者数

受診した科の内訳 (複数可)	1. 内科 2. 泌尿器科 3. 精神科 4. 整形外科 5. 眼科 6. 皮膚科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. その他 ()

⑤ 医療機関へ入院した利用者数

※2013年9月1日～9月30日実績	計 () 人
a. 予定入院(手術、治療目的の入院)	() 人
b. 緊急入院	() 人
c. ターミナルを前提とした入院	() 人

⑥ 訪問リハを利用した利用者数

実人数 計 () 人 ※2013年9月1日～9月30日実績

⑦ 事業所内で死亡した(看取った)者の人数

() 人
※2012年10月～2013年9月の状況

(6) 利用者への医療職の関与度合いについての課題・工夫・要望等

■■■ご協力ありがとうございました■■■

介護老人福祉施設

看護職員票

業務開始時間 (A)	:	分
業務終了時間 (B)	:	
業務時間 (B-A)	:	

7:00 7:15 7:30 7:45 8:00 8:15 8:30 8:45 9:00 9:15 9:30 9:45 10:00

[illegible]

	1	2	3
1, 2, 3の各々の数			
/の数	1	2	3

[illegible]

特定施設入居者生活介

看護職員票

記入日：2013年 月 日

該当するものにそれぞれ○、実数を記入

職種:1.看護師 ・ 2.准看護師

※機能訓練指導員としての配置職員は対象外

年齡: 1.20代・2.30代・3.40代・4.50代・5.60代以上

経験年数:医療分野(年) 介護分野(年)

勤務状況:1.常勤 ・ 2.非常勤

労働時間(週 時間)

1.専従 ・ 2.兼務

本サービスでの勤務時間(週 時間)

業務開始時間(A)	:	分
業務終了時間(B)	:	
業務時間 (B-A)	:	

			7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	1. 2. 3の各々の数			
																/の数			
			1	2	3												1	2	3
1	準備	介護職員からの申し送り、ミーティング																	
2	健康管理	バイタル確認																	
3		その他()★																	
4		医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案																	
5		診察の準備、介助、後片付け																	
6		吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導																	
7		胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導																	
8		静脈内注射の準備、実施、後片付け																	
9	診療の補助	点滴の調整、確認、抜去																	
10		褥瘡予防のケア																	
11		褥瘡処置の準備、実施、後片付け																	
12		留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け																	
13		外部医療機関への受診同行																	
14		その他()																	
15		移動の介助	居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★																
16	居室、リビング等での見守り	日常会話、声掛け★																	
17		居室の見回り、リビング等での見守り★																	
18		その他()★																	
19	食事	配膳の準備★																	
20		食事、おやつ、水分摂取の介助★																	
21		食事、おやつ、水分摂取の見守り★																	
22		咀嚼、嚥下機能の観察★																	
23		食事摂取量・水分摂取量の観察★																	
24		下膳★																	
25		その他()★																	
26	排泄ケア	トイレへの誘導、居室等への誘導★																	
27		トイレへの移乗・移動★																	
28		排泄時の脱衣、着衣の介助★																	
29		排泄時の見守り★																	
30		腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★																	
31		排泄物・排泄量の確認★																	
32		おむつ交換★																	
33	入浴	排便の準備、実施、観察、後片付け																	
34		浣腸の準備、実施、観察、後片付け																	
35		人工肛門等の対応★																	
36		その他()★																	
37	入浴	バイタル確認																	
38		浴場への誘導★																	
39		脱衣、着衣の介助★																	
40		洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★																	
41		洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)★																	
42		整髪介助★																	
43		機械浴の介助★																	
44		浴場と居室との間の移動の介助、誘導★																	
45		その他()★																	
			7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	1. 2. 3の各々の数			
																/の数			
			1	2	3												1	2	3
46	服薬	薬品庫、常備薬、保冷库の確認、薬品発注																	
47		処方箋と処方薬との照合、処方の確認																	
48		薬の区分け・与薬の準備、後片付け																	
49		薬を利用者に配布																	
50		服薬介助(経口)																	
51		服薬介助(塗布薬、貼布薬)																	
52		服薬介助(点眼、点鼻薬)																	
53	服薬介助(座薬)																		
54	服薬介助(注射)																		
55	服薬の見守り★																		
56		その他()★																	
57	口腔ケア	義歯の清掃★																	
58		歯磨きの介助★																	
59		口腔内の衛生確認★																	
60		その他()★																	
61	集団レクリエーション	レクリエーションの企画★																	
62		レクリエーションの準備、実施、介助★																	
63		その他()★																	
64	リハビリ(機能訓練)	バイタル確認																	
65		身体状態、機能観察・評価★																	
66		個別の機能訓練計画の立案★																	
67		リハビリの実施、介助★																	
68		リハビリの記録・評価★																	
69	記録	看護記録の作成(リハビリの記録を除く)																	
70		看護計画の作成、評価、見直し																	
71	会議	カンファレンスの参加																	
72		ミーティングまたは打合せ																	
73		サービス担当者会議への参加																	
74	調整	職員からの利用者の健康情報の報告の受理★																	
75		他機関への連絡調整(主治医等)★																	
76		インテーク、退院・利用調整★																	
77	利用者、家族への	家族への連絡調整★																	
78		利用者、家族からの相談対応★																	
79	緊急対応	ナースコール対応																	
80		ターミナルケア★																	
81	その他	介護職員への研修																	
82		介護職員への指導																	
83		家族への指導★																	
84		本人への指導★																	
85		ケアマネジャーとの相談、連携★																	
86		器具の消毒、感染性廃棄物の管理★																	
87		清掃★																	
88		帰りの申し送り																	
89		死後の処置★																	
90			その他()★																
		その他()★																	
		その他()★																	
91	休憩	休憩																	
92	特定施設入居者生活介護以外の併設サービスにおける勤務																		

通所介護事業所

看護職員票

記入日：2013年 月 日

該当するものにそれぞれ○、実数を記入

職種:1.看護師 ・ 2.准看護師

※機能訓練指導員としての配置職員は対象外

年齡:1.20代・2.30代・3.40代・4.50代・5.60代以上

経験年数:医療分野(年) 介護分野(年)

勤務狀況: 1.常勤 ・ 2.非常勤

労働時間(週 時間)

1.專従 ・ 2.兼務

本サービスでの勤務時間(週 時間)

業務開始時間(A)

:

業務終了時間(B)

•

業務時間 (B-A)

$$\vdots$$

分

[illegible]

認知症対応型通所介護

看護職員票

記入日：2013年 月 日

該当するものにそれぞれ○、実数を記入

職種:1.看護師 ・ 2.准看護師

※機能訓練指導員としての配置職員は対象外

年齢：1.20代・2.30代・3.40代・4.50代・5.60代以上

経験年数:医療分野(年) 介護分野(年)

勤務状況: 1.常勤 ・ 2.非常勤

労働時間(週 時間)

1.專従 ・ 2.兼務

本サービスでの勤務時間(週 時間)

$$\vdots$$

⋮

• •

分

[illegible]

訪問入浴介護

看護職員票

業務開始時間(A)	:	
業務終了時間(B)	:	
業務時間 (B-A)	:	分

[illegible]

短期入所生活介護

記入日：2013年 月 日

該当するものにそれぞれ○、実数を記入

職種:1.看護師 ・ 2.准看護師

※機能訓練指導員としての配置職員は対象外

年齡:1.20代・2.30代・3.40代・4.50代・5.60代以上

経験年数:医療分野(年) 介護分野(年)

勤務状況: 1.常勤 ・ 2.非常勤

労働時間(週 時間)

1.專從・2.兼務

本サービスでの勤務時間(週 時間)

看護職員票

業務開始時間(A) :

業務終了時間(B) :

業務時間 (B-A)	:	

分

		7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	1, 2, 3の各々の数			
															/の数	1	2	3
1	準備	介護職員からの申し送り、ミーティング																
2	健康管理	バイタル確認																
3		その他()★																
4	診療の補助	医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案																
5		診察の準備、介助、後片付け																
6		吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導																
7		胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導																
8		静脈内注射の準備、実施、後片付け																
9		点滴の調整、確認、除去																
10		褥瘡予防のケア																
11		褥瘡処置の準備、実施、後片付け																
12		留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け																
13		外部医療機関への受診同行																
14		その他()																
15	移動の補助	居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★																
16	居室、リビング等	日常会話、声掛け★																
17		居室の見回り、リビング等での見守り★																
18		その他()★																
19	食事	配膳の準備★																
20		食事、おやつ、水分摂取の介助★																
21		食事、おやつ、水分摂取の見守り★																
22		咀嚼、嚥下機能の観察★																
23		食事摂取量・水分摂取量の観察★																
24		下膳★																
25		その他()★																
26	排泄ケア	トイレへの誘導、居室等への誘導★																
27		トイレへの移乗・移動★																
28		排泄時の脱衣、着衣の介助★																
29		排泄時の見守り★																
30		腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★																
31		排泄物・排泄量の確認★																
32		おむつ交換★																
33		排便の準備、実施、観察、後片付け																
34		浣腸の準備、実施、観察、後片付け																
35		人工肛門等の対応★																
36		その他()★																
37	入浴	バイタル確認																
38		浴場への誘導★																
39		脱衣、着衣の介助★																
40		洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★																
41		洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)																
42		整髪の介助★																
43		機械浴の介助★																
44		浴場と居室との間の移動の介助、誘導★																
45		その他()★																
46	服薬	薬品庫、常備薬、保冷库の確認、薬品発注																
47		処方箋と処方薬との照合、処方の確認																
48		薬の区分け・与薬の準備、後片付け																
49		薬を利用者に配布																
50		服薬介助(経口)																
51		服薬介助(塗布薬、貼布薬)																
52		服薬介助(点眼、点鼻薬)																
53		服薬介助(座薬)																
54		服薬介助(注射)																
55		服薬の見守り★																
56			その他()★															

		7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	1, 2, 3の各々の数				
															/の数	1	2	3	
57	口腔ケア	義歯の清掃★																	
58		歯磨きの介助★																	
59		口腔内の衛生確認★																	
60		その他()★																	
61	集団レクリエーション	レクリエーションの企画★																	
62		レクリエーションの準備、実施、介助★																	
63		その他()★																	
64		バイタル確認																	
65	リハビリ(機能訓練)	身体状態・機能観察・評価★																	
66		個別の機能訓練計画の立案★																	
67		リハビリの実施、介助★																	
68		リハビリの記録・評価★																	
69	記録	看護記録の作成(リハビリの記録を除く)																	
70		看護計画の作成、評価、見直し																	
71	会議	カンファレンスの参加																	
72		ミーティングまたは打合せ																	
73		サービス担当者会議への参加																	
74		職員からの利用者の健康情報の報告の受理★																	
75	調整	他機関への連絡調整(主治医等)★																	
76		インターク、退院・利用調整★																	
77	利用者、家族への対応	家族への連絡調整★																	
78		利用者、家族からの相談対応★																	
79	緊急対応	ナースコール対応																	
80		ターミナルケア★																	
81	その他	介護職員への研修																	
82		介護職員への指導																	
83		家族への指導★																	
84		本人への指導★																	
85		ケアマネジャーとの相談、連携★																	
86		器具の消毒、感染性廃棄物の管理★																	
87		清掃★																	
88		帰りの申し送り																	
89		死後の処置★																	
90			その他()★																
		その他()★																	
		その他()★																	
91	休憩	休憩																	
92	短期入所生活介護以外の併設サービスにおける勤務																		

認知症対応型共同生活介護

記入日：2013年 月 日

該当するものにそれぞれ○、実数を記入

職種:1.看護師 ・ 2.准看護師

※機能訓練指導員としての配置職員は対象外

年齡:1.20代・2.30代・3.40代・4.50代・5.60代以上

経験年数:医療分野(年) 介護分野(年)

勤務状況:1.常勤 ・ 2.非常勤

労働時間(週 時間)

1.専従 ・ 2.兼務

本サービスでの勤務時間(週 時間)

看護職員票

業務開始時間(A)

$$\vdots$$

業務終了時間(B)

$$\vdots$$

業務時間 (B-A)

$$\vdots$$

分

		7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	1. 2. 3の各々の数			
															/の数	1	2	3
1	準備	介護職員からの申し送り、ミーティング																
2	健康管理	バイタル確認																
3		その他()★																
4	診療の補助	医師の指示を受ける、指示の確認、医師への報告、提案																
5		診察の準備、介助、後片付け																
6		吸引の準備、実施、後片付け、介護職員への指導																
7		胃ろう等経管栄養の準備、実施、後片付け・介護職員への指導																
8		静脈内注射の準備、実施、後片付け																
9		点滴の調整、確認、抜き																
10		褥瘡予防のケア																
11		褥瘡処置の準備、実施、後片付け																
12		留置カテーテルの観察、測定、交換、準備、後片付け																
13		外部医療機関への受診同行																
14		その他()																
15	移動の介助	居室とリビング(食堂)等との間の移動の介助、見守り★																
16	居室、リビング等	日常会話、声掛け★																
17		居室の見回り、リビング等での見守り★																
18		その他()★																
19	食事	配膳の準備★																
20		食事、おやつ、水分摂取の介助★																
21		食事、おやつ、水分摂取の見守り★																
22		咀嚼、嚥下機能の観察★																
23		食事摂取量・水分摂取量の観察★																
24		下膳★																
25		その他()★																
26	排泄ケア	トイレへの誘導、居室等への誘導★																
27		トイレへの移乗・移動★																
28		排泄時の脱衣、着衣の介助★																
29		排泄時の見守り★																
30		腹部マッサージなど自然な排泄へのケア★																
31		排泄物・排泄量の確認★																
32		おむつ交換★																
33		摘便の準備、実施、観察、後片付け																
34		浣腸の準備、実施、観察、後片付け																
35		人工肛門等の対応★																
36		その他()★																
37	入浴	バイタル確認																
38		浴場への誘導★																
39		脱衣、着衣の介助★																
40		洗身・清拭の介助(医療的処置のない方)★																
41		洗身・清拭の介助(医療的処置のある方:褥瘡や創傷ありなど)																
42		整髪の介助★																
43		機械浴の介助★																
44		浴場と居室との間の移動の介助、誘導★																
45		その他()★																
46	服薬	薬品庫、常備薬、保冷库の確認、薬品発注																
47		処方箋と処方薬との照合、処方の確認																
48		薬の区分け・与薬の準備、後片付け																
49		薬を利用者に配布																
50		服薬介助(経口)																
51		服薬介助(塗布薬、貼布薬)																
52		服薬介助(点眼、点鼻薬)																
53		服薬介助(座薬)																
54		服薬介助(注射)																
55		服薬の見守り★																
56		その他()★																

		7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	1, 2, 3の各々の数				
															/の数	1	2	3	
57	口腔ケア	義歯の清掃★																	
58		歯磨きの介助★																	
59		口腔内の衛生確認★																	
60		その他()★																	
61	集団レクリエーション	レクリエーションの企画★																	
62		レクリエーションの準備、実施、介助★																	
63		その他()★																	
64	リハビリ(機能訓練)	バイタル確認																	
65		身体状態、機能観察・評価★																	
66		個別の機能訓練計画の立案★																	
67		リハビリの実施、介助★																	
68		リハビリの記録・評価★																	
69	記録	看護記録の作成(リハビリの記録を除く)																	
70		看護計画の作成、評価、見直し																	
71	会議	カンファレンスの参加																	
72		ミーティングまたは打合せ																	
73	調整	サービス担当者会議への参加																	
74		職員からの利用者の健康情報の報告の受理★																	
75		他機関への連絡調整(主治医等)★																	
76		インターク、退院・利用調整★																	
77	利用者、家族への対応	家族への連絡調整★																	
78		利用者、家族からの相談対応★																	
79	緊急対応	ナースコール対応																	
80		ターミナルケア★																	
81	その他	介護職員への研修																	
82		介護職員への指導																	
83		家族への指導★																	
84		本人への指導★																	
85		ケアマネジャーとの相談、連携★																	
86		器具の消毒、感染性廃棄物の管理★																	
87		清掃★																	
88		掃りの申し送り																	
89		死後の処置★																	
90			その他()★																
		その他()★																	
		その他()★																	
91	休憩	休憩																	
92	認知症対応型共同生活介護以外の併設サービスにおける勤務																		

複合型サービス

看護職員票

本サービスでの勤務時間(週 時間)

分[illegible]

ヒアリングシート

事業所ID:

調査日: 2013年 月 日

健康管理		口腔ケア	
診療の補助		集団レクリエーション	
移動の介助		リハビリ (機能訓練)	
居室、リビング等		記録	
食事		会議、調整	
排泄ケア		利用者、 家族への 対応	
入浴		緊急対応	
服薬		その他	

裏面に続く⇒

①看護職員は、サービス担当者会議にどの程度参加していますか	1. 9割以上 2. 7～8割 3. 5～6割 4. 3～5割 5. 2割以下 6. ほとんど参加していない
②サービス担当者会議において、ケアマネジャーから看護職員に対し、業務に関する具体的な依頼（例：水分管理、栄養管理、服薬管理など）はどの程度ありますか	1. 9割以上 2. 7～8割 3. 5～6割 4. 3～5割 5. 2割以下 6. ほとんどない
③ケアマネジャーが立てたケアプランに記載されている「解決すべき課題」について、看護職員はどの程度確認していますか	1. 9割以上 2. 7～8割 3. 5～6割 4. 3～5割 5. 2割以下 6. ほとんど確認していない
④看護職員が個別援助計画の作成に関与している利用者の割合はどの程度ですか	1. 9割以上 2. 7～8割 3. 5～6割 4. 3～5割 5. 2割以下 6. ほとんどいない
⑤看護職員と居宅（施設の場合は施設）ケアマネジャーとの間で、利用者状況（医療面からの評価や目標達成度等）について、定期的な情報共有や報告をしている利用者の割合はどの程度ですか	1. 9割以上 2. 7～8割 3. 5～6割 4. 3～5割 5. 2割以下 6. ほとんどいない

貴サービスに看護職員が配置されていることの意義、メリット、デメリット等についてご記入ください。